

大井町まちづくりアンケート調査

調査結果報告書

令和元年 1 1 月
大 井 町

目 次

1. 調査の概要

(1) 調査の目的	1
(2) 調査方法	1
(3) 回収率	1

2. 調査結果の概要

(1) 回答者の属性	2
(2) 大井町の将来像や今後のまちづくりについて	2
(3) 行政の施策や事業への取り組み・町職員への印象について	2
(4) まちづくりへの参加と協力について	2
(5) 自由意見	4

3. 調査結果

3-1 町民アンケート

(1) 回答者の属性	5
(2) 大井町の将来像や今後のまちづくりについて	18
(3) 行政の施策や事業への取り組み・町職員への印象について	36
(4) まちづくりへの参加と協力について	46
(5) 自由意見	61

3-2 職員アンケート

(1) 回答者の属性	62
(2) 各種施策・事業について	64
(3) 総合計画の活用について	72

4. 資料

4-1 職員アンケート自由意見	74
4-2 職員アンケート自由意見（施策アイデア）	109
4-3 調査票	
(1) 町民アンケート	121
(2) 職員アンケート	133

1. 調査の概要

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本町では、2011年度を初年度とする第5次総合計画「おいきらめきプラン」に基づき「ひとづくり・まちづくり・未来づくり」をまちづくりの目標として、総合的かつ計画的なまちづくりを進めてきた。現行の総合計画が、2020年度に計画期間が終了することから、2021年度以降を計画期間とする次期総合計画を策定する必要がある。

このアンケートは次期総合計画の策定にあたり、町民の方々及び職員の方々の意見や希望を把握し、計画策定に反映させることを目的に実施した。

(2) 調査方法

	住民アンケート	職員アンケート
対象地域	大井町全域	大井町役場
対象者	全町民(16歳以上の男女)	全職員
母集団	17,194人(2019年7月末日時点)	142人
標本数	3,000票	142票
抽出方法	無作為抽出	全職員
調査方法	郵送配布・回収	Excel アンケート票データ配布
調査期間	2019年8月9日(金)～8月31日(土)	2019年8月20日(火)～9月10日(土)

(3) 回収率

	住民アンケート	職員アンケート
標本数	3,000票	142票
有効回収数	917票	142票
有効回収率	30.7%	100%

2. 調査結果の概要

2. 調査結果の概要

（１）回答者の属性について

- ・通勤・通学以外での買物、通院など日常の生活圏（問 5）について、「町内」が 82.6%と最も高くなっており、次いで「小田原市」（66.2%）となっている。
- ・大井町に引き続き住みたいか（問 10）について、「住み続けたい」「住み続けてもよい」が 81.1%と前回調査時（78.7%）から若干増加した。
- ・今後も住み続けたい理由（問 10-1）について、「親がいる又は持ち家があるから」と答えた方が 45.4%（前回 43.3%）と最も高く、以下「生活環境が良いから」（27.8% 前回 30.6%）、「買い物が便利だから」（23.7% 前回 20.9%）、「自然が多いから」（22.3% 前回 27.7%）となっており、前回アンケートと同様の結果になっている。

（２）大井町の将来像や今後のまちづくりについて

- ・大井町のまちづくりにおいて、どのようなことを大切にしていきたいか（問 11）について、「安心」が 42.2%、「安全」が 36.2%、「便利」が 35.6%となっている。
- ・大井町に住みたくなるために、町に必要な施策（問 13）について、「子育て環境を整備すること」が 47.3%と最も高く、「交通網を整備し利便性向上を図ること」が 46.1%、「高齢者がいつまでの健康で活躍できる環境を整備すること」が 39.5%となっている。
- ・今後の福祉サービスの方向性（問 15-1）について、「福祉サービス水準を向上（維持すべき）」と回答した方が約 8 割を占めており、「福祉サービス利用者の負担が増えても、福祉サービス水準を維持（向上）するべき」が 46.8%と最も高く、負担が増えてもサービスの維持（公共）を望む声が多い。同様の傾向は「都市基盤整備関連サービス」（問 15-2）、及び「公共施設関連サービス」についても見られ、負担が増えても、サービス水準の維持（向上）を望む声が見られる。
- ・今後 10 年間で町が特に取組む必要があると感じる施策（問 18）について、「安心・安全な暮らしの確保」が 51.0%と最も高く、次いで「道路交通網の整備、利便性の向上」（46.0%）、「高齢者福祉施策」（41.7%）となっている。上記の問 11、問 13、問 18 の傾向より、「安心」「安全」なまちづくりや、交通の利便性の向上など「便利」なまちづくりを求める声が多い。

（３）行政の施策や事業への取り組み・町職員への印象について（次頁記載）

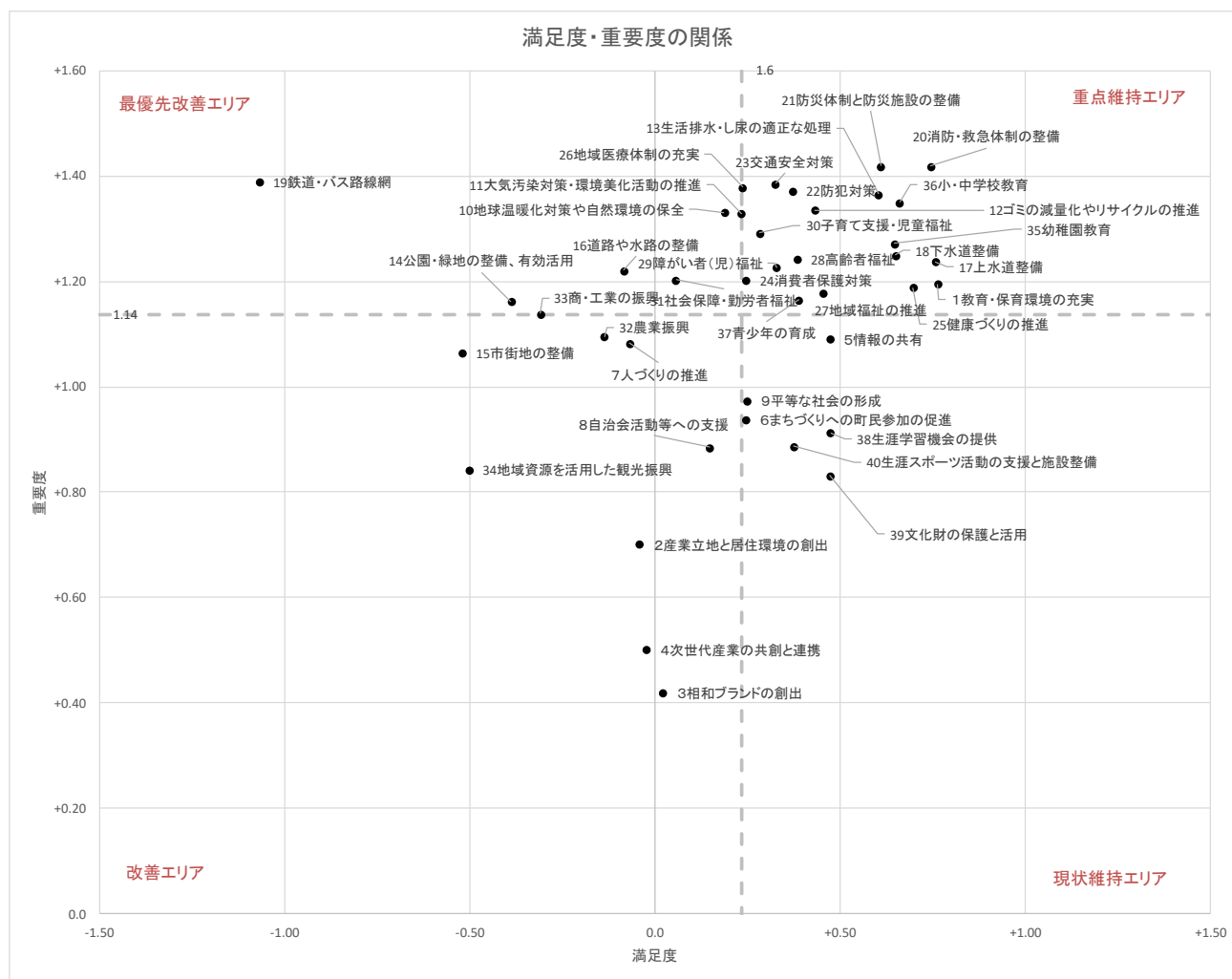
（４）まちづくりへの参加と協力について

- ・町に関する情報をどのように得ているか（問 20）について、「広報おおい」で情報を得ているという回答が 87.2%と最も高かった。一方「Facebook」と回答したのは 0.9%にとどまっている。
- ・町に対して意見を伝える方法（問 24）について、「アンケート調査で十分である」が 35.1%と最も高く、「町で開催する懇親会やワークショップ」（12.2%）、「議員や町・専門家にまかせる」（10.5%）、「直接窓口で伝えたい」（10.5%）が同程度で続いている。
- ・町政への住民の参画について（問 25）について、「住民の声をよく聞き、行政が責任をもって判断すべきだ」が 50.2%で最も高く、「住民もまちづくりに参加して、協働のまちづくりをすすめるべきだ」が 31.1%と次に続いた。

(3) ①行政の施策や事業への取り組み

- ・大井町のまちづくりの取り組みについての満足度と重要度（問 17）について、項目ごとに相関係数を算出した上で、縦軸を重要度、横軸を満足度としてグラフ上に表示する。満足度、重要度それぞれの全体平均を中心に 4 つの領域に区分し、以下の区分で施策の改善の緊急性等を分析した。

領域	説明
最優先改善エリア	重要が高いものの、満足度が低い領域。最優先で改善が必要
改善エリア	重要度は低く、満足度も低い領域。重要度が低いので最優先ではないものの、何らかの改善が必要
重点維持エリア	重要度が高く、満足度も高い領域。現状は問題ないが、町民にとって重要度の高い施策であるため、満足度の水準を保つように注意が必要
現状維持エリア	重要度が低い一方、満足度が高い領域。満足度は高いので現状を維持すれば十分



重要度はすべての施策・事業でプラス評価であったため、必要ない施策はないといえる。一方、満足度では $-1.5 \sim +1.0$ と幅があり、特に「19. 鉄道・バス路線網」については重要度が高いが、満足度が他の施策と比べて極めて低いため最優先に改善すべき事項であるといえる。

(3) ②町職員への印象について

- ・町職員の窓口や電話での対応の印象（問 19（ア））について、「良い」（26.2%）、「どちらかといえば良い」（44.4%）を合わせると約 7 割が良い評価をしている。

(5) 自由意見

- ・まちづくりについての自由意見において、町民アンケートでは「まちづくり全体」「情報公開・開示」「環境共生」「生活環境」「ごみ」「都市整備」「公共交通」「安全・安心」「福祉健康」「産業振興」「教育文化」「行財政」「住民参加」「その他」に概ね分類される。主な意見は以下の通りである。(詳細な内容は調査報告書 3. 資料編を参照。)

まちづくり全体	安心・安全なまちづくり、子育て世代が住みやすいまちづくり、自然のあるまちづくり、公共施設の整備・見直し、IT や最新技術の活用、
情報公開・開示	情報公開・開示
環境共生	再エネ利用
生活環境	街灯の設置、外来生物/有害鳥獣対策
ごみ	ごみ回収日、ごみの出し方
都市整備	道路の整備・拡幅、歩道の整備、公園の整備、子どもが遊べる場所の設置、ベンチの設置、駅前・ロータリーの整備、スーパー/コンビニの設置、空き家対策、電柱の地中化
公共交通	鉄道・バスの路線増強、バスの IC カード (Pasumo・Suica) 利用、公共交通機関の連携
安全・安心	運転マナーの指導、防犯対策、防犯カメラの設置、避難所の見直し、
福祉健康	子育て支援、高齢者福祉支援、健康増進の推進
産業振興	商業施設/娯楽施設の整備、企業誘致、BIOTOPIA の活用、観光振興
教育文化	学校教育、ひょうたん祭、花火大会、英語教育の強化
行財政	町議会議員、町民税/公共料金の見直し、自治会費、合併、
住民参加	意見交換、意見募集の手法、ボランティア、交流
その他	アンケート調査について、感想、応援

3. 調查結果

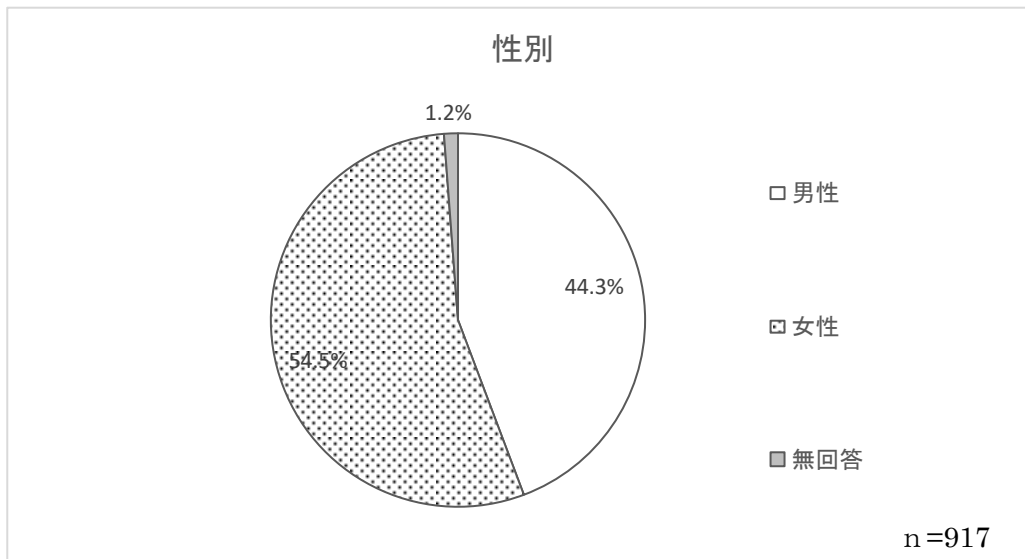
3. 調査結果

3-1 町民アンケート

(1) 回答者の属性

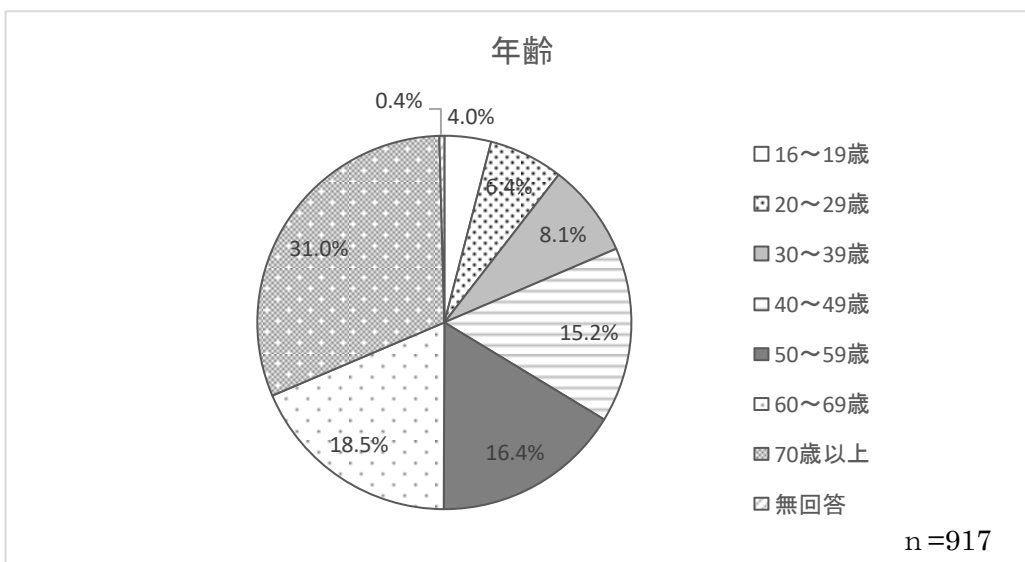
問1 あなたの性別を教えてください。【単数回答】

「男性」が44.3%、「女性」が54.5%であった。



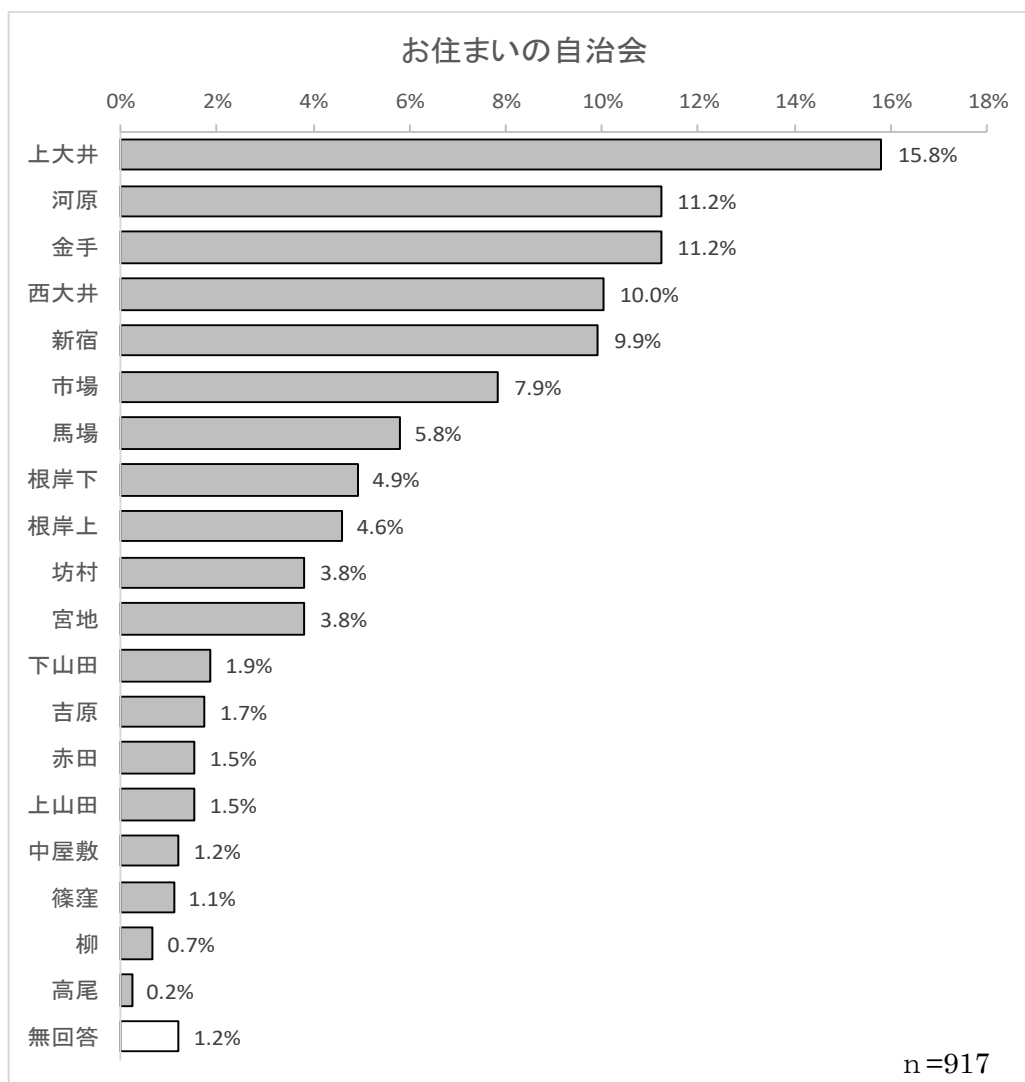
問2 あなたの年齢を教えてください。【単数回答】

「70歳以上」が31.0%と最も高く、次に続く「60代」(18.5%)と「50代」(16.4%)、「40代」(15.2%)が同程度であった。



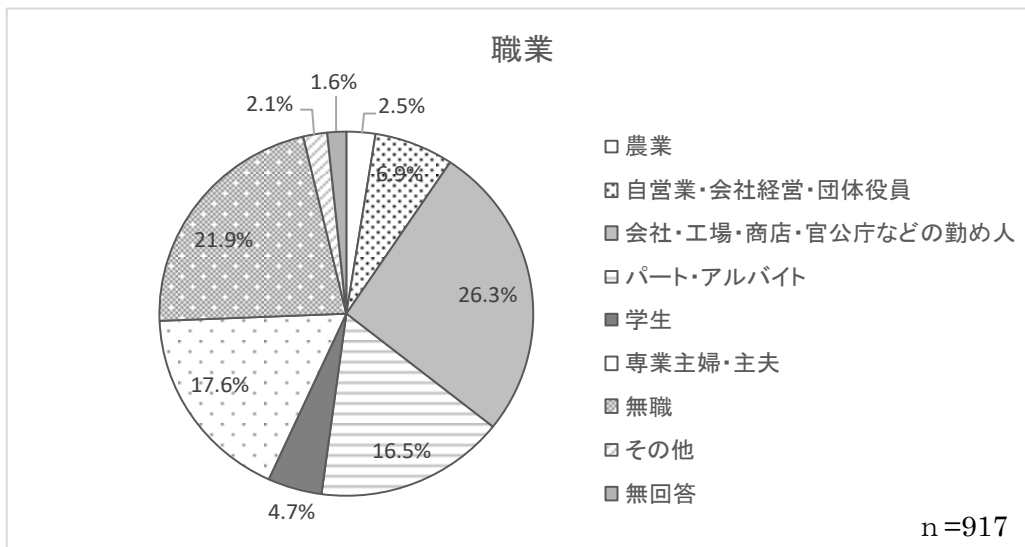
問3 あなたのお住まいの自治会（地区）は次のうちどれですか。【単数回答】

「上大井」が15.8%で最も高く、次に「河原」、「金手」が11.2%と続いた。



問4 あなたのご職業を教えてください。兼業の方は主な職業についてのみお答えください。【単数回答】

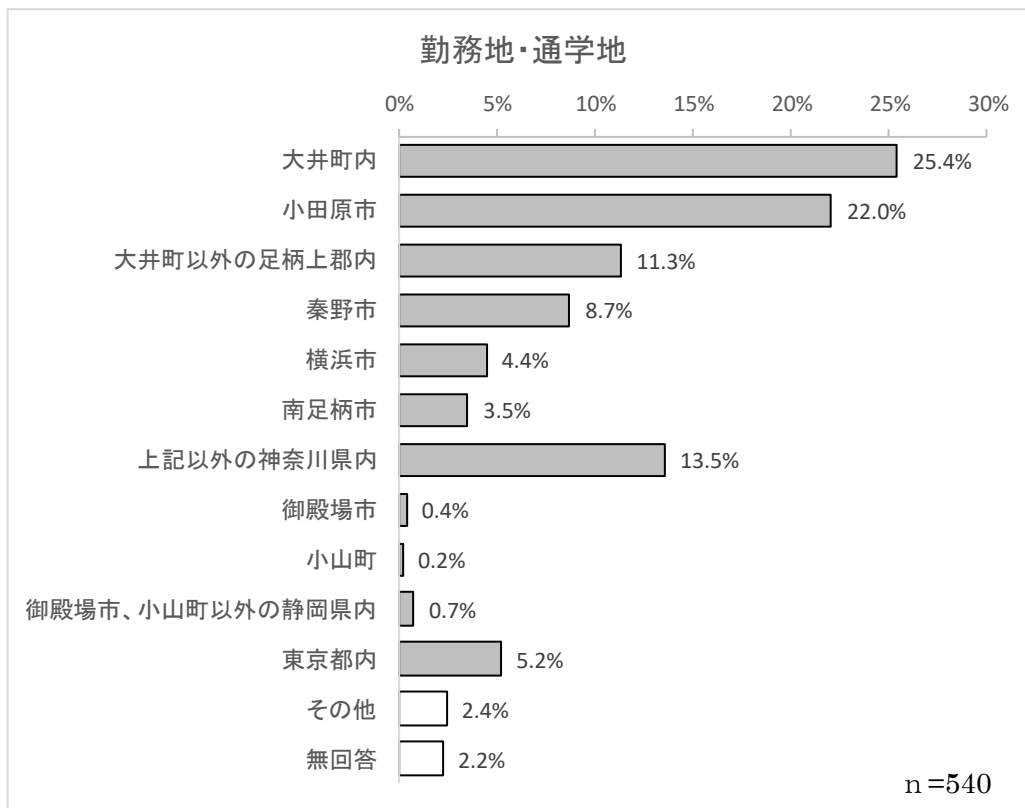
「会社・工場・商店・官公庁などの勤め人」が26.3%と最も高い。



問４－１ 問４で「１．農業」、「２．自営業」、「３．勤め人」、「４．パート・アルバイト」、「５．学生」、「８．その他」とお答えの方におたずねします。あなたの勤務地・通学地を教えてください。

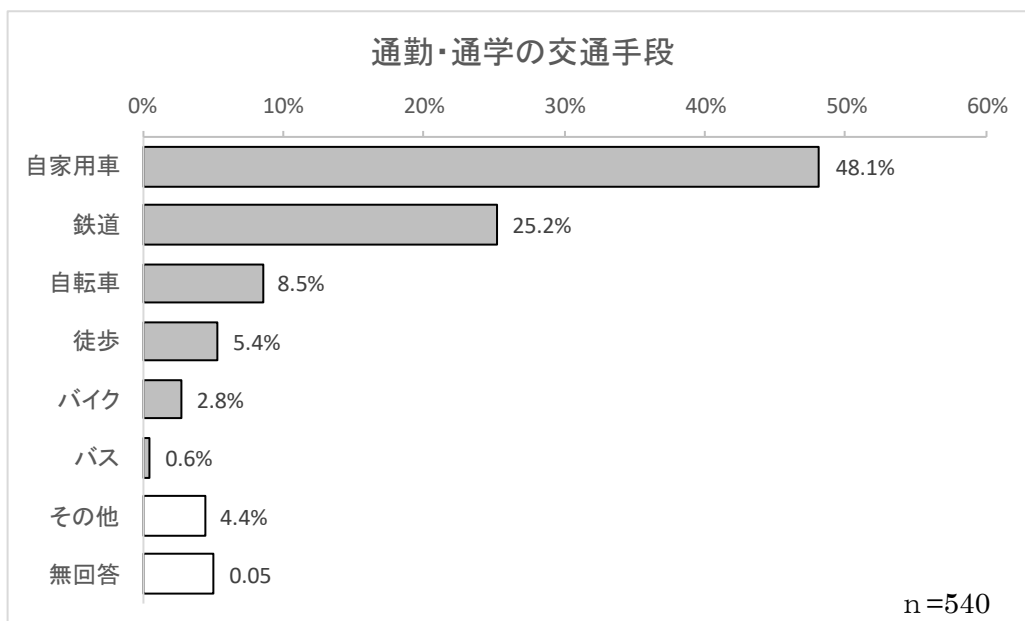
【単数回答】

「大井町内」(25.4%)と「小田原市」(22.0%)に通勤・通学する人が約半数(47.4%)であった。



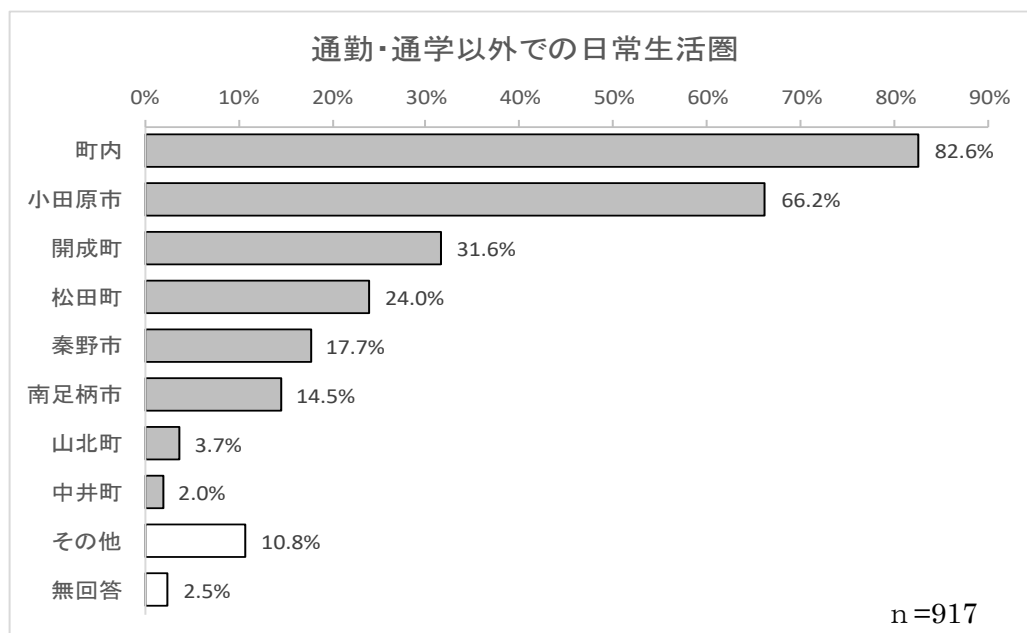
問４－２ 問４で「１．農業」、「２．自営業」、「３．勤め人」、「４．パート・アルバイト」、「５．学生」、「８．その他」とお答えの方におたずねします。主な通勤・通学の交通手段は何ですか。【単数回答】

約半数(48.1%)の方が自家用車と回答し、バスを利用していると回答したのは0.6%であった。



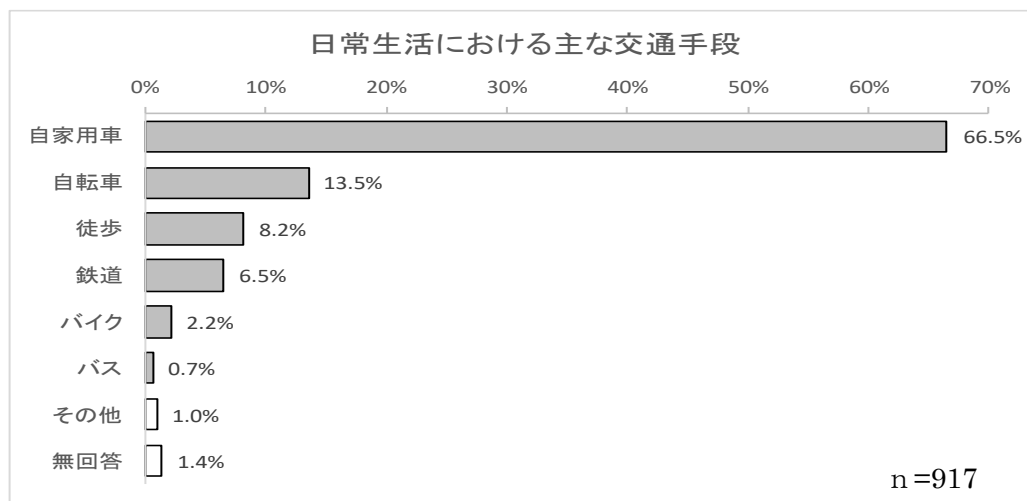
問5 通勤・通学以外での買物、通院など日常の生活圏は、どの範囲ですか。（あてはまるものすべてに○）【複数回答】

「町内」(82.6%) が最も多く、次いで「小田原市」(66.2%) が多い結果となった。



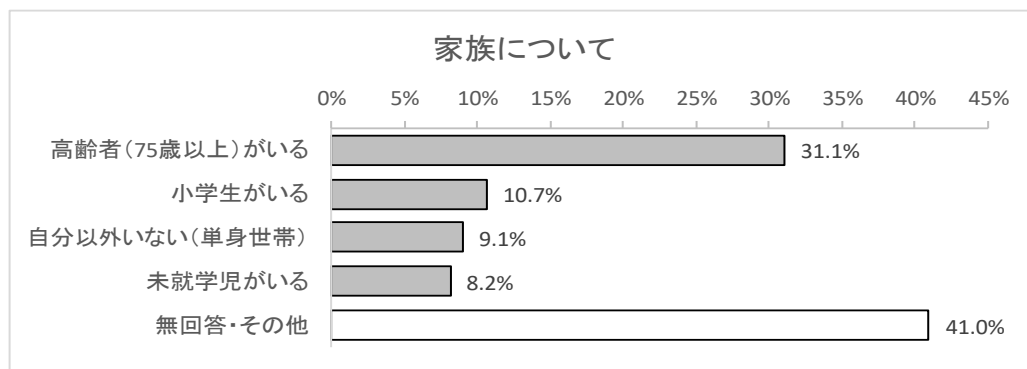
問6 あなたの日常生活における主な交通手段は何ですか。【単数回答】

「自家用車」が 66.5% と最も高く、一方「バス」と回答したのは 0.7% にとどまった。



問7 あなたのご家族の中に次の人はいますか。（該当がない場合、○は不要）【複数回答】

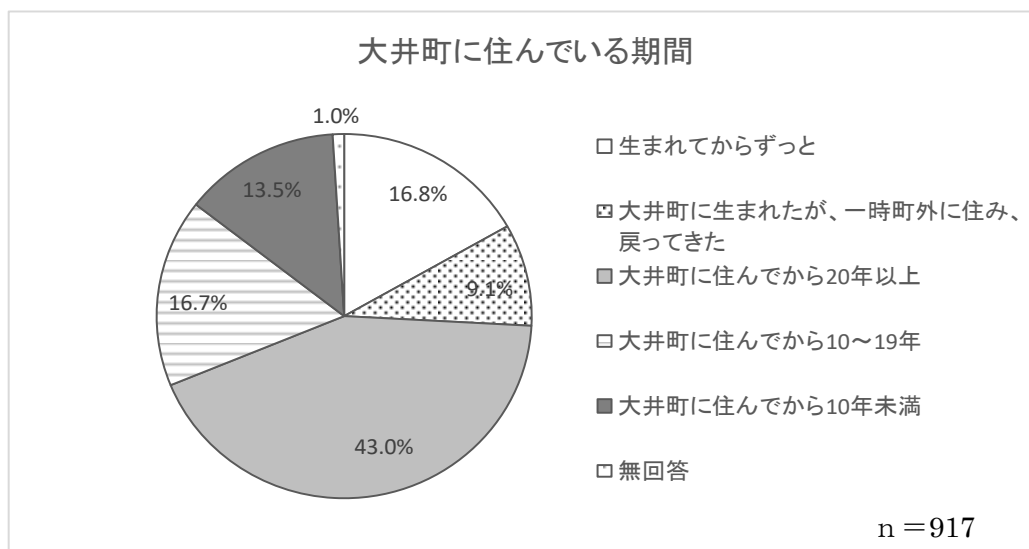
「高齢者がいる」と回答された方が 31.1% であった。



n=917

問8 あなたは大井町に住んで、どれくらいになりますか。【単数回答】

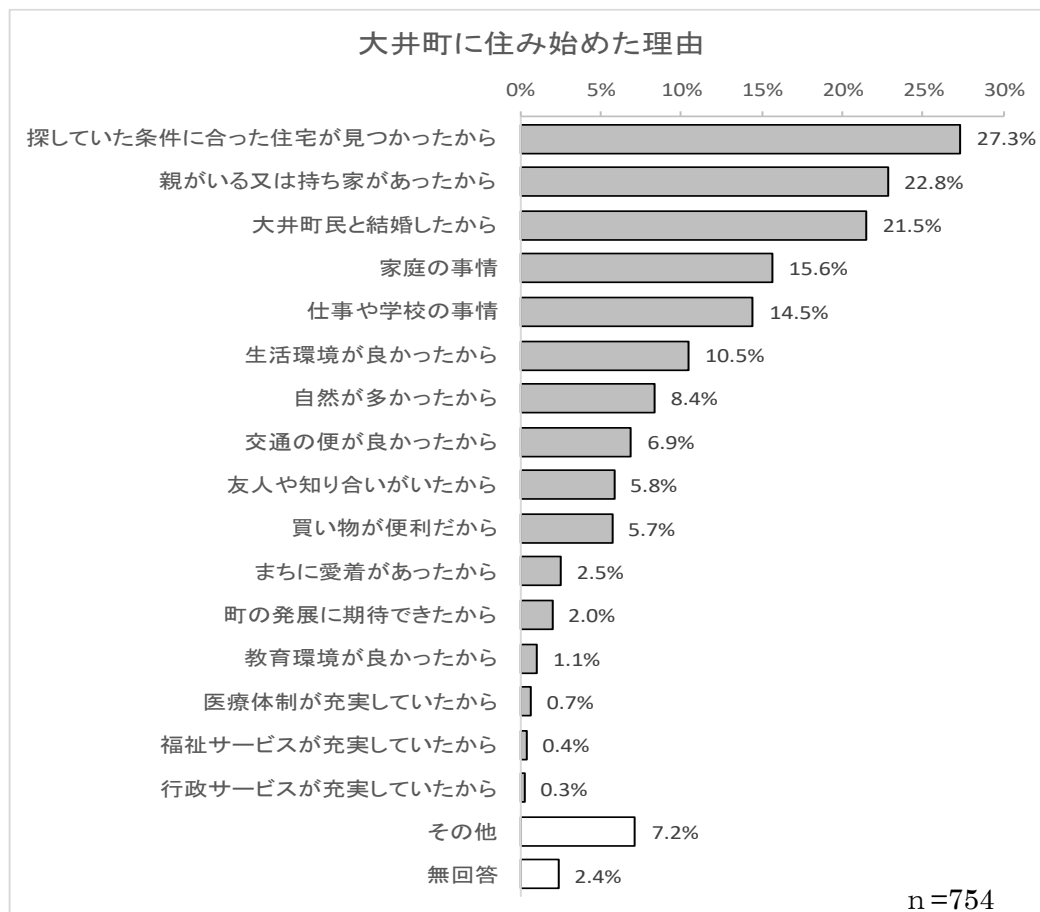
「20年以上」（43.0%）が最も多く、次に、「生まれてからずっと」（16.8%）、「10～19年」（16.7%）が多い。



問8－1 問8で「2. 大井町に生まれたが、一時町外に住み、戻ってきた」、「3. 大井町に住んでから20年以上」、「4. 大井町に住んでから10～19年」、「5. 大井町に住んでから10年未満」とお答えの方におたずねします。あなたが大井町に住み始めた理由は何ですか。（○は最大3つまで）

【複数回答】

「探していた条件に合った住宅が見つかったから」（27.3%）が最も多く、次いで「親がいる又は持ち家があったから」（22.8%）、「大井町民と結婚したから」（21.5%）となっている。



属性別クロス集計

最も多い回答として「探していた条件に合った住宅が見つかったから」が全体的に多いが、地区別でみると相和地区では「大井町民と結婚したから」という回答が58.3%と最も高く、子育て層でみると、子育て層（女性）は「親がいる又は持ち家があったから」という回答が35.8%と最も高くなっている。

		まちに愛着があったから	買い物が便利だから	交通の便が良かったから	生活環境が良かったから	教育環境が良かったから	医療体制が充実していたから	福祉サービスが充実していたから	自然が多かったから	行政サービスが充実していたから	町の発展に期待できたから	友人や知り合いがいたから	仕事や学校の事情	家庭の事情	親がいる又は持ち家があったから	探していた条件に合った住宅が見つかったから	大井町民と結婚したから	その他	回答者総数
総数		2.5%	5.7%	6.9%	10.5%	1.1%	0.7%	0.4%	8.4%	0.3%	2.0%	5.8%	14.5%	15.6%	22.8%	27.3%	21.5%	7.2%	754
性別	男性	2.9%	7.3%	9.2%	13.7%	1.6%	0.3%	0.6%	7.9%	0.6%	3.2%	7.0%	19.4%	17.1%	24.4%	33.7%	8.3%	6.3%	315
	女性	2.3%	3.9%	5.3%	8.1%	0.7%	0.9%	0.2%	8.3%	0.0%	1.2%	5.1%	11.1%	14.3%	21.9%	22.9%	31.2%	7.6%	433
年齢	16～19歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	58.3%	25.0%	0.0%	0.0%	12
	20～29歳	2.8%	2.8%	8.3%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	5.6%	19.4%	22.2%	41.7%	19.4%	5.6%	8.3%	36
	30～39歳	1.5%	6.1%	6.1%	7.6%	1.5%	0.0%	0.0%	7.6%	0.0%	1.5%	7.6%	10.6%	19.7%	30.3%	36.4%	7.6%	10.6%	66
	40～49歳	7.2%	2.4%	4.8%	8.0%	0.8%	0.8%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	4.0%	16.8%	18.4%	34.4%	29.6%	19.2%	5.6%	125
	50～59歳	3.0%	4.4%	8.9%	14.8%	0.7%	0.0%	0.0%	6.7%	0.7%	0.7%	2.2%	17.8%	17.0%	22.2%	26.7%	23.7%	5.9%	135
	60～69歳	0.0%	7.3%	7.3%	10.0%	0.7%	1.3%	0.7%	9.3%	0.0%	2.7%	5.3%	12.7%	14.7%	21.3%	30.0%	24.0%	5.3%	150
	70歳以上	1.7%	7.4%	7.0%	10.5%	1.7%	0.9%	0.9%	10.5%	0.4%	3.9%	9.2%	13.5%	11.4%	10.9%	23.1%	27.5%	9.2%	229
地区別	金田地区	2.4%	6.3%	9.1%	10.7%	0.8%	0.6%	0.4%	7.3%	0.4%	2.4%	6.9%	15.4%	15.6%	19.1%	29.0%	19.5%	7.9%	507
	曾我地区	3.1%	5.7%	3.1%	9.3%	1.6%	0.5%	0.0%	10.4%	0.0%	1.6%	4.1%	15.0%	15.5%	28.0%	28.5%	18.1%	5.7%	193
	相和地区	2.1%	0.0%	0.0%	8.3%	2.1%	2.1%	2.1%	8.3%	0.0%	0.0%	2.1%	2.1%	16.7%	41.7%	6.3%	58.3%	6.3%	48
子育て層	子育て層総数	3.0%	5.0%	4.0%	8.0%	2.0%	1.0%	0.0%	6.0%	0.0%	1.0%	5.0%	9.0%	19.0%	35.0%	36.0%	15.0%	9.0%	100
	子育て層(男性)	3.1%	6.3%	6.3%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	9.4%	0.0%	0.0%	6.3%	6.3%	9.4%	34.4%	46.9%	3.1%	12.5%	32
	子育て層(女性)	3.0%	4.5%	3.0%	4.5%	3.0%	1.5%	0.0%	3.0%	0.0%	1.5%	4.5%	10.4%	22.4%	35.8%	31.3%	20.9%	7.5%	67

※地区別の内訳は下記の通りである。

金田地区：吉原、新宿、河原、根岸上、根岸下、市場、坊村、馬場、宮地、金手

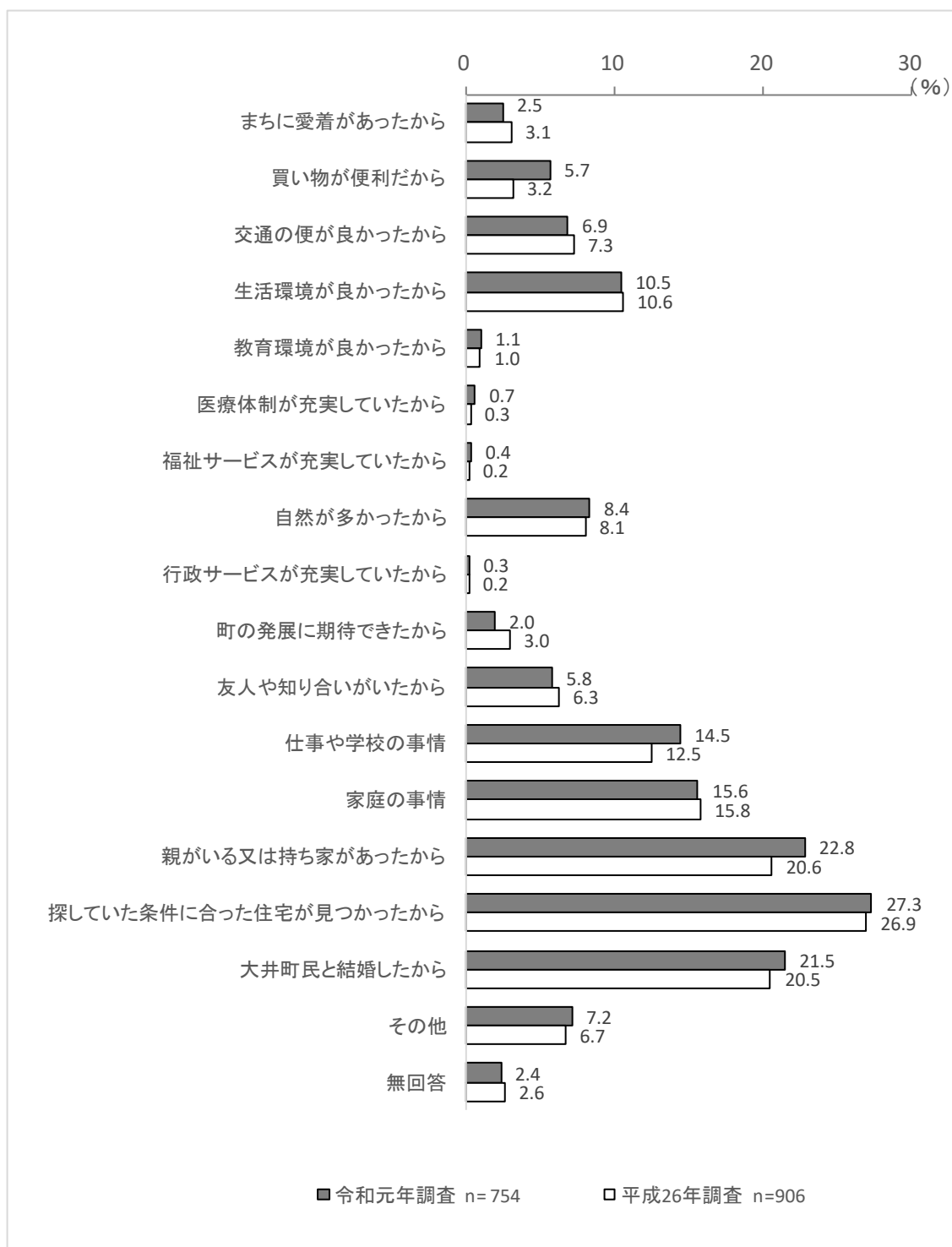
曾我地区：上大井、西大井

相和地区：篠窪、柳、高尾、赤田、上山田、中屋敷、下山田

※子育て層は、問7で「2. 未就学児童がいる」または「3. 小学生がいる」と回答された方のうち、問2で「2. 20～29歳」、「3. 30～39歳」、「4. 40～49歳」と回答された方が対象。以下同。

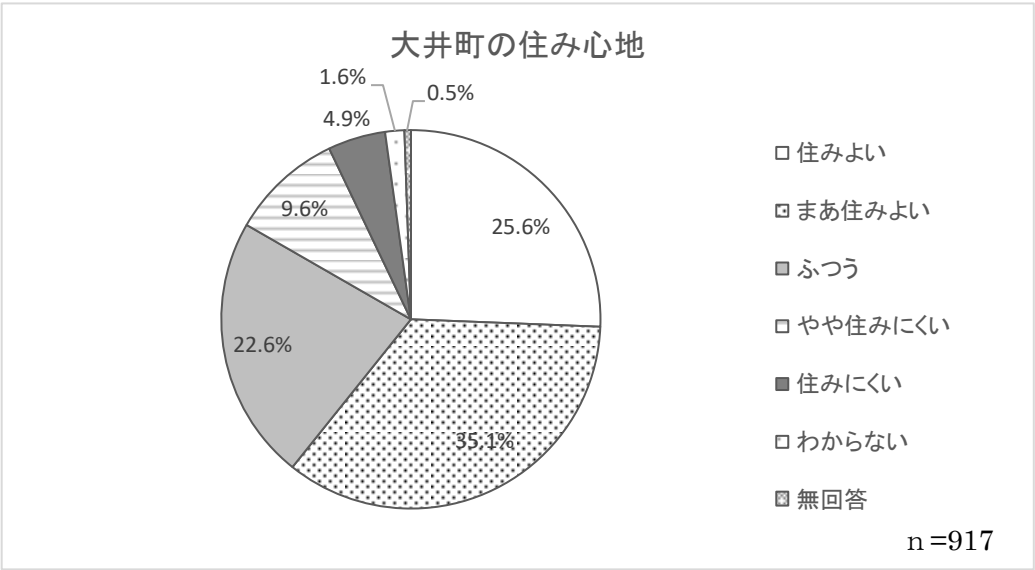
平成26年度調査との比較

「買い物が便利だから」、「親がいる又は持ち家があるから」の回答率が約2%上がっている。一方で「まちに愛着があったから」の回答は0.6%下がっている。



問9 あなたにとって大井町は、住みよいところですか。【単数回答】

「住みよい」(25.6%)、「まあ住みよい」(35.1%)と答えた方を合わせると約60%を占める。



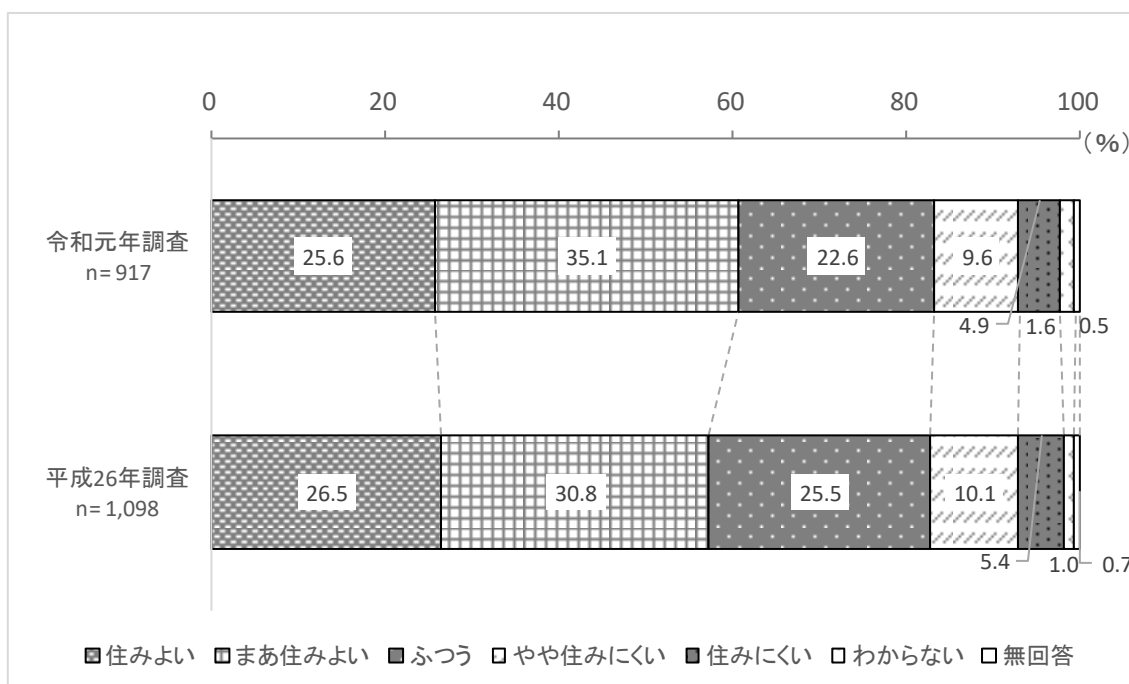
属性別クロス集計

どの属性でも「まあ住みよい」の回答が最も多くなっているが、子育て層（男性）は「住みよい」との回答が多い。

		住みよい	まあ住みよい	ふつう	やや住みにくい	住みにくい	わからない	回答者総数
総数		25.6%	35.1%	22.6%	9.6%	4.9%	1.6%	917
性別	男性	30.8%	33.3%	20.9%	7.9%	4.7%	2.2%	406
	女性	21.8%	36.4%	23.6%	11.2%	5.0%	1.2%	500
年齢	16～19歳	18.9%	32.4%	21.6%	16.2%	8.1%	2.7%	37
	20～29歳	28.8%	35.6%	16.9%	13.6%	3.4%	1.7%	59
	30～39歳	28.4%	35.1%	24.3%	4.1%	8.1%	0.0%	74
	40～49歳	23.7%	36.0%	19.4%	10.1%	7.9%	2.9%	139
	50～59歳	22.7%	40.0%	18.7%	13.3%	4.7%	0.7%	150
	60～69歳	22.4%	37.6%	22.9%	8.8%	4.7%	2.4%	170
	70歳以上	29.9%	30.3%	26.8%	7.7%	2.8%	1.4%	284
地区別	金田地区	27.6%	35.6%	22.9%	8.2%	4.2%	0.8%	595
	曽我地区	23.2%	36.3%	23.6%	9.7%	4.6%	2.1%	237
	相和地区	21.6%	24.3%	14.9%	21.6%	12.2%	5.4%	74
子育て層	子育て層総数	26.9%	38.0%	21.3%	6.5%	5.6%	1.9%	108
	子育て層（男性）	37.1%	31.4%	20.0%	2.9%	5.7%	2.9%	35
	子育て層（女性）	22.2%	40.3%	22.2%	8.3%	5.6%	1.4%	72

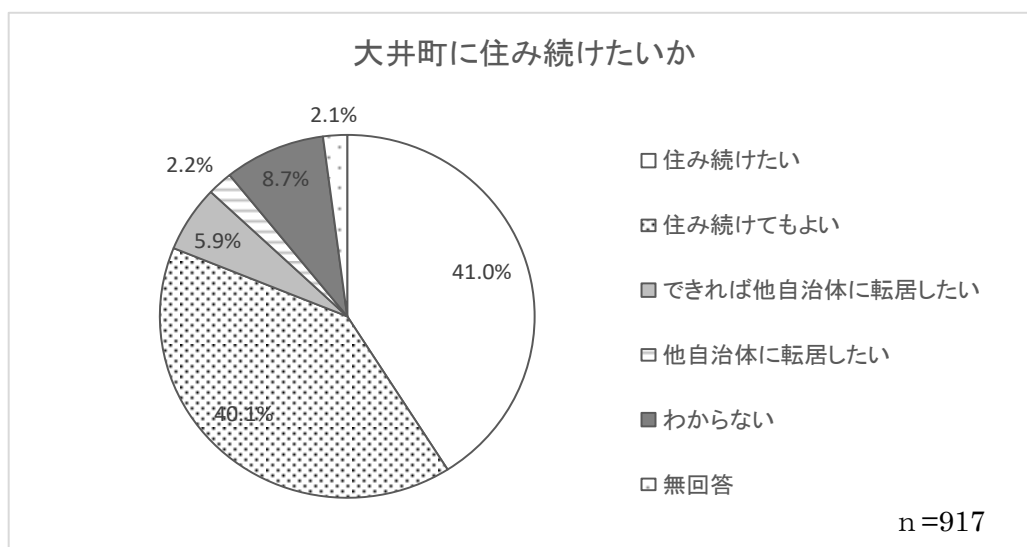
平成26年度調査との比較

「まあ住みよい」の回答率が上がっており、「ふつう」の回答率は下がっている。



問10 あなたは、大井町に引き続き住みたいですか。【単数回答】

住み続けることに前向きである方が8割を占めるが、転居を考えている方も約8%いる。



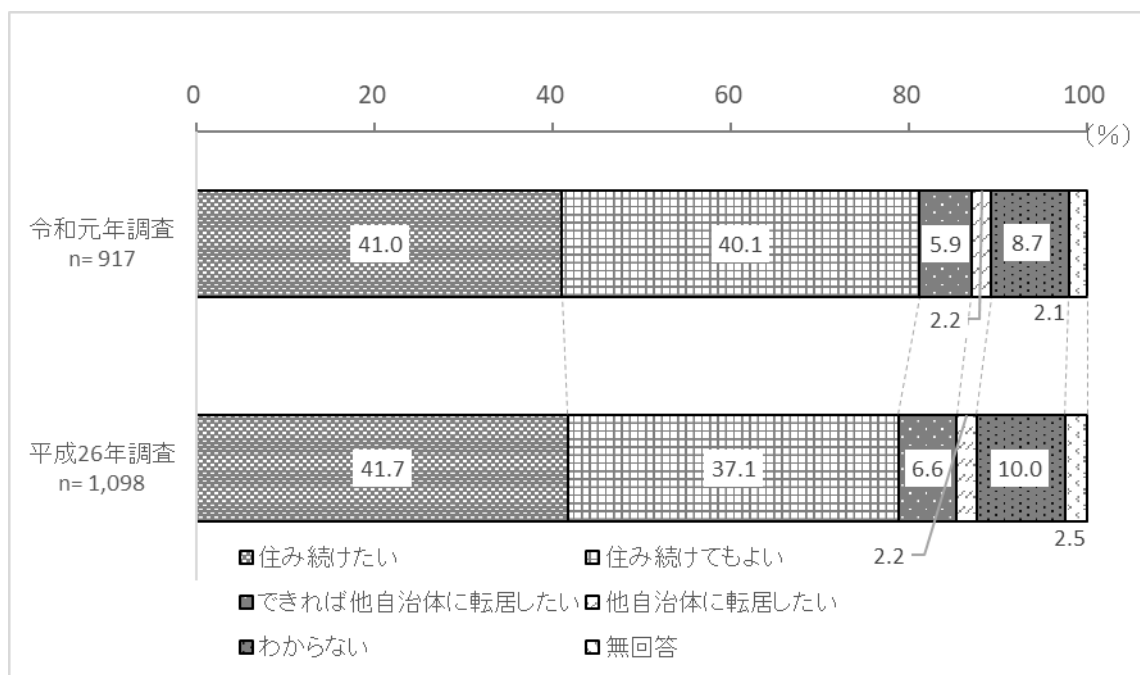
属性別クロス集計

年齢別にみると50歳代までは「住み続けてもよい」の回答が最も多く、60歳代以上は「住み続けたい」と回答している。また、子育て世代では男性は「住み続けたい」の回答が多いが、女性は「住み続けてもよい」の回答が多くなっている。

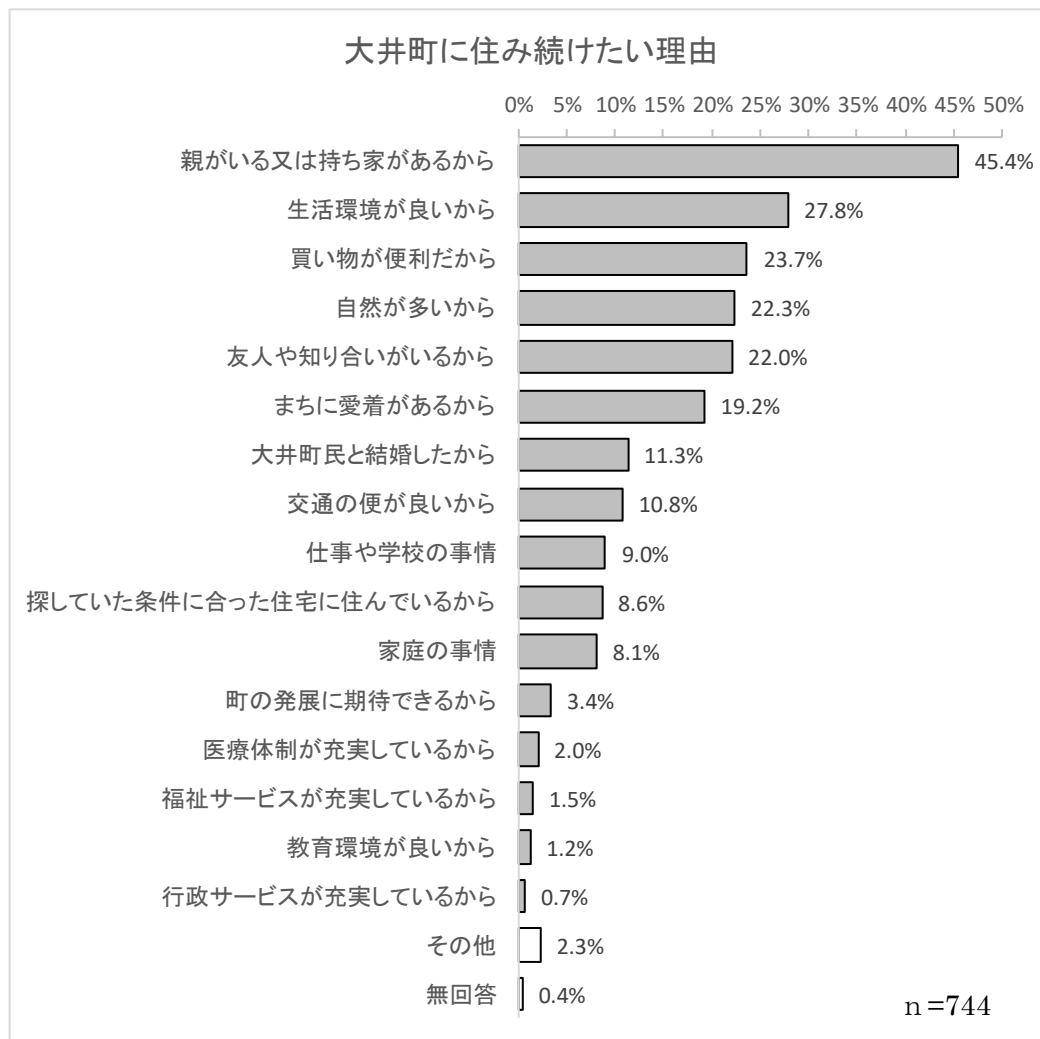
		住み続けたい	住み続けてもよい	できれば他自治体に転居したい	他自治体に転居したい	わからない	回答者総数
総数		41.0%	40.1%	5.9%	2.2%	8.7%	917
性別	男性	45.6%	38.4%	5.4%	2.0%	7.1%	406
	女性	37.8%	41.2%	6.4%	2.4%	9.8%	500
年齢	16～19歳	21.6%	37.8%	18.9%	8.1%	13.5%	37
	20～29歳	20.3%	44.1%	10.2%	3.4%	20.3%	59
	30～39歳	35.1%	48.6%	6.8%	2.7%	6.8%	74
	40～49歳	33.8%	49.6%	6.5%	1.4%	8.6%	139
	50～59歳	35.3%	44.0%	6.7%	1.3%	10.7%	150
	60～69歳	44.1%	35.9%	6.5%	2.9%	8.8%	170
	70歳以上	54.2%	32.7%	2.1%	1.4%	5.3%	284
地区別	金田地区	40.7%	40.7%	5.9%	1.2%	9.6%	595
	曾我地区	42.2%	39.2%	6.3%	3.8%	6.3%	237
	相和地区	44.6%	33.8%	5.4%	5.4%	8.1%	74
子育て層	子育て層総数	38.9%	43.5%	6.5%	1.9%	9.3%	108
	子育て層(男性)	54.3%	34.3%	5.7%	0.0%	5.7%	35
	子育て層(女性)	30.6%	48.6%	6.9%	2.8%	11.1%	72

平成26年度調査との比較

「住み続けてもよい」の回答率が約3%上がっている。



問10-1 問10で「1. 住み続けたい」、「2. 住み続けてもよい」と答えた方におたずねします。「住み続けたい」、「住み続けてもよい」とした理由は何ですか。(〇は最大3つまで)【複数回答】
「親がいる又は持ち家があるから」が45.4%と最も高く、以下「生活環境が良いから」(27.8%)、「買い物が便利だから」(23.7%)、「自然が多いから」(22.3%)と続く。



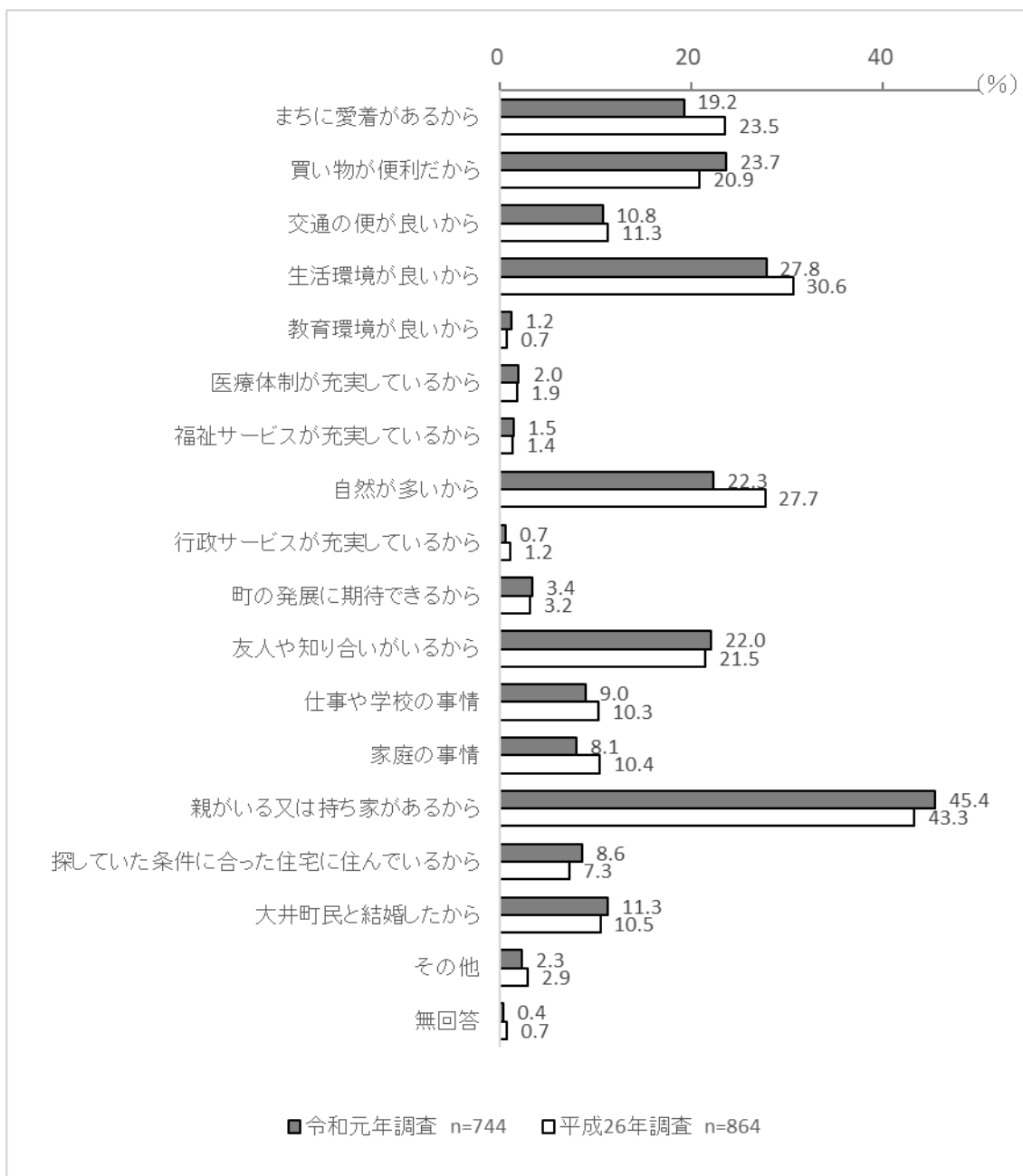
属性別クロス集計

多くの属性で「親がいる又は持ち家があるから」の回答が最も多いが、16～19歳は「友人や知り合いがいるから」との回答が多い。また、20～29歳では「自然が多いから」の回答が同率であった。

		まちに愛着があるから	買物が便利だから	交通の便が良いから	生活環境が良いから	教育環境が良いから	医療体制が充実しているから	福祉サービスが充実しているから	自然が多いから	行政サービスが充実しているから	町の発展に期待できるから	友人や知り合いがいるから	仕事や学校の事情	家庭の事情	親がいる又は持ち家があるから	探していた条件に合った住宅に住んでいるから	大井町民と結婚したから	その他	回答者総数
総数		19.2%	23.7%	10.8%	27.8%	1.2%	2.0%	1.5%	22.3%	0.7%	3.4%	22.0%	9.0%	8.1%	45.4%	8.6%	11.3%	2.3%	744
性別	男性	23.2%	24.0%	13.8%	33.1%	0.6%	1.8%	1.2%	20.5%	0.6%	5.3%	19.6%	9.4%	11.7%	40.8%	10.0%	4.1%	2.9%	341
	女性	16.2%	22.8%	8.4%	23.5%	1.8%	2.3%	1.5%	24.1%	0.8%	1.3%	24.3%	8.9%	5.1%	49.4%	7.6%	17.7%	1.8%	395
年齢	16～19歳	31.8%	13.6%	13.6%	18.2%	0.0%	9.1%	0.0%	40.9%	0.0%	4.5%	50.0%	0.0%	0.0%	27.3%	4.5%	0.0%	4.5%	22
	20～29歳	23.7%	23.7%	15.8%	28.9%	0.0%	0.0%	2.6%	34.2%	0.0%	2.6%	26.3%	13.2%	10.5%	34.2%	2.6%	5.3%	0.0%	38
	30～39歳	16.1%	21.0%	12.9%	29.0%	4.8%	0.0%	0.0%	24.2%	0.0%	4.8%	12.9%	16.1%	8.1%	43.5%	12.9%	8.1%	0.0%	62
	40～49歳	20.7%	25.9%	10.3%	20.7%	2.6%	3.4%	0.0%	11.2%	0.9%	0.9%	15.5%	22.4%	6.9%	57.8%	9.5%	11.2%	3.4%	116
	50～59歳	18.5%	24.4%	8.4%	31.9%	0.0%	0.0%	0.8%	22.7%	0.0%	1.7%	13.4%	10.1%	7.6%	53.8%	10.9%	9.2%	2.5%	119
	60～69歳	12.5%	26.5%	12.5%	27.9%	0.7%	1.5%	1.5%	23.5%	0.0%	1.5%	22.8%	5.1%	8.8%	43.4%	11.0%	11.8%	2.9%	136
	70歳以上	21.9%	21.5%	9.7%	29.6%	0.8%	2.8%	2.4%	23.1%	1.6%	5.3%	27.9%	2.8%	8.9%	40.9%	5.7%	15.0%	2.0%	247
地区別	金田地区	19.4%	26.4%	13.2%	28.9%	1.2%	2.3%	1.7%	20.5%	0.6%	3.9%	22.3%	8.7%	7.6%	42.8%	8.7%	10.1%	2.3%	484
	曾我地区	17.1%	22.3%	7.8%	28.0%	1.6%	2.1%	0.5%	24.4%	1.0%	1.6%	20.2%	9.8%	7.8%	49.7%	10.4%	10.4%	2.6%	193
	相和地区	27.6%	1.7%	0.0%	19.0%	0.0%	0.0%	1.7%	32.8%	0.0%	1.7%	27.6%	6.9%	12.1%	53.4%	3.4%	25.9%	1.7%	58
子育て層	子育て層総数	13.5%	22.5%	14.6%	24.7%	6.7%	1.1%	1.1%	15.7%	1.1%	3.4%	20.2%	15.7%	5.6%	51.7%	13.5%	10.1%	1.1%	89
	子育て層(男性)	0.0%	29.0%	25.8%	22.6%	3.2%	0.0%	0.0%	9.7%	3.2%	6.5%	9.7%	16.1%	6.5%	41.9%	16.1%	3.2%	3.2%	31
	子育て層(女性)	0.0%	19.3%	8.8%	24.6%	8.8%	1.8%	1.8%	17.5%	0.0%	1.8%	26.3%	15.8%	5.3%	56.1%	12.3%	14.0%	0.0%	57

平成26年度調査との比較

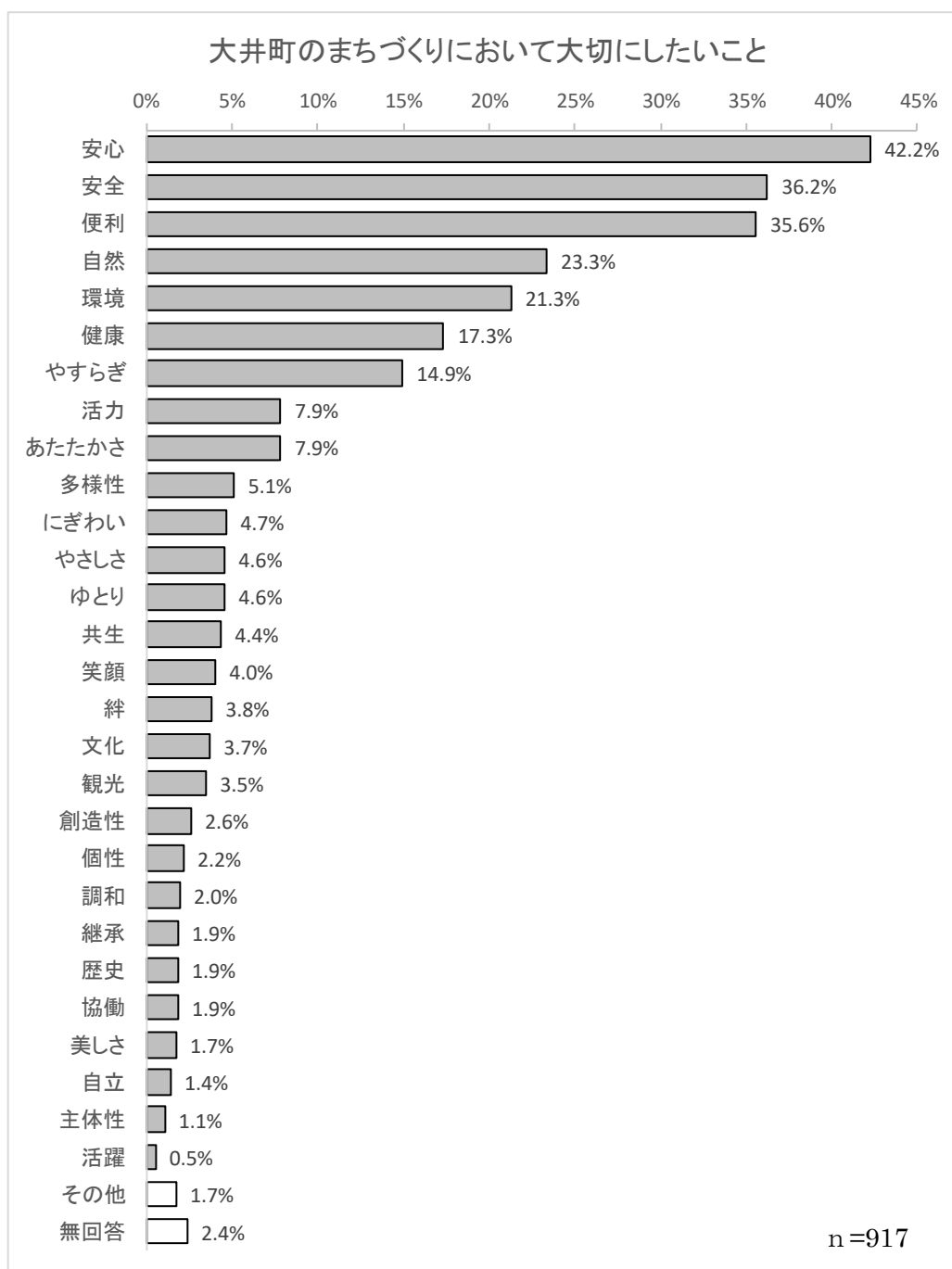
「まちに愛着があるから」「生活環境がいいから」「自然が多いから」等の理由は低下の傾向があるが、「買い物が便利だから」「親がいる又は持ち家があるから」の回答率は上がっている。



（２）大井町の将来像や今後のまちづくりについて

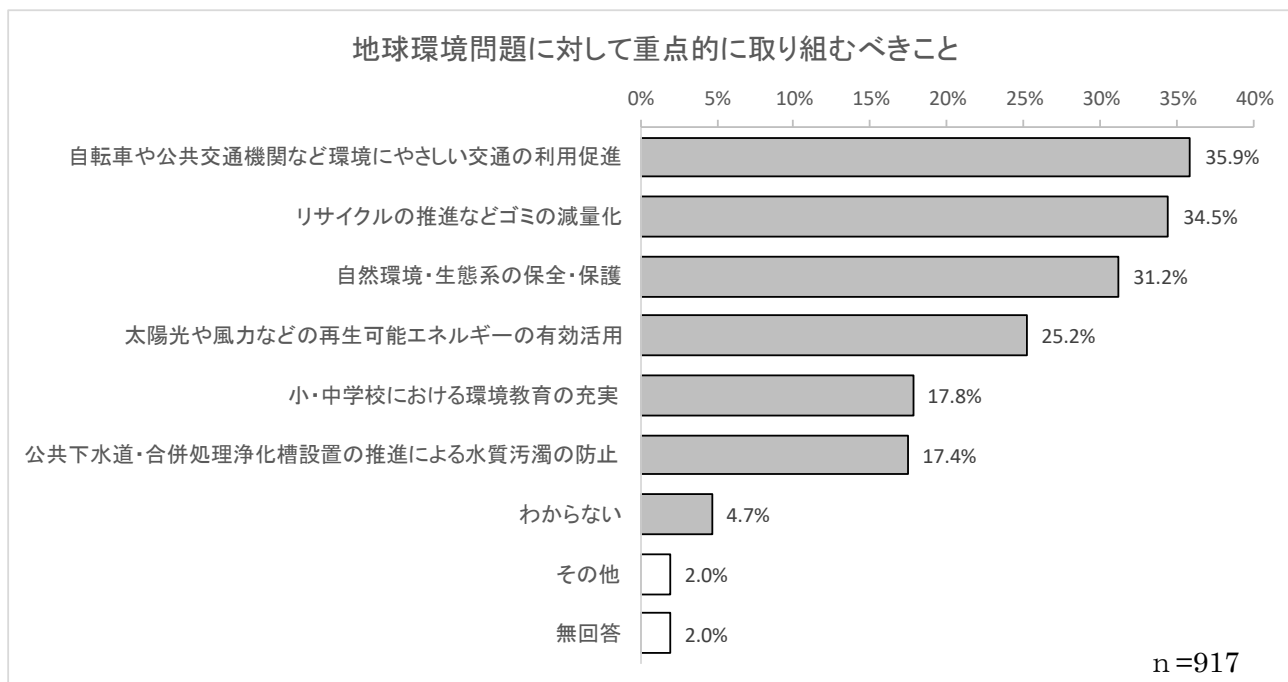
問１１ あなたは、これから大井町のまちづくりにおいて、どのようなことを大切にしていきたいとお考えですか。（○は３つまで）【複数回答】

「安心」が42.2%と最も高く、次に「安全」（36.2%）、「便利」（35.6%）が同程度で続く。



問１２ あなたは、地球環境問題に対し、今後、大井町ではどのようなことを重点的に取り組んでいくべきだと思いますか。（○は最大２つまで）【複数回答】

「環境にやさしい交通の利用促進」（35.9%）が最も多いが、どの項目もある程度の回答があった。



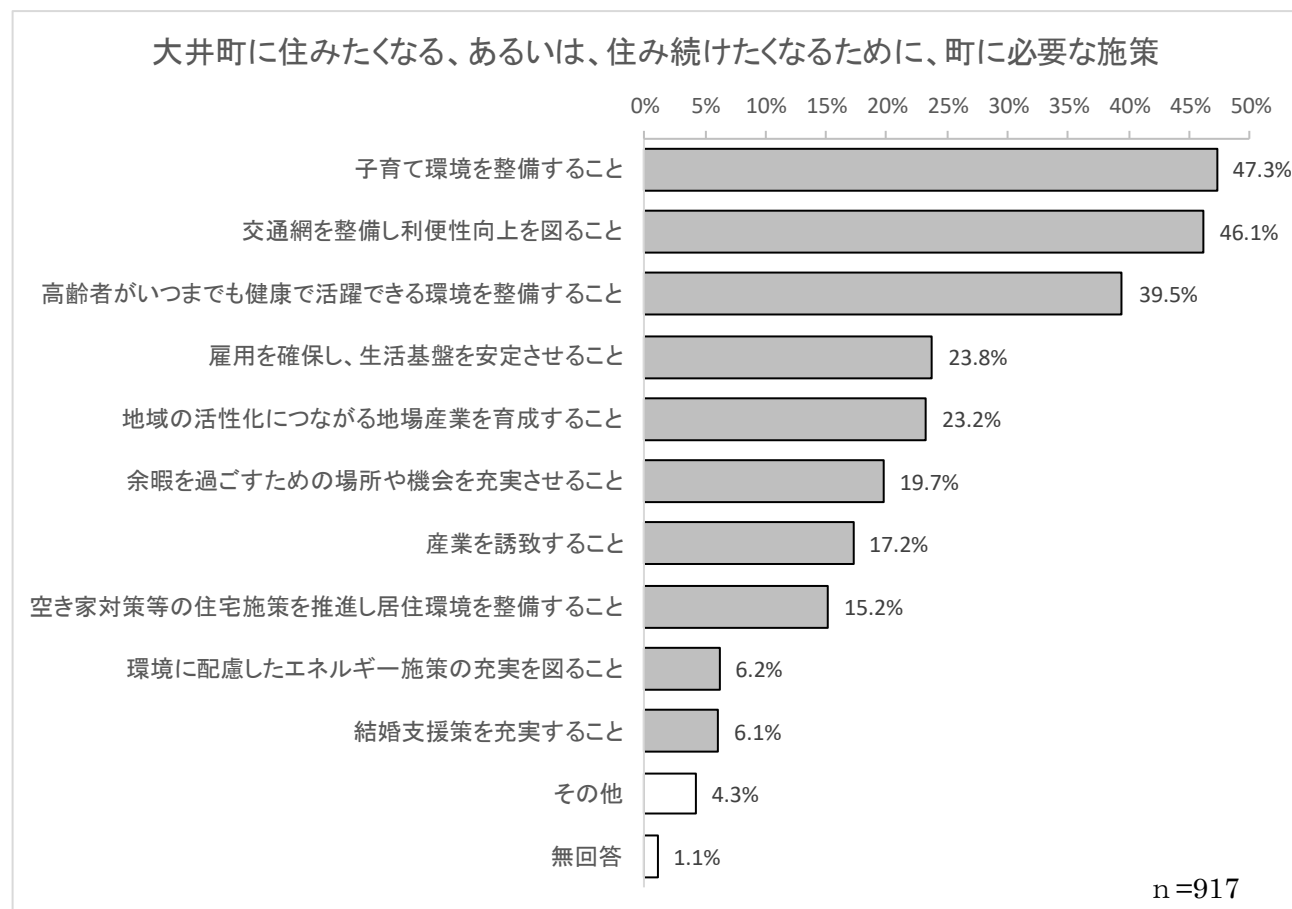
属性別クロス集計

全体的にみると「自転車や公共交通機関など環境にやさしい交通の利用促進」や「自然環境・生態系の保全・保護」の回答率が高いが、子育て層では「小・中学校における環境教育の充実」が最も多い。

		リサイクルの推進などゴミの減量化	太陽光や風力などの再生可能エネルギーの有効活用	小・中学校における環境教育の充実	自然環境・生態系の保全・保護	自転車や公共交通機関など環境にやさしい交通の利用促進	公共下水道・合併処理浄化槽設置の推進による水質汚濁の防止	その他	わからない	回答者総数
総数		34.5%	25.2%	17.8%	31.2%	35.9%	17.4%	2.0%	4.7%	917
性別	男性	37.4%	24.6%	18.0%	34.7%	34.2%	14.8%	1.5%	3.2%	406
	女性	32.0%	25.6%	17.8%	28.2%	37.4%	19.8%	2.4%	6.0%	500
年齢	16～19歳	21.6%	32.4%	21.6%	18.9%	48.6%	16.2%	0.0%	10.8%	37
	20～29歳	30.5%	27.1%	28.8%	27.1%	33.9%	8.5%	6.8%	3.4%	59
	30～39歳	24.3%	33.8%	25.7%	24.3%	39.2%	21.6%	0.0%	5.4%	74
	40～49歳	24.5%	29.5%	23.7%	23.7%	38.8%	13.7%	2.2%	9.4%	139
	50～59歳	30.7%	30.0%	12.0%	38.0%	30.7%	20.0%	2.0%	4.0%	150
	60～69歳	36.5%	22.9%	13.5%	40.6%	39.4%	14.1%	2.9%	2.9%	170
	70歳以上	45.4%	18.0%	15.8%	29.9%	32.7%	20.4%	1.1%	3.2%	284
地区別	金田地区	35.1%	25.9%	18.0%	29.2%	36.8%	18.2%	1.3%	5.0%	595
	曾我地区	34.2%	22.8%	18.1%	31.6%	35.4%	16.0%	3.4%	3.8%	237
	相和地区	33.8%	27.0%	13.5%	44.6%	29.7%	14.9%	2.7%	5.4%	74
子育て層	子育て層総数	18.5%	28.7%	45.4%	24.1%	34.3%	14.8%	3.7%	5.6%	108
	子育て層(男性)	25.7%	25.7%	42.9%	22.9%	37.1%	8.6%	5.7%	0.0%	35
	子育て層(女性)	15.3%	30.6%	45.8%	23.6%	33.3%	18.1%	2.8%	8.3%	72

問 1 3 今後、大井町に住みたくなるために、あるいは、ずっと住み続けたいするために、町がどのような施策を実施することが必要だと思いますか。(〇は最大3つまで)【複数回答】

「子育て環境の整備」(47.3%)、「交通網の整備」(46.1%)を求める方が多い。



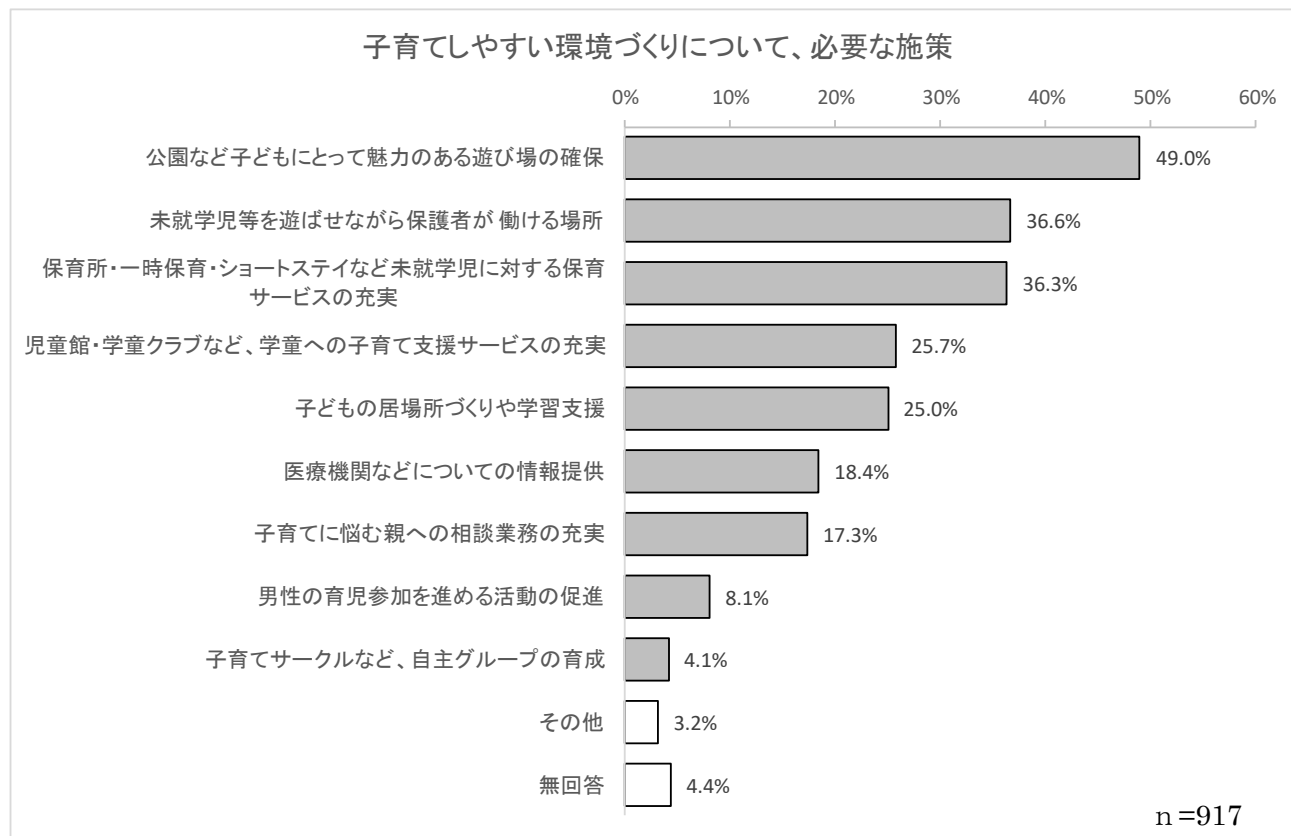
属性別クロス集計

総数を見ると「子育て環境の整備」が最も回答率が高いが、16～19歳、40代、50代、60代の多くは交通網の整備を求めている。

		結婚を希望する人への出会いの機会を提供するなど 結婚支援策を充実すること	子どもが安心して健やかに育つ社会づくりを進め、 子育て環境を整備すること	雇用を確保し、生活基盤を安定させること	地域の活性化につながる地場産業を育成すること	産業を誘致すること	高齢者がいつまでも健康で活躍できる環境を 整備すること	余暇を過ごすための場所や機会を充実させること	空き家対策等の住宅施策を推進し居住環境を 整備すること	交通網を整備し利便性向上を図ること	環境に配慮したエネルギー施策の充実を図ること	その他	回答者総数
総数		6.1%	47.3%	23.8%	23.2%	17.2%	39.5%	19.7%	15.2%	46.1%	6.2%	4.3%	917
性別	男性	6.9%	49.5%	25.4%	26.1%	20.7%	40.9%	21.2%	11.3%	39.7%	5.9%	4.4%	406
	女性	5.6%	46.4%	22.8%	21.0%	13.8%	38.2%	18.6%	18.4%	51.8%	6.2%	4.2%	500
年齢	16～19歳	5.4%	54.1%	27.0%	13.5%	10.8%	13.5%	29.7%	8.1%	59.5%	5.4%	5.4%	37
	20～29歳	3.4%	61.0%	23.7%	11.9%	6.8%	27.1%	18.6%	18.6%	42.4%	11.9%	13.6%	59
	30～39歳	2.7%	75.7%	37.8%	20.3%	14.9%	23.0%	23.0%	10.8%	45.9%	6.8%	5.4%	74
	40～49歳	5.0%	46.8%	28.1%	27.3%	25.2%	25.2%	24.5%	17.3%	47.5%	3.6%	4.3%	139
	50～59歳	4.7%	38.0%	32.0%	30.0%	22.0%	42.0%	10.7%	18.0%	49.3%	8.7%	4.0%	150
	60～69歳	6.5%	44.7%	19.4%	26.5%	14.1%	44.7%	21.8%	12.9%	45.3%	6.5%	3.5%	170
	70歳以上	8.8%	43.3%	15.5%	20.1%	15.8%	52.1%	19.4%	15.1%	44.0%	4.2%	2.5%	284
地区別	金田地区	5.7%	48.9%	24.4%	23.9%	17.3%	40.5%	20.2%	15.3%	42.4%	6.2%	4.5%	595
	曾我地区	6.8%	46.4%	22.4%	22.4%	16.0%	35.9%	20.3%	14.3%	51.9%	5.9%	4.2%	237
	相和地区	8.1%	39.2%	18.9%	23.0%	18.9%	41.9%	17.6%	14.9%	60.8%	5.4%	1.4%	74
子育て層	子育て層総数	1.9%	83.3%	27.8%	25.0%	15.7%	21.3%	23.1%	10.2%	41.7%	4.6%	5.6%	108
	子育て層（男性）	2.9%	77.1%	37.1%	28.6%	14.3%	17.1%	17.1%	8.6%	37.1%	2.9%	8.6%	35
	子育て層（女性）	1.4%	86.1%	23.6%	23.6%	16.7%	23.6%	25.0%	11.1%	43.1%	5.6%	4.2%	72

問14 子育てしやすい環境づくりについて、どのような施策実施が必要だと思いますか。【複数回答】

「公園など子どもにとって魅力のある遊び場の確保」が49.0%と最も高く、以下「未就学児を遊ばせながら保護者が働ける場所」(36.6%)、「未就学児に対する保育サービスの充実」(36.3%)が続いて多い。



属性別クロス集計

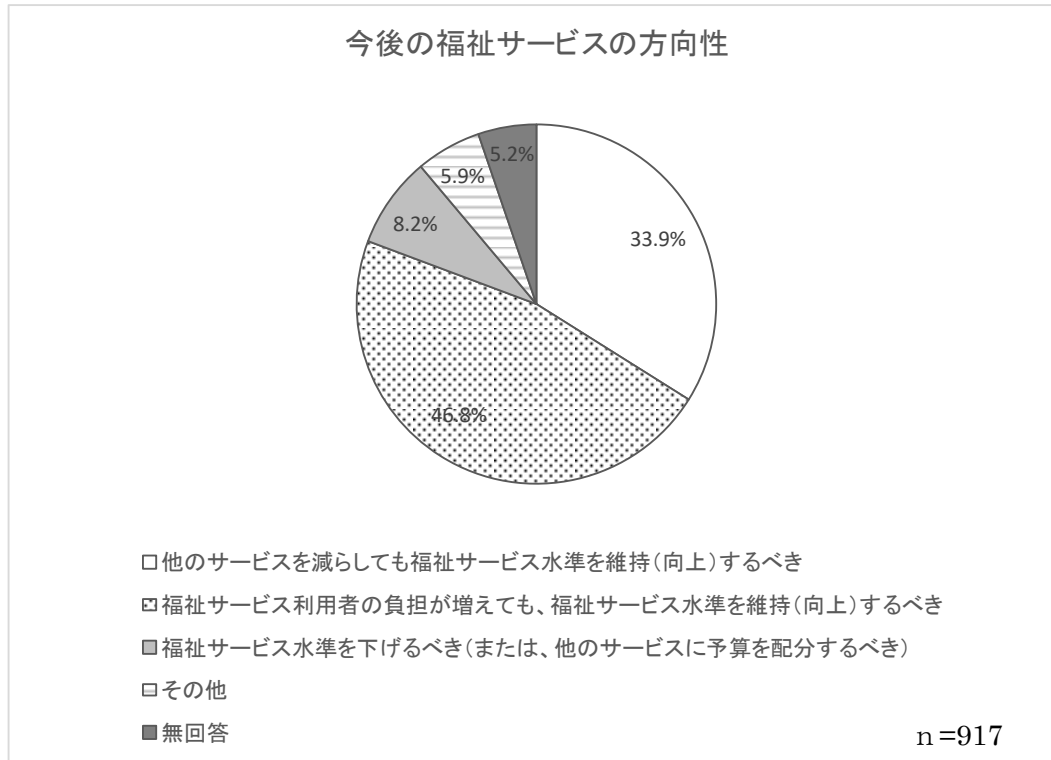
どの属性でも「公園など子どもにとって魅力のある遊び場の確保」の回答が最も多く、子育て層の回答と大きな乖離はない。相和地区では「未就学児等を遊ばせながら保護者が働ける場所」「未就学児に対する保育サービスの充実」が多くなっている。

		公園など子どもにとって魅力のある遊び場の確保	未就学児等を遊ばせながら保護者が働ける場所	子育てに悩む親への相談業務の充実	医療機関などについての情報提供	未就学児に対する保育サービスの充実	学童への子育て支援サービスの充実	子育てサークルなど、自主グループの育成	男性の育児参加を進める活動の促進	子どもの居場所づくりや学習支援	その他	回答者総数
総数		49.0%	36.6%	17.3%	18.4%	36.3%	25.7%	4.1%	8.1%	25.0%	3.2%	917
性別	男性	46.8%	39.9%	20.0%	18.0%	38.7%	25.9%	5.7%	5.7%	22.7%	3.2%	406
	女性	51.2%	34.4%	15.2%	18.6%	34.8%	25.6%	3.0%	10.2%	27.0%	3.2%	500
年齢	16～19歳	51.4%	43.2%	8.1%	8.1%	27.0%	18.9%	0.0%	24.3%	40.5%	0.0%	37
	20～29歳	55.9%	57.6%	11.9%	16.9%	44.1%	15.3%	1.7%	28.8%	27.1%	3.4%	59
	30～39歳	63.5%	59.5%	13.5%	12.2%	36.5%	28.4%	6.8%	6.8%	18.9%	4.1%	74
	40～49歳	55.4%	35.3%	18.0%	19.4%	33.1%	23.7%	2.2%	8.6%	24.5%	6.5%	139
	50～59歳	46.7%	36.7%	16.0%	16.7%	40.7%	26.0%	4.0%	6.0%	27.3%	3.3%	150
	60～69歳	43.5%	31.2%	19.4%	23.5%	46.5%	32.4%	5.3%	3.5%	26.5%	1.8%	170
	70歳以上	45.1%	29.2%	19.7%	18.7%	29.6%	25.0%	4.9%	5.3%	22.2%	2.5%	284
地区別	金田地区	47.7%	36.8%	17.3%	18.7%	35.5%	24.5%	4.0%	8.9%	24.9%	3.7%	595
	曾我地区	55.7%	32.9%	16.0%	19.4%	36.7%	27.8%	5.5%	5.9%	23.6%	2.5%	237
	相和地区	32.4%	41.9%	23.0%	14.9%	41.9%	29.7%	1.4%	9.5%	29.7%	1.4%	74
子育て層	子育て層総数	77.8%	50.0%	8.3%	13.9%	35.2%	33.3%	1.9%	7.4%	24.1%	5.6%	108
	子育て層(男性)	68.6%	57.1%	5.7%	11.4%	42.9%	28.6%	2.9%	5.7%	17.1%	5.7%	35
	子育て層(女性)	81.9%	47.2%	9.7%	13.9%	30.6%	36.1%	1.4%	8.3%	27.8%	5.6%	72

問 1 5 地方分権が進展するなか、地域住民の自己決定・自己責任が求められています。このような時代を迎えるにあたり、あなたは、下記の公共サービスに関する今後の方向性について、どのような考えをお持ちですか。

問 1 5 - 1 今後の福祉サービスの方向性【単数回答】

「福祉サービス水準を維持（向上）するべき」との回答が約 8 割を占める。



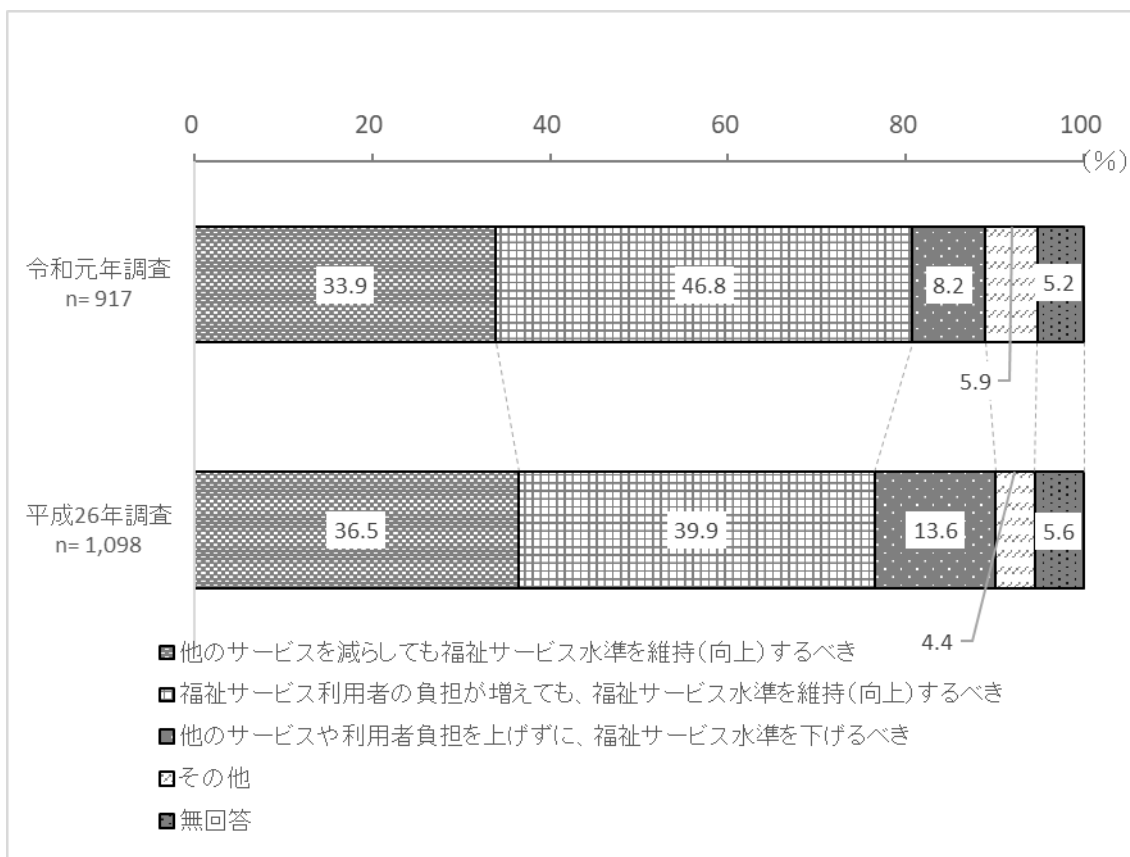
属性別クロス集計

どの属性でも約半数が「利用者の負担が増えても水準を維持（向上）するべき」と回答している。子育て層（男性）は約 6 割が「利用者の負担が増えても水準を維持（向上）するべき」と回答しているが、次に多いのは「水準を下げるべき（または他のサービスに予算を配分するべき）」であり、その他の属性との違いがある。

		他のサービスを減らしても水準を維持（向上）するべき	利用者の負担が増えても、水準を維持（向上）するべき	（または他のサービスに予算を配分するべき） 水準を下げるべき	その他	回答者総数
総数		33.9%	46.8%	8.2%	5.9%	917
性別	男性	32.3%	49.5%	9.6%	5.2%	406
	女性	34.8%	45.0%	7.0%	6.6%	500
年齢	16～19歳	29.7%	51.4%	13.5%	2.7%	37
	20～29歳	35.6%	45.8%	11.9%	5.1%	59
	30～39歳	32.4%	40.5%	13.5%	8.1%	74
	40～49歳	36.0%	42.4%	7.2%	12.2%	139
	50～59歳	39.3%	45.3%	6.0%	5.3%	150
	60～69歳	27.1%	55.3%	8.2%	5.3%	170
	70歳以上	34.9%	45.8%	6.7%	3.5%	284
地区別	金田地区	34.8%	45.9%	7.9%	5.9%	595
	曽我地区	32.5%	50.6%	7.6%	5.1%	237
	相和地区	29.7%	43.2%	12.2%	9.5%	74
子育て層	子育て層総数	28.7%	48.1%	9.3%	8.3%	108
	子育て層（男性）	11.4%	62.9%	14.3%	8.6%	35
	子育て層（女性）	37.5%	40.3%	6.9%	8.3%	72

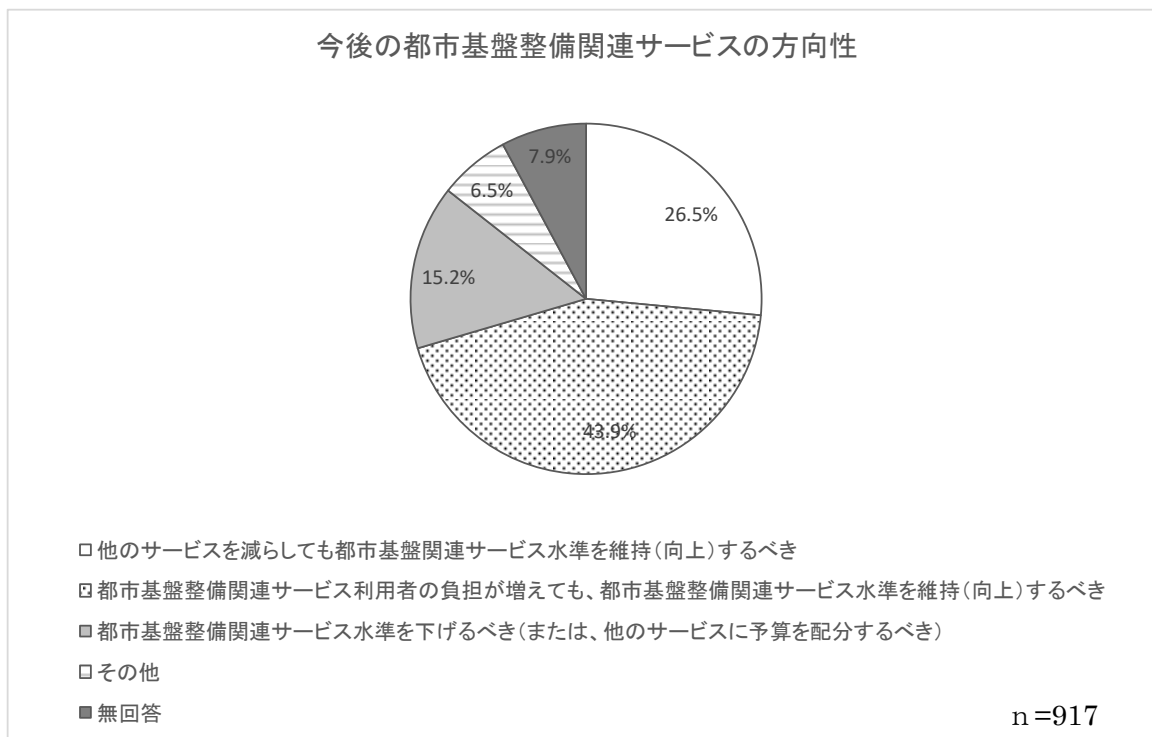
平成26年度調査との比較

「福祉サービス水準を下げるべき」との回答が前回よりも少なく、「福祉サービス利用者の負担が増えても、福祉サービス水準を維持（向上）するべき」の回答率が約7%増えている。



問 15-2 今後の都市基盤整備関連サービスの方向性【単数回答】

「都市基盤整備関連サービス利用者の負担が増えても、都市基盤整備関連サービス水準を維持（向上）するべき」の回答が 43.9%と最も高い。



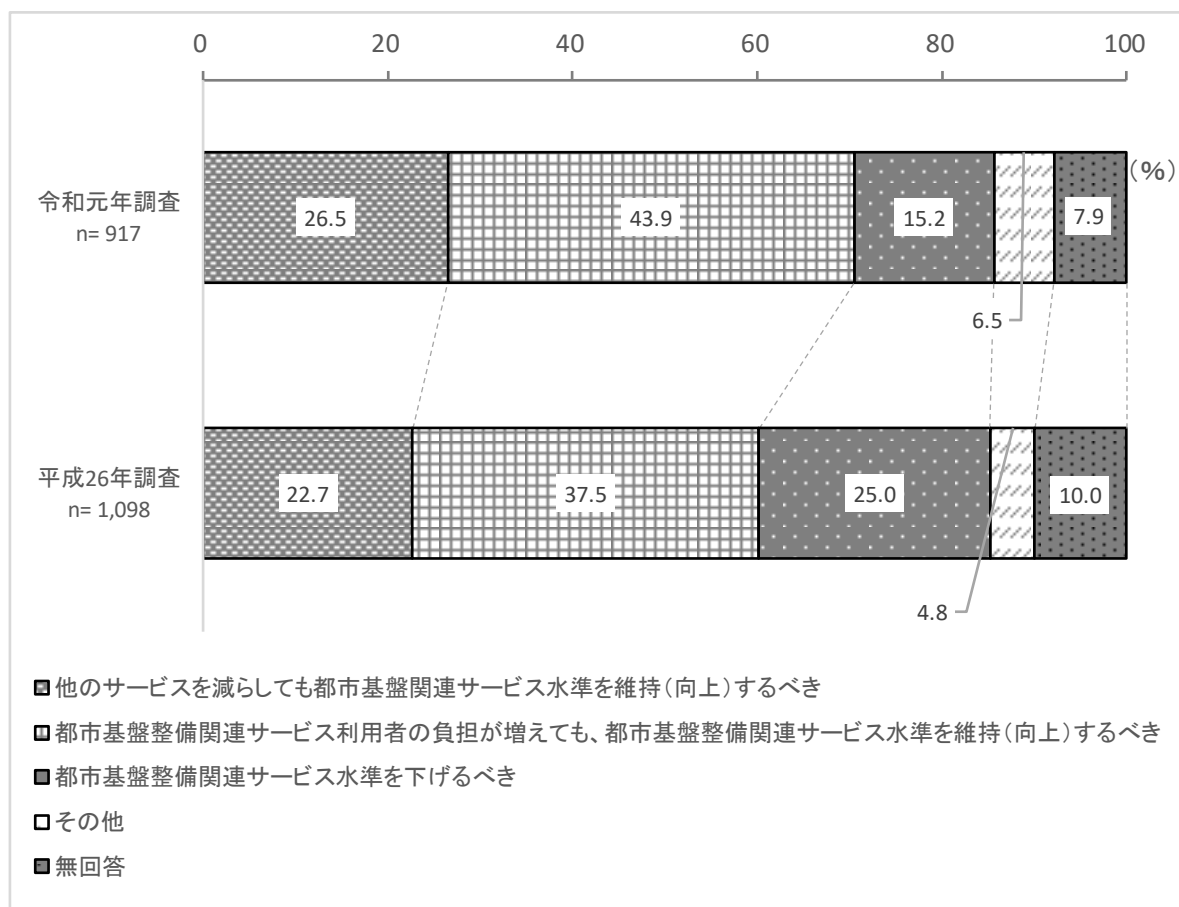
属性別クロス集計

「利用者の負担が増えても、水準を維持（向上）するべき」の回答が多いが、16~19 歳においては「他のサービスを減らしても水準を維持（向上）するべき」の回答が最も多くなっている。

		他のサービスを減らしても水準を維持（向上）するべき	利用者の負担が増えても、水準を維持（向上）するべき	（または、他のサービスに予算を配分するべき） 水準を下げるべき	その他	回答者総数
総数		26.5%	43.9%	15.2%	6.5%	917
性別	男性	24.1%	47.3%	17.0%	6.7%	406
	女性	28.4%	41.6%	14.0%	6.6%	500
年齢	16～19歳	45.9%	37.8%	10.8%	2.7%	37
	20～29歳	33.9%	35.6%	11.9%	11.9%	59
	30～39歳	28.4%	43.2%	13.5%	6.8%	74
	40～49歳	29.5%	40.3%	18.0%	8.6%	139
	50～59歳	26.0%	38.7%	22.7%	8.0%	150
	60～69歳	14.7%	60.0%	13.5%	5.9%	170
	70歳以上	27.8%	41.9%	12.7%	4.6%	284
地区別	金田地区	27.6%	43.4%	15.1%	6.1%	595
	曾我地区	24.9%	48.9%	13.9%	5.5%	237
	相和地区	21.6%	39.2%	17.6%	14.9%	74
子育て層	子育て層総数	25.9%	46.3%	13.9%	6.5%	108
	子育て層（男性）	25.7%	48.6%	14.3%	8.6%	35
	子育て層（女性）	25.0%	45.8%	13.9%	5.6%	72

平成26年度調査との比較

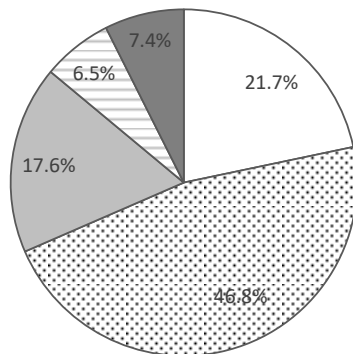
「都市基盤整備関連サービス水準を下げるべき」の回答が9.8%減り、全体として「都市基盤整備関連サービス水準を維持（向上）するべき」の2つの回答が約10%増えた。



問 15-3 今後の公共施設関連サービスの方向性【単数回答】

「公共施設関連サービス利用者の負担が増えても、公共施設関連サービス水準を維持（向上）するべき」と答えた方が 46.8%いる一方で、「水準を下げるべき」と回答した方も約 18%いる。

今後の公共施設関連サービスの方向性



□他のサービスを減らしても公共施設関連サービス水準を維持（向上）するべき

▨公共施設関連サービス利用者の負担が増えても、公共施設関連サービス水準を維持（向上）するべき

■公共施設関連サービス水準を下げるべき（または、他のサービスに予算を配分するべき）

□その他

■無回答

n=917

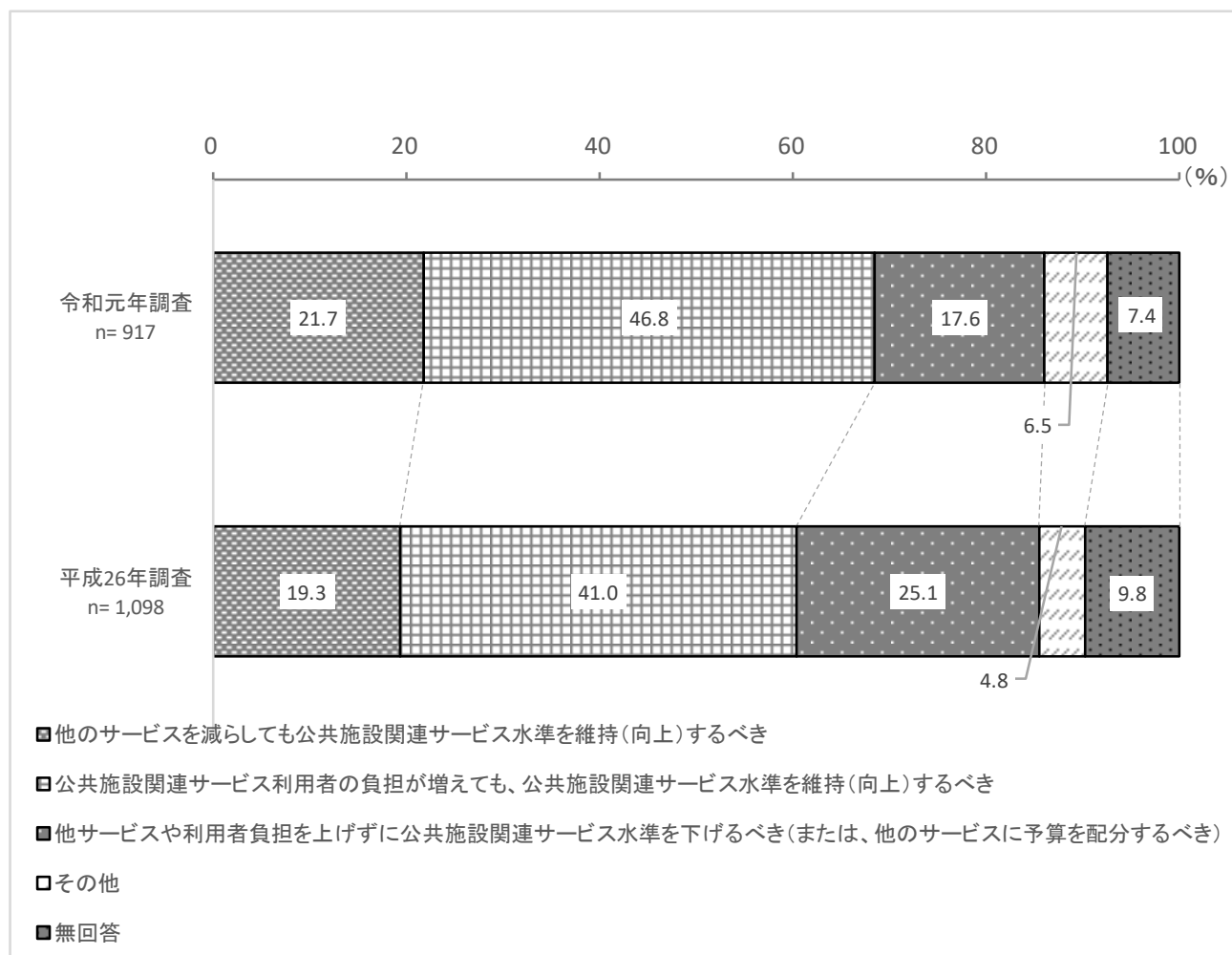
属性別クロス集計

「利用者の負担が増えても、水準を維持（向上）するべき」の回答が多く、16～19歳では「他のサービスを減らしても水準を維持（向上）するべき」の回答が最も多い。

		他のサービスを減らしても水準を維持（向上）するべき	利用者の負担が増えても、水準を維持（向上）するべき	（または、他のサービスに予算を配分するべき） 水準を下げるべき	その他	回答者総数
総数		21.7%	46.8%	17.6%	6.5%	917
性別	男性	21.2%	49.3%	18.2%	5.9%	406
	女性	21.8%	45.4%	17.0%	7.2%	500
年齢	16～19歳	51.4%	29.7%	10.8%	5.4%	37
	20～29歳	30.5%	37.3%	13.6%	13.6%	59
	30～39歳	31.1%	44.6%	8.1%	9.5%	74
	40～49歳	20.1%	48.9%	19.4%	9.4%	139
	50～59歳	14.7%	46.7%	28.0%	7.3%	150
	60～69歳	12.4%	58.8%	15.9%	5.3%	170
	70歳以上	23.6%	43.7%	15.8%	3.5%	284
地区別	金田地区	23.0%	46.7%	16.6%	5.9%	595
	曾我地区	19.0%	51.1%	16.9%	6.8%	237
	相和地区	20.3%	39.2%	23.0%	10.8%	74
子育て層	子育て層総数	28.7%	52.8%	6.5%	6.5%	108
	子育て層（男性）	17.1%	68.6%	5.7%	5.7%	35
	子育て層（女性）	33.3%	45.8%	6.9%	6.9%	72

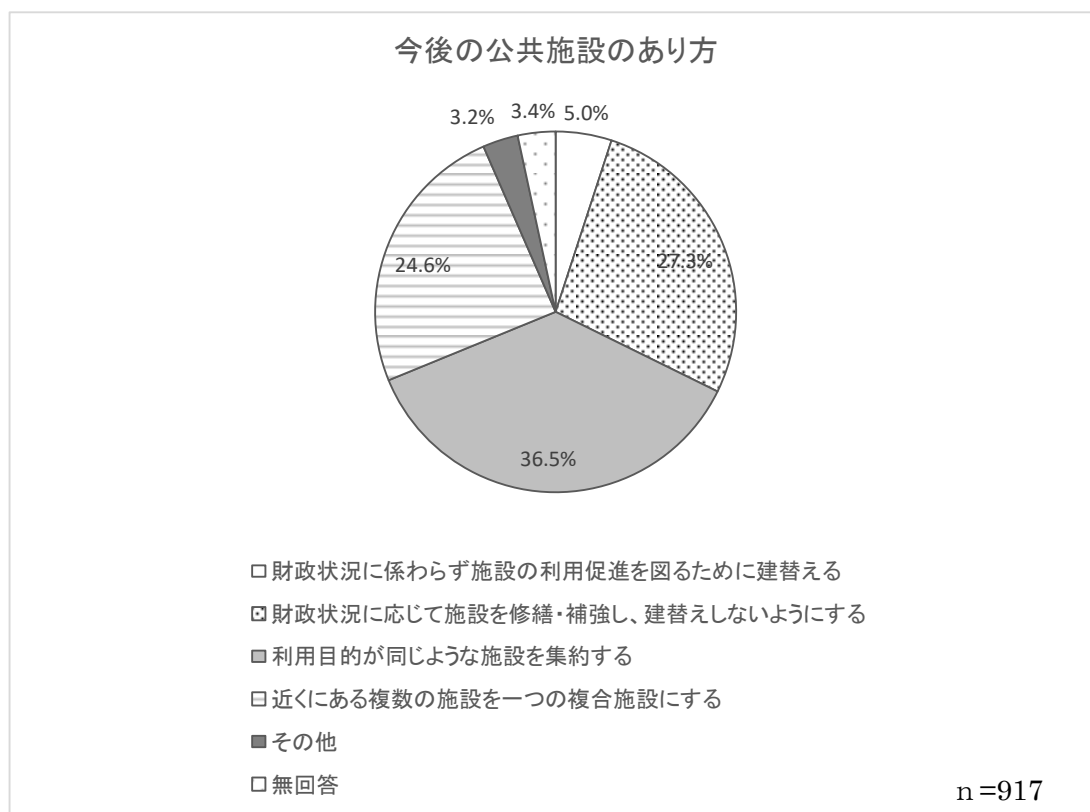
平成26年度調査との比較

「他のサービスや利用者負担を上げずに公共施設関連サービス水準を下げるべき」の回答率が7.5%下がり、「他のサービスを減らしても公共施設関連サービスを維持（向上）するべき」および「公共施設関連サービス利用者の負担が増えても、公共施設関連サービス水準を維持（向上）するべき」の回答率が上がっている。



問 1 6 今後の公共施設のあり方について、どのように進めていくべきだとお考えですか。【単数回答】

「利用目的が同じような施設を集約する」が 36.5%と最も高く、次いで「財政状況に応じて修繕・補強し建替えない」、「近くにある複数の施設を一つの複合施設にする」がほぼ同程度の割合となっている。



属性別クロス集計

年齢別でみると 60 代は「財政状況に応じて施設を修繕・補強し、建替えしないようにする」が最も多く、それ以外は「利用目的が同じような施設を集約する」の回答が最も多い。また、子育て層（女性）は「近くにある複数の施設を一つの複合施設にする」の回答が最も多くなっている。

		財政状況に係わらず施設の利用促進を図るために建替える	財政状況に応じて施設を修繕・補強し、建替えしないようにする	利用目的が同じような施設を集約する	近くにある複数の施設を一つの複合施設にする	その他	回答者総数
総数		5.0%	27.3%	36.5%	24.6%	3.4%	917
性別	男性	6.4%	30.0%	36.9%	21.2%	3.4%	406
	女性	3.8%	24.6%	36.6%	27.6%	3.0%	500
年齢	16～19歳	10.8%	21.6%	45.9%	18.9%	0.0%	37
	20～29歳	11.9%	23.7%	32.2%	27.1%	0.0%	59
	30～39歳	4.1%	17.6%	43.2%	29.7%	2.7%	74
	40～49歳	6.5%	23.0%	33.8%	27.3%	6.5%	139
	50～59歳	2.7%	27.3%	40.0%	25.3%	4.0%	150
	60～69歳	4.7%	33.5%	32.9%	21.2%	4.1%	170
	70歳以上	3.9%	29.6%	36.6%	23.2%	1.8%	284
地区別	金田地区	6.1%	26.6%	36.5%	24.7%	2.7%	595
	菅我地区	4.2%	27.0%	38.4%	24.1%	3.8%	237
	相和地区	0.0%	33.8%	32.4%	24.3%	5.4%	74
子育て層	子育て層総数	4.6%	19.4%	35.2%	33.3%	3.7%	108
	子育て層（男性）	2.9%	17.1%	45.7%	28.6%	5.7%	35
	子育て層（女性）	5.6%	19.4%	30.6%	36.1%	2.8%	72

(3) 行政の施策や事業への取り組み・町職員への印象について

問17 回答例にならって、これまで進めてきた大井町のまちづくりの取り組みについての「満足度」と、これからの取り組みを進める上での「重要度」のそれぞれについて、今のお気持ちに最も近い番号を1つずつ選び、回答欄に○印をおつけ下さい。

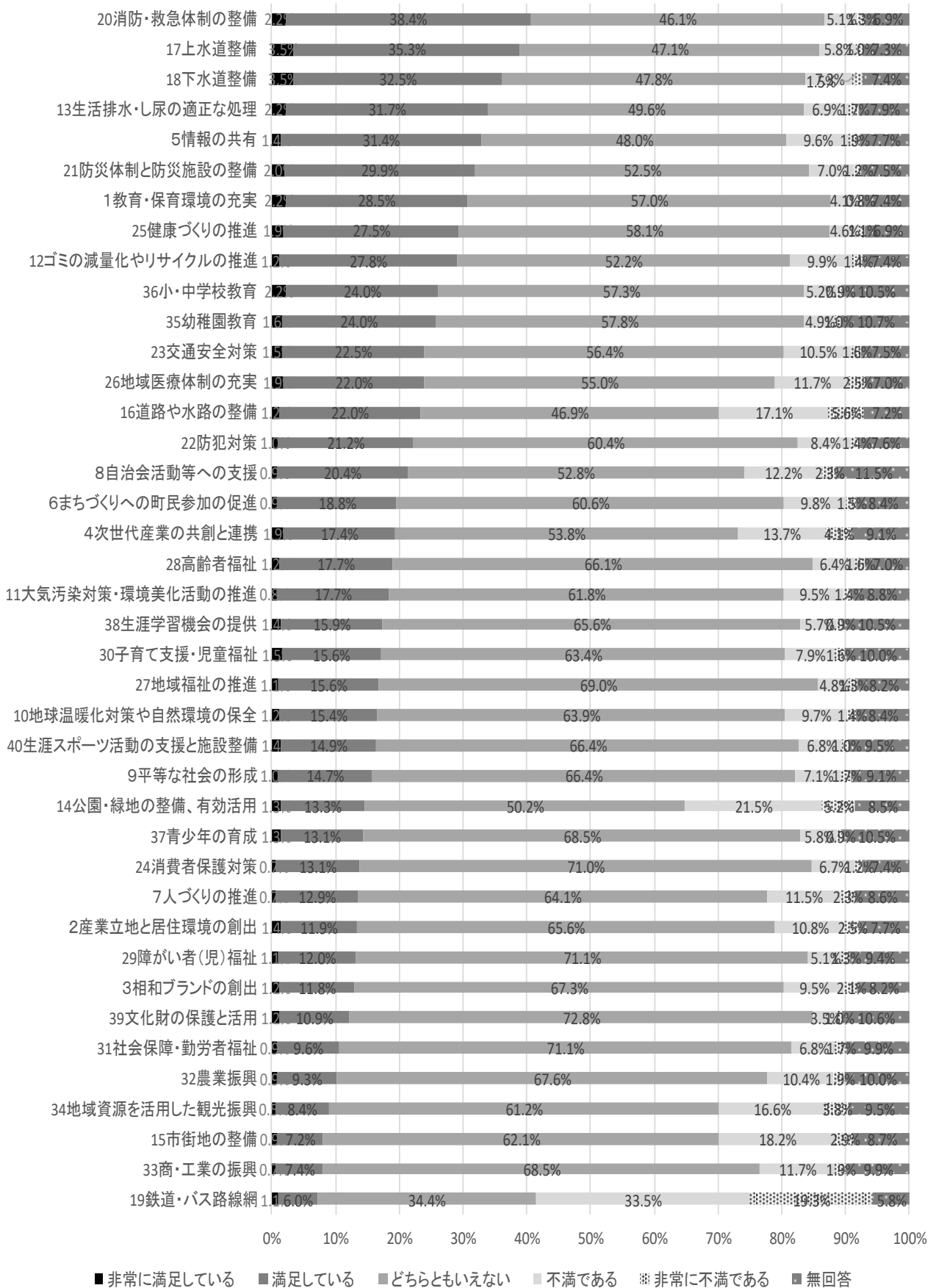
各種施策・事業に対する満足度

	非常に満足している	満足している	どちらともいえない	不満である	非常に不満である	無回答	相関係数
教育・保育環境の充実	2.2%	28.5%	57.0%	4.1%	0.8%	7.4%	+0.76
産業立地と居住環境の創出	1.4%	11.9%	65.6%	10.8%	2.5%	7.7%	-0.04
相和ブランドの創出	1.2%	11.8%	67.3%	9.5%	2.1%	8.2%	+0.02
次世代産業の共創と連携	1.9%	17.4%	53.8%	13.7%	4.1%	9.1%	-0.02
情報の共有	1.4%	31.4%	48.0%	9.6%	1.9%	7.7%	+0.47
まちづくりへの町民参加の促進	0.9%	18.8%	60.6%	9.8%	1.5%	8.4%	+0.25
人づくりの推進	0.7%	12.9%	64.1%	11.5%	2.3%	8.6%	-0.07
自治会活動等への支援	0.9%	20.4%	52.8%	12.2%	2.3%	11.5%	+0.15
平等な社会の形成	1.0%	14.7%	66.4%	7.1%	1.7%	9.1%	+0.25
地球温暖化対策や自然環境の保全	1.2%	15.4%	63.9%	9.7%	1.4%	8.4%	+0.19
大気汚染対策・環境美化活動の推進	0.8%	17.7%	61.8%	9.5%	1.4%	8.8%	+0.23
ゴミの減量化やリサイクルの推進	1.2%	27.8%	52.2%	9.9%	1.4%	7.4%	+0.43
生活排水・し尿の適正な処理	2.2%	31.7%	49.6%	6.9%	1.7%	7.9%	+0.61
公園・緑地の整備、有効活用	1.3%	13.3%	50.2%	21.5%	5.2%	8.5%	-0.39
市街地の整備	0.9%	7.2%	62.1%	18.2%	2.9%	8.7%	-0.52
道路や水路の整備	1.2%	22.0%	46.9%	17.1%	5.6%	7.2%	-0.08
上水道整備	3.5%	35.3%	47.1%	5.8%	1.0%	7.3%	+0.76
下水道整備	3.5%	32.5%	47.8%	7.3%	1.5%	7.4%	+0.65
鉄道・バス路線網	1.1%	6.0%	34.4%	33.5%	19.3%	5.8%	-1.07
消防・救急体制の整備	2.2%	38.4%	46.1%	5.1%	1.3%	6.9%	+0.74
防災体制と防災施設の整備	2.0%	29.9%	52.5%	7.0%	1.2%	7.5%	+0.61
防犯対策	1.0%	21.2%	60.4%	8.4%	1.4%	7.6%	+0.37
交通安全対策	1.5%	22.5%	56.4%	10.5%	1.6%	7.5%	+0.33
消費者保護対策	0.7%	13.1%	71.0%	6.7%	1.2%	7.4%	+0.25
健康づくりの推進	1.9%	27.5%	58.1%	4.6%	1.1%	6.9%	+0.70
地域医療体制の充実	1.9%	22.0%	55.0%	11.7%	2.5%	7.0%	+0.24
地域福祉の推進	1.1%	15.6%	69.0%	4.8%	1.3%	8.2%	+0.45
高齢者福祉	1.2%	17.7%	66.1%	6.4%	1.6%	7.0%	+0.38
障がい者(児)福祉	1.1%	12.0%	71.1%	5.1%	1.3%	9.4%	+0.33
子育て支援・児童福祉	1.5%	15.6%	63.4%	7.9%	1.6%	10.0%	+0.28
社会保障・勤労者福祉	0.9%	9.6%	71.1%	6.8%	1.7%	9.9%	+0.06
農業振興	0.9%	9.3%	67.6%	10.4%	1.9%	10.0%	-0.14
商・工業の振興	0.7%	7.4%	68.5%	11.7%	1.9%	9.9%	-0.31
地域資源を活用した観光振興	0.5%	8.4%	61.2%	16.6%	3.8%	9.5%	-0.50
幼稚園教育	1.6%	24.0%	57.8%	4.9%	1.0%	10.7%	+0.65
小・中学校教育	2.2%	24.0%	57.3%	5.2%	0.9%	10.5%	+0.66
青少年の育成	1.3%	13.1%	68.5%	5.8%	0.9%	10.5%	+0.39
生涯学習機会の提供	1.4%	15.9%	65.6%	5.7%	0.9%	10.5%	+0.47
文化財の保護と活用	1.2%	10.9%	72.8%	3.5%	1.0%	10.6%	+0.47
生涯スポーツ活動の支援と施設整備	1.4%	14.9%	66.4%	6.8%	1.0%	9.5%	+0.38

※相関係数の算出方法：下記配点と比率を乗じて計算している（無回答は除く）。「非常に満足している」：2点、「満足している」：1点、「どちらともいえない」：0点、「不満である」：-1点、「非常に不満である」：-2点

※各種施策・事業においてポイントが高い上位2項目を色付けしている。

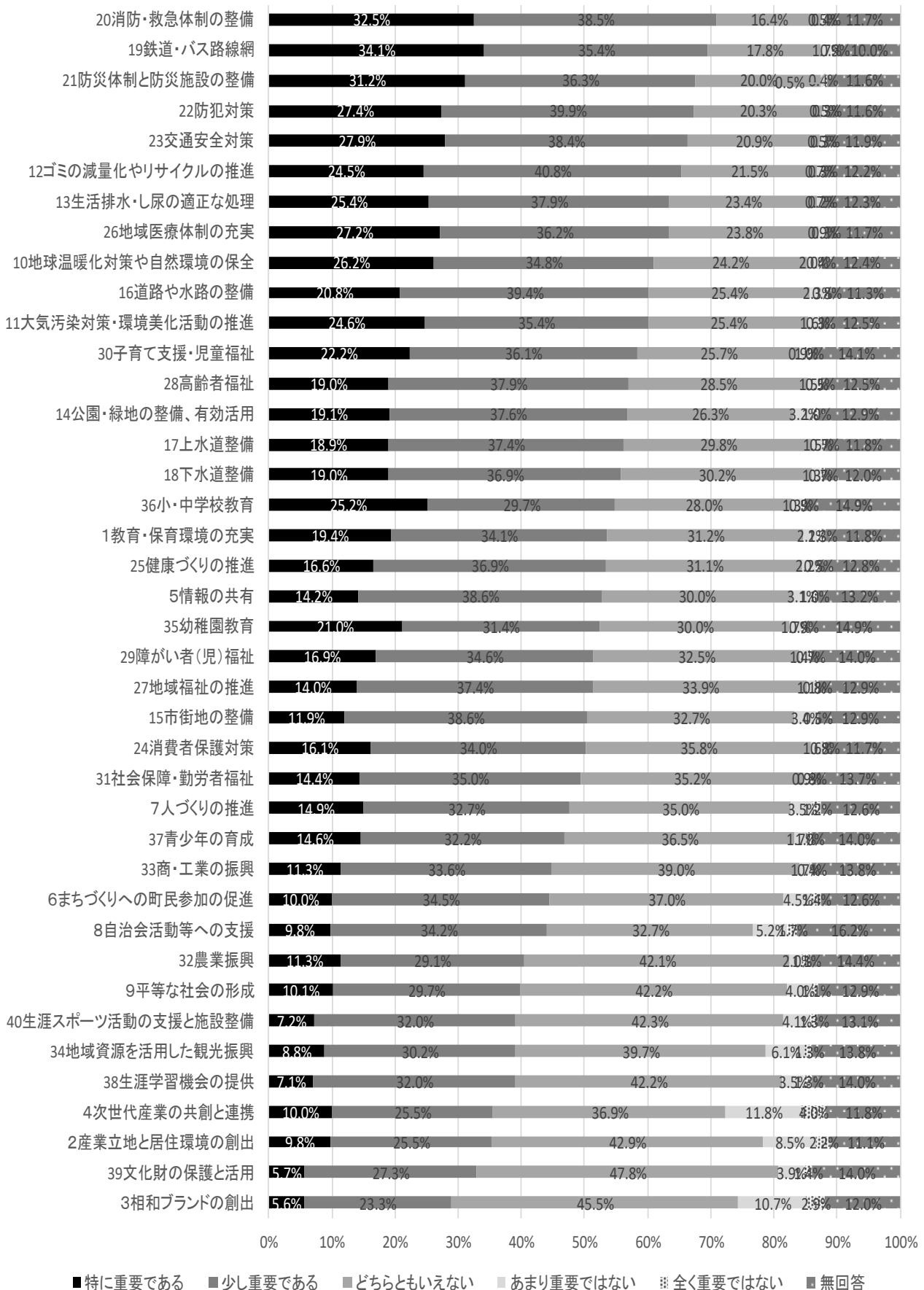
各種施策・事業に対する満足度



各種施策・事業に対する重要度

	特に 重要 である	少し 重要 である	どちらとも いえない	あまり 重要 ではない	全く 重要 ではない	無回答	相関 係数
教育・保育環境の充実	19.4%	34.1%	31.2%	2.2%	1.3%	11.8%	+1.20
産業立地と居住環境の創出	9.8%	25.5%	42.9%	8.5%	2.2%	11.1%	+0.70
相和ブランドの創出	5.6%	23.3%	45.5%	10.7%	2.9%	12.0%	+0.42
次世代産業の共創と連携	10.0%	25.5%	36.9%	11.8%	4.0%	11.8%	+0.50
情報の共有	14.2%	38.6%	30.0%	3.1%	1.0%	13.2%	+1.09
まちづくりへの町民参加の促進	10.0%	34.5%	37.0%	4.5%	1.4%	12.6%	+0.94
人づくりの推進	14.9%	32.7%	35.0%	3.5%	1.2%	12.6%	+1.08
自治会活動等への支援	9.8%	34.2%	32.7%	5.2%	1.7%	16.2%	+0.88
平等な社会の形成	10.1%	29.7%	42.2%	4.0%	1.1%	12.9%	+0.97
地球温暖化対策や自然環境の保全	26.2%	34.8%	24.2%	2.0%	0.4%	12.4%	+1.33
大気汚染対策・環境美化活動の推進	24.6%	35.4%	25.4%	1.6%	0.3%	12.5%	+1.33
ゴミの減量化やリサイクルの推進	24.5%	40.8%	21.5%	0.7%	0.3%	12.2%	+1.34
生活排水・し尿の適正な処理	25.4%	37.9%	23.4%	0.7%	0.2%	12.3%	+1.37
公園・緑地の整備、有効活用	19.1%	37.6%	26.3%	3.2%	1.0%	12.9%	+1.16
市街地の整備	11.9%	38.6%	32.7%	3.4%	0.5%	12.9%	+1.06
道路や水路の整備	20.8%	39.4%	25.4%	2.3%	0.8%	11.3%	+1.22
上水道整備	18.9%	37.4%	29.8%	1.5%	0.7%	11.8%	+1.24
下水道整備	19.0%	36.9%	30.2%	1.3%	0.7%	12.0%	+1.25
鉄道・バス路線網	34.1%	35.4%	17.8%	1.7%	0.9%	10.0%	+1.39
消防・救急体制の整備	32.5%	38.5%	16.4%	0.5%	0.4%	11.7%	+1.42
防災体制と防災施設の整備	31.2%	36.3%	20.0%	0.4%	0.5%	11.6%	+1.42
防犯対策	27.4%	39.9%	20.3%	0.5%	0.3%	11.6%	+1.37
交通安全対策	27.9%	38.4%	20.9%	0.5%	0.3%	11.9%	+1.38
消費者保護対策	16.1%	34.0%	35.8%	1.6%	0.8%	11.7%	+1.20
健康づくりの推進	16.6%	36.9%	31.1%	2.2%	0.5%	12.8%	+1.19
地域医療体制の充実	27.2%	36.2%	23.8%	0.9%	0.3%	11.7%	+1.38
地域福祉の推進	14.0%	37.4%	33.9%	1.1%	0.8%	12.9%	+1.18
高齢者福祉	19.0%	37.9%	28.5%	1.5%	0.5%	12.5%	+1.24
障がい者(児)福祉	16.9%	34.6%	32.5%	1.4%	0.7%	14.0%	+1.23
子育て支援・児童福祉	22.2%	36.1%	25.7%	0.9%	1.0%	14.1%	+1.29
社会保障・勤労者福祉	14.4%	35.0%	35.2%	0.9%	0.8%	13.7%	+1.20
農業振興	11.3%	29.1%	42.1%	2.0%	1.1%	14.4%	+1.10
商・工業の振興	11.3%	33.6%	39.0%	1.7%	0.4%	13.8%	+1.14
地域資源を活用した観光振興	8.8%	30.2%	39.7%	6.1%	1.3%	13.8%	+0.84
幼稚園教育	21.0%	31.4%	30.0%	1.7%	0.9%	14.9%	+1.27
小・中学校教育	25.2%	29.7%	28.0%	1.3%	0.9%	14.9%	+1.35
青少年の育成	14.6%	32.2%	36.5%	1.7%	1.0%	14.0%	+1.17
生涯学習機会の提供	7.1%	32.0%	42.2%	3.5%	1.3%	14.0%	+0.91
文化財の保護と活用	5.7%	27.3%	47.8%	3.9%	1.4%	14.0%	+0.83
生涯スポーツ活動の支援と施設整備	7.2%	32.0%	42.3%	4.1%	1.3%	13.1%	+0.89

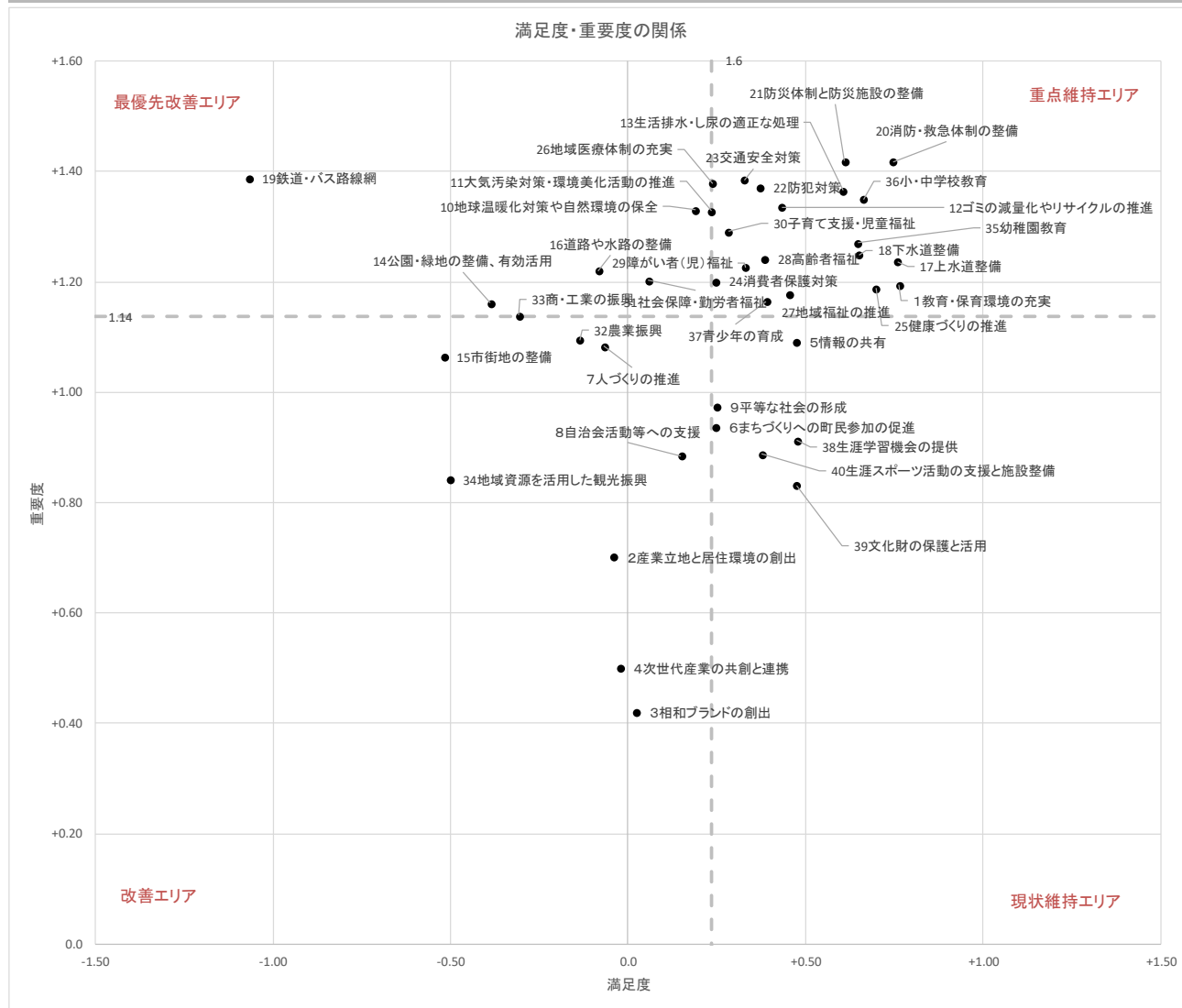
各種施策・事業に対する重要度



満足度と重要度の関係

満足度と重要度の項目ごとに相関係数を算出した上で、縦軸を重要度、横軸を満足度としてグラフ上に表示する。満足度、重要度それぞれの全体平均を中心に4つの領域に区分し、以下の区分で施策の改善の緊急性等を分析する。

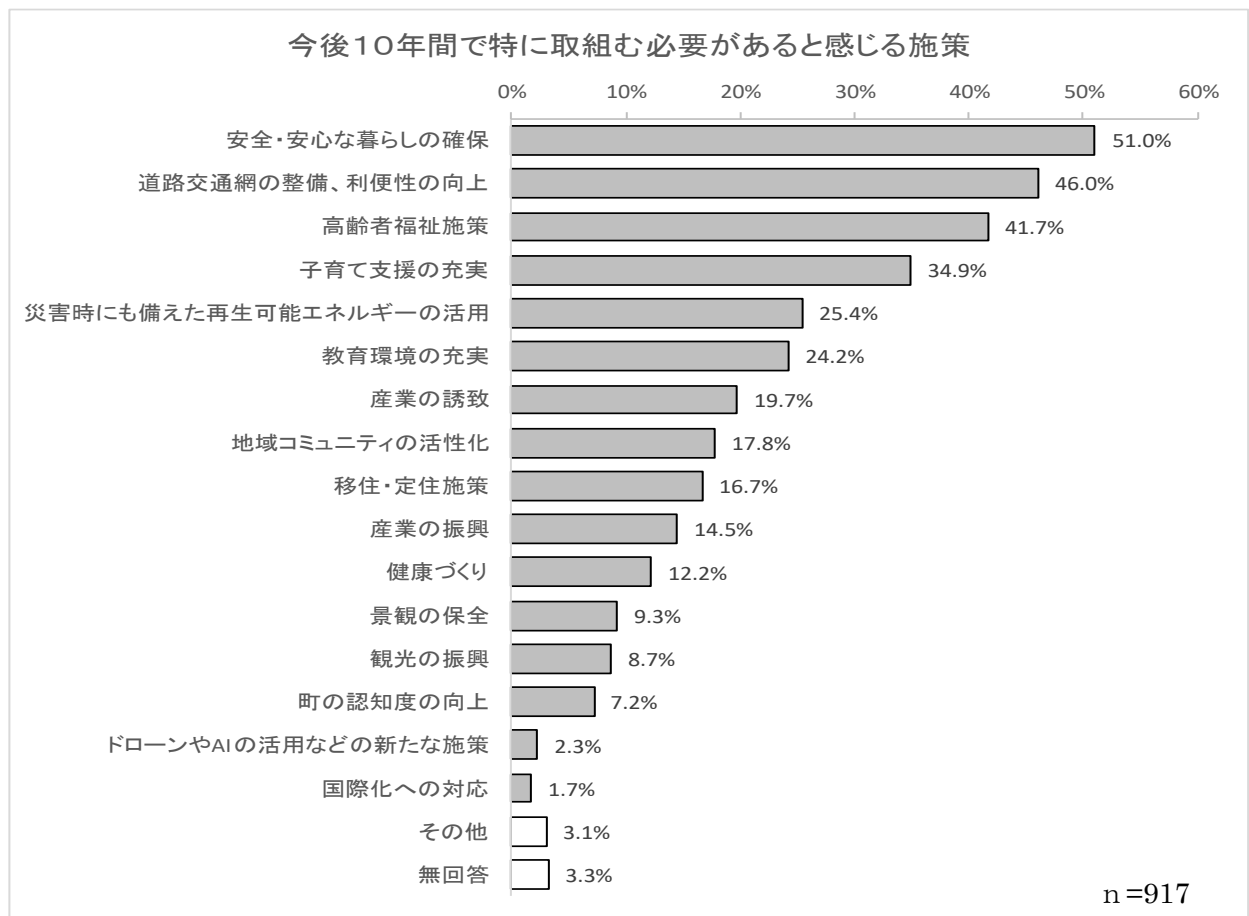
領域	説明
最優先改善エリア	重要度が高いものの、満足度が低い領域。最優先で改善が必要
改善エリア	重要度は低く、満足度も低い領域。重要度が低いので最優先ではないものの、何らかの改善が必要
重点維持エリア	重要度が高く、満足度も高い領域。現状は問題ないが、町民にとって重要度の高い施策であるため、満足度の水準を保つように注意が必要
現状維持エリア	重要度が低い一方、満足度が高い領域。満足度は高いので現状を維持すれば十分



重要度はすべての施策・事業でプラス評価であったため、必要ない施策はないといえる。一方、満足度では $-1.07 \sim +0.76$ と幅があり、特に「19. 鉄道・バス路線網」については重要度が高いが、満足度が他の施策と比べて極めて低いため最優先に改善すべき事項であるといえる。

問 18 今後10年間で町が特に取組む必要があると感じる施策のポイントは次のうち
 どれですか。【複数回答】

「安心・安全な暮らしの確保」が 51.0%と最も高く、次いで「道路交通網の整備、利便性の向上」
 (46.0%)、「高齢者福祉施策」(41.7%)が高くなっている。



属性別クロス集計

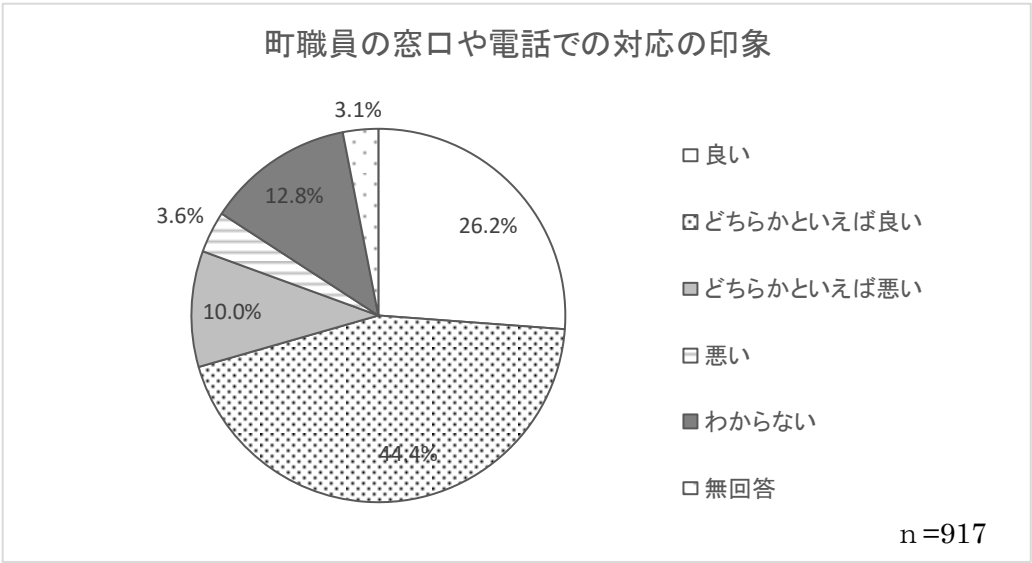
多くの属性で「安全・安心な暮らしの確保」の回答が高く、子育て層、また 20 代、30 代では「子育て支援の充実」の回答も高くなっている。

		地域コミュニティの活性化	子育て支援の充実	教育環境の充実	移住・定住施策	高齢者福祉施策	災害時にも備えた再生可能エネルギーの活用	産業の振興	観光の振興	景観の保全	産業の誘致	道路交通網の整備、利便性の向上	健康づくり	安全・安心な暮らしの確保	町の認知度の向上	国際化への対応	ドローンやAIの活用などの新たな施策	その他	回答者総数
総数		17.8%	34.9%	24.2%	16.7%	41.7%	25.4%	14.5%	8.7%	9.3%	19.7%	46.0%	12.2%	51.0%	7.2%	1.7%	2.3%	3.1%	917
性別	男性	22.9%	39.7%	19.5%	20.2%	40.1%	18.2%	18.7%	9.6%	9.9%	22.4%	42.6%	12.1%	47.5%	8.1%	2.0%	2.5%	2.7%	406
	女性	13.6%	31.6%	28.4%	14.0%	42.8%	31.4%	11.0%	8.2%	9.0%	17.6%	49.0%	12.0%	54.2%	6.2%	1.6%	2.2%	3.2%	500
年齢	16～19歳	10.8%	35.1%	27.0%	13.5%	24.3%	29.7%	13.5%	8.1%	16.2%	10.8%	51.4%	8.1%	45.9%	16.2%	0.0%	2.7%	0.0%	37
	20～29歳	18.6%	45.8%	30.5%	18.6%	27.1%	28.8%	6.8%	10.2%	10.2%	8.5%	44.1%	15.3%	42.4%	10.2%	5.1%	1.7%	8.5%	59
	30～39歳	14.9%	66.2%	43.2%	25.7%	14.9%	28.4%	12.2%	10.8%	6.8%	23.0%	45.9%	6.8%	43.2%	8.1%	1.4%	4.1%	4.1%	74
	40～49歳	13.7%	36.0%	37.4%	18.0%	33.8%	24.5%	17.3%	7.2%	7.2%	25.9%	46.0%	10.8%	54.0%	5.0%	2.2%	3.6%	5.0%	139
	50～59歳	16.0%	32.0%	22.0%	20.7%	42.7%	26.0%	18.7%	10.7%	12.0%	21.3%	48.7%	9.3%	49.3%	7.3%	0.7%	3.3%	4.0%	150
	60～69歳	15.9%	34.1%	16.5%	17.6%	45.9%	24.7%	21.2%	10.6%	7.1%	17.1%	47.1%	14.1%	57.1%	5.3%	1.2%	1.2%	2.4%	170
	70歳以上	23.6%	26.4%	17.3%	11.3%	54.2%	23.2%	9.5%	6.7%	9.9%	19.7%	43.3%	14.1%	51.1%	7.4%	2.1%	1.4%	1.1%	284
地区別	金田地区	18.2%	36.8%	24.2%	17.5%	41.3%	27.6%	14.8%	8.4%	8.9%	19.2%	42.9%	13.1%	51.4%	7.6%	2.2%	2.5%	2.5%	595
	曾我地区	19.0%	33.8%	23.6%	13.1%	41.4%	21.9%	16.0%	8.4%	9.3%	20.7%	49.8%	9.3%	51.1%	7.2%	1.3%	1.7%	3.8%	237
	相和地区	10.8%	25.7%	23.0%	23.0%	47.3%	17.6%	9.5%	13.5%	12.2%	20.3%	59.5%	13.5%	48.6%	5.4%	0.0%	2.7%	2.7%	74
子育て層	子育て層総数	20.4%	68.5%	62.0%	18.5%	22.2%	27.8%	11.1%	6.5%	0.9%	18.5%	46.3%	4.6%	50.0%	0.9%	1.9%	5.6%	2.8%	108
	子育て層(男性)	22.9%	71.4%	48.6%	22.9%	14.3%	14.3%	22.9%	2.9%	2.9%	17.1%	42.9%	8.6%	62.9%	0.0%	2.9%	11.4%	0.0%	35
	子育て層(女性)	19.4%	66.7%	68.1%	16.7%	26.4%	34.7%	5.6%	8.3%	0.0%	19.4%	47.2%	2.8%	43.1%	1.4%	1.4%	2.8%	4.2%	72

問 19 あなたは、町職員についてそれぞれどのような印象をお持ちですか。以下の項目ごとにお答えください。【単数回答】

(ア) 窓口や電話での対応

「良い」(26.2%)、「どちらかといえば良い」(44.4%)を合わせると約 7 割が良い評価をしている。



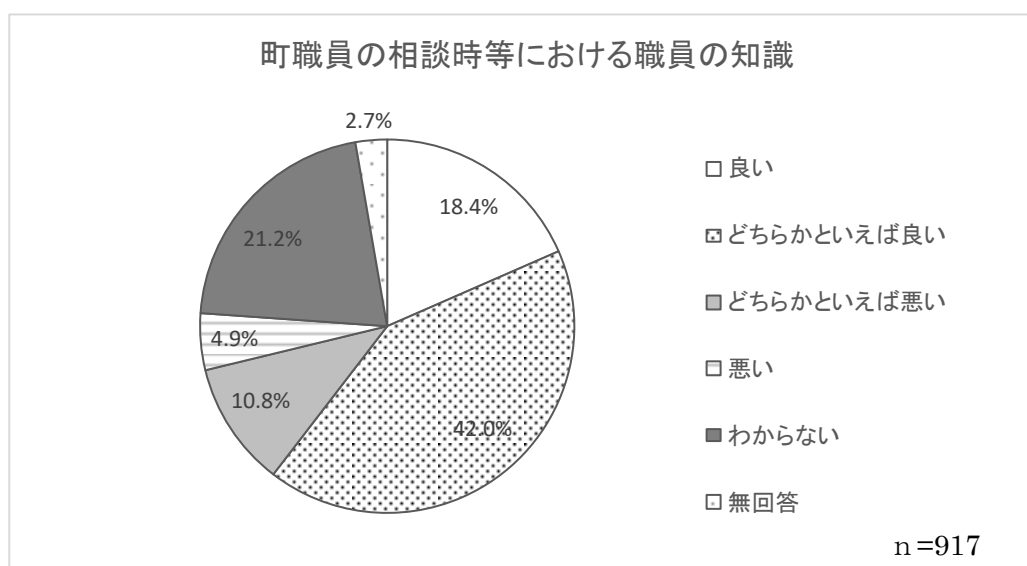
属性別クロス集計

16～19 歳では「わからない」の回答率が最も多いが、その他の属性では「どちらかといえば良い」の回答が最も多い。

		良い	どちらか といえば 良い	どちらか といえば 悪い	悪い	わ か ら な い	回 答 者 総 数
総数		26.2%	44.4%	10.0%	3.6%	12.8%	917
性 別	男性	29.1%	45.3%	7.9%	2.7%	11.6%	406
	女性	23.6%	43.8%	11.8%	4.4%	14.0%	500
年 齢	16～19歳	8.1%	35.1%	5.4%	5.4%	43.2%	37
	20～29歳	18.6%	42.4%	15.3%	1.7%	20.3%	59
	30～39歳	28.4%	37.8%	12.2%	13.5%	6.8%	74
	40～49歳	19.4%	46.0%	12.9%	2.9%	18.7%	139
	50～59歳	24.0%	40.7%	14.0%	3.3%	16.7%	150
	60～69歳	21.2%	50.6%	7.1%	4.7%	12.4%	170
	70歳以上	37.0%	44.7%	7.4%	1.1%	4.2%	284
地 区 別	金田地区	25.5%	45.9%	10.4%	3.5%	11.8%	595
	曾我地区	27.8%	43.5%	8.0%	3.8%	14.3%	237
	相和地区	28.4%	33.8%	12.2%	2.7%	16.2%	74
子 育 て 層	子育て層総数	22.2%	47.2%	14.8%	5.6%	10.2%	108
	子育て層(男性)	20.0%	48.6%	17.1%	0.0%	14.3%	35
	子育て層(女性)	23.6%	45.8%	13.9%	8.3%	8.3%	72

(イ) 相談時等における職員の知識

「どちらかといえば良い」が42.0%と最も高い。



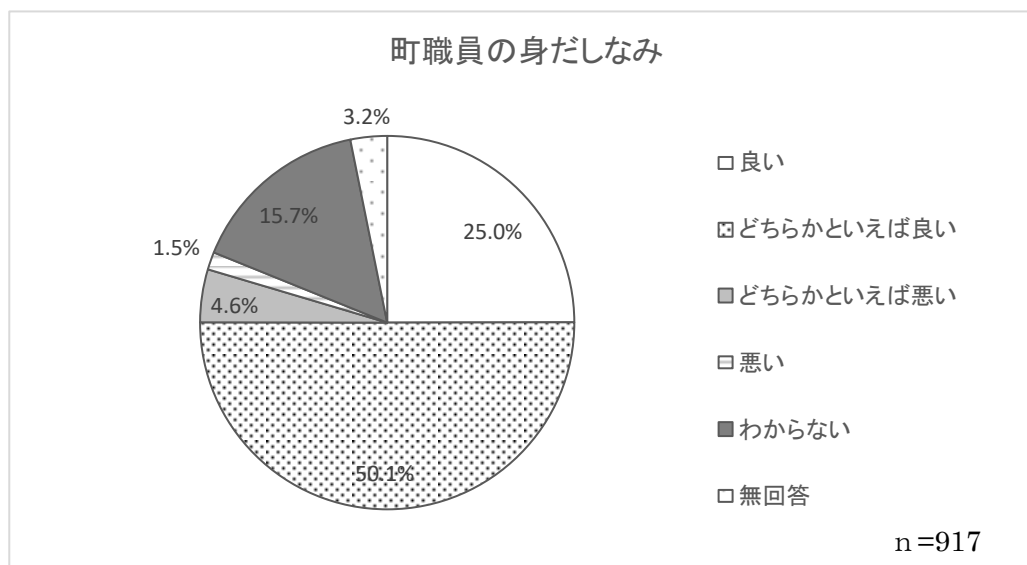
属性別クロス集計

16～19歳では「わからない」の回答が最も多いが、その他の属性では「どちらかといえば良い」の回答が最も多い。

		良い	どちらかといえば良い	どちらかといえば悪い	悪い	わからない	回答者総数
総数		18.4%	42.0%	10.8%	4.9%	21.2%	917
性別	男性	20.9%	43.3%	9.6%	4.7%	18.0%	406
	女性	16.4%	40.8%	11.8%	5.0%	24.2%	500
年齢	16～19歳	10.8%	29.7%	5.4%	2.7%	48.6%	37
	20～29歳	18.6%	35.6%	11.9%	11.9%	20.3%	59
	30～39歳	14.9%	41.9%	9.5%	12.2%	20.3%	74
	40～49歳	14.4%	39.6%	11.5%	5.8%	28.8%	139
	50～59歳	18.0%	40.7%	12.0%	3.3%	24.7%	150
	60～69歳	14.1%	45.9%	10.6%	4.7%	21.2%	170
	70歳以上	25.4%	43.7%	10.9%	2.5%	12.7%	284
地区別	金田地区	17.1%	45.2%	10.8%	4.5%	20.0%	595
	曽我地区	22.4%	37.1%	10.1%	5.1%	22.8%	237
	相和地区	18.9%	28.4%	13.5%	5.4%	27.0%	74
子育て層	子育て層総数	18.5%	43.5%	12.0%	8.3%	17.6%	108
	子育て層(男性)	17.1%	51.4%	8.6%	5.7%	17.1%	35
	子育て層(女性)	19.4%	40.3%	13.9%	8.3%	18.1%	72

(ウ) 身だしなみ

半数以上が「どちらかといえば良い」(50.1%)と回答している。



属性別クロス集計

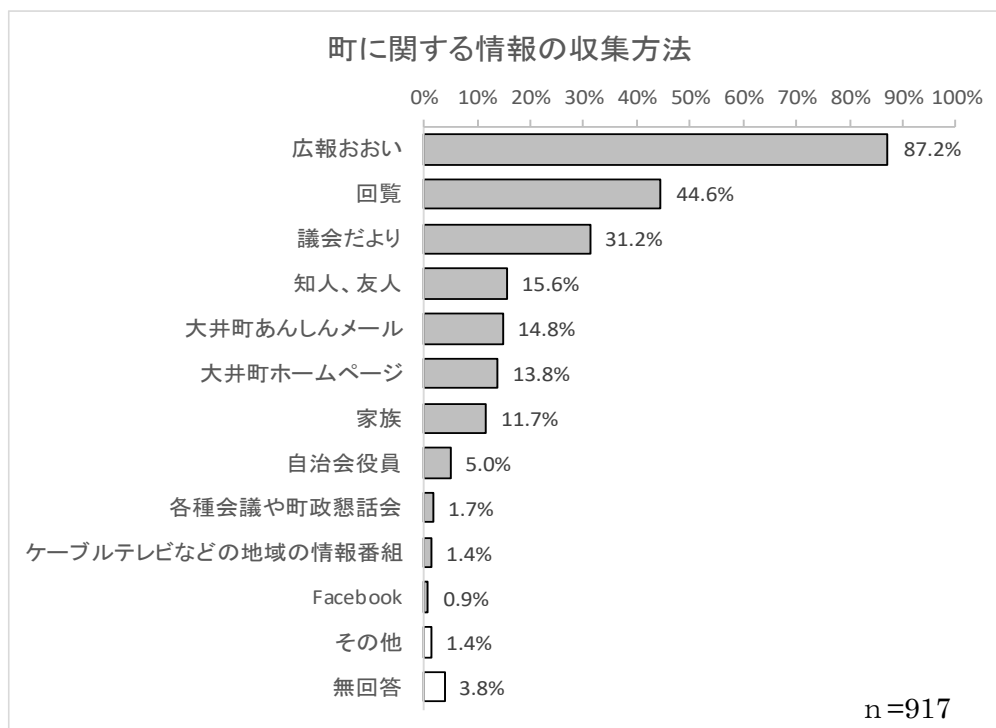
16～19歳では「わからない」の回答が最も多いが、どの属性でも「どちらかといえば良い」の回答が最も多い。

		良い	どちらか といえば 良い	どちらか といえば 悪い	悪い	わ か ら な い	回 答 者 総 数
総数		25.0%	50.1%	4.6%	1.5%	15.7%	917
性 別	男性	26.1%	50.5%	4.9%	1.5%	13.3%	406
	女性	24.0%	49.8%	4.2%	1.6%	18.0%	500
年 齢	16～19歳	27.0%	29.7%	0.0%	2.7%	37.8%	37
	20～29歳	27.1%	45.8%	3.4%	1.7%	20.3%	59
	30～39歳	28.4%	45.9%	9.5%	2.7%	12.2%	74
	40～49歳	24.5%	51.1%	1.4%	1.4%	21.6%	139
	50～59歳	22.0%	50.0%	6.7%	1.3%	18.7%	150
	60～69歳	18.2%	58.8%	5.3%	1.2%	12.4%	170
	70歳以上	29.2%	48.6%	4.2%	1.4%	10.6%	284
地 区 別	金田地区	26.4%	51.6%	3.7%	1.7%	13.8%	595
	曾我地区	22.8%	47.7%	6.8%	0.8%	19.0%	237
	相和地区	23.0%	44.6%	2.7%	2.7%	20.3%	74
子 育 て 層	子育て層総数	36.1%	42.6%	5.6%	0.9%	14.8%	108
	子育て層(男性)	34.3%	40.0%	11.4%	0.0%	14.3%	35
	子育て層(女性)	36.1%	44.4%	2.8%	1.4%	15.3%	72

（４）まちづくりへの参加と協力について

問２０ あなたは、町に関する情報を（窓口以外から）主にどのようにして得ていますか。（○は最大３つまで）【複数回答】

「広報おおい」で情報を得ていると回答された方が 87.2%で最も高かった。一方「Facebook」と回答したのは 0.9%にとどまっている。



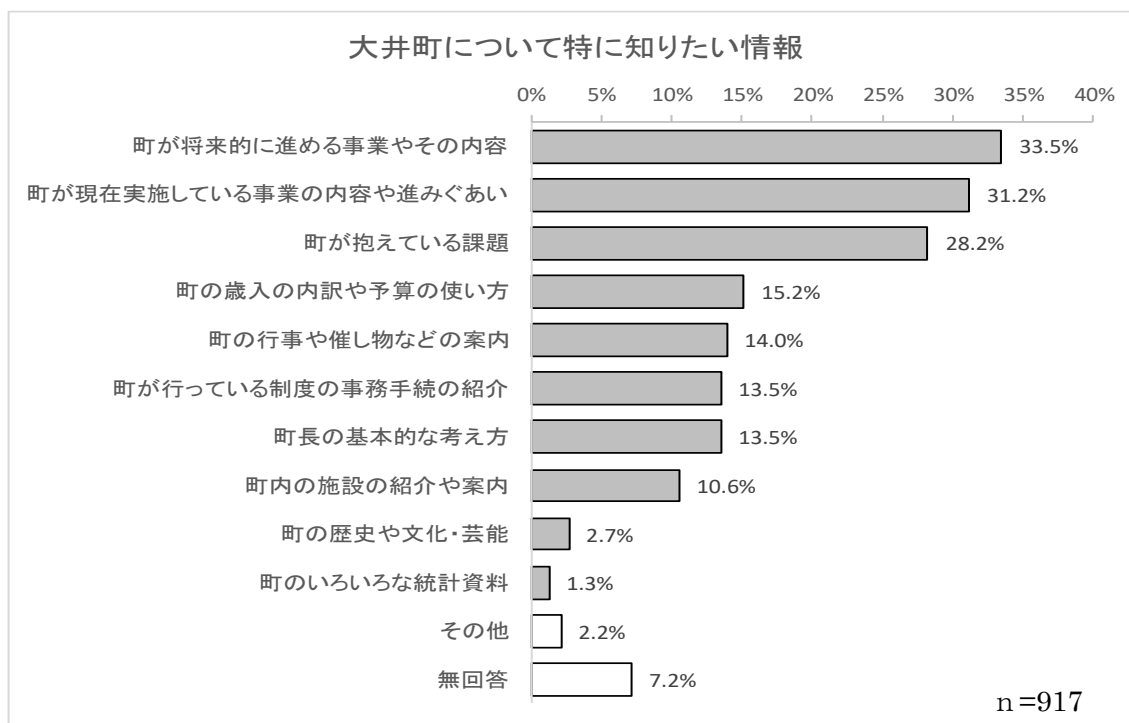
属性別クロス集計

どの属性でも「広報おい」の回答が最も高く、どれも70%以上となっている。

		広報 おい	議会 だより	大井町 ホームページ	F a c e b o o k	ケー ブルテレビ などの地域 の情報番組	大井町 あんしんメール	回 覧	各種 会議や 町政懇話会	自治会 役員	知人、 友人	家族	その他	回答 者総数
総数		87.2%	31.2%	13.8%	0.9%	1.4%	14.8%	44.6%	1.7%	5.0%	15.6%	11.7%	1.4%	917
性別	男性	86.2%	35.0%	16.5%	1.0%	2.5%	10.6%	38.9%	2.7%	8.9%	11.8%	11.1%	1.5%	406
	女性	88.8%	28.4%	12.0%	0.8%	0.4%	18.4%	49.4%	1.0%	2.0%	18.4%	12.4%	1.4%	500
年齢	16～19歳	73.0%	0.0%	18.9%	0.0%	0.0%	10.8%	29.7%	0.0%	2.7%	10.8%	40.5%	5.4%	37
	20～29歳	76.3%	13.6%	32.2%	1.7%	1.7%	6.8%	18.6%	0.0%	1.7%	8.5%	33.9%	1.7%	59
	30～39歳	79.7%	23.0%	23.0%	0.0%	0.0%	9.5%	31.1%	1.4%	0.0%	16.2%	13.5%	4.1%	74
	40～49歳	87.1%	27.3%	15.8%	2.9%	0.0%	25.2%	36.0%	0.7%	3.6%	20.9%	15.8%	2.2%	139
	50～59歳	87.3%	28.0%	20.7%	2.0%	1.3%	18.7%	47.3%	0.7%	2.0%	13.3%	11.3%	1.3%	150
	60～69歳	92.9%	40.6%	9.4%	0.0%	1.2%	12.4%	45.9%	1.8%	7.1%	11.8%	7.6%	0.6%	170
	70歳以上	90.5%	39.1%	5.3%	0.0%	2.8%	13.0%	57.4%	3.5%	8.5%	18.3%	3.5%	0.4%	284
地区別	金田地区	88.4%	30.9%	13.1%	1.0%	1.3%	14.3%	45.9%	1.2%	4.9%	16.3%	10.6%	1.3%	595
	曾我地区	84.8%	33.3%	16.0%	0.8%	0.8%	16.9%	40.9%	2.1%	3.4%	13.1%	13.1%	1.7%	237
	相和地区	90.5%	27.0%	12.2%	0.0%	4.1%	14.9%	47.3%	5.4%	10.8%	18.9%	17.6%	1.4%	74
子育て層	子育て層総数	89.8%	28.7%	23.1%	0.9%	0.0%	19.4%	36.1%	0.9%	1.9%	20.4%	13.0%	2.8%	108
	子育て層(男性)	91.4%	20.0%	17.1%	2.9%	0.0%	8.6%	34.3%	0.0%	5.7%	11.4%	20.0%	2.9%	35
	子育て層(女性)	88.9%	33.3%	26.4%	0.0%	0.0%	23.6%	37.5%	1.4%	0.0%	25.0%	9.7%	2.8%	72

問 2 1 あなたが、大井町について特に知りたい情報は何か。(〇は最大2つまで)【複数回答】

「将来的に進める事業やその内容」(33.5%)がもっとも多く、以下「現在実施している事業の内容や進みぐあい」(31.2%)、「町が抱えている課題」(28.2%)が続く。



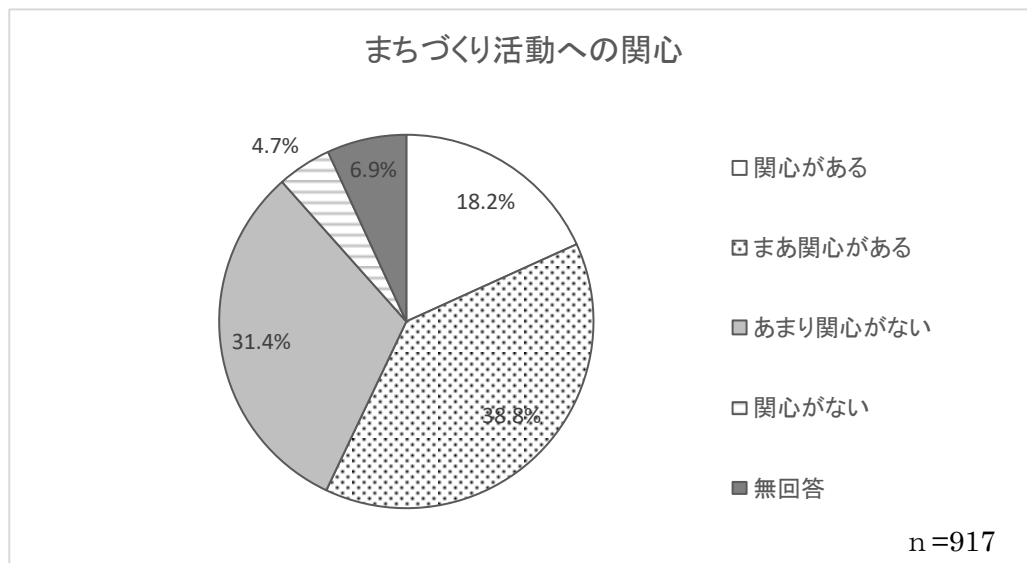
属性別クロス集計

「町が将来的に進める事業やその内容」の回答率が最も高い属性が多く、40代、50代では「町が現在実施している事業の内容や進みぐあい」や「町が抱えている課題」も多くなっている。また、16～19歳の若い世代は「町の行事や催し物などの案内」が知りたいと回答する割合が高い。

		町長の基本的な考え方	町の歳入の内訳や予算の使い方	町が現在実施している事業の内容や進みぐあい	町が将来的に進める事業やその内容	町が抱えている課題	町が行っている制度の事務手続の紹介	町の行事や催し物などの案内	町内の施設の紹介や案内	町のいろいろな統計資料	町の歴史や文化・芸能	その他	回答者総数
総数		13.5%	15.2%	31.2%	33.5%	28.2%	13.5%	14.0%	10.6%	1.3%	2.7%	2.2%	917
性別	男性	14.8%	16.7%	33.3%	38.7%	32.5%	8.6%	10.8%	7.9%	2.0%	3.0%	2.2%	406
	女性	12.6%	13.6%	30.0%	29.4%	25.2%	17.6%	16.6%	12.8%	0.8%	2.6%	2.2%	500
年齢	16～19歳	16.2%	18.9%	18.9%	18.9%	21.6%	8.1%	24.3%	10.8%	2.7%	8.1%	5.4%	37
	20～29歳	11.9%	23.7%	20.3%	32.2%	20.3%	16.9%	16.9%	11.9%	1.7%	5.1%	1.7%	59
	30～39歳	6.8%	14.9%	27.0%	36.5%	20.3%	16.2%	23.0%	16.2%	2.7%	1.4%	4.1%	74
	40～49歳	11.5%	18.7%	30.2%	28.8%	27.3%	19.4%	20.1%	11.5%	0.0%	1.4%	2.9%	139
	50～59歳	8.0%	14.7%	34.7%	31.3%	39.3%	17.3%	14.0%	8.0%	0.7%	2.7%	1.3%	150
	60～69歳	13.5%	14.7%	35.3%	41.8%	26.5%	11.8%	11.2%	11.8%	1.2%	1.2%	1.8%	170
	70歳以上	19.4%	11.6%	32.4%	33.5%	28.5%	8.8%	8.5%	8.8%	1.8%	3.5%	1.8%	284
地区別	金田地区	13.9%	13.9%	31.8%	33.9%	28.6%	13.8%	13.9%	11.3%	1.2%	2.5%	1.8%	595
	曾我地区	12.7%	18.1%	30.0%	32.1%	27.4%	13.5%	14.3%	9.7%	1.7%	3.4%	3.0%	237
	相和地区	12.2%	16.2%	32.4%	35.1%	25.7%	12.2%	13.5%	9.5%	1.4%	2.7%	2.7%	74
子育て層	子育て層総数	9.3%	13.9%	29.6%	36.1%	21.3%	19.4%	27.8%	13.9%	0.9%	1.9%	0.9%	108
	子育て層(男性)	8.6%	17.1%	34.3%	40.0%	25.7%	8.6%	20.0%	14.3%	0.0%	2.9%	0.0%	35
	子育て層(女性)	9.7%	12.5%	27.8%	34.7%	19.4%	23.6%	30.6%	13.9%	1.4%	1.4%	1.4%	72

問２２ あなたは、地域づくりやまちづくり活動に関心がありますか。

「まあ関心がある」が38.8%と最も高いが、「あまり関心がない」と回答した方も同程度いる。



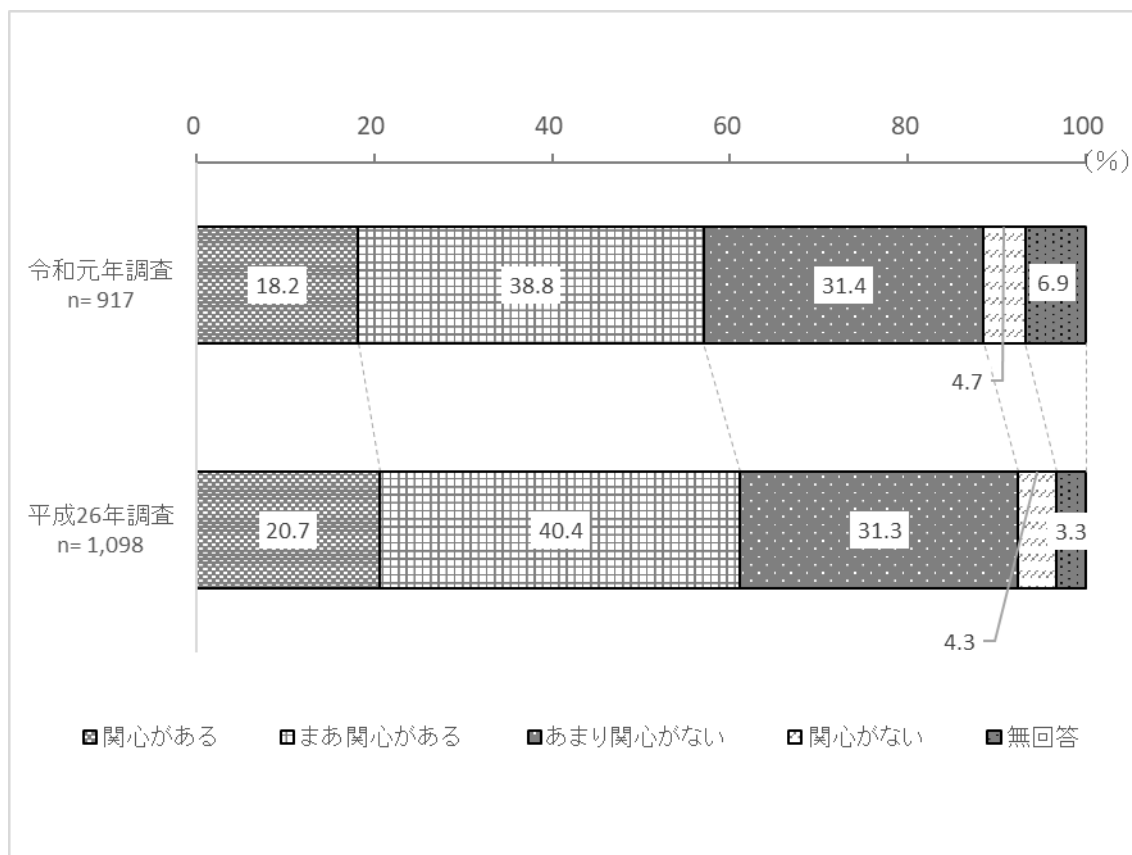
属性別クロス集計

年齢別でみると16～19歳、30代、60代、70代で「まあ関心がある」の回答が最も多く、20代、40代、50代で「あまり関心がない」の回答が最も多い。子育て層（男性）は「関心がある」の回答が多く地域づくりやまちづくり活動に積極的である。

		関心がある	まあ関心がある	あまり関心がない	関心がない	回答者総数
総数		18.2%	38.8%	31.4%	4.7%	917
性別	男性	25.1%	37.4%	27.3%	3.0%	406
	女性	12.4%	40.4%	35.0%	6.0%	500
年齢	16～19歳	10.8%	43.2%	24.3%	18.9%	37
	20～29歳	11.9%	33.9%	40.7%	10.2%	59
	30～39歳	13.5%	41.9%	32.4%	9.5%	74
	40～49歳	20.9%	31.7%	37.4%	5.8%	139
	50～59歳	14.7%	37.3%	40.7%	4.0%	150
	60～69歳	16.5%	46.5%	27.6%	3.5%	170
	70歳以上	23.2%	38.7%	24.3%	1.1%	284
地区別	金田地区	17.5%	40.2%	30.9%	4.4%	595
	曽我地区	19.0%	37.1%	32.5%	5.5%	237
	相和地区	23.0%	36.5%	29.7%	2.7%	74
子育て層	子育て層総数	24.1%	36.1%	29.6%	6.5%	108
	子育て層（男性）	37.1%	34.3%	20.0%	2.9%	35
	子育て層（女性）	16.7%	37.5%	34.7%	8.3%	72

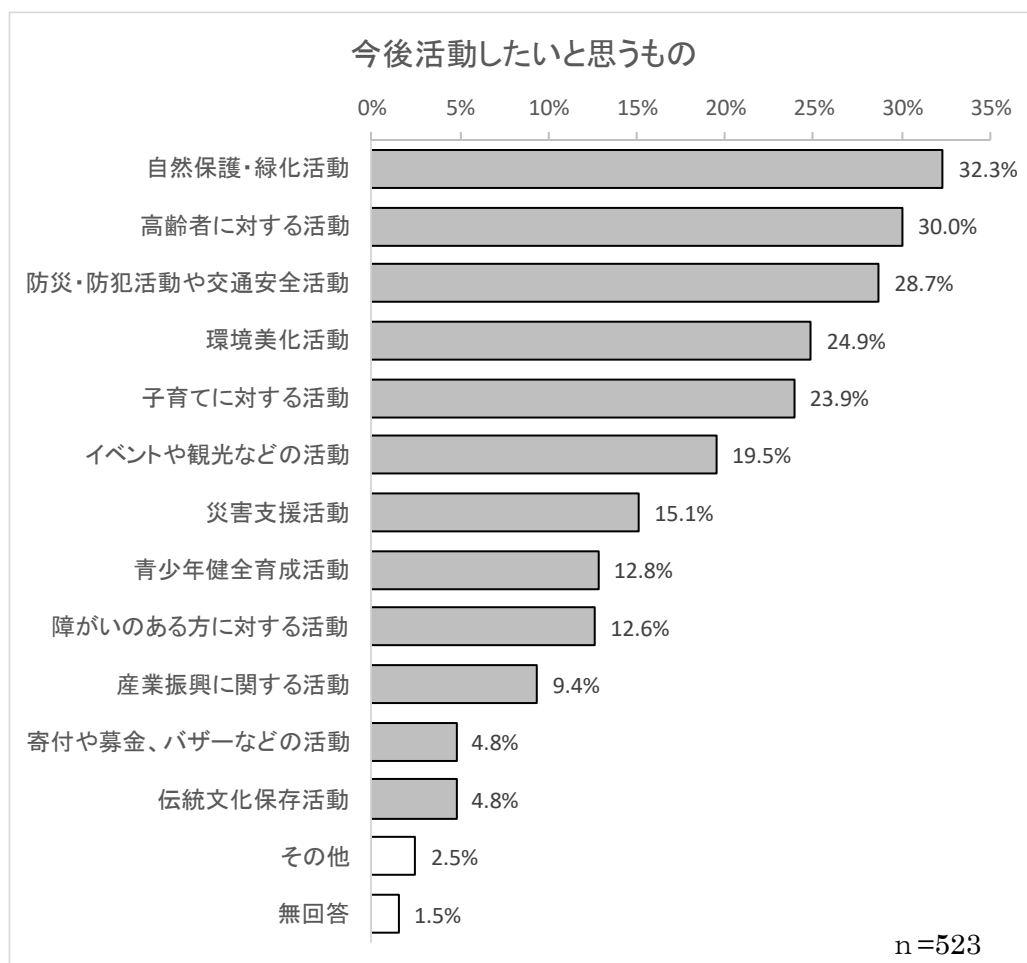
平成26年度調査との比較

「関心がある」「まあ関心がある」と答えた人の割合の合計は約4%低くなっているが、「あまり関心がない」「関心がない」の割合はほとんど変わっていない。



問22-1 問22で「1. 関心がある」「2. まあ関心がある」と答えた方におたずねします。あなたが今後活動したいと思うものはどれですか。(〇は最大3つまで)【複数回答】

「自然保護・緑化活動」が最も多く、次いで「高齢者に対する活動」が多い。



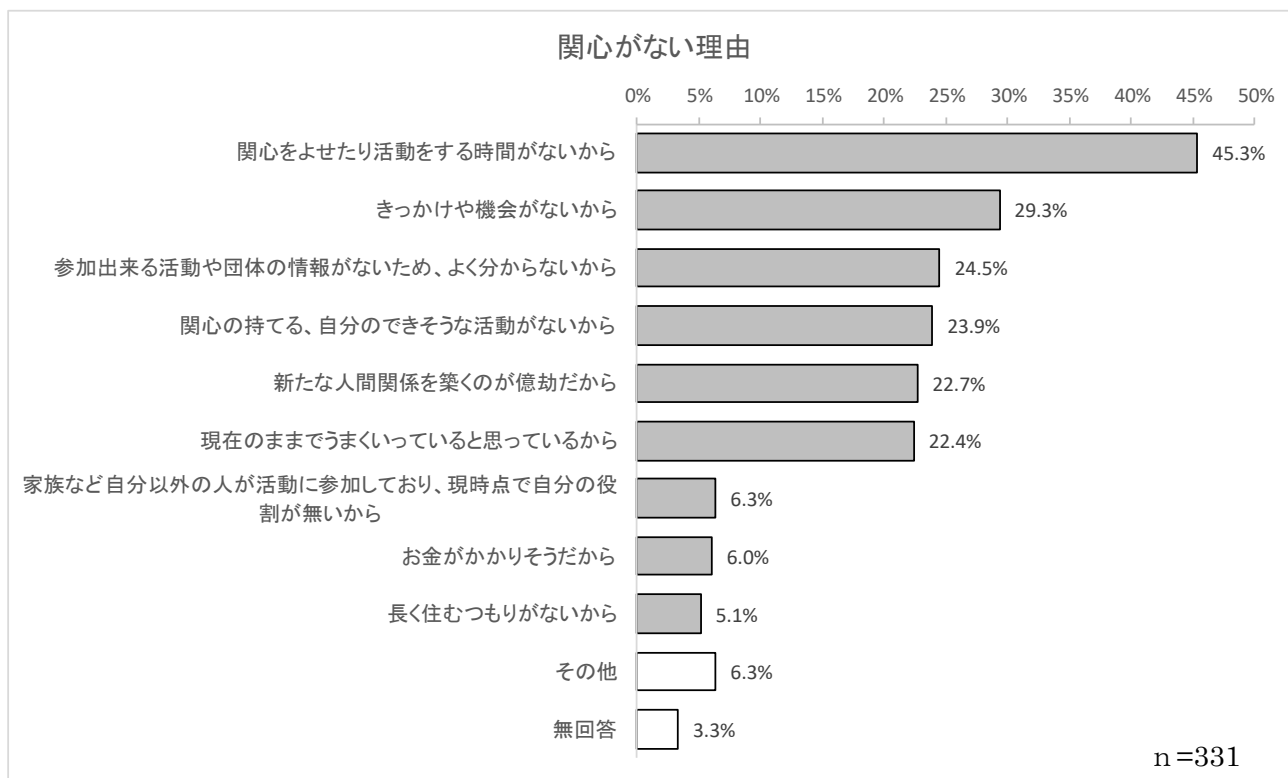
属性別クロス集計

年齢別でみると16～19歳、50代、60代は「自然保護・緑化活動」、20代、30代、40代は「子育てに対する活動」の回答が最も多く、70代以上は「高齢者に対する活動」が約半数を占めている。

		自然保護・緑化活動	環境美化活動	高齢者に対する活動	障がいのある方に対する活動	青少年健全育成活動	子育てに対する活動	伝統文化保存活動	防災・防犯活動や交通安全活動	災害支援活動	イベントや観光などの活動	寄付や募金、バザーなどの活動	産業振興に関する活動	その他	回答者総数
総数		32.3%	24.9%	30.0%	12.6%	12.8%	23.9%	4.8%	28.7%	15.1%	19.5%	4.8%	9.4%	2.5%	523
性別	男性	35.4%	24.4%	29.9%	9.8%	17.7%	20.5%	5.1%	34.6%	16.9%	18.9%	2.4%	14.6%	2.0%	254
	女性	29.2%	25.4%	30.3%	15.5%	8.0%	27.3%	4.2%	23.1%	13.6%	20.5%	7.2%	4.5%	3.0%	264
年齢	16～19歳	40.0%	25.0%	15.0%	20.0%	10.0%	35.0%	0.0%	15.0%	25.0%	20.0%	25.0%	5.0%	5.0%	20
	20～29歳	22.2%	18.5%	22.2%	11.1%	11.1%	40.7%	3.7%	22.2%	3.7%	18.5%	3.7%	11.1%	3.7%	27
	30～39歳	31.7%	17.1%	9.8%	19.5%	9.8%	65.9%	2.4%	22.0%	7.3%	24.4%	2.4%	7.3%	0.0%	41
	40～49歳	31.5%	13.7%	13.7%	12.3%	24.7%	43.8%	5.5%	28.8%	16.4%	38.4%	5.5%	12.3%	1.4%	73
	50～59歳	39.7%	28.2%	21.8%	16.7%	14.1%	21.8%	2.6%	23.1%	19.2%	19.2%	5.1%	16.7%	2.6%	78
	60～69歳	36.4%	29.0%	29.9%	9.3%	11.2%	16.8%	4.7%	28.0%	19.6%	15.9%	1.9%	8.4%	2.8%	107
	70歳以上	27.8%	28.4%	48.3%	10.8%	9.7%	7.4%	6.3%	35.8%	12.5%	13.1%	4.5%	6.3%	2.8%	176
地区別	金田地区	29.2%	23.3%	34.1%	12.8%	13.7%	26.2%	5.0%	29.7%	16.3%	19.5%	4.7%	8.5%	1.2%	343
	曾我地区	36.8%	28.6%	23.3%	13.5%	12.0%	20.3%	3.0%	26.3%	14.3%	18.8%	5.3%	9.0%	6.0%	133
	相和地区	45.5%	27.3%	18.2%	4.5%	9.1%	18.2%	6.8%	25.0%	9.1%	22.7%	4.5%	18.2%	2.3%	44
子育て層	子育て層総数	24.6%	6.2%	9.2%	13.8%	21.5%	75.4%	0.0%	32.3%	18.5%	26.2%	3.1%	9.2%	1.5%	65
	子育て層(男性)	28.0%	8.0%	12.0%	8.0%	28.0%	60.0%	0.0%	40.0%	20.0%	32.0%	0.0%	20.0%	4.0%	25
	子育て層(女性)	20.5%	5.1%	7.7%	17.9%	15.4%	84.6%	0.0%	28.2%	17.9%	23.1%	5.1%	2.6%	0.0%	39

問22-2 問22で「3. あまり関心がない」、「4. 関心がない」と答えた方におたずねします。
その理由は何でしょうか。（あてはまるものすべてに○）【複数回答】

「関心をよせたり活動をする時間がないから」という理由が45.3%と特に高くなっている。



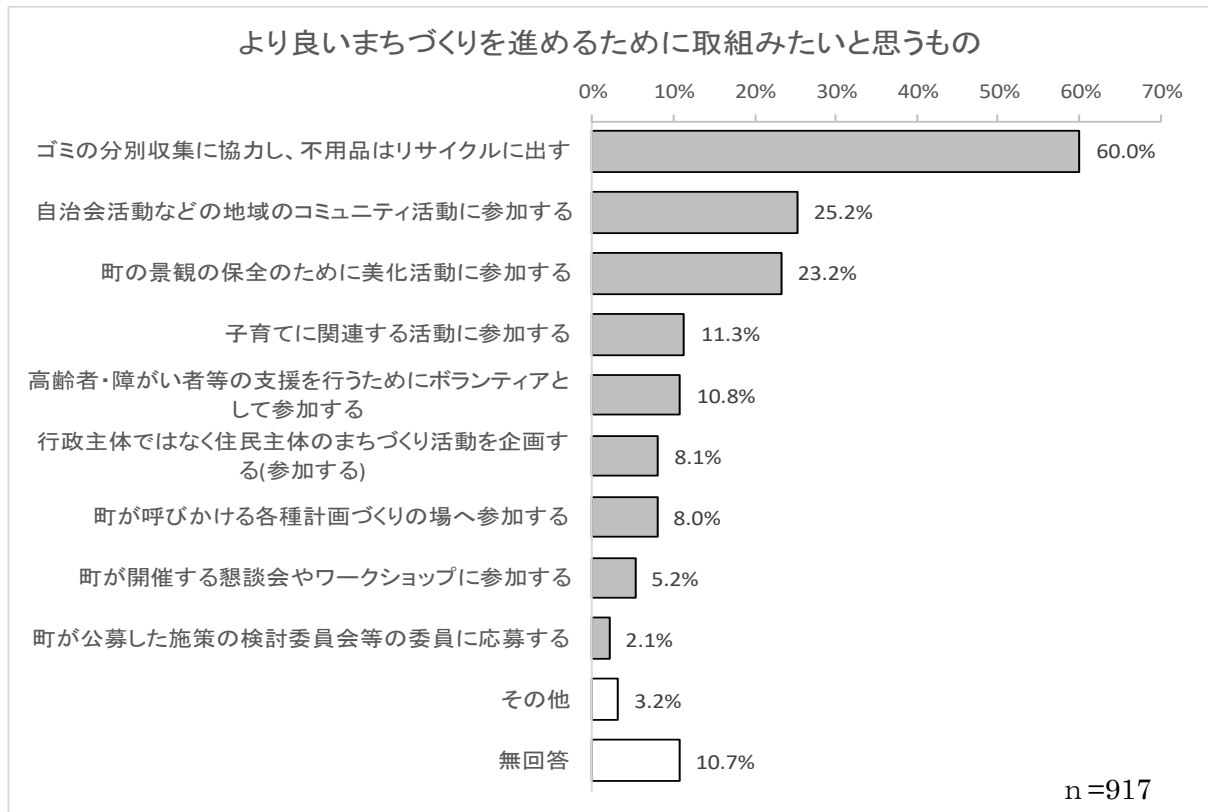
属性別クロス集計

ほとんどの属性で「関心をよせたり活動をする時間がないから」が最も多く、70歳以上では「きっかけや機会がないから」が36.1%と最も高くなっている。また、相和地区では「関心をよせたり活動をする時間がないから」、「参加できる活動や団体の情報がないため、よく分からないから」、「新たな人間関係を気づくのが億劫だから」の3つの回答で意見が分かれている。

		関心をよせたり活動をする時間がないから	きっかけや機会がないから	参加出来る活動や団体の情報がないため、よく分からないから	お金がかかりそうだから	関心の持てる、自分のできそうな活動がないから	新たな人間関係を築くのが億劫だから	長く住むつもりがないから	現在のままでうまくいっていると思っているから	家族など自分以外の人が活動に参加しており、現時点で自分の役割が無いから	その他	回答者総数
総数		45.3%	29.3%	24.5%	6.0%	23.9%	22.7%	5.1%	22.4%	6.3%	6.3%	331
性別	男性	45.5%	26.8%	24.4%	7.3%	20.3%	21.1%	4.9%	23.6%	5.7%	4.9%	123
	女性	45.4%	31.2%	24.9%	5.4%	26.3%	23.9%	5.4%	21.0%	6.8%	6.8%	205
年齢	16～19歳	43.8%	12.5%	12.5%	0.0%	6.3%	6.3%	18.8%	12.5%	12.5%	12.5%	16
	20～29歳	46.7%	36.7%	20.0%	10.0%	33.3%	20.0%	20.0%	33.3%	6.7%	3.3%	30
	30～39歳	58.1%	25.8%	16.1%	12.9%	25.8%	41.9%	3.2%	16.1%	3.2%	0.0%	31
	40～49歳	51.7%	28.3%	25.0%	6.7%	23.3%	20.0%	5.0%	13.3%	6.7%	11.7%	60
	50～59歳	65.7%	31.3%	20.9%	6.0%	19.4%	26.9%	1.5%	23.9%	6.0%	0.0%	67
	60～69歳	35.8%	22.6%	35.8%	3.8%	22.6%	22.6%	3.8%	20.8%	3.8%	7.5%	53
	70歳以上	20.8%	36.1%	26.4%	4.2%	29.2%	18.1%	1.4%	29.2%	8.3%	9.7%	72
地区別	金田地区	41.9%	29.5%	25.2%	7.6%	23.3%	21.9%	5.2%	21.4%	6.2%	8.1%	210
	曾我地区	56.7%	30.0%	21.1%	3.3%	23.3%	21.1%	4.4%	23.3%	6.7%	4.4%	90
	相和地区	33.3%	25.0%	33.3%	0.0%	25.0%	33.3%	8.3%	20.8%	8.3%	0.0%	24
子育て層	子育て層総数	51.3%	35.9%	17.9%	5.1%	28.2%	33.3%	5.1%	20.5%	0.0%	5.1%	39
	子育て層(男性)	50.0%	37.5%	25.0%	25.0%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	8
	子育て層(女性)	51.6%	35.5%	16.1%	0.0%	32.3%	35.5%	6.5%	25.8%	0.0%	3.2%	31

問２３ あなたが、より良いまちづくりを進めるために取組みたいと思うものはどれですか。（○は最大３つまで）【複数回答】

「ゴミの分別収集に協力し、不用品はリサイクルに出す」が 60.0%と最も高い。



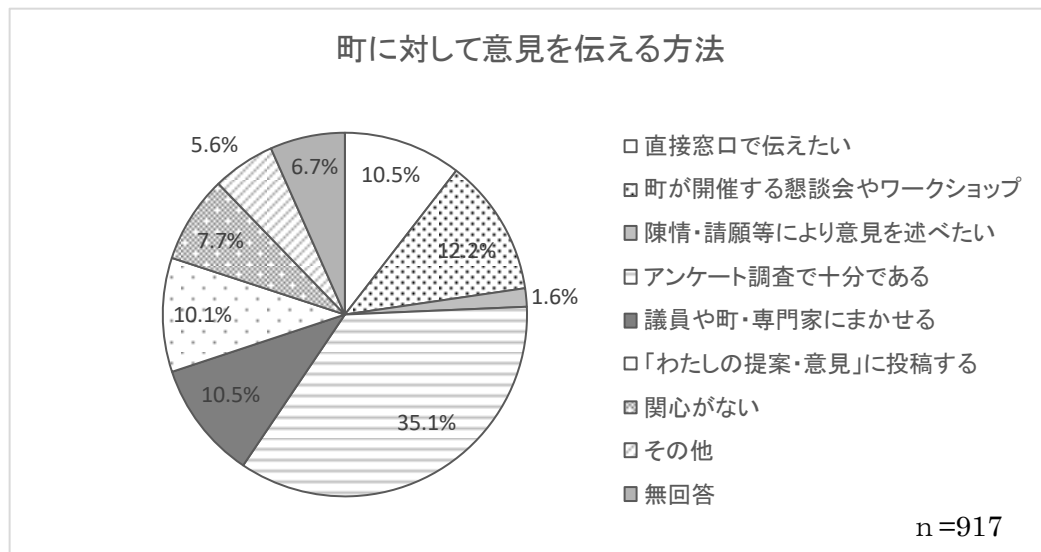
属性別クロス集計

どの属性でも「ゴミの分別収集に協力し、不用品はリサイクルに出す」の回答が最も高い。

		ゴミの分別収集に協力し、不用品はリサイクルに出す	町の景観の保全のために美化活動に参加する	町が呼びかける各種計画づくりの場へ参加する	町が公募した施策の検討委員会等の委員に応募する	町が開催する懇談会やワークショップに参加する	自治会活動などの地域のコミュニティ活動に参加する	子育てに関連する活動に参加する	高齢者・障がい者等の支援のボランティアに参加する	住民主体のまちづくり活動を企画する（参加する）	その他	回答者総数
総数		60.0%	23.2%	8.0%	2.1%	5.2%	25.2%	11.3%	10.8%	8.1%	3.2%	917
性別	男性	52.0%	26.6%	11.8%	3.9%	5.9%	28.1%	9.1%	10.6%	9.6%	4.2%	406
	女性	67.0%	20.8%	5.0%	0.6%	4.6%	23.0%	13.2%	11.2%	6.6%	2.4%	500
年齢	16～19歳	51.4%	10.8%	5.4%	0.0%	0.0%	27.0%	27.0%	18.9%	18.9%	5.4%	37
	20～29歳	57.6%	11.9%	6.8%	0.0%	5.1%	15.3%	27.1%	13.6%	8.5%	1.7%	59
	30～39歳	58.1%	20.3%	4.1%	1.4%	2.7%	18.9%	39.2%	12.2%	5.4%	2.7%	74
	40～49歳	64.0%	15.1%	7.2%	2.2%	5.8%	25.9%	20.9%	8.6%	3.6%	3.6%	139
	50～59歳	58.0%	23.3%	9.3%	2.7%	5.3%	23.3%	5.3%	10.7%	9.3%	4.0%	150
	60～69歳	63.5%	30.6%	8.8%	2.4%	8.8%	22.9%	4.7%	10.6%	5.9%	2.9%	170
	70歳以上	59.5%	27.1%	8.8%	2.5%	4.2%	31.0%	1.4%	10.2%	10.2%	2.8%	284
地区別	金田地区	62.0%	23.2%	8.2%	1.8%	5.4%	24.2%	12.1%	11.3%	7.7%	2.0%	595
	曾我地区	60.3%	23.6%	7.6%	3.0%	5.1%	24.9%	9.7%	9.7%	8.4%	4.2%	237
	相和地区	44.6%	24.3%	8.1%	1.4%	4.1%	36.5%	9.5%	10.8%	10.8%	9.5%	74
子育て層	子育て層総数	58.3%	9.3%	6.5%	0.9%	4.6%	33.3%	45.4%	6.5%	8.3%	0.9%	108
	子育て層（男性）	54.3%	14.3%	5.7%	2.9%	2.9%	28.6%	40.0%	2.9%	8.6%	2.9%	35
	子育て層（女性）	59.7%	6.9%	6.9%	0.0%	5.6%	34.7%	47.2%	8.3%	8.3%	0.0%	72

問24 あなたは、町に対してどのような方法で意見を伝えたいと考えていますか。【単数回答】

「アンケート調査で十分である」と回答された方が 35.1%と最も高く、「町で開催する懇親会やワークショップ」(12.2%)、「直接窓口で伝えたい」(10.5%)、「議員や町・専門家にまかせる」(10.5%)が続く。



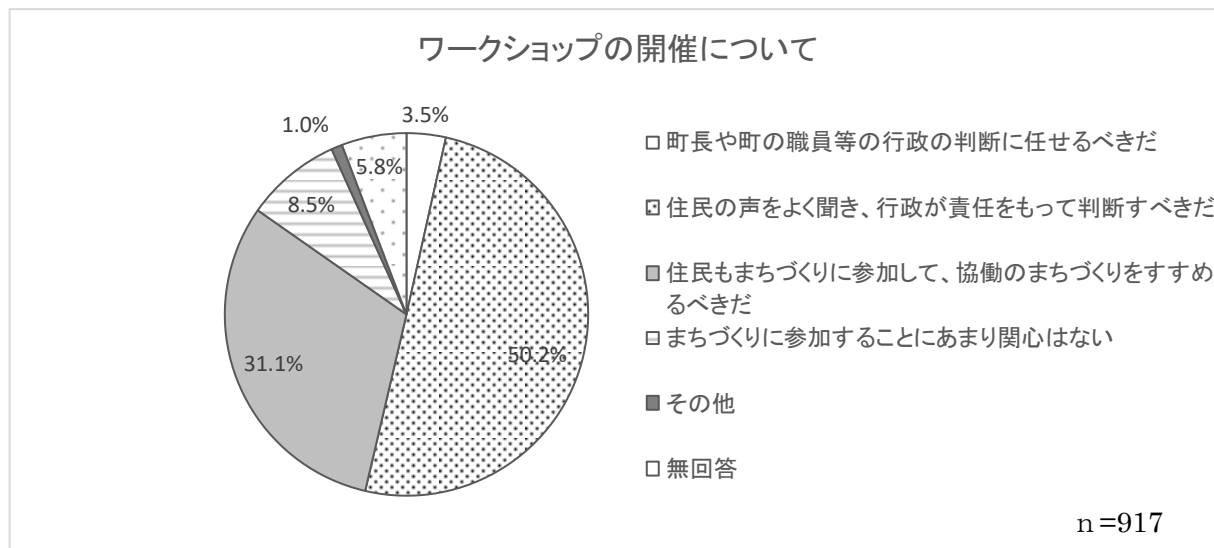
属性別クロス集計

どの属性でも「アンケート調査で十分である」の回答が最も多い。

		直接窓口で伝えたい	町が開催する懇談会やワークショップ	陳情・請願等により意見を述べたい	アンケート調査で十分である	議員や町・専門家にまかせる	「わたしの提案・意見」に投稿する	関心がない	その他	回答者総数
総数		10.5%	12.2%	1.6%	35.1%	10.5%	10.1%	7.7%	5.6%	917
性別	男性	14.5%	15.5%	2.5%	26.8%	11.8%	10.1%	6.7%	5.7%	406
	女性	7.0%	9.8%	1.0%	42.0%	9.4%	10.2%	8.8%	5.6%	500
年齢	16～19歳	0.0%	0.0%	0.0%	59.5%	8.1%	13.5%	18.9%	0.0%	37
	20～29歳	6.8%	5.1%	0.0%	52.5%	5.1%	8.5%	13.6%	6.8%	59
	30～39歳	8.1%	2.7%	4.1%	51.4%	4.1%	12.2%	9.5%	5.4%	74
	40～49歳	5.8%	12.2%	2.9%	31.7%	11.5%	11.5%	11.5%	10.1%	139
	50～59歳	7.3%	10.7%	0.7%	36.7%	12.0%	15.3%	8.7%	4.0%	150
	60～69歳	12.9%	22.4%	1.2%	27.1%	10.0%	10.6%	4.1%	5.3%	170
	70歳以上	15.5%	12.7%	1.8%	29.9%	12.3%	6.0%	4.6%	4.9%	284
地区別	金田地区	9.7%	12.1%	1.3%	36.5%	10.3%	10.3%	7.6%	5.0%	595
	曾我地区	9.7%	14.3%	2.5%	35.4%	9.7%	10.1%	7.6%	5.5%	237
	相和地区	16.2%	5.4%	1.4%	25.7%	14.9%	9.5%	9.5%	10.8%	74
子育て層	子育て層総数	5.6%	12.0%	5.6%	37.0%	7.4%	13.9%	8.3%	7.4%	108
	子育て層(男性)	8.6%	11.4%	8.6%	31.4%	11.4%	11.4%	2.9%	8.6%	35
	子育て層(女性)	4.2%	12.5%	4.2%	40.3%	5.6%	13.9%	11.1%	6.9%	72

問25 第6次総合計画を策定するにあたり、住民の皆さまからのまちづくりに関するご意見を広く計画に反映するため、この住民アンケート調査のほか、ワークショップ(まちづくり会議)を開催します。このワークショップでは、委員を一般公募することで大井町のまちづくりに関する自由な意見等をいただき、町の将来像等について検討していきたいと考えています。このように、町政に住民が参画することについてあなたはどのように思いますか。【単数回答】

「住民の声をよく聞き、行政が責任をもって判断すべき」が50.2%で最も高く、「住民もまちづくりに参加して、協働のまちづくりをすすめるべき」が31.1%と次に続く。



属性別クロス集計

「住民の声をよく聞き、行政が責任をもって判断すべきだ」の回答が多く、子育て層（女性）は「住民もまちづくりに参加して、協働のまちづくりをすすめるべきだ」の回答が最も多い。

		行政の判断に任せるべきだ 行政の町長や町の職員等	行政が責任をもって判断すべきだ 住民の声をよく聞き、住民もまちづくりに参加して、協働のまちづくりをすすめるべきだ	協働のまちづくりをすすめるべきだ 住民もまちづくりに参加して、協働のまちづくりをすすめるべきだ	まちづくりに参加することにあまり関心はない	その他	回答者総数
総数		3.5%	50.2%	31.1%	8.5%	1.0%	917
性別	男性	5.4%	49.3%	32.8%	5.9%	1.0%	406
	女性	2.0%	50.6%	30.0%	10.8%	1.0%	500
年齢	16～19歳	2.7%	56.8%	18.9%	16.2%	2.7%	37
	20～29歳	3.4%	54.2%	27.1%	15.3%	0.0%	59
	30～39歳	5.4%	40.5%	36.5%	13.5%	0.0%	74
	40～49歳	2.9%	48.2%	34.5%	11.5%	0.7%	139
	50～59歳	2.7%	52.0%	32.0%	12.0%	0.7%	150
	60～69歳	3.5%	45.9%	38.2%	3.5%	1.8%	170
	70歳以上	3.9%	53.2%	25.7%	4.6%	1.1%	284
地区別	金田地区	3.7%	49.6%	31.3%	8.4%	0.8%	595
	曾我地区	3.0%	49.8%	32.5%	8.9%	1.3%	237
	相和地区	4.1%	52.7%	27.0%	8.1%	1.4%	74
子育て層	子育て層総数	4.6%	44.4%	38.9%	10.2%	0.0%	108
	子育て層（男性）	5.7%	60.0%	34.3%	0.0%	0.0%	35
	子育て層（女性）	4.2%	36.1%	41.7%	15.3%	0.0%	72

(5) 自由意見

問 2 6 大井町の発展や町民の皆様の暮らしを豊かにするために、何かご意見やご提案(アイデア)、夢をお持ちでしたら、ご自由にお書き下さい。

自由意見においては「まちづくり全体」「情報公開・開示」「環境共生」「生活環境」「ごみ」「都市整備」「公共交通」「安全・安心」「福祉健康」「産業振興」「教育文化」「行財政」「住民参加」「その他」に概ね分類される。主な意見は以下の通りである。

まちづくり全体	安心・安全なまちづくり、子育て世代が住みやすいまちづくり、自然のあるまちづくり、公共施設の整備・見直し、IT や最新技術の活用、
情報公開・開示	情報公開・開示
環境共生	再エネ利用
生活環境	街灯の設置、外来生物/有害鳥獣対策
ごみ	ごみ回収日、ごみの出し方
都市整備	道路の整備・拡幅、歩道の整備、公園の整備、子どもが遊べる場所の設置、ベンチの設置、駅前・ロータリーの整備、スーパー/コンビニの設置、電柱の地中化
公共交通	鉄道・バスの路線増強、バスの IC カード (Pasumo・Suica) 利用、公共交通機関の連携
安全・安心	運転マナーの指導、防犯対策、防犯カメラの設置、避難所の見直し、空き家対策
福祉健康	子育て支援、高齢者福祉支援、健康増進の推進
産業振興	商業施設/娯楽施設の整備、企業誘致、BIOTOPIA の活用、観光振興
教育文化	学校教育、ひょうたん祭、花火大会、英語教育の強化
行財政	町議会議員、町民税/公共料金の見直し、自治会費、合併、
住民参加	意見交換、意見募集の手法、ボランティア、交流
その他	アンケート調査について、感想、応援

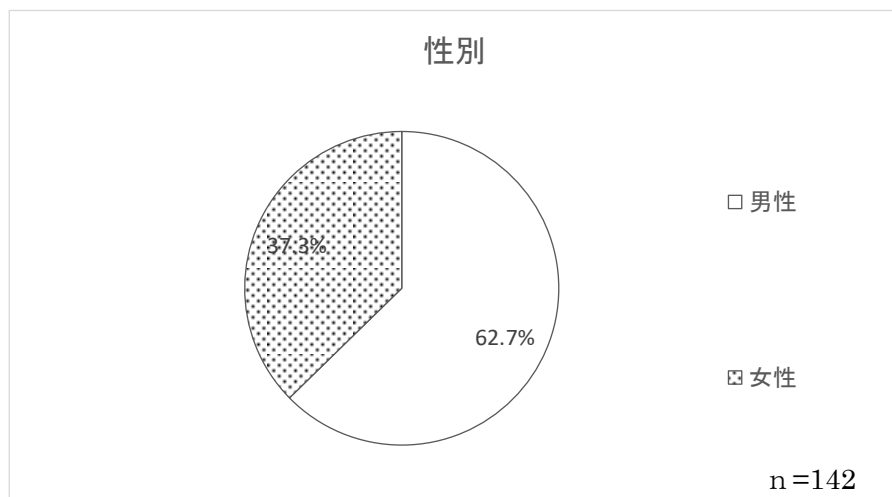
2-2 職員アンケート

(1) 回答者の属性

問1 あなた自身のことについて伺います。該当する選択肢を1つずつ選んでください。

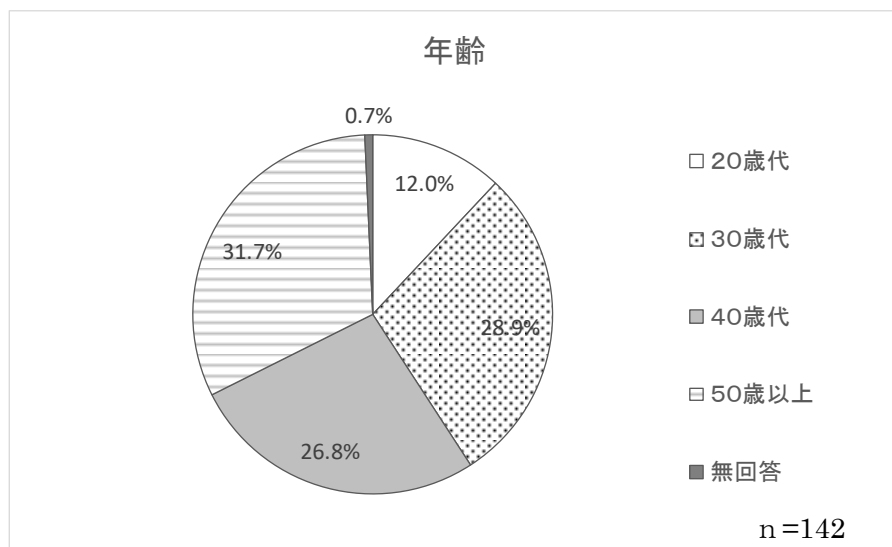
問1-1 性別

男性が62.7%、女性が37.3%であった。



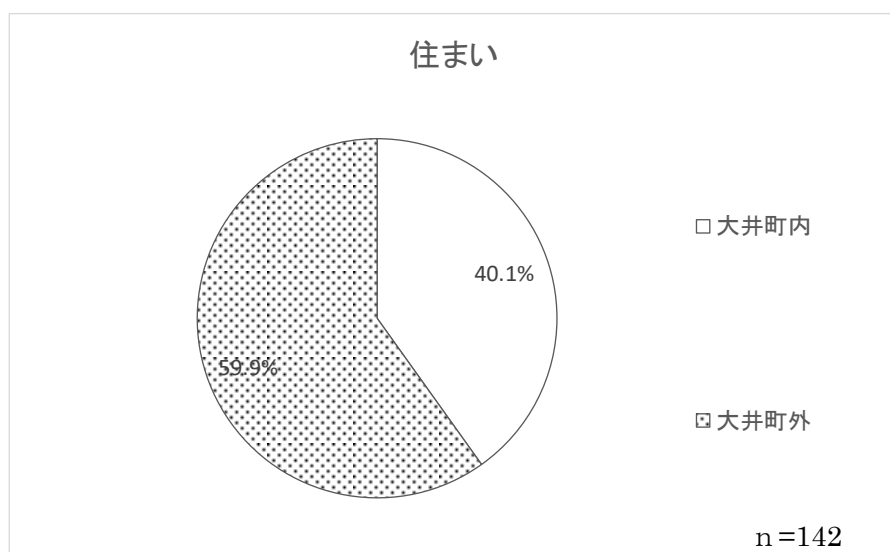
問1-2 年齢

50歳以上の方が約3割だが、40歳代、30歳代もほぼ同程度回答している。



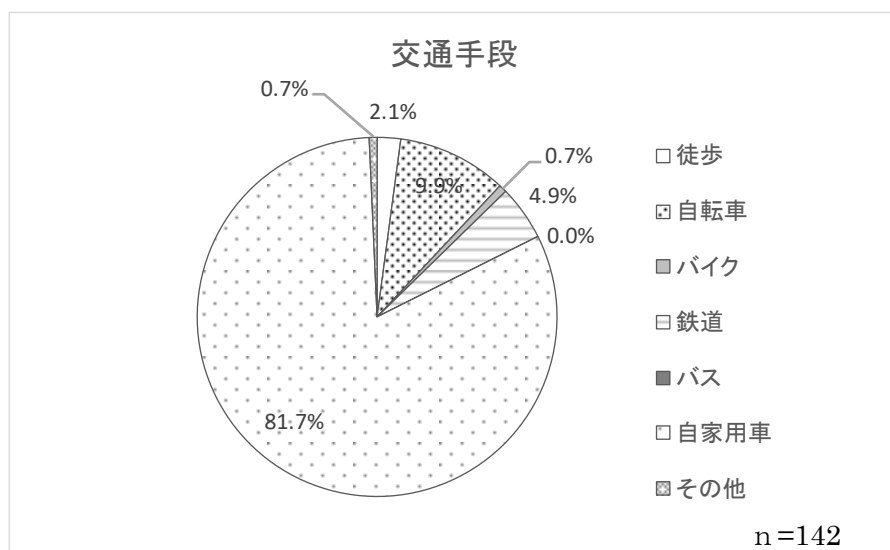
問 1－3 住まい

大井町外に住まいを持つ職員が約 6 割である。



問 1－4 通勤手段

自家用車で通勤すると回答した方が 8 割以上である。



(2) 各種施策・事業について

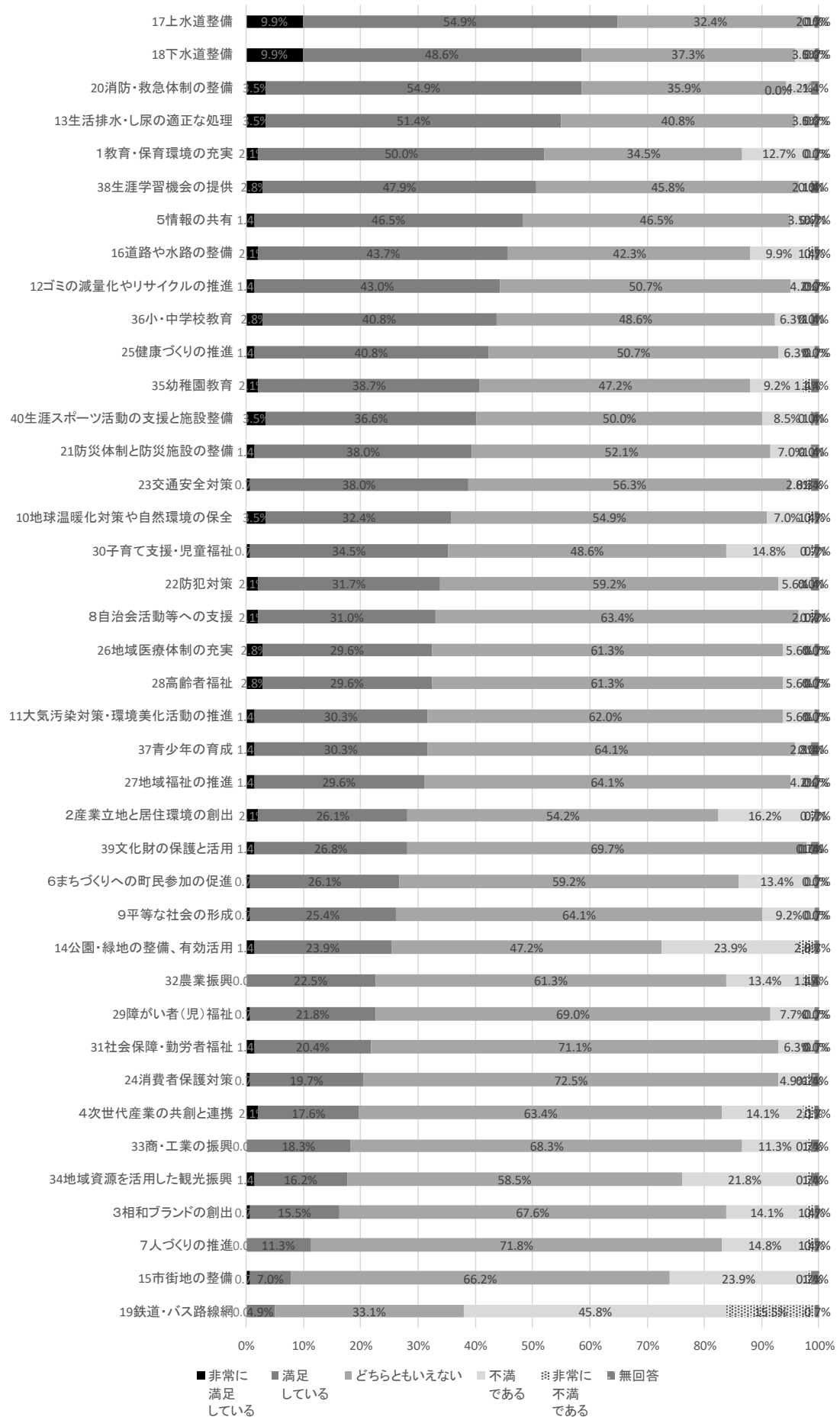
問2 これまで進めてきた大井町のまちづくりの取組みについての「満足度」と、これからの取組みを進める上での「重要度」のそれぞれについて、今のお気持ちに最も近い番号を1つずつお選びください。

各種施策・事業に対する満足度

	非常に満足している	満足している	どちらともいえない	不満である	非常に不満である	無回答	相関係数
教育・保育環境の充実	2.1%	50.0%	34.5%	12.7%	0.0%	0.7%	+0.64
産業立地と居住環境の創出	2.1%	26.1%	54.2%	16.2%	0.7%	0.7%	+0.28
相和ブランドの創出	0.7%	15.5%	67.6%	14.1%	1.4%	0.7%	0.0
次世代産業の共創と連携	2.1%	17.6%	63.4%	14.1%	2.1%	0.7%	+0.10
情報の共有	1.4%	46.5%	46.5%	3.5%	0.7%	0.7%	+0.85
まちづくりへの町民参加の促進	0.7%	26.1%	59.2%	13.4%	0.0%	0.7%	+0.35
人づくりの推進	0.0%	11.3%	71.8%	14.8%	1.4%	0.7%	-0.23
自治会活動等への支援	2.1%	31.0%	63.4%	2.1%	0.7%	0.7%	+0.88
平等な社会の形成	0.7%	25.4%	64.1%	9.2%	0.0%	0.7%	+0.50
地球温暖化対策や自然環境の保全	3.5%	32.4%	54.9%	7.0%	1.4%	0.7%	+0.67
大気汚染対策・環境美化活動の推進	1.4%	30.3%	62.0%	5.6%	0.0%	0.7%	+0.74
ゴミの減量化やリサイクルの推進	1.4%	43.0%	50.7%	4.2%	0.0%	0.7%	+0.86
生活排水・し尿の適正な処理	3.5%	51.4%	40.8%	3.5%	0.0%	0.7%	+0.94
公園・緑地の整備、有効活用	1.4%	23.9%	47.2%	23.9%	2.8%	0.7%	-0.05
市街地の整備	0.7%	7.0%	66.2%	23.9%	0.7%	1.4%	-0.52
道路や水路の整備	2.1%	43.7%	42.3%	9.9%	1.4%	0.7%	+0.62
上水道整備	9.9%	54.9%	32.4%	2.1%	0.0%	0.7%	+1.08
下水道整備	9.9%	48.6%	37.3%	3.5%	0.0%	0.7%	+1.05
鉄道・バス路線網	0.0%	4.9%	33.1%	45.8%	15.5%	0.7%	-1.09
消防・救急体制の整備	3.5%	54.9%	35.9%	4.2%	0.0%	1.4%	+0.92
防災体制と防災施設の整備	1.4%	38.0%	52.1%	7.0%	0.0%	1.4%	+0.73
防犯対策	2.1%	31.7%	59.2%	5.6%	0.0%	1.4%	+0.77
交通安全対策	0.7%	38.0%	56.3%	2.8%	0.7%	1.4%	+0.83
消費者保護対策	0.7%	19.7%	72.5%	4.9%	0.7%	1.4%	+0.57
健康づくりの推進	1.4%	40.8%	50.7%	6.3%	0.0%	0.7%	+0.77
地域医療体制の充実	2.8%	29.6%	61.3%	5.6%	0.0%	0.7%	+0.78
地域福祉の推進	1.4%	29.6%	64.1%	4.2%	0.0%	0.7%	+0.80
高齢者福祉	2.8%	29.6%	61.3%	5.6%	0.0%	0.7%	+0.78
障がい者(児)福祉	0.7%	21.8%	69.0%	7.7%	0.0%	0.7%	+0.51
子育て支援・児童福祉	0.7%	34.5%	48.6%	14.8%	0.7%	0.7%	+0.39
社会保障・勤労者福祉	1.4%	20.4%	71.1%	6.3%	0.0%	0.7%	+0.60
農業振興	0.0%	22.5%	61.3%	13.4%	1.4%	1.4%	+0.17
商・工業の振興	0.0%	18.3%	68.3%	11.3%	0.7%	1.4%	+0.19
地域資源を活用した観光振興	1.4%	16.2%	58.5%	21.8%	0.7%	1.4%	-0.11
幼稚園教育	2.1%	38.7%	47.2%	9.2%	1.4%	1.4%	+0.60
小・中学校教育	2.8%	40.8%	48.6%	6.3%	0.0%	1.4%	+0.80
青少年の育成	1.4%	30.3%	64.1%	2.8%	0.0%	1.4%	+0.88
生涯学習機会の提供	2.8%	47.9%	45.8%	2.1%	0.0%	1.4%	+0.97
文化財の保護と活用	1.4%	26.8%	69.7%	0.7%	0.0%	1.4%	+1.00
教育・保育環境の充実	3.5%	36.6%	50.0%	8.5%	0.0%	1.4%	+0.72

※相関係数の算出方法：下記配点と比率を乗じて計算している（無回答は除く）。「非常に満足している」：2点、「満足している」：1点、「どちらともいえない」：0点、「不満である」：-1点、「非常に不満である」：-2点
 ※各種施策・事業においてポイントが高い上位2項目を色付けしている。

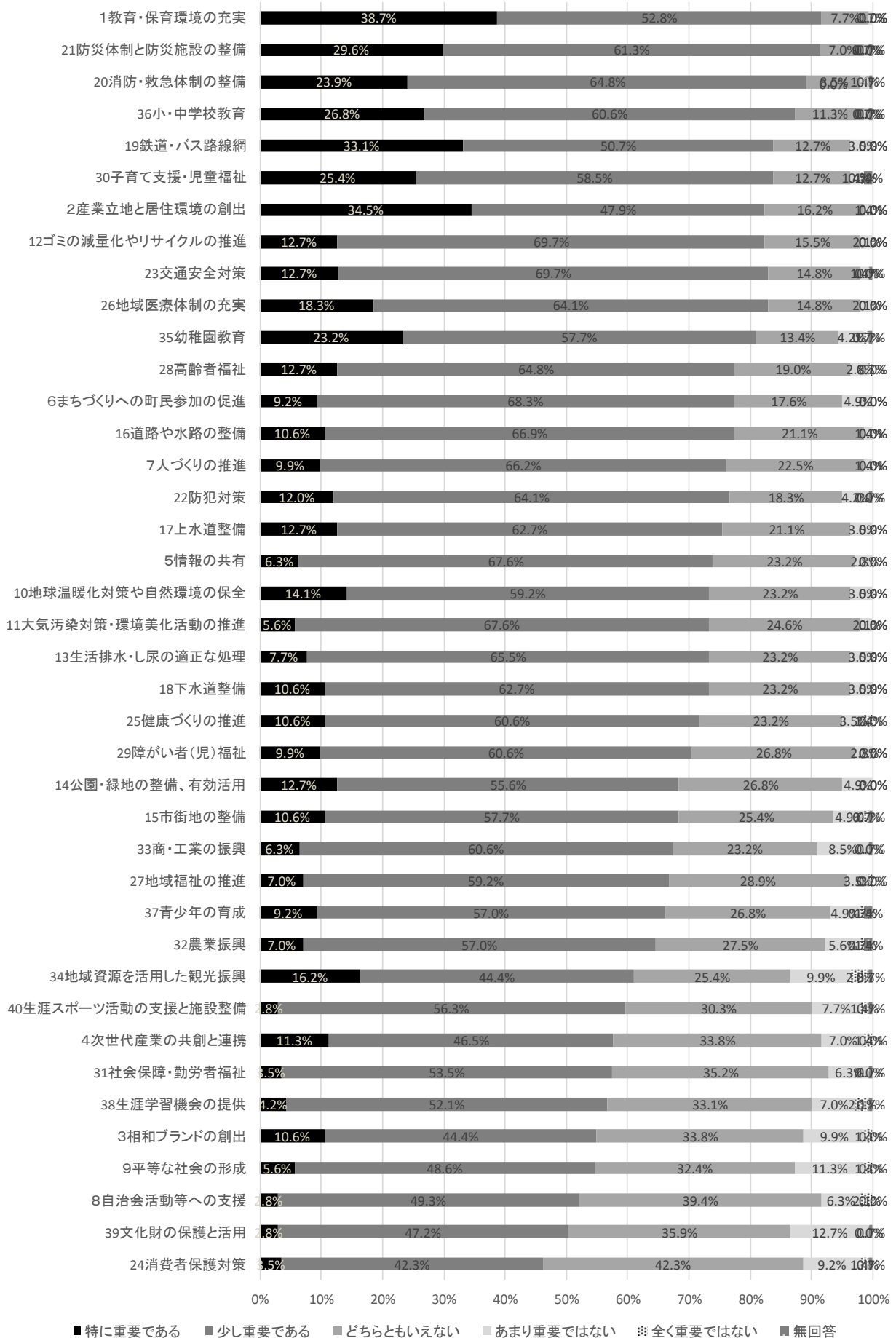
各種施策・事業に対する満足度



各種施策・事業に対する重要度

	特に重要である	少し重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	全く重要ではない	無回答	相関係数
教育・保育環境の充実	38.7%	52.8%	7.7%	0.7%	0.0%	0.0%	+1.40
産業立地と居住環境の創出	34.5%	47.9%	16.2%	1.4%	0.0%	0.0%	+1.38
相和ブランドの創出	10.6%	44.4%	33.8%	9.9%	1.4%	0.0%	+0.80
次世代産業の共創と連携	11.3%	46.5%	33.8%	7.0%	1.4%	0.0%	+0.89
情報の共有	6.3%	67.6%	23.2%	2.8%	0.0%	0.0%	+1.01
まちづくりへの町民参加の促進	9.2%	68.3%	17.6%	4.9%	0.0%	0.0%	+0.99
人づくりの推進	9.9%	66.2%	22.5%	1.4%	0.0%	0.0%	+1.09
自治会活動等への支援	2.8%	49.3%	39.4%	6.3%	2.1%	0.0%	+0.73
平等な社会の形成	5.6%	48.6%	32.4%	11.3%	1.4%	0.0%	+0.68
地球温暖化対策や自然環境の保全	14.1%	59.2%	23.2%	3.5%	0.0%	0.0%	+1.09
大気汚染対策・環境美化活動の推進	5.6%	67.6%	24.6%	2.1%	0.0%	0.0%	+1.02
ゴミの減量化やリサイクルの推進	12.7%	69.7%	15.5%	2.1%	0.0%	0.0%	+1.10
生活排水・し尿の適正な処理	7.7%	65.5%	23.2%	3.5%	0.0%	0.0%	+1.01
公園・緑地の整備、有効活用	12.7%	55.6%	26.8%	4.9%	0.0%	0.0%	+1.04
市街地の整備	10.6%	57.7%	25.4%	4.9%	0.7%	0.7%	+0.98
道路や水路の整備	10.6%	66.9%	21.1%	1.4%	0.0%	0.0%	+1.10
上水道整備	12.7%	62.7%	21.1%	3.5%	0.0%	0.0%	+1.07
下水道整備	10.6%	62.7%	23.2%	3.5%	0.0%	0.0%	+1.05
鉄道・バス路線網	33.1%	50.7%	12.7%	3.5%	0.0%	0.0%	+1.30
消防・救急体制の整備	23.9%	64.8%	8.5%	1.4%	0.0%	0.7%	+1.23
防災体制と防災施設の整備	29.6%	61.3%	7.0%	0.7%	0.0%	0.7%	+1.31
防犯対策	12.0%	64.1%	18.3%	4.2%	0.0%	0.7%	+1.04
交通安全対策	12.7%	69.7%	14.8%	1.4%	0.0%	0.7%	+1.12
消費者保護対策	3.5%	42.3%	42.3%	9.2%	1.4%	0.7%	+0.66
健康づくりの推進	10.6%	60.6%	23.2%	3.5%	1.4%	0.0%	+0.99
地域医療体制の充実	18.3%	64.1%	14.8%	2.1%	0.0%	0.0%	+1.17
地域福祉の推進	7.0%	59.2%	28.9%	3.5%	0.7%	0.0%	+0.97
高齢者福祉	12.7%	64.8%	19.0%	2.8%	0.7%	0.0%	+1.06
障がい者(児)福祉	9.9%	60.6%	26.8%	2.8%	0.0%	0.0%	+1.06
子育て支援・児童福祉	25.4%	58.5%	12.7%	1.4%	0.7%	1.4%	+1.24
社会保障・勤労者福祉	3.5%	53.5%	35.2%	6.3%	0.0%	0.7%	+0.86
農業振興	7.0%	57.0%	27.5%	5.6%	0.7%	1.4%	+0.91
商・工業の振興	6.3%	60.6%	23.2%	8.5%	0.0%	0.7%	+0.86
地域資源を活用した観光振興	16.2%	44.4%	25.4%	9.9%	2.8%	0.7%	+0.84
幼稚園教育	23.2%	57.7%	13.4%	4.2%	0.7%	0.7%	+1.15
小・中学校教育	26.8%	60.6%	11.3%	0.7%	0.0%	0.7%	+1.29
青少年の育成	9.2%	57.0%	26.8%	4.9%	0.7%	1.4%	+0.96
生涯学習機会の提供	4.2%	52.1%	33.1%	7.0%	2.1%	0.7%	+0.75
文化財の保護と活用	2.8%	47.2%	35.9%	12.7%	0.0%	0.7%	+0.64
教育・保育環境の充実	2.8%	56.3%	30.3%	7.7%	1.4%	0.7%	+0.75

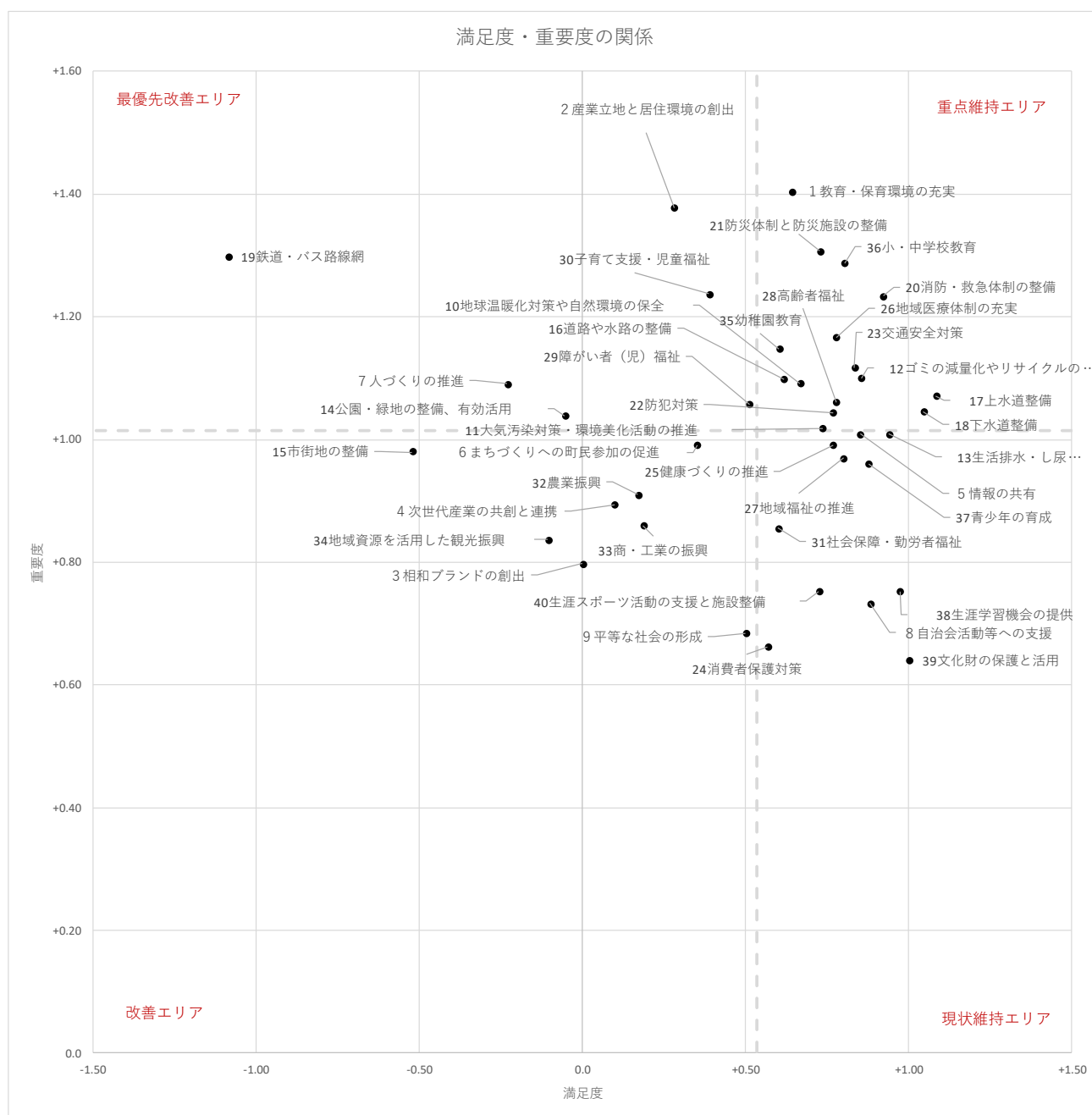
各種施策・事業に対する重要度



満足度と重要度の関係

満足度と重要度の項目ごとに相関係数を算出した上で、縦軸を重要度、横軸を満足度としてグラフ上に表示する。満足度、重要度それぞれの全体平均を中心に4つの領域に区分し、以下の区分で施策の改善の緊急性等を分析する。

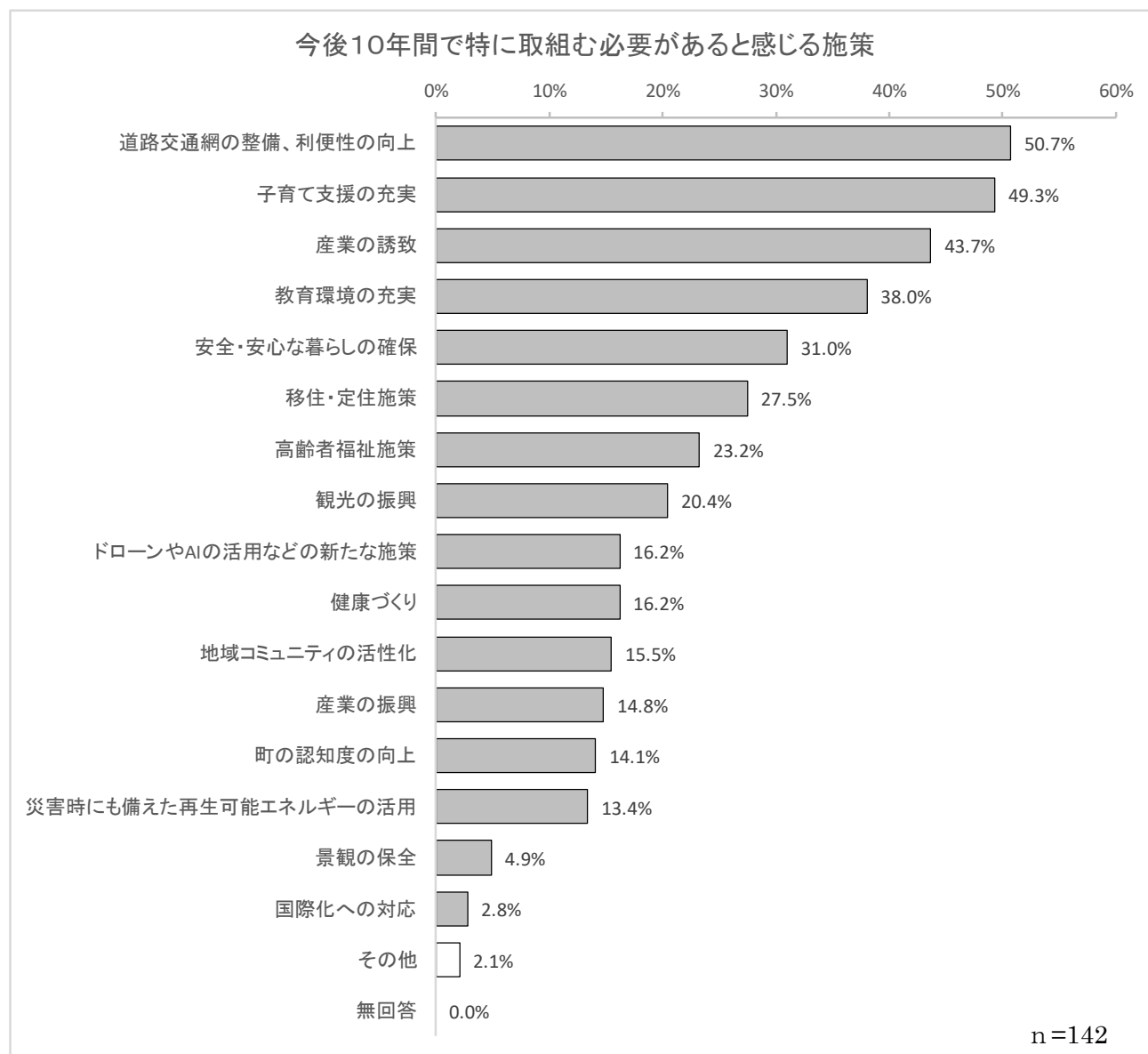
領域	説明
最優先改善エリア	重要が高いものの、満足度が低い領域。最優先で改善が必要
改善エリア	重要度は低く、満足度も低い領域。重要度が低いので最優先ではないものの、何らかの改善が必要
重点維持エリア	重要度が高く、満足度も高い領域。現状は問題ないが、町民にとって重要度の高い施策であるため、満足度の水準を保つように注意が必要
現状維持エリア	重要度が低い一方、満足度が高い領域。満足度は高いので現状を維持すれば十分



住民アンケート同様に重要度はすべての施策・事業でプラス評価であり、「19. 鉄道・バス路線網」満足度が他の施策と比べて極めて低い。

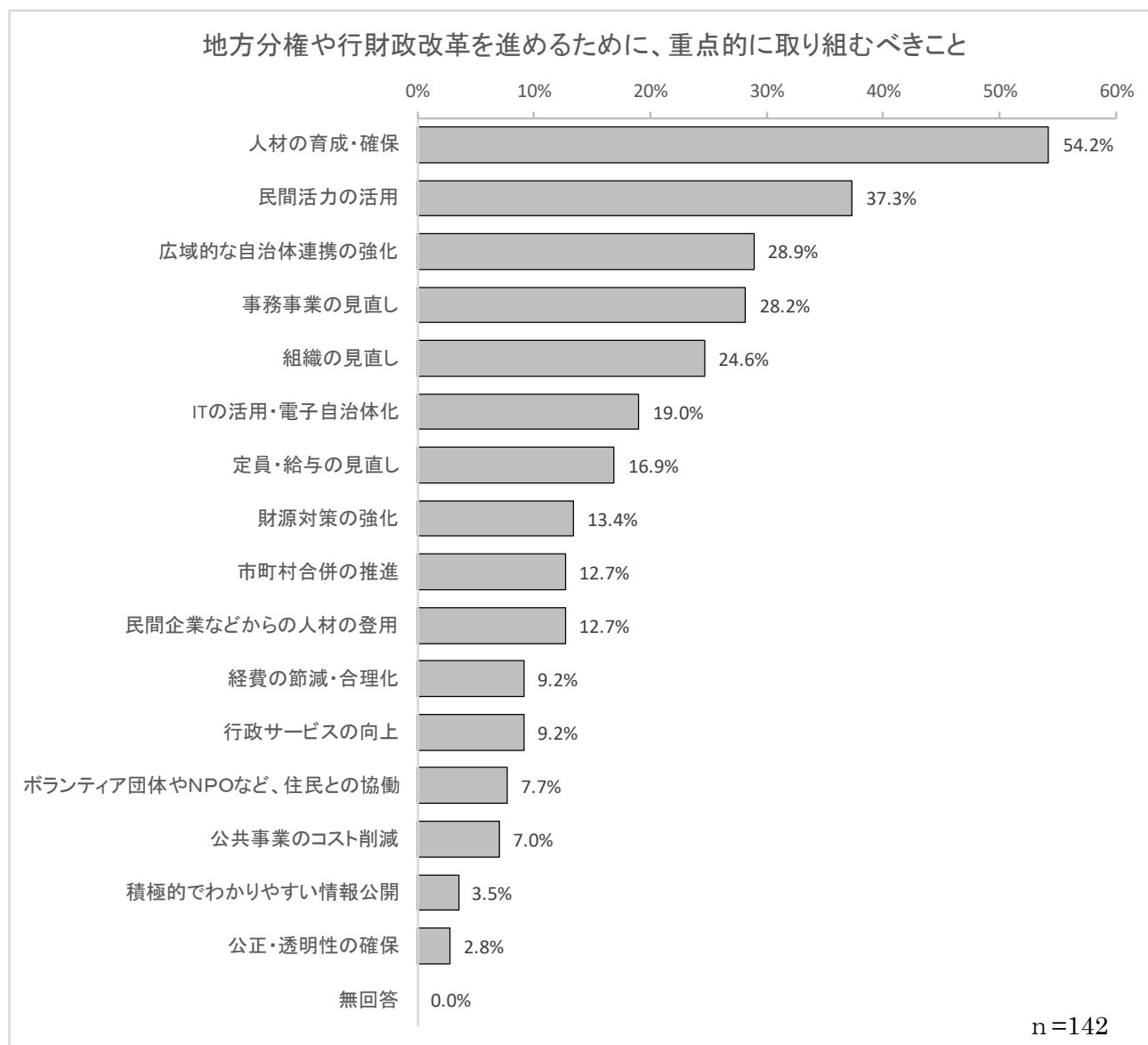
問3 今後10年間で町が特に取組む必要があると感じる施策のポイントを4つまで選んで下さい。

「道路交通網の整備、利便性の向上」が50.7%と最も高く、「子育て支援の充実」が49.3%と次に高い。



問4 あなたが、地方分権や行財政改革を進めるために、重点的に取り組むべきだと思うものを3つまで選んで下さい。

「人材の育成・確保」が54.2%と最も高く、次いで「民間活力の活用」が37.3%、「広域的な自治体連携の強化」が28.9%となっている。



問5 大井町の発展や豊かな暮らしを実現するために取り組むべき、新たな施策・事業に関する意見・提案（アイデア）について、回答欄①で施策の分類を選び、回答欄②に大井町の課題や強みを、回答欄③に課題解決に向けての具体的なアイデア・提案などを、それぞれ記入してください。

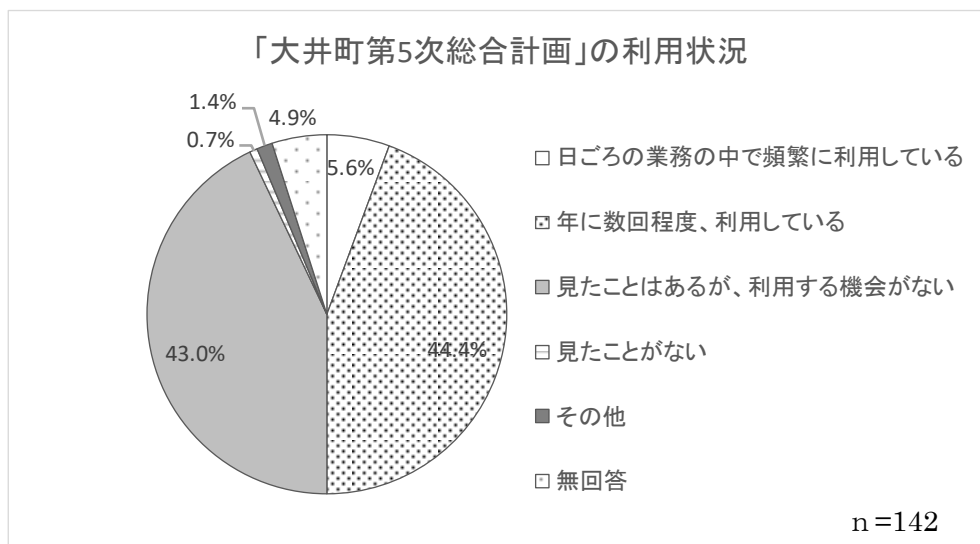
具体的な提案として最も多く回答頂いたのは「19. 鉄道・バス路線網」についてであった。次いで「2. 産業立地と居住環境の創出」、「教育・保育環境の充実」、「次世代産業の共創と連携」についても意見をいただいた。（詳細な内容は3. 資料編を参照。）

施策・実施事業		選択 回答者数 (人)	割合 (%)
1	教育・保育環境の充実	19	13.4
2	産業立地と居住環境の創出	20	14.1
3	相和ブランドの創出	11	7.7
4	次世代産業の共創と連携	19	13.4
5	情報の共有	1	0.7
6	まちづくりへの町民参加の促進	5	3.5
7	人づくりの推進	9	6.3
8	自治会活動等への支援	3	2.1
9	平等な社会の形成	1	0.7
10	地球温暖化対策や自然環境の保全	1	0.7
11	大気汚染対策・環境美化活動の推進	1	0.7
12	ゴミの減量化やリサイクルの推進	0	0.0
13	生活排水・し尿の適正な処理	0	0.0
14	公園・緑地の整備、有効活用	11	7.7
15	市街地の整備	6	4.2
16	道路や水路の整備	5	3.5
17	上水道整備	1	0.7
18	下水道整備	1	0.7
19	鉄道・バス路線網	29	20.4
20	消防・救急体制の整備	2	1.4
21	防災体制と防災施設の整備	2	1.4
22	防犯対策	0	0.0
23	交通安全対策	0	0.0
24	消費者保護対策	0	0.0
25	健康づくりの推進	4	2.8
26	地域医療体制の充実	3	2.1
27	地域福祉の推進	1	0.7
28	高齢者福祉	2	1.4
29	障がい者（児）福祉	0	0.0
30	子育て支援・児童福祉	13	9.2
31	社会保障・勤労者福祉	0	0.0
32	農業振興	4	2.8
33	商・工業の振興	3	2.1
34	地域資源を活用した観光振興	9	6.3
35	幼稚園教育	2	1.4
36	小・中学校教育	0	0.0
37	青少年の育成	0	0.0
38	生涯学習機会の提供	5	3.5
39	文化財の保護と活用	0	0.0
40	生涯スポーツ活動の支援と施設整備	6	4.2

(3) 総合計画の活用について

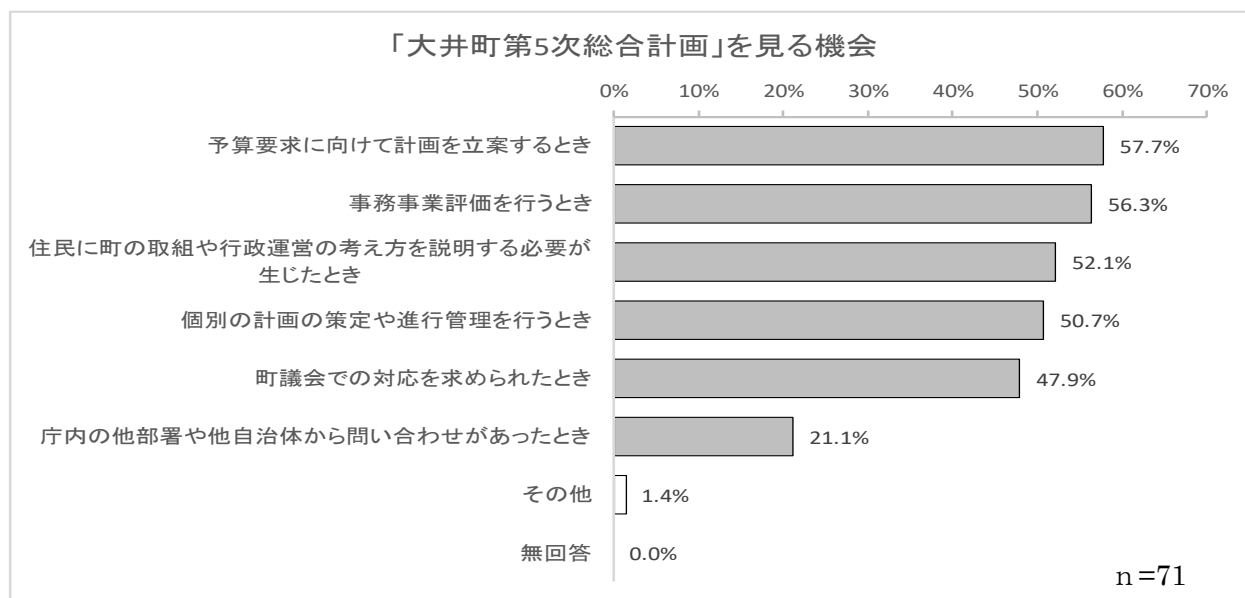
問6 あなたの「大井町第5次総合計画」の利用状況について最も当てはまるものを1つ選んでください。

「年に数回程度利用している」が44.4%と最も高いが、「見たことはあるが、利用する機会がない」と回答した方もほぼ同程度いる。



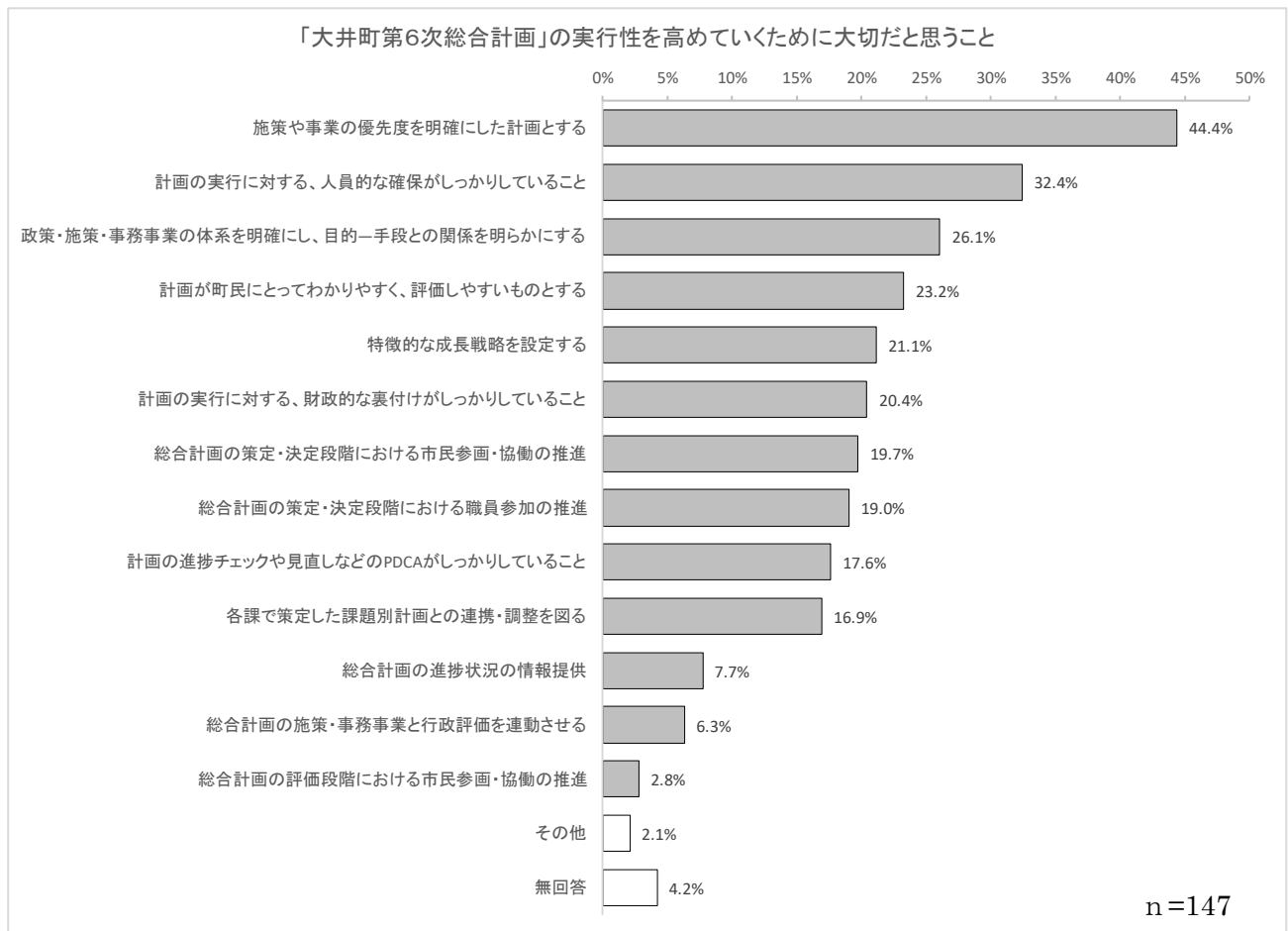
問7 問6で1日ごろの業務の中で頻繁に利用している、2年に数回程度利用していると選択された方にお聞きします。「大井町第5次総合計画」を見る機会について当てはまるものをすべて選んでください。

「予算請求に向けて計画立案するとき」(57.7%)が最も多いが、他の項目も一定程度回答があった。



問8 新しい「大井町第6次総合計画」の実行性を高めていくために、あなたが大切だと思うことを3つまで選んでください。

「優先度を明確にした計画とする」が44.4%で最も多く、「人力的な確保がしっかりしていること」が次に多い。そのほかの回答では意見が分かれている。



4. 資料

4. 資料

4-1 町民アンケート自由意見

まちづくり全体

地区	年齢	意見
新宿	40～49 歳	今後の広域行政を考慮した計画作りや行政の運営をしていただきたい。
	70 歳以上	現在、第4次総合計画、第4次実施計画が進行中と理解、まぎらわしく、さらに前期、後期と分かりづらい。分かりにくい点は全て文章で書かれていることでもある。すべて模式図、グラフ等で分かりやすく表示すべきでは？さらに各期の計画の違い、どのように町が変わってきたかを図等見える化しなければ、毎回同じではないか疑問になる。現状と課題が書かれているが、表面的で抽象的、例えば“地域活動”の中で自治会の加入率が年々低下とあるが、計画で解決するのでしょうか？“自治基本条例”には原則として加入することが定められています。基本条例の活用も聞かないが、もっと原則を貫いたらどうでしょうか？計画は一本線で示されています。更に支援、推進、整備、普及、努める、取り組む、検討であふれている。これは計画ではない。節目毎にチェックポイントを設定し、何をどこまでやるか、具体的に定め、達成しているかチェックできるようにすべき。現状ではP. D. C. Aのサイクルは回せないと思うし、期末に“達成した”で終わっているのではと危惧せざるを得ない。実施したことに対する反省や検討が非常に少ない。例えば「ひょうたん祭」でもその場がなく不満がたまっている。吉本などお笑い芸人の活用が盛んですが、明るくて皆さん喜ぶ効果があると思います。長期的にこれを続けるのでしょうか？町の品位、刹那的、眉をしかめる人達も少なくありませんが。演劇・音楽・アート等への関心を高め、脚本公募、町民の映画作成等、町民の活動的・長期的参加など芸術活動につなげられればよいのですが。町民・子供達のいろいろな活動、地域行事の参加が急激に下がっています。町民結集して行動しないと希薄な町になってしまうように思います。
河原	30～39 歳	町の区画整理が行われている中、本当に定住者が増えるだろうか？若者にとって交通網の不便さは特に感じるものであり、町自体に魅力がない。何を行っているか知る人はごく一部で、ひょうたん踊りも町のイベントではあるが、外部団体があまりにも多く親しみが薄れている。又、小田原の花火大会と日程が重なり、集客があまり望めないのではないかと？町の活性化、活力をどの様にと考えられたら。
	30～39 歳	今までのやり方を続けていくのではなく、時代の流れに合った情報発信、最新の技術を取り入れた施策を実施してほしい。
	40～49 歳	若い世代の定住推進。安全・安心に生活できる防犯対策や都市基盤整備を維持してほしい。大井町に住むメリットをより対外的にアピール出来る様なサービスを展開してほしい。
	40～49 歳	これから大井町がどのように変わっていくのか楽しみにしています。住みやすい、安心できる、自然がたくさんある、便利である等良いところは変わらずに、いつまでも住み続けたい街であるようにと思います。よろしく願い致します。
	50～59 歳	農地の調整区域の利用方法など余っている土地を運用出来る手段がわからない。神奈川県では、太陽光エネルギーなど環境対策に補助金があると聞いたが調整区域では町での許認可が必要と言われていた。県の補助金を町が上手く利用してやれる事はないのか？町民への指導や町全体の再開発として考える体制を整える必要があると思います。
	50～59 歳	公共施設が汚く、整理整頓されていない。職員の意識の低さを感じる。町の誇りを感じない。住民が町の発展を考えにくい。大井町として全国にも誇れるようなもの、ことがらが何かあればいいのに。今の時点ではアイデアもなく、どうでもいい。
河原	50～59 歳	参加しようにも日中平日なんて無理だし、気持ちも体力も余力がない。町民の参加は素晴らしいと思うけれど、意見をまとめる事は難しいと思うし、面倒が増え

地区	年齢	意見
		るのでは？と思う面もある。第一生命の撤退は大井町にとっても痛手だったと思うが、仕事、人材等補いきれずにいるように思える。
	60～69 歳	若い人が住みたいと思う町になり、活力を維持していきたい。
根岸上	16～19 歳	住民を増やしていきたいのであれば、他の町との差別化を図ることが必要ではないかと思います。現に、隣町の開成町は駅周辺にマンションを建てることで小田急の急行が止まるようになり、住民が増加しています。そこで問題はどのように他の町と差別化を図るかなのですが、私はA Iなどの最先端技術を用いて町づくりをしていくことも一つの方法かと思いました。例えば、改札にペッパーのようなA Iロボットを置いてみたり、学校に置いてみたり、A Iロボットしかいない店を作ってみたり。それこそ現代ではSNSがあるので、ネット上で話題になることは絶対だと思います。ただ、これはあくまでも一つの方法であり、A Iを毛嫌いする人は大勢いると思いますので、他の方法で差別化を図ってもいいと思います。全く持って参考にならないければ申し訳ありません。少しでも力になれば嬉しいです。これからも頑張ってください。
	20～29 歳	川に山、緑がたくさんあり、そんな環境が気に入って移住してきたこともあり、そんな環境がなくなってしまう、減ってしまうことはないことを祈っています。交通の便は良く、都会に行くことも難しくないので、大井町は都会化を避け、現在のゆっくりとした人の温かい町として発展を続けてほしいと願います。
	40～49 歳	根岸上の高齢化は深刻です。現役子育て世代がいない。理由は様々なのでしょうが、働く場所がないのではないかと思います。当たり前ですが現役世代が定住しないと税収は増えませんか、公共・行政ができることはどんどん限られてくると思います。
	60～69 歳	町長提案の協働によるまちづくりに賛同します。人口1万7千人あまりの小さな大井町でも地域性があります。身近な地域での暮らしの問題、福祉問題を他人事でなく自分自身の問題として受け止め、対応していく住民の姿勢、そのことに対する行政の応援、一緒に話し合い、行動する姿勢が大切と考える。（地域共生社会の実現は福祉の世界だけのものではありません）そのためには、町の職員一人一人が「1生活者」として、地域に出向き、困りごとや地域課題について情報収集し、時に話し合いに参加したり、課題解決に向けた提案や、町に持ち帰り協議する取り組みが必要と考えます。住民の主体性を待つだけではなく、主体性に火をつけるのも町議員の役割と考えます。その延長戦に住民主体の街との協働によるアイデアや実践、資源が生まれてくるものだと考えます。
	70 歳以上	大井町の地域資源は良く知らない人が多いと思います。今からでも掘り起し、活用するよう、町職員と住民が協力して取り組んでください。町内の人材はあまり知られていません。人材活用バンクの設置により、協働のまちづくりを進めて下さい。
根岸下	30～39 歳	保育園をふやしてほしい。国際交流。企業誘致。室内公園。
	40～49 歳	大井町に住んでまだ3年も満たないです。山々が見え、小田原方面には海もあり、自然豊か。高いビルが並ぶばかりが良いとは言えないかと再認識しています。まず『足柄上郡』であることはネックだと思います。神奈川にこんな郡があるとは思いませんでした。神奈川＝横浜的に思うわけではないのですが、人口確保すべきということでしょうか。特色を押し出したいですね。俗に言う右ならえで、他自治体と同じことをしていても横浜へ流れる。都会へ流れる人が減るとは思えません。トータルで都会の方が良いですから。わざわざ住みたい町にすべき策を考えていきたい。このアンケートに回答することで思ったことです。
市場	50～59 歳	開成町、山北町等々は、行きたい店や個性が感じられる努力をしていると思う。大井町にはどれも中途半端なもので、立地条件がそれほど悪くないのに、なぜ工夫できないのか。町政の問題なのか、町民の意識の問題なのか、これからますます他の市と差が出てしまう事のないように希望します。

地区	年齢	意見
	70 歳以上	子育てしやすい町にすべき。他の地区の研修などをして良い所を学び、町でも進めてほしい。高齢者を寝たきりにしない活動に力を入れてほしい。農業にかかわる人達をきちんとサポートしてほしい（農村公園など）。少しでも働ける人、高齢でも働ける人の活用。
	70 歳以上	菖園、ひょうたん池等活用して大井町の見せる観光を、近隣の町を見習ってもっと力を入れてほしい。
馬場	20～29 歳	道路設備や草刈り等、人々が生活しやすい町にしてくださっている事、そして工事や草刈りをしてくださっている方々はとても大変な作業なのに、この暑さの中、働いていて本当に感謝しています。「ありがとうございます」と道を通るたびに思います。今後、この町が住みやすい町になる事は嬉しい事です、この町が昔から変わらない緑や自然、いつ帰って来てもホッとする雰囲気は残しておいてほしいです。難しい事かも知れませんが、町民が安心して生活できることを願っています。
	30～39 歳	大井町は自然と利便性が高い次元で融合しており、とても住みよいまちです。あまり栄えないで欲しいなというのが正直な気持ちです。（今の静かで豊かな環境をととても気に入っているの）そういった良さをアピールし、人口減少を少しでも食い止められればと思います。これからも大井町がいいまちであることを願います。
	40～49 歳	色々な資源があるにも関わらず、ずっと変わらない事を良しとしている。町づくりも、大井町育ちの人ばかりが寄って意見を言っても変わらない。もっともっと良い町になるはず。もったいない！
	70 歳以上	歴史を知り、文化的な美しい町になれるようにしたいです。
宮地	70 歳以上	大井町に住み思う事は、半世紀後の町の財政と活性化、庁舎の改築にあり、期間は、発展の進度を視る目安の歳月で、町を俯瞰するに中央部を国道 2 5 5 号、周囲を囲む様に、南北に東名、国道 1 号、国道 2 4 6 号、小田原・厚木道路が通っている。然し、天下の東名、国道 1 号に囲まれ乍らも、当町との交わりは薄く、通過交通のドライバーには、存在すら皆無とを感じる处でもある。過去には、シンボルたる第一生命があり、東名から聳え立つビルを見て、「あれは何処にあるの」と囁かれた過去もあったが、世の流れ、進歩は光陰矢の如しで、存在感すらなくなってしまった。誘致価格の競争力等について。当地は公示地価が低く、前期の如く横浜等にも車で約 1 時間、J R 東海道線を利用した座れる通勤も同時間で通う事が可能であり、遊休地に近い土地の活用は、企業誘致にも魅力があり、文教・住居地区等としての開発もアピールができ、更に、適した有効活用の地域も有る事から、此れ等を P R して、積極的に誘致、地域での労働力の供給と、将来の町造りで、半世紀後の活性化を図り、実の有る計画的な青写真の作成を期待したい。日本の一極集中は、今後とも続く事が窺われ、会社、企業にあっても行き詰まったエリアを拡大した 2 次的エリアの確保と支援体制の確立を余儀なくされる事は必至であり、現実的に此れを裏付ける様に横浜市営地下鉄（東急日吉迄の延伸・相互乗り入れ）・各私鉄等の延伸化（小田急多摩線の J R 相模原駅迄の延伸化、相鉄の J R、東急の乗り入れ、湘南台迄の延伸）が絶えず進み、此れらの進捗状況、環境の変化に追従、時の流れに乗り遅れない為にも地権者住民との意思疎通の確立と一体化した強力な開発計画・受け入れ体制の確立を検討する事が必要となる。役場北側の住宅開発が進み、酒匂川左岸農地の後継者不足、高齢化による放置地域化への危惧、懸案に対し、現在の住宅開発マニュアルを生かした地権者との意思疎通、今後の開発計画と見通しを両者が共有すると共に転用化の法整備も怠る事無く対応しておく事が必要である。又、国家予算の比重は、福祉に大きく傾いており、今後とも膨らむ事は、マスコミにも広報され、将来に亘る予算関係の比率も明示されている。其れに比べ、地方交付税の、減額化の一途が必至と今後を想定せざるを得ない。其処で、前述の鉄道、道路交通面の利便性をアピールできる我が町を各企業に広報する等、積極的な誘致が出来る様に企画立案から一歩前

地区	年齢	意見
		に進んで欲しい。小山町のふるさと納税（２５０億円、２０１８年度決算見込額・対象外となった４市町２位の寄付額）を真似る必要はありませんが、日ごろの鋭気溢れる努力が、全国に響き渡った事は間違いありません。小山町の温泉では、企業努力と思える老人の鋭気あふれる活用を試みています。シルバー人材が、町の収入に繋がる活用、其れは、企業の誘致であり、町が運営に協力して収益を上げ、企業の収入を増やす事です。年金の一步進んだ株式運用等、マスコミを席卷している国家事業を見るに、財源等の面で、年金支給時期を繰り下げる等の発案が幾度となく出ており、支給額の減額（マクロ経済スライド）の中では、受給者の生活が厳しい現況であり、健康で体力さえあれば、年齢を越えた人材の確保も出来るものと予測される。更に、此れらの人材確保センターの設立と運用も視野に入れた計画案の立案も期待する。先を読み、動き、たゆまなく一歩前に出る企画は、１０年毎に見直し、公示して、町民との一体化した推進を行えば、何時か実が確実に付くと思う。５Ｇが世界を席卷、ＡＩやロボットあらゆるものをインターネットに繋ぐＩＯＴが、今後の世界を仕切る第４次産業革命を起こそうとしている最中でもあり、過去、蒸気機関（第１次）、電力活用（第２次）、コンピューターの普及（第３次）に続く産業革命は、他国に１０年の格差を付ける事が出来、１０年の安泰も得る事と為ると云われており、当町も将来は、是非とも此れ等に肖りたく、住み良い町を後の住民へ引き継ぎたいものです。アメリカ（シリコンバレー）、中国（シンセン）の如く、良き風土、自治体、住民等の条件、環境が揃えば、自ずと企業が近づいて来ると思われ、近未来に希望を持ちたいと思う。
金手	20～29 歳	大井町の中心の発展ではなく、もっと端の地区のことをよく見て欲しい。相和地区のことばかりでなく、他の地区にも目を向けてほしい。平地だからといってほったらかしにされている気がする。（交通の便が悪いので移動は自家用車になってしまう。公共の交通機関など無いに等しい。バスの利用などしたことがない。）近くに病院がない。医療機関の充実を（特に小児科）。そうすれば人口も少しは増えるのでは？
	30～39 歳	新規で引越してきた人へのサポートが不足と感じました（全てにおいて）。程良い田舎で静かで住みやすい町だと思うので、そのあたりのサポートがあれば、より良くなると思います。特に既存在住の方と移住者の間には都会、田舎の溝があるので、その辺も行政がサポートしてもらえるとありがたいです。
	30～39 歳	国の政策通りに行うのではなく、町が自主性や主体性を持って、現状の町に適した政策を行っていけば良いと思う。既にそういった行政を行っている自治体もあると聞くので、視察に行ったり、モデルケースを検討したりしていけば良いと思う。国の許可等を待っていたら、何も進まなく、町は衰退するだけだと思う。アンテナを広くして、良い政策を行っているものは、良く吟味して取り入れていけば良いと思う。
	50～59 歳	大井町の強み、弱みの分析と問１５の中での優先順位の決定と明確化。外部の方にお金を町に落としてもらう取り組み。産業の立地、学校の誘致、道の駅など、特産物を作り町全体で盛り上げる。四季の里など、町の観光施設が中途半端。高齢者などの交通事故を防ぐ為、町の循環バスや移動販売車など。
	70 歳以上	他町村並みの人集め。飲んでこの町に多くの人を集められる様な事、場所を実現して欲しいですネ。
上大井	16～19 歳	町としての事業も他町に比べて遅れている様に感じています。これからの時代に合った施策に期待します。
	40～49 歳	地域の自治体としての在り方を考える前提として、大井町という規模で独自の事業を展開していくのは小さすぎると思う。例えば「相和ブランド」などを行政サイドで売りに出したとしても、ほぼ費用対効果は限定されてしまうと思う。本来であれば２市８町の県西エリア全体で行うべき「地域の独自性・ブランドの売出し」をしていかないと非常にコスパの悪い投資となってしまいうだろう。教育や福

地区	年齢	意見
		祉などについても、同様のことが言える。特に初等教育や子育てについては、自治体の垣根を越えて学区の廃止、校舎の有効利用、プールなどの施設交流、体育館や運動場の開放、ネット配信を活用した専門授業の配信など、行政の都合ではなく、受講する子供たちのデジタルレベルにあわせた施策をもっと検討すべき。行政や議会の年寄たちが提案するアイデアは古くさいものばかりなので、まったく興味が湧いてこない。ハコモノは年配の人には魅力的かもしれないが、若い世代には負担が増えるイメージしかないのではないかと。もし行政改革がすすまないのであれば、町は余計な事業にお金を使うことはしないで、現状の効率の悪い現場を見直してコスパの高い運営をしてもらいたい。特に「大井町」という自治体に愛着はないが、県西エリア全体の地域性やコミュニティには愛着もあり地域貢献もしていきたいと思っている。町単位で「大井町だけが良ければ…」という発想ではなく、地域全体で住民にとって住みやすい町になることを期待している。
	40～49 歳	総合計画等を検討する時、高齢者と子供に意識が行きすぎではないですか？確かに高齢者は敬うべきだし、子どもは未来の宝ですが、一番行動力があり、これから近い将来を担う「若者たち」に関する施策が見受けられません。「若者が住まない町に未来はない！！」と私は思います。
	50～59 歳	私たちは海にも山にも近く、まだまだ自然に恵まれた素晴らしい環境に住んでいます。景色を最大限に生かし、住民の力を利用しながら大人から子供まで心豊かに人生を過ごせる地域を作り上げる努力をお願いします。成功している都市一地方をよく研究して下さい。
	60～69 歳	自分自身が年を重ねて来ると、様々なことに不安を感じます。日常生活はもちろん、特に自治会単位での町の行事への参加や数年後に担うべき組長としての数々の仕事。「町民大会」には、どなたも参加されず、仕方なしに組長と役に就いていられる方が、ケガの心配をしながら出ています。毎年「例年通り」と行事を処理しているようにみえます。
	70 歳以上	既存の施設（公園や建物）を有効に活用し、ムダな施設は廃棄し、新たな施設へ予算を回す事が必要。例．ひょうたん池は以前お祭り等で使っていたが、今は何も使われていない。
西大井	50～59 歳	町に活気がないように思う。交通が不便である。何か他の町のように特産物を作るとかアウトレットやディズニーランドみたいな施設などを誘致して町の活性化をしてほしい。ただ税金だけ納めていて役場職員の給料を町民が払っているみたいな殿様商売に思えて、税金払っているのがばかばかしく思う。職員の給料を少しカットするとか、大井町のために職員がどれだけ努力してがんばっているのかを少し見せてほしい。何もしないで税金だけ取るのでは詐欺に近いものがあると思う。このまま何もしないでしないのであれば町はすたれる一方である。町民に意見を求める前に職員で何か計画を立てて、それを町民にお伺いを立てるのが筋だと思う。魅力がない町にいつまでも住みたいとは思わないと思う。
	60～69 歳	車免許返納者へ「おでかけタクシー券」を配って欲しい（5 千円／月）。10L ゴミ袋の新設。体育館内でのウォーキングルートの確保。以上の事を要望したいと思いますので、ご検討をお願いします。
	70 歳以上	町としての基本方針や夢はあるが、町民全体に具体的に見えないものが現状である。各課による事業運営はされているが、各課の連携による職員の発送や新たなものを開発していく総合的な見方、考え方が必要である。人口減少が課題となる将来において、安全、安心な町づくりはもちろん、大井町に住みたいという夢や喜びがもてる町を実現したいと強く思う。そこで特色ある大井町としての将来・未来像を考え、質的に高い評価をしながら、活力あるものにできたらと思う。住民参加型の福祉に力を入れたい。
篠窪	60～69 歳	「大井町の発展」の発展とは何か。場合によっては発展しなくても良いのではないかと。発展の意味を良く考えて計画して下さい。

地区	年齢	意見
柳	50～59 歳	防災、防犯、交通安全など地域の安全活動、アンケートなど町民の意見を聴く機会の充実。文化産業まつりなどのイベント。ゴミの減量やリサイクル活動。高齢者の手助けなど住民でできる程度の福祉活動。公園など身近な公共施設の内容の検討。
上山田	50～59 歳	最近 I T 企業が出張オフィスを自然の中につくる、又は借りるということがあると聞きます。東京からの距離、高速、新幹線利用など条件はあっているかなと思います。富士山が見えて、海も見えて、土地代が安くてと、インフラの整備、Wi-Fi などの高速回線整備などがあれば、相和の空き家も利用できるかもしれません。自然を守ることも大切ですが、そこを利用していくことも町の維持のためには必要ではないでしょうか。
下山田	40～49 歳	ひょうたんに限界を感じます。便利になってほしい反面、静かな環境を保ってほしいです。

情報公開・開示

地区	年齢	意見
河原	70 歳以上	アンケートの結果は公表して欲しい。
根岸下	70 歳以上	広報。毎月出ているのですが目を通すのみで申し訳ないのですが、テーマを決めたものを毎月自由投稿してもらい、その中から面白いものや為になることなど普通に乗せてある記事以外の変った？事柄もたまには良いのではないかな。今月はどんな記事があるかな？素人の考えは面白いと言う様なこと、あったらいいなと思います。
市場	50～59 歳	結果（検討）を役場内の掲示板に貼付を検討願います。
坊村	50～59 歳	B I O T O P I A の事業状況について知りたいです。大井町の観光施設としての役割もあると思いますが、現在の集客力、来訪者の満足度、町としての収支状況など。
金手	20～29 歳	3 の行政の施策や事業への取り組み…の質問については、町がどのような取り組みをしているのか分からなかったのので答えられなかった。問 1 5 についても現状がわからず答えられなかった。これからの大井町のことも大事だが、若い人たちに、今の大井町の現状を知ってもらうことの方が大事ではないかな…。
西大井	60～69 歳	本アンケート依頼者に集計結果を通知して欲しい。

環境共生

地区	年齢	意見
河原	60～69 歳	広報誌や回覧物のペーパーレス化を推進する。出来る限りホームページを閲覧するようにする。
上大井	60～69 歳	太陽光発電の再生可能エネルギーを、町の施設に設置して、町としての取り組みを進め、アピールしていく。
西大井	50～59 歳	現在長い間使用されていない土地にソーラーパネルを設置して、発電された電気を住民に分配する様にすれば住民の電気代の負担が減り、町全体が豊かになっていくと思う。

生活環境

地区	年齢	意見
河原	70 歳以上	ベンチの設置は安全面で無理なのではないでしょうか？（足が悪い為、車移動が毎日です。少しでも歩きたいのですが、足や腰が痛くて。ところどころベンチ又は椅子でもあれば、買物でも行けるのですが。）
	70 歳以上	大井町には大きな公園、子どもや高齢者が休む所がほしいです。
根岸下	30～39 歳	プロパンガスの高額な利用料金に苦しめられています。ぜひ都市ガス配管を整備し、ガス料金の負担を減らしてください。
市場	16～19 歳	お手洗いが臭う所が多くあるので改善するべきかと思います。夜道に暗い場所が多くあり、子供や高齢者、障がいの方が安心して歩けないかと思います。また、自然の事なので仕方がないのですが、蜂がよく飛んでいるのを見かけます。危ないと思うので駆除すべきでは？と思います。
馬場	16～19 歳	街灯が少なくて帰り道が不安です。
	20～29 歳	6 月に移住してきました。以前は群馬にいました。比較して、思ったことの 1 つに“街灯が少なく、夜になるとまっくら”というのがあります。本通りはお店があり明るいですが、一つ道に入るとまっくらです。不安に思うほどです。電気で照らせる安全もあると思います。群馬に比べて、夜も人通りがあります。お考えの 1 つに入れていただければと思います。
金手	60～69 歳	24 時間呼べるタクシーが欲しい。
	70 歳以上	金手地区です。日用品を必要とする店がほしいです。
上大井	20～29 歳	街灯を増やしてほしい。夜、暗い道が多く、帰宅時怖いと感じる。狭い道も多いので、せめて明るく歩きやすいようにしていただきたいです。
	40～49 歳	夏期と冬期で夕方のチャイムの時間に変更される事に不満。冬期だからと 4 時に帰宅する子供はほとんど居ないし（チャイムを聞いて）通年で 5 時なら 5 時と決めて鳴らしてもらった方がわかりやすい。特に多くの子供が通学路や遊び場として使用する湘光園に時計がない為、チャイムを目安としている子供も多く、決まった時間に鳴る方がありがたい。
	60～69 歳	オオキンケイギクという特定外来生物が目立ちます。成育旺盛なので広報などに写真を載せて知らせたい。知らない方が多いと思うのです。※今あるものを利用しながらも、必要な所にはしっかりお金を使って欲しい。豊かな自然の中で共生、共働元気に暮らせます様に。ありがとうございます。
	70 歳以上	有害鳥獣対策。鳥獣対策に対してもっと積極的に行なっていく必要がある。ひとつの方法として、各市町で専門職として 2 人ずつ採用し、合同のチームで捕獲に専念させ、期間終了後は各市町に戻り、一般業務を行うようにする。
西大井	50～59 歳	非常に不満な点が一点あるので申し上げておきたい。相変わらず、野焼きが横行し臭いが蔓延している。他所から来る人に大変はざかしい思いをしている。
下山田	60～69 歳	マスコミで報道された、水道料金が全国で一番高いのが大井町でした。近隣市町村に配給して安くしたら。

ごみ

地区	年齢	意見
根岸下	70 歳以上	職員の方が毎回ゴミ出しの時に新聞で中が見えない様にしています。まずは職員の方からちゃんとやってもらいたいです。家には 20L 袋も有ります。スーパーに行く時は、ペットボトル、トレーなどを持っています。
金手	30～39 歳	燃えないゴミの日を増やしてほしいです。ビン、カン、ペットボトルが毎週だと嬉しいです。
	70 歳以上	ゴミ処理、水道事業など、町単独で効率が良くない事業は隣接する小田原市や足柄上部など、広域単位で解決していくべきと思う。

地区	年齢	意見
篠窪	70 歳以上	ゴミを前日に出す人がいる。
赤田	16～19 歳	プラスチックの問題です。どこの家庭でも気になると話が出ます。5 町の中で 1 番分別の出来ていないのは大井町だと言う事ですが、もっと分別を解り易い方法で伝えて下さい。家庭ゴミの正しい出し方以外に燃えるゴミとプラスチックの正しい分け方が知りたい。大井町が 1 番悪いとのことですが、何がどう違うのか教えて下さい。出来れば一般の人が現場に見学に出向いて実際に見させて頂くことが一番ではないか。

都市整備

地区	年齢	意見
吉原	50～59 歳	まずは区画整理地区の整備と活性化を早く…
	60～69 歳	スマートタウンの所に出来る公園には子供たちが遊べるのはもちろんですが、健康のため、散歩やジョギングなど出来るとうれしいです。高齢者の方も日かげやベンチをおいてコミュニケーションがとれたら楽しいと思います。
新宿	40～49 歳	子どもたちが遊ぶ場所が少ないので作ってほしい。ペットを飼っている人も多いので、ドックランがあると飼い主同士の交流も深められるし、そこから人とのつながりも広がると思います。 大井高校の前の道路がもう少しにぎやかになりませんか？公園、スーパー、大型店舗 etc.。子育ては終わりましたが、今まで子供が遊ぶ所が無く、つまらない町だと思う。相模金子駅横の線路下の通過が、道幅が狭くとても不便！！住みやすい大井町にして下さい。
	40～49 歳	安全で広い道路や公共の場の確保をお願いします。
	50～59 歳	現実味の点ではイマイチですが、県立図書館を誘致できたら面白いのではないのでしょうか？旧第一生命（ブルックス）本館は大半空いていたと思います。元々大量の文書を扱うための建物ですし、横浜・川崎を分館として残せば、県立図書館としてのシステム維持を低コストで実現できそうに思えます。
	60～69 歳	税収が少ないため思いきった事は出来ないかもしれないが、これからの町の発展のためにも町内で買い物などがすませられる様な施設も必要である。
	60～69 歳	紫水大橋から国道 255 線へのアクセスを早期に実施する事を希望します。経済効果及び交通の安全性（利便性）を考えると大切な事に思います。
	70 歳以上	大井町は風光明媚な地で背に秀峰富士山を抱える町であるが近年住宅が建て込んで来て、電信柱・電線がその風景を壊している。震災対策と景観保全を考慮して、電柱の地中化を進めて欲しい。
	70 歳以上	最近特に感じていること。大井町には散歩途中に座って休むような小公園（長椅子等）が全くない。病院等で「歩け歩け運動」を推進されているが、家を出て戻るまでに休憩できる場所（ちょっぴり座って休める）がない。小公園等の設置、長椅子等があると一人で休憩するもよし、近所の方とのコミュニケーションの場ともなる。※相模金子駅前公園内に木製の長椅子があるが、板が抜け落ちていて、この近辺の唯一の貴重な公園のはず…行政に期待する私が悪い？「夢」。国道沿いは別にして、国道から一歩外れると住民のコミュニケーションの場が全く無い。（自治会館は距離がありすぎる。）雨がしのげる場所が欲しい。周りの方皆さんが望んでいる。
	70 歳以上	町の職員であるならば素直に町民の意見を聞いて善処すべき所は善処してほしいと思います。御殿場線の「草」が道を「おおっています」この様な所を「放置」しておくと、「歩く人、車のすれ違い」に非常に危険です。ＪＲ東海に申し入れるべきです。町道を見回してほしい。小さな事を放置すると「大事故」につながります。

地区	年齢	意見
	70 歳以上	ランドマークになるような樹木の多い公園（大きい）を作るといいと思います。季節の花を植えれば観光客も来てくれると町のアピールになるのでは…。相模金子駅の公園並びに空地がありますが、そこへ送迎の車が駐車出来るような駐車場付きの公園にしたら良いと思う。J R 利用時に駐車出来る場があると良いと思う。
河原	40～49 歳	ひょうたん池周辺の広い土地を活用して、大きな公園など町民（老若男女問わず）が利用できる施設を作してほしい。中井町や開成町なども大きな公園がありうらやましい。子供達が安心して思いっきり遊べる公園、木陰があり、散歩やジョギングもできる公園等。
	40～49 歳	大井町には御殿場線の駅が 2 つ（相模金子・上大井）あるのに、どちらの駅の周りにも何もない。電車の本数が少なく昼間は 1 時間に 1 本しかないのに、電車に乗りたくなった時、次の電車が来るまで何十分も待つ時など、時間をつぶせる場所が駅周辺に一つもないので、コンビニや喫茶店があれば便利だと思います。相模金子駅は切符も買えないので都内に行く時は絶対に使いたくないです。ロータリーもないので、子供を駅まで迎えに行った時は車を止める場所がないので本当に困ります。駅前を整備して使いやすくしたら、人口の増加や企業の参入につながるのではないかと思います。
	70 歳以上	河原立体の信号と道中について。道幅が狭く、御殿場関本線から町道 10 号線に入る車と信号待ちしている車のすれ違いが出来なく不便しています。又、垣根の枝が出ている為、あまり横には寄れない。10 号線の信号待ち時間が長い。10 年 20 年前とは車の量や車の大きさも増えています。段差をなくすか、待ち場所の幅をひろげるか、対策を早急にとってほしい。皆さん苦情があるのですが、どこに話を持っていったら良いか分からないのです。木の枝が道路に出て、ミラーがあっても見えない箇所が至る所に見受けられますので、町で巡回し、積極的に整備して欲しいです。
根岸上	16～19 歳	道路、歩行者、自転車用道路を作してほしい。
	20～29 歳	自転車専用道路等の自転車の安全確保をしてほしい。
	70 歳以上	町の財政と活性化について。当町を知る人にとっては、土地・環境の良さと住人の謙虚さも知られている。風光明媚で、且つ、静かな自然環境、温和な気候風土で、更に、酒匂川左岸にあつては、歴史も有り、文教、老後の生活環境等には、最適の地域である。現況は多くが田園であるも、其処に学校、IT 関連企業、介護関係施設、住居等が整備する今後の事を思うのも一案と思う。国道 255 号の沿道には、自動車のショールーム兼販売所が数点立ち並び、飲食店、スーパー等と軒先を競っているが、半世紀後を想定するに、都市化の波が押し寄せて来る事は必至であり、アマゾンの如く物流センター、多種のショールームビルやララポート等の大型複合施設を誘致し、立地と為れば、相互が競合、コラボして、更に活気が出ると共に県西北部の空白地域が埋まり、更なる奥行きのある発展に繋がり、他施設への影響も大きく、繁栄の予知を確実に現実へと導く事が出来ると思う。参考であるが、過去には、閑散とした横浜市港北区にある一帯も首都高速羽横線との連絡道路が完成、アクセスが良くなった事と、J R 横浜線周辺の住宅環境も整備拡充して一段落した処で、周辺の道路交通円滑化の拡張工事と共に、後を追う様に集客数を見込んだララポート、イケア等の大型施設の進出と、此れに呼応した近隣の多くの住民の車が渦を巻く様にして、此れ等の施設へなむら（魚群）の如く流入して来る。近くの商品センター（ロピア）も大型化して、ロータリーエンジンの如く、客が其々の施設を回遊している状態で、週末ともなれば、此れら施設の中に在る映画館、ショッピングセンター、フードコートが散歩や憩いの場にも変るオアシスで、多くが家族連れで訪れている現況でもある。当然、各駐車場は、満杯に溢れて、夏、冬に於ける施設内は、冷暖房付の市民の憩いの場で、店から離れず収益率アップと勢い付いている現況でもある。其処で、当町

地区	年齢	意見
		にあっても、首都から100km圏内であり、当然、住宅関係の増加が見込まれ、鉄道の更なる延伸化、交通面で南北の基幹路線と飽和状態の国道255号のバイパス化を図り、利便性のある拠点地域造りを図れば、厚木、平塚等の経済停滞、道路アクセスの悪い地域を跨いで、横浜、東京から飛び地の如く、波及発展も考えられる。過去に、相模原市南区相模大野（小田急線の複々線化）、同中央区橋本（京王線の延伸）、横浜市港南区上大岡（京急線、市営地下鉄）、横須賀市汐入の駅前開発等の前例があり、今、正に海老名駅北側にラポート、厚木を見切った小田急線、相鉄線、JR相模線を中心に大開発が行われ、ビルラッシュ化しており、小田急線では、本厚木駅との差別化（ロマンスカー停車）も行われています。当町にあっても、予測規模に依っては、開成町、小田原市等との連絡協議機関の設置も視野に入れた青写真を準備しておく必要性も出て来る。前例の港北地区は、背後に在る東急田園都市線、JR横浜線の住宅群を約50年かけて造り上げており、此れらの例を我が町にも、半世紀後の展望を以って可視化出来る様にベース作りを望む処である。各家族を支援する住居群の整備と共に、家族へは、近隣にスーパー6店舗（イオン・業務スーパー・あおば・ヤオマサ2店・ロピア）が控えており、食品価格も他の地域より幾分安価で新鮮な物を供給でき、納得の生活環境を提供出来る。町の財政と活性化、更に庁舎の改築にあっては、此れらの企画進展が明確化した頃に、結果と共に自ずと現実化され潤う事に為ると思う。
根岸下	20～29 歳	役場付近に造られた家々ですが、元の土地は田んぼでした。景観や、生態系のことを考えると、非常に良かったと思っていました。今、住宅地として取り扱うのなら、ランドスケープをもっと考慮してほしいです。緑と共存すると人の心は豊かさをたもち、それを維持し続けようという意味も生まれます。今、町内にある公園は美しくありません。公園のあり方も町づくりとともにみなおすべきだと思います。ただ、山間部の放置された土地や、所有者と連絡が取れない土地の自然は別で、大きくなりすぎた木や、手つかずの土地は、新たな制度で変えていく必要があると思います。大井町をただの人が住む場所ではなく、自然が人と共存していて、ランドスケープという考えを根底にもち進んだ町にしたい。
	30～39 歳	空き家対策として、町が希望者から土地を買い上げる。土地区画はもう少し大きな区画で整備した方が良くと思います。
	40～49 歳	一番心にかかっているのは、第一生命あと（ブルックス）の未病エリアのことです。大井町の土地であり、シンボルである根岸の山々にかこまれた自然を、もっともっと大井町の人たちが広報としての役わりをになうべく、いろんな優待システムをつくってほしいです。大井町の人たちが通うような場になれば、もっと活性化すると思います。なんとかならないものかと…。
	60～69 歳	（１）図書館の改善。眺めの良いカウンター席とソファ席の新設。コーヒーマーカ。館内を飲食可能とする。ＡＶコーナーも。（２）公民館視聴覚室の空調設備が温度調整不能。（３）右図斜線部の道が狭くて危険です。
	70 歳以上	金子地区ヤオマサから松田に抜ける道路（町道）路側線（帯）が途中までで切れている。片側に歩行者を守るための白線を広い幅ではっきり書く。大井町は御殿場線で東西が分断されている。もう少し踏切の道幅を広げてほしい。町職員に土木や建築、環境等の専門家（職）がいるのだろうか。専門職を雇用するには今の町では小さい。大井町以外の一市五町のいい施策をこれからも取り込んで（例えば最近の子供医療費無料化や街灯のＬＥＤ化、人間ドック補助）大井町を一市五町の一番いい町にしていってほしい。ライフラインの強靱化…老朽化、災害に備えた！
市場	20～29 歳	高齢者の方が多いので、道路の幅を広げたり、夏はミストをたくさん色々な場所に付けてくれると良いと思う。また、夜になると外の街灯の少なさが目立ちます。女の人でも歩いて怖いと思われにくいよう、もっとたくさんあればいいなと思います。

地区	年齢	意見
	40～49 歳	全体的に御殿場線の渡る道が狭く歩行者が危険。さらに車のすれ違いのトラブルをよく見てきているので改善してほしい。大井町の発展という意味で考えると妨げになっていると思うので、J R が動いてくれないのかもしれないが頑張っしてほしいです。
	60～69 歳	相模金子駅前の道路整備。2 5 5 道路から J R 線路通過の為の道路（ガード下）整備拡張。
坊村	30～39 歳	交通手段が車や自転車くらいしかないのに、道路があちこちガタガタでまともに生活出来ない。他の町や市に住む友人から、大井町の道路は通りたくないと言われ、通学などに利用してもらえればスーパーやコンビニの利用者も増える為、お金を使ってもらえる。
	40～49 歳	夏休みなど暑い季節でも、子供達が外遊びできるように、公園に日影となる部分を造ってほしいです。小さくても屋根があるスペースや木陰など。
	60～69 歳	歩道を広くしてほしい。街灯を増やしてほしい。
	70 歳以上	子供達が安心して遊べる公園と町のプールを造って下さい。
馬場	16～19 歳	駅前の整備…とても暗い。この町は何でも中途半端で何がやりたいのかわからない。今を、このままを満足している人が多いのかもしれない。高齢者が多いので、それに対するサービス対応を考えるのが一番なのかもしれない。休日診療所はすばらしくひどいものだった。とても不安に思った。
	30～39 歳	公園を早く作ってほしいです。道路が通れなくて不便です。
	50～59 歳	車社会で、歩いている人が少ない。歩いて行動できる商店街やショップなど、魅力ある場所・建物・お店がない。相模金子駅が奥まっているので、駅が存在が薄い。ロータリーやお店、チェーン店の居酒屋などが駅前にあれば良い。役場周辺の開発が進んでいるが、まずは公園から先に作るべき。家を建てるよりも環境から優先して欲しい。開成のように区画整理していないように思える。事業の進み方が遅いのでは？大井町から新松田・開成へのバスの本数を増やして、どんどん利用しやすくして欲しい。箱根登山バスの方が運営が上手く感じる。テリトリーなどあるのかもしれないが、誘致してもらいたい。開成のあじさい、松田の河津桜のように、大井町も花の名所を作るべき。ビオトピアは自然にあふれているので、四季を利用して観光客を増やせるのでは？大井町も人を呼ぶ事が大事。酒匂川の河川敷をもっと利用できないか？開成水辺のように。
	50～59 歳	居住エリアと山里エリアを分けるような施策はダメ。他の近くの自治体も含めて、環境はどこにでもある。町民が豊かに生活するためには暮らし易さが大切。道路が狭い。車がすれ違えない道路が多く、幹線をもっと増やすべき。また、御殿場線トンネルも狭い。居住エリアの中で自然との共生ができるというのは魅力ある町づくりとなると考える。歩いて行ける中で今残っている畑や田んぼ、小川、木々を更に整備し、散歩が楽しくなるような町づくりをお願いしたい。（モデルケースとなると思います。自治体としてアピールできる）大井中央は反対な事をやっていて残念。どんどん居住エリアがつまらなくなっている。相和地区にお金をかけても、大井町の人はそのどこにどれくらいの人が行っているのか、利用していますか、はなはだ疑問です。
	60～69 歳	公園施設充実と緑化の推進
	60～69 歳	町外から人を招くために、スポーツ施設の充実をする。特にジョギングコースの整備、マラソン大会の実施、パークゴルフ大会、サイクリング大会の実施、そのためのコース等、また宿泊施設の整備を行う。（本町だけでできない場合には隣町を利用し共同で行う。）旧第一生命施設の利用が可能ならばそれを活かしたスポーツの町づくりを行う。マラソンやサイクリングは平野から相和地区へまたがる広い地域を利用するコースで行う。パークゴルフは平野部金手～西大井（上大井）に 2 か所、相和地区に 2、3 箇所設置する。

地区	年齢	意見
宮地	60～69 歳	まちづくりについて。公園を早く作って欲しい。体を動かせる、安心して子供達が遊べるプールもあると良いですね。山北町の様に、お風呂等の憩いの場、巡回バスの路線を増やして、車利用のない町づくりと夢は多いです。“Suica”が使用できるといいなあ等です。図書館を利用していますが、もう少し本が欲しいし、学生さんが多く利用出来る設備をしてほしいと感じています。
	70 歳以上	清水・小川等がいつまでも清らかでありますように願っています
	70 歳以上	①老人向けのスポーツ施設よりも、若い人（子供）向けの教育、スポーツ、予算を充実すべき。②川や道路沿いの「赤道」について、全て個人が対応（草刈）しているようである。これは行政（国、県、町）が責任もって対応すべき。③（※重要）ブルックス周辺の山の「町道」が通行できていない（できない）。この通行できない町道については、行政としての責任を明確にして、調査後に至急整備すべき。町道が通行できていないことは、最優先で対応すべき。6 次総合の対応は、この対応が完了して考えるべき。
金手	20～29 歳	街灯を増やしてほしい。コンビニを増やしてほしい。
	20～29 歳	会社員が帰宅した後に行けるスーパーマーケットや飲食店が非常に少ない感じがします。産業の誘致を行うにあたり、以上のような点が改善されれば嬉しく思います。大井町周辺には自転車ショップが多いです。ですが、自転車を心置きなく走らせることができる道路が少ないために、大井町が通過点としてしか利用されていないように感じます。自転車専用道路を整備することで、地域のにぎわいに繋がると思います。
	30～39 歳	歩行者の安全に考慮した道路整備をお願いしたいです。（歩道、グリーンベルト、ポール等）
	40～49 歳	子供が遊べる場所を増やす。道が狭い＝危ない。店が少ない。
	50～59 歳	住むようになってから 20 数年になります。地元民の中では大井町は住み良い所だと聞きますが、それを聞いて外から引越したいと思ってもいい物件（アパートなど）がありません。18000 人も住んでいて、大勢が集まるシンボリックな場所がない（例えば駅前など…）が、一方でゆっくりとした時間を過ごすにはいいのかもしれません。インターチェンジがあるおかげで大型スーパーが数件、他にも買い物施設があるのは魅力です。ただ、第一生命の撤退などで税収が減る中、“これが大井町”というアピールする目玉がないように思います。目玉を作って「ふるさと納税」に結びつけられればいいのですが…。内輪での満足度は高いと思われるので、外にアピールできる目玉があれば、今まで以上に誇りと活気のある町になると思うのです。町長のスローガンである「ありがとう！」に結びつくと思います。ポイントがはっきりしない文章になってしまってます。
	60～69 歳	新築を建てるより空き家をどうにかした方が良い。
	60～69 歳	大井松田インターをおりて、ミマスモールに入りやすくして欲しい。インター近くに入りやすい、利用しやすい店舗があると良い。
	70 歳以上	美化活動には、参加していますが、道路わき側溝の点検又は掃除はどうなっているのでしょうか？
	70 歳以上	相和構想も大事ですが、平地にも目を向けてほしいと思っています。過去のいきさつ等いろいろあるかと思いますが、小田急線に近い金手耕地（町で建てた立派なトイレ周辺）を中心に開発ができないでしょうか？単発的なものでなく、長期的な目で見、町民や将来的には観光客も呼べるような場所作り、あの場所は水資源もあり、幸か不幸か地主が高齢化し、今後耕作放棄地が増えていくのは目に見えています。JA と行政の連携で何とかならないでしょうか？私も高齢者の一人ですが、次世代の子供や孫に「住んで良かった」と思えるような町づくりに微力ながらお手伝いできれば幸いです。

地区	年齢	意見
	70 歳以上	紫水大橋周辺を土地改良し、会社、学校等の誘致をしてはどうか。開成の駅にも近く発展するのでは。
上大井	16～19 歳	公園が少ないくせに「外で遊べ。」など言われるので、納得できない。あと、デパートなどがあればもっと人も集まると思います。フェイジョア??はあまりすすめないほうが良いと思う。
	16～19 歳	車通りの多い道へカーブミラーを設置。歩道の整備。
	30～39 歳	子供の遊び場…この十数年何も変わっていない。（逆に湘光園の公園がなくなって減った）役場の北側は一体どうなっているのか全然わからない。いろいろなサービスを充実させるためにも、やはり人口が増加しなければ財源がないと思うので、都市基盤を整備し、土地を有効活用し、住民が増えればいいな…と思います。新しいことにチャレンジし、若い世代を増やすことで高齢者を支えることができるのではと思います。
	40～49 歳	72号線のまえかわクリニックの信号から役場へ行く道がとてもせまくて車同士がすれちがうのがとても大変です。交通量もけっこう多く信号が赤によっては渋滞することもあるので道を広くできるようにおねがいします。
	40～49 歳	道路整備に力を入れて欲しい。
	40～49 歳	建設中の役場付近の公園ですが、是非、子供からお年寄り、ペットも、皆が楽しく立ち寄れる場所になる事を希望します。
	40～49 歳	足柄モール横の交差点では、多くの事故が起きており、自分も、不便だと感じている。また道路を横断する歩行者も多く、危険である。足柄モール横の交差点には信号の必要性を感じている。
	40～49 歳	歩道を整備してほしい（自転車やベビーカーのために）。老人ホームができる、健康保険が高くなると聞いたので、老人ホームは作らないでほしい。公園に変質者が出ないように、トイレは作らないでほしい。
	50～59 歳	田んぼや畑が次々となくなっていくのを見て、日々残念に思っています。役場裏の緑地も宅地や公園になってしまい、すっかり姿が変わってしまいました。キレイに整備してしまうことだけが美化なのでしょうか？自然や田畑を残すことも大事なことを考えます。宅地や公園、企業誘致のための土地活用も大切だと思いますが、無計画に手あたり次第に進めるべきではないと思います。町のどの部分をどのような理由でいつまでに開発するのか、逆にどの部分は手をつけずに残すのか、そのバランスはどういう理由なのかきちんと綿密に計画を立て、住民にもちゃんと伝わる形で告知した上で進めるべきと考えます。いつの間にか宅地造成が始まり、道がなくなっていたりして良いとは思いません。周知徹底も足りていないと感じています。都心に近いのに豊かな自然や田園風景が広がっているのが大きな魅力の一つなのであります。
	50～59 歳	せっかく歴史ある町に住んでいるのだから、もっと子供達にこんなに自然豊かな町で、すばらしい人々に支えてもらっていることを教えてあげたいし、安全に住み良い町にしてほしいです。そして未来ある子供達にボール遊びの出来る公園や、元気に走ったりとびはねたり出来る公園も必要だと思います。この町を豊かにしていただいた方には、感謝できる場をもってほしいと思います。
	50～59 歳	道はぱがせまく、車のすれ違い出来ない場所や、カーブミラーの見にくい場所など、まだまだこわい場所があります。
	50～59 歳	宅地化が進みすぎではないか？このままだと30～40年後に老後の方の年齢層が多くなり負担になってくるのでは…？
	50～59 歳	富士見塚のハイキングコースへ行くための町道が危険です。渋沢へ通じる道路が開通したためと思われますが、春や秋などはハイキングの方が坂道を登ってきませんが、車が上から下から来て気の毒になります。せっかくのハイキングで事故にあわないかとひやひやします。歩道の設置などではできないのでしょうか？車の運転の方も時々、クラクションや怒声が聞こえます。バスやトラックも通るので、

地区	年齢	意見
		すれ違いもやっとなです。又、木が道路にはみ出ている見通しも悪いです。ご一考をお願いします。
	50～59 歳	上大井駅前が汚い。さびれている。昔からの店舗もあるが、良いイメージがないので撤去して再開発。駐輪場は狭くして（立体）イベント等を行なうようにすれば良い。役場は広いが遠い。
	60～69 歳	環境省「つなげよう、支えよう、森里川海」のプロジェクトの賛同アクションに小田原市が加わった事例がHPにある。 http://www.enr.go.jp/nature/morisatokawaumi/kyouseiken.html 大井町の地域特性を整理して取組課題を抽出し町民と共に進めることを期待。E x . 所々の軒先にある農作物スタンドの活用、駅の花壇の協力の活性化、駅付近のクリーン作業の小中学生参加による認識の確立（ゴミを拾った子はゴミを捨てなくなるもの）、空き家の把握と有効活用への町の関与、高齢者の活動場の提供（もっとボランティアを有形して活用すべき→〇〇員という形で他人が認識する形として活動してもらうなど）、不使用の田、畑、山林の活用（町の関与を！）。
	60～69 歳	自分の時の子育てもちょっと遊ばせる所がなく、現在の孫の子守も小田原もしくは秦野に行かないと長時間遊ばせる所がなく、有料でも良いので一日遊ばせる場所がほしい。30年以上思いつづけております。
西大井	16～19 歳	この町独自のまちづくりをするべき。公園など子どもが遊べる場所が少ない。日中、カフェなど少しゆっくり出来る所を作る。
	16～19 歳	大井町で生まれ育ってきました。私が小学生の時は、SNSなどが無かったので、しょっちゅう外で友達と遊んでいました。ですが、今の時代は小学生もネットの時代。それは仕方ない事なのですが、今の西大井町には、小学生が魅力的に感じる公園、施設などが1つありません。今の町長は何を考えているのでしょうか？高齢者にお金を使うよりも、これからの未来を担う子供達の事を考えるべきなのではないですか？高齢者の方を否定しているわけではありません。私が小学生の頃、大井町議会というクラスの代表がこれからの西大井町をどうしたいか発表する場で、「公園を増やしてほしい」「遊べる所が無い」という意見が多かったそうです。実際、私もすごく思っていました。何年も前の話なのに、そういう場所が西大井町にはひとつもない。まず、西大井町は、隣町の開成町を見習ってみたいのでしょうか？開成町は少しずつ都市化が進んでおり、教育や施設も整っている。細かい難しいことはあまり難しく言えませんが、これが正直な10代の意見です。少しでも西大井町が最高な町になることを、願っています。
	30～39 歳	湘光中学校の前の道路（正面直進）整備してもらいたい。（ガタガタ）（歩道もベビーカーや自転車が安全に通れるようにしてもらいたい）。公園は、あちこち（小さな）いっぱいあるけれど、草がぼうぼうな所や、遊具がなにもなく草ぼうぼうで放置されている場所がありもったいない。西大井町に引っ越してきたので西大井町を住みやすい楽しい安全な町にしたい！テレビにもいっぱいでてほしい！！
	40～49 歳	（上大井小学校）第一生命の所が、車も通行する提案が出ていると聞きました。もう少し子供の安全を第一に考えていただきたいです。（事故のニュースが増えている中…子供の安全がとても心配です）どんどん西大井町の田んぼを埋めて住宅を建てていますが、開成町に比べて西大井町の方が、交通の便や施設、お店等あまり整っていない気がします。その中で、西大井町にたくさん人が越してくるのですか？田んぼ（自然）を残して西大井町にしかできない事を考えた方が良くと思います。役場の所に公園を作っていますが、あまり進んでいないような気がします。早くしていただかないと子供が大きくなってしまいます。町民税を大切にに使っていただきたいです。西大井町の方が集まれるカフェレストランなどを作っても良いと思います。
	50～59 歳	今ある電柱を地中化する事によって、町の景観が良くなると思う。コストがかかると思うので少しずつ、町の予算でやってもらえるといいと思う。

地区	年齢	意見
	60～69 歳	無電柱化は夢かも知れないが、第一生命（株）が昭和 43 年に大井町に来た時、湘光園には電柱が無かった。景観、災害を考えると電柱が無い方が良い。
	70 歳以上	（山北のように）散歩やジョギングされる方を良く見かけますので、横浜市のウォーキングポイントみたいな企画も（増やす＝未病を防ぐ）やっていない人もこれから始めるきっかけになってくれたら良いかと思います。閑静と景観の良いところでリラックスできる、リセットできる場所があったら未病を防げると思います。仕事帰りでも休日でも、ふっと立ち寄れる場所があったらうれしいです。農業も後継者不足でとても深刻です。農地転用許可して頂いて、こういった施設ができますよう願っています。松田町の河津桜や開成のあじさい、皆さん癒しを求めていると思います。季節問わず一年中利用できる憩いの場所を。乱筆乱文になってしまいすみません。
篠窪	70 歳以上	具体的なアイデアはないが相和地区には耕作放棄の土地が目立つ。その土地を活用する方法はないものかと考えている。
赤田	40～49 歳	相和地区の自然をどう活用するかは町の職員の皆様もお考えいただいていると思いますが、長期的に考えてどうしていくか皆で考えていくべきだと思います。何にも手を入れないのも自然保護ですし、開発するのも地域活性ですし、私はあまり手を入れずそのままの相和地域赤田であってほしいと思っています。沖縄県の基地のような一方的な事はあってはいけないと思いますが。
	40～49 歳	山地と平地で考え方が違うと思われ、山地の人なので代々ある土地の管理をしなければならないが、今時の社会状況では若い世代の人は土地の管理まで時間も無く荒れやすい傾向であると思われ、米農家（田んぼを持っている）も買った方が安いっていうこの時代で豊かな暮らしというのは、考え次第ですが、農地などは放棄して普段は仕事して休日にどこかに出掛けるのが一般的と思われる。でも、自給自足的な生活をするのが豊かな暮らしと取る人もいると思うので、ブータンではないですが、豊かというより幸福度みたいなのを上げる方向はどうか考えるのはどうでしょうか？
上山田	40～49 歳	相和地区に子供達を含む住民の移住に関して、もう少しアパート・マンション・借家等の賃貸を増やして、とりあえず住んでもらう場所の提供をしてほしいです。その為に公共的に利用出来る交通手段を増やして車を持っていなくても、移動する事が楽になると良いです。子供と一緒に遊べる公園が欲しいのですが、駐車場を付けて欲しいです。交通手段が限られているので、車の移動となりますが、公園を見つけても駐車する所がないので困ります。商店街の様な、人がコミュニケーションをとれる場所があると活気付くのかとも思います。
下山田	20～29 歳	大井町は、相和地区はもちろん、道が狭いところが多いと思います。事故を防ぐためにも広くするなどの整備が必要と感じています。相和地区はお年寄りが多く、車を使わなければ買い物に行くことができません。最近は高齢者運転事故が多く、高齢者に免許返納を望むという声も多くなっているのではないのでしょうか。相和の人にとって車は生活する上で必要なものであるため、少しでも気持ちよく運転、暮らせるように、道の整備をお願いしたいです。
	60～69 歳	町道 4 号線の交通量が篠窪の橋の開通と共に増加し、朝のゴミ出しの時など、歩道も狭く危険性が高くなっているため、歩道の整備を希望します。
	70 歳以上	下山田は運転出来ない者にとって、図書館は遠く、巡回図書を毎月 1 回でいいからお願いしたい。1 回で 5 冊まで借りられるので助かる。乗る人が居ないのでバスもないのが非常に辛い。運転が好きな方にガソリン代 + α 位でお願いできるシステムがほしい。

公共交通

地区	年齢	意見
吉原	40～49 歳	高齢化が進んで来ているので、交通機関の充実を図れたら良いなあと感じています。難しいですが…。町の巡回バスの利用の仕方が良く分からないので、詳しく教えて頂けたら…。ホームページももう少し見やすくなるといいな…と感じます。よろしくお願い致します。
	70 歳以上	車の返納をしたいのですが、するとすぐに不便が生じます。特に南足柄や開成、近隣へも行けなくなります。他の町の例では、タクシー券を発行し、家族の人数分与えられるそうです。町では巡回バスが出ていますが、まずバス停までが遠いという現状です。早急に検討してほしいです。高齢ドライバーの返納は今やこの点が一番の問題ではないでしょうか。
新宿	40～49 歳	御殿場線の本数を増やしてほしい。
	60～69 歳	本当に町のキャッチコピー「夢おおい未来」を実現するために、環境を生かす（活かす）こと、そしてアクセスを整備することを第一に考えるべき。現状では小田急線が通っている開成から新宿 o r 小田原方面に人が流れているのでは？御殿場線の再度東海道線乗り入れ（それも小田原にも）を是非実現したい。
	70 歳以上	高齢者が気軽に外出する事が出来るように、町のバスを使わせてほしいです。すぐにでもお願いしたいです。
河原	20～29 歳	交通機関を利用する際、鉄道（御殿場線）を利用しますが、本数が少なく、台風や大雨等の天候に弱く利用制限が限られてしまうのが難点です。生活する際に必要な機関の為、少しでも改善出来る環境を作って頂きたいです。例）運転見合わせの際、近い交通機関まで送迎する等。
	30～39 歳	御殿場線でも S u i c a を使える様にしてほしい。ようやく I C カードが利用できると思ったら T O I C A だったのでがっかりした。
	30～39 歳	御殿場線の本数が少なすぎて交通の便が悪い。電車を増やせないなら、バスを増やして欲しい（コミュニティバスで病院やスーパーに行けると良い）。
	30～39 歳	高齢者の移動手段の充実（車の運転は心配）、路電等で活気を取り戻している自治体もあると聞きます。他町とも連系した移動手段があるとよい。
	40～49 歳	開成駅から大井町を周るバスを走らせると通勤の人はたすかると思う。
	60～69 歳	御殿場線の改札タッチ機は、まったく無意味。S u i c a、P A S M O がつかえない。不満。
根岸上	60～69 歳	公共交通機関を生かした人口増加。鉄道の S u i c a 利用は不可欠。バス便の増加。役場発 o r 東名高速道の駐車場（相和地区）発のバス（町営バス）便を出し、通勤の便を良くする。これによる駐車場利用は無料にする（区域を決めて）。朝夕は 20 分間隔に新松町と国府津への便を出す。税金を投入し、コミュニティバスの料金をできるだけ安くする。→働き盛りの人口が大井町に戻ってくる（通勤しやすいから）。→子供も増え、人口の循環が起きる。
	70 歳以上	自動車に乗っていますが、これからいつまで運転できるのか、運転して良いのか考えてしまいます。都会ではないので、バスの数も少ないし、不安はいっぱいです。
	70 歳以上	常に町中をバスが走っている。出かける事に不安を感じない町を望みます。
根岸下	50～59 歳	大井町は自然も多く残り、現状では行きたいところへ自家用車で行けるので、なんとかギリギリの不便程度でつつがなく暮らしていけるいいところだという気持ちはあります。しかし、人生の折り返し地点を過ぎ、今後病気になったり運転もできなくなったり、更に若い世代がいなくなり、やがて商業施設も閉鎖され…とどうしてもマイナスの未来がチラつく、生涯をここで暮らせるのか？という不安が大きいです。買物・通院等に便利な巡回バス、もしくは路線バスの増発が安心できるレベルで叶えば、自家用車に頼る意識も少しずつ変化するのでは。

地区	年齢	意見
	60～69 歳	巡回福祉バス「ふれあい悠々」の乗り方、時間を詳しく分かりやすく広報誌などにのせてほしい。（バス停など）
市場	16～19 歳	隣接する市・町と協力してバスや交通系などのサービスを作るのも良いかと思います。
	40～49 歳	大井町、これから開発地が発展し人口も増えると思います。公共交通機関（バスや御殿場線）を良くして欲しい。高齢者の自動車運転・免許返納などのニュースが連日見ます。大井町は細い道が多く、高齢者も多く感じます。大きな事故等が起きる前に対策して欲しい。バス等で循環など。
	70 歳以上	相和地区で催し物がある時、土日でも福祉バスを運転してほしい。
坊村	40～49 歳	公共交通機関について。バスは御殿場線ダイヤを補完するダイヤで運行頂きたいと思います。ＪＲ御殿場線については、近隣の沿線自治体（小田原市、松田町、山北町）と協力し、助成して国府津～山北（もしくは松田）間の運行を増やす施策を行なってはいかがでしょうか？町の魅力があっても交通の便が悪いと人口が増えず、税収が増えないため。
	50～59 歳	これはＪＲの問題ですが、御殿場線でもＳｕｉｃａを利用できるようになると良いと思います。
馬場	16～19 歳	御殿場線の本数が少なすぎるので増やして欲しいですが、不可能なのであれば町役場から国府津駅までバスを出す等してほしいです。
	20～29 歳	御殿場線の本数を増やしていただけるとありがたいです。
	70 歳以上	交通の便が良くなる方法を考えてほしいです。自家用車がない人は、なかなか住みづらいです。
金手	40～49 歳	これから、大井町も高齢ドライバーが増え、免許を返納される方も多くなって行くと思います。大井町はまだまだ不便な所がたくさんあり、免許返納を留まっているドライバーさんたちもいっぱいいると思います。免許がなくても不便と感ない町作りをしてもらえると良いなと思います。
	50～59 歳	高齢者の交通事故が多発しているニュースを見ていて不安を感じています。大井町は、バスなどで移動できる人は少ないので、どうしても車の移動になってしまいます。免許を手放すことができないでいる高齢者が多くいると思います。通院や買い物など、ちょっとした外出にも車がないと、とても不便なのが現状です。それでも、事故が増えているので、町を巡回するバス（１回１００円とかで低額な）や、タクシーチケットを町からもらえたりすれば、免許を返納することを考慮できるようになるかもしれないなあと思います。（以前住んでいた所では、タクシーチケットをもらっていた人がいました。）または、送迎サービスのようなものなども、良いかもしれません。何か、町で対策をとってくれたらと思います。子供たちも安心して歩けるようになると思います。
上大井	16～19 歳	御殿場線の本数を増やす。
	20～29 歳	スーパーや飲食店がここ最近で増え、生活しやすくなったと感じる。だが、通勤、買物に行く際、電車を利用するとなると御殿場線を利用することが多い。その際、やはり本数が少なく不便である。大井町だけでどうにかできることではないが、バス等他の交通手段をもっと利用しやすくしてほしい。そうすれば通勤しにくいから引っ越すなどが減り、定住しやすくなると思うし、ひょうたん祭りなどの町内イベント来場者も増えるのではと思う。
	20～29 歳	車がないと生活ができないのをもう少し改善して頂けると嬉しいです。交通が不便。大井町は好きですが、交通網を整えてほしいです。
	30～39 歳	交通の便が悪い。御殿場線…子供が通学に使っているのが、時間帯によってはかなり少なく、日中クラブ活動に行くのに１０時台や１３時台ものすごく不便。Ｓｕｉｃａで国府津乗り換えができないこともとても不便で困っています。バス…バスの本数も少ない、小さなバスにして本数を増やすとかはできないでしょうか…？

地区	年齢	意見
	40～49 歳	交通の不便さが暮らしを不便にしている。
上大井	40～49 歳	御殿場線の運行本数を増やす。1 本あたりの車両を減らしてでも、本数を増やすべき。最低でも 1 時間あたり 3 本にし、6 時～24 時までにはこれに準ずる。実現できれば、ベッドタウンとなり住民は増えると考ええる。また、国府津駅から松田駅については、小田急と共同利用することを提案。J R 東海が動かない場合。
		御殿場線で S u i c a を使えるようにしたい。
		巡回福祉バスについて。⇒小田原駅やダイナシティまで巡回してほしいです。
	50～59 歳	高齢者が増える中、鉄道・バスなどの公共機関が全く整っていない。運行・運営の難しさは理解できるが、現状のままだと移動できずに自宅にひきこもる高齢者が増える一方だと思う。通勤・通学のため、国府津まで自家用車で出ている人が多いのも現実。町としてまずは第一にバス・鉄道の整備に取り組むべきではないでしょうか。不便な町の印象を払拭しないと、人は集まらないですね。
		バス会社が時間通りに来ない。また、それだけに頼らず、もっとコミュニティバスを出してほしい。もっと電車の本数も増やしてほしい。
		高齢者の免許証自主返納に伴う特典を町独自の魅力あるものにする。町内外施設巡回用バスの新設。（幼稚園バス等、稼働時間外車両の有効活用）
	60～69 歳	高齢ドライバーの免許返納を推進する為、町内循環バス等の充実化（無料化）を計る。
西大井	70 歳以上	交通の便が悪いので、コミュニティバスを走らせたら良いと思う。
		免許証を返納した人でも出かけやすい交通手段を増やしたら良いと思う。御殿場線の本数を増やしてほしい。
		高齢者や体の不自由な人などが 1 人で買い物や用事を済ませられるよう、大井町の主な所に行けるバスを午前と午後 1 本ずつあると積極的に外出が出来ると思う。外出する事は楽しみの 1 つにもなり、健康にも良いと思うのでお考え下さい。
	16～19 歳	交通機関を増やしてほしい。
	50～59 歳	富士急バス路線廃止により、自家用車がないと生活しづらい状態にあります。高齢家族の通院も、小田原の病院へ行っています。私も病院は開成町へ行っており、鉄道・バス路線の強化と医療の充実をお願いしたい。
	50～59 歳	元々稲作を中心とした農業地域であることから、新たな産業創出や振興には限界があると思われる。私のように、他の場所へ勤務する者にとっては、生活の安全性を確保しながら、交通の便を充実させていただくことがありがたい。特に小田急（新松田・開成・栢山）へのアクセスの対策を希望します。
	50～59 歳	大井町独自でできるものではないが、御殿場線の利便性（本数、運行時間）の向上を進めていただきたい。同様に町内のバス運行網の充実。開成駅の活用を視野に入れた交通環境の整備を推進していただける様お願い致します。
篠窪	60～69 歳	小田急渋沢駅・峠地区より神奈川中央バスを延伸し、県道秦野大井線（篠窪バイパス）で B I O T O P I A へのアクセスルートの新設を図り（高尾地区からも新設）、大井町への集客を。併せて地域（相和地区）生活移動手段の確保。（先ずは、土日祭日）町社会福祉協議会の行う事業にもう少し採算性を。（改善があると考えます）公共建設工事に関して、直轄維持作業班の新設（非常勤等で小経費）e t c . 。
柳	40～49 歳	私も産まれてから、大井町の自然の中で、緑の中で育ってきましたので、これから大井町が暮らしていく中で住民の声に答えて頂き、よりよい町になって頂けたらと思っております。バスの本数が少ない為、車など足がないと不便。日用品、食料等が年になってくると充実した店が地区にあると便利だと思います。年になると車でずーっと行かれる訳ではないので、田舎になると不便さがあると思います。自然があり住みやすいとは思いますが、病院、買物となると自分が動ける範

地区	年齢	意見
		囲は良いですが、交通の便がよいのが住みやすいと思ってしまいます。浦和地区のやまになると、バスの本数もなくて、車がないと大変になってきます。今後、大井町がどうなるのか？わかりませんが…。近い将来、住みやすく交通の便が良い、福祉サービスが充実している、教育環境の良い町になってもらいたいです。
赤田	16～19 歳	バスの本数を増やして欲しい。
上山田	70 歳以上	私は 80 才を過ぎたら、自動車運転免許証を返納したいと考えています。この地域は自家用車が主な交通手段ですので、コミュニティバスなどの充実を図っていただければ、なお返納しやすいと思いますのでよろしくお願いします。
下山田	40～49 歳	どうして御殿場線は P a s m o や S u i c a が使えないのか理解できません。ほとんどの場所、日本全国で相互に使えるのに、J R 東海と東日本のセクショナリズムに付き合わされる住民はかわいそうです。1 回相模金子から東京へ行ってみればいいと思います。（エライ人が）B i o T o P i a がどれくらい大井町に w i n w i n なのかよく分からないのが気になります。町も戦略的に動いて活用すべきなのではないかと思います。（税収を上げるという意味においてです）

安全・安心

地区	年齢	意見
吉原	60～69 歳	災害があった時、歩道の段差があると危険だと思います。何とかして欲しい。子供が自転車で転んだりします。
河原	40～49 歳	大井町の住宅街を車で走っていると、十字路などで“止まれ”の標識など無視する大人の自転車の乗り方が多いです。子供らも自転車での飛び出しが目立ちます。もちろん家庭でのしつけや個人の問題ではありますが、町の取り組みで自転車の安全運転、マナーを再確認してもらいたいです。
	50～59 歳	何かあった時の安心・安全の為、所々に防犯カメラを設置してほしい。
	70 歳以上	日本国中どこかで地震が多く感じられます。神奈川県西部でもときどき体を感じる時があります。震度 3 以上でないと発表されないとお聞きしましたが、ホームページを見ている人ばかりはいないと思います。いかがでしょうか？
根岸上	70 歳以上	大震災に絡む危惧について。東日本大震災余震が震度 5 弱で、大きな被害もなく、畏れる相模トラフを震源とする巨大地震の津波（参考、関東大震災 1923 年マグニチュード 7.9 南関東で震度 6、死者 9 万 9 千人、行方不明 4 万 3 千人）は、小田原海岸から距離にして約 9 k m、海拔約 35 m の高さにある町へは、時速約 40 k m の速度で遡上してくる津波も、潮位と高波で約 5 メートル、
		津波が約 30 m と高さ約 35 m で襲って来ても、地盤沈下が無ければ、何とか被害を免れそうであり安全性をアピールできる。（北海道・奥尻島、東日本大震災の津波は、高さ約 30 m と推測）
	70 歳以上	特に防災、交通安全等を強く推進してほしい。
根岸下	60～69 歳	大井町全体がほぼ国府津断層の上にあるようですが、災害訓練で自治会別に訓練も必要ですが、避難場所（小学校など）での被災者の生活場所、救護者の動き、支援物資の分配方法等、主導的立場の人の訓練を自治会代表者を集めてすべきでは！
馬場	60～69 歳	金子山もしくは昭和女子大近くに酒匂平野が見下ろせる博物館をつくり、酒匂平野の歴史文化を展示、二宮尊徳と酒匂川の流れを常設し、併せて小田原から県西の歴史文化を展示し、今後の災害対策への対応を示す。
宮地	70 歳以上	防犯にももう少し力を入れてほしい。私自身、車のイタズラ（20 年以上続く）犬のふんを（車庫の中に）近隣の玄関ドアの閉まり音（車の後部ドアを強く閉めた時のような高い音）他県や他町から来て住みついて、地元の人にはよその人と見られるのか挨拶しても挨拶が返ってこない事があります。

地区	年齢	意見
上大井	20～29 歳	いつも気になっています…。大きな地震が来ると想定されていますが、大井保育園はなぜ山の斜面の下にあるのでしょうか？通勤で横を通った時いつも気になります。役場周辺の開発をしているので、そちらに移転とか出来ないのでしょうか？小さな子供達、これからの子供達なのに、もし土砂崩れに巻き込まれてしまったらと思うと怖いし悲しいです。検討されていますか？
	50～59 歳	災害も心配なので、丘の上に防災公園など仮設住宅が建てられるくらいの広場があると安心です。
	60～69 歳	水害に備えて避難所を見直すべき。
	60～69 歳	R 2 5 5 沿いの空き店舗の危険レベルが上がっている。歩道に壁などが散乱している。新築が増える一方空き家が多い。空き家を利用した福祉、子育て、健康に関する拠点作りを提案。空き家を町が把握して、出来れば家主に助成金が出れば動き易いのではないかな？
	70 歳以上	空き家対策。町内に空き家が多く目立ってきた。庭は雑草が多くなり、不審火等による火災が心配される。対策として、6ヶ月以上空き家の持主に対し、固定資産税を雑集地に準ずる税金を課し、有効利用せしめるようにさせる。

福祉健康（子育て含む）

地区	年齢	意見
新宿	30～39 歳	子育て支援のひとつとして、産後ケア事業も検討していただきたいです。産後ケアは低月齢の子をもつお母さんの心身の回復や育児相談などを目的としたものです。産後間もない時期は心身ともに不安定になりやすく、産後うつにかかるリスクが高いです。私自身もとてもつらい思いをしました。転入者ゆえに周りに頼れる人が居らず、産後ケアをしている所があれば…と何度思ったかわかりません。もう1人子供が欲しいと思っていましたが、あの時のつらさを思うと前向きな気持ちにはなれません。今後も宅地開発が進み移住者が増えるならば、私と同じように産後つらい思いをするお母さんも増えるのではないかと心配です。現在、足柄上病院で産後ケア事業をされていますが、日帰りでも3万円、1泊6万円とかなり高額で、家計のことを考えるととても現実的ではない額です。熱海市で行っている産後ケア事業では、1泊500円程度だと聞きます。もちろん、それと同等の価格・サービスまでは難しいでしょうけれども、是非大井町でも町の施策として取り組んでほしいです。
	30～39 歳	精神障がいのある人の働く場所作りに力を入れて欲しい。
	40～49 歳	ガン検診を毎年ハガキの郵送で知らせてほしい。小田原市は毎年6月頃に対象者にハガキが届きます。受診を忘れないし、便利で助かっていた。大井町は自分で調べて受診しないと忘れてしまう。ガン検診の受診率を向上させたいなら、ハガキを送ってみては？小田原市と同等に上がるかも。
	50～59 歳	大井町の発展の為、色々と考えていただき、恩恵にあずかっています。福祉の問題についても、これから高齢者も増え、ひとり暮らしの方もたくさんいらっしゃいます。介護のことも切実です。これからも町の色々な事業をされている中で、利用することもあると思います。高齢者、障がいのある方にあたたかく、人にやさしい町であってほしいと思います。
	20～29 歳	医療機関が少なく、利用するのにためらってしまいます。インフルエンザの予防接種をする際診療所を利用しましたが、数が不足している為次の入荷が未定と言われてしまい利用出来なかった事があります。最低でも町民が1回出来るような体制を作っていくべきです。他にも内科ばかり取り扱っている所が多く、婦人科・眼科・アレルギー内科、専門的な診療所がなく、町内に1つしかない科でも立地条件が悪く患者に対して対応が悪い為利用したくありません。診療所の情報も直接行かないと分からない事が多く、足の悪い高齢者や携帯・スマートフォンを利用しない方が、本当にこの科が記載されているけど毎日行っているのか？と
河原	20～29 歳	

地区	年齢	意見
		いう情報が乏しく、利用する際に困ってしまうのではと思いました。常に病院の情報が分かるよう、広報等に毎月の休診日（年末年始やGWの長期休暇）時の情報等が見られる環境が増えたらと思います。一人暮らしの高齢者の為に、重要な情報を（避難警告や振込サギ等）の情報を放送だけでなく電話等で連絡する等、孤独死防止の為に親身になって声掛けしてもらいたいです。
	40～49 歳	皆の施設なので仕方ないと思うが、支援センターに1歳の子供を連れて行った時に、幼稚園の子供達が部屋で走り回っていてぶつかりそうになった。親は話に夢中で注意もしない。安心して遊ばせることができず、嫌な思いをして帰ってきた。部屋に仕切りはあるが、かまわず入り込んできて意味がないように思えた。大井町へは結婚してから来たので年数が浅く、初めての子育てで不安もある中、結局弱い立場（思った事を言えない）人達が損することになるのか…幼稚園が夏休みの間は、連れていけないと思った。2階にお部屋があるなら活動の場を分けてもらえれば良いと思う。（幼稚園が長期休みの時は特に）子供も興味を持って遊んでいるだけに残念に思う。※他の自治体の施設では、職員さんが常に見守っていて、マナー違反には注意している場面も見受けられた。子供だけでなく、大人にも声をかけていた。幼稚園では、室内での約束がないのか？小さい子を思いやれる気持ちを持って欲しい。のびのびと放任をはき違えているように思う。公共の場なのだから、皆が安心して使える場所になって欲しい。
根岸上	40～49 歳	体育館のジムに通いたいのが、月に一度の講習程度では受けられない。これが理由で空いているのかと…。平日や土日、時間帯など選択できればありがたい。
馬場	16～19 歳	この町は何でも中途半端で何がやりたいのかわからない。今を、このままを満足している人が多いのかもしれない。高齢者が多いので、それに対するサービス対応を考えるのが一番なのかもしれない。休日診療所はすばらしくひどいものだった。とても不安に思った。
宮地	50～59 歳	個人的には、老後の生活、過ごし方に不安を持ちます。町で運営する施設（介護付老人ホーム等）、自由に集いランチ（有料）や大浴場があったり、入所できたりと町民から出資金を集め、出資者家族優先に入所可とするような施設があったらと思います。
金手	30～39 歳	大井町にお年寄りが多いから、接骨院を増やしてほしい。
	30～39 歳	福祉関係に力を入れているようですが、同じくらい子供関係にも力を入れて欲しいです。子供にはおじいちゃん、おばあちゃんの経験した事など伝えて欲しいし、高齢者には子供の若い活力が必要ではないかと考えています。人口減少、子供が少ない、地域の催し物が無くなり町の活力が無くなる。そんな町に住みたいと思う人は少ないと思います。大井町の人口を増加させ活力のある町になって欲しいと思っているのですが、新たな人口を増やすには20代～30代の子育て世代が引越して来る必要があります。今の時代、必要なのは保育園を増やすことや学童を充実させることだと思います。子供を産み育てやすい環境作りにより、子供が大人になって親になった時にこの町に戻ってきたいと思わせられるような素敵な町づくりをして下さい。私が書いた事はもう分かりきっている事だと思いますが、子育てしやすい環境作りに先行投資をしないと町の人口は減る一方だと思います。人がいなければ企画も何もないと思うので、町の人口を増やす事に力を入れてみてはどうでしょうか。
	40～49 歳	生活習慣病がとても多くなっている現在、健康診断の受診が大切だと叫ばれています。大井町でもガン検査をはじめ各種健康診断を補助する動きが見られていますが、実際のところ2年に1度しか受けられない項目があったり、平日にしか受けられないものがほとんどです。以前にも伝えたことがあるのですが、土曜受診の日を増やすことや早期発見のために毎年受けることが出来るようにしてほしいです。受診率を上げる為にぜひお願いします。
金手	60～69 歳	大井町手話通訳登録者は約5名でよかったが、介護福祉職員等手話通訳士を派遣

地区	年齢	意見
		の際には登録者へ連絡して下さい。県消費センターの前に、まず大井町独立手話通訳者へ派遣ください。介護福祉課職員から実施して下さい。
上大井	20～29 歳	子供たちが安心して生活できる（親のゆとりも重要）環境にしてほしい。高齢者が多いが、そちらにばかり予算を使わず、将来のある子供達に良い教育やサービスを提供してほしい。
	30～39 歳	小さい子供も安心して遊べる大きな公園。遊具もいっぱいあると楽しいと思います。最近、産婦人科が少なくなって来ていてなかなか安心して出産が出来る環境ではなくなっています。子供を産む、育てられる環境を作ってほしいです。30代後半からでも職につけるように支援してほしい。
	40～49 歳	現在保育園に通う子供を持つ母です。子供が生まれてから子育て健康課の対応や行事について納得のいかない事が多々ありました。赤ちゃん健康相談においてアドバイスを求めているのに子供の行動についていきなり否定的な事を言われ、身長体重測定以外2度としたくないと感じた。保育園の入所の結果が他の市町と比べかなり遅く感じます。保育園入所について質問があり、指定された問い合わせ期間内に仕事の貴重な休みを利用し、かつ具合が悪い中相談しにいった所、1名しかいない担当者が不在だったのは本当に納得いきませんでした。不在の予定があるならばその日を除いて期間を設けるべきだと思います。保育園入定後の説明会の案内が14日作成とあるのに自宅にきたのは20日で急きょ職場に予定の調整をお願いしなければならなかった。これらは私の周りのお母さん達も同じ様に感じている事ばかりです。
	40～49 歳	1才半～3才半検診13時からの昼寝を推奨しておきながら受付け時間が13時なのは本当に理解しがたいです。中には眠ってしまうお子さんもいました。なぜ13時なのか説明してほしいです。
	40～49 歳	町立の福祉施設を作ってはいかがでしょうか。
	50～59 歳	静かな土地柄は高齢者に適していると感じます。良い環境で暮らせるシニアホーム等（ペットと暮らせる）を積極的に造ると良いのではないのでしょうか。
	50～59 歳	住みやすさは、やはり普段の生活が基本なので、環境、子育て、教育、医療、高齢者への支援を充実していただければと思います。
	70 歳以上	高齢者、障がい者を理解するために、勉強する機会があつたらよいと思うのですが。
西大井	40～49 歳	医療機関の質の向上がもう少し改善されたら良いと思います。（特に歯科）
	70 歳以上	高齢の運動、器械体操を進めて下さい。体力の低下が気に成ります。皆様の健康、活躍を祈っています。
篠窪	16～19 歳	もし、待機児童がいるのなら、子ども園など少しでも減らせるような施設があれば良いと思いました。私は将来保育に携わる仕事を大井町でできたら嬉しいです。
	60～69 歳	一案、少子化並びに学童等の子育て・老人等の介護問題において、3世代または4世代同居を町の施策と掲げ、対象世帯には相応の減税処置を執れるように制度改正する。この施策により、多世代の目による子育てが出来ることにより人間形成 etc. におおいに役立ちます。また、老人介護（障がい者含む）等においては、在宅介護のケースが増え介護を受ける対象者の尊厳・その他多くの希望が叶い、終末期をより楽しく過ごせるのではないのでしょうか。一部のプラス点だけをご紹介しますが、この様に大家族であれば将来的にも大井町民として住む続け空き家対策にもなります。この施策を大井町HPにて全国に発信、話題性とともに人口流入・固定を促し安定した税収につなげられるのではないのでしょうか。（+点・-点を洗い出し多くとリンクを図る）
無回答	20～29 歳	高齢者、障がい者の複合施設。（老人ホーム&グループホーム）高齢者（75才くらいまで、町の中で働く。）、障がい者が働く場。（グループホーム&働く場所）高齢者が、車がなくても町内で生活をきちんと出来る交通網づくり。共生と

地区	年齢	意見
		か協働と言うが、その前に目の前の問題をしっかり取り組んでほしい。この町にいと超高齢化社会をととても感じ、先が不安である。
無回答	20～29 歳	出産をひかえている方の特典を増やすべき。また、子育て健康課の話が長くしつこい。

産業振興

地区	年齢	意見
新宿	16～19 歳	お店を増やしてほしい。コンビニ、おもちゃ屋、カードショップ等。
	16～19 歳	今年7月11日にN i a n t i c社のスマートフォン向け位置情報ゲーム「P o k e m o n G O」がスポーツ庁の「S p o r t i n L i f e」の第1号に認定されました。このプロジェクトは生活スタイルの一部としてスポーツを取り入れることを奨励することで、これに沿っている取り組みにロゴマークが付与されます。そこで大井町で実施している食、運動、癒しをコンセプトとしたプロジェクト「ビオトピア」とコラボすることで、さらに運動の促進を図ることができるのではないかと思います。
	40～49 歳	人口が減少が続けている事実を見直し、税金の確保をするべく企業や娯楽施設の誘致を視野に入れてみてはどうだろうか？治安の問題もあるが、資金（税収）が増える事を優先すべきでは？
	40～49 歳	社会は富裕層と女性が回している。また、人は健康、教育、ペットには比較的金を消費する。稚拙な考えではあると思いますが、この事を前提に思いついた事を記述します。【1. 大井松田 I Cを活用した事業】産業も観光も鉄道もない大井町で唯一あるのは東名高速道路 I Cくらいです。この路線（車）のアクセスの利便性を考慮した事業を考えてほしいです。東名と新東名で2つの I Cを持つ秦野に苦戦する事は確実ですが、それでも唯一のウリを生かしてほしい。【2. ペットの総合健診施設の誘致（ペットの人間ドック的なもの）】日本では全体の3割を超す世帯でペットを飼っており、ペットビジネスは約1. 4兆円の市場規模があるが、ペットにも少子高齢化が進んでいる。ペットの地位が子供並みに向上しており、健康予防のニーズも高まっているようです。富士フィルムでも動物医療事業に強化した「富士フィルム V E T システムズ（株）」を設立。高速道路の利便性を生かした事業としても良いと思う。【3. インド式教育の導入】 I T、医学、科学において特に強い力を発揮する人材、グローバルな人材育成に良い教育のようです。リモートワークが当たり前になっていく I T時代に田舎に住んでも仕事ができる知識を持った人材を育成するにも良いと思います。【4. フォトジェニックな場所、モニュメントの作成・発見】フォトジェニックな壁、場所を学校の周辺等の気軽に行ける場所に用意。女子高生、中学生の生活圏内にそのような場所があれば S N S アップで最終的に町の宣伝になる。町と学生で（東京に行かなくても良いような）インスタ映えスポットを一緒に作る、探すという企画も良いと思う。【5. アミューズメント施設をアクセスのしやすい所に誘致】トランポリンパークやトランポランドのような施設を（相和地区ではなく国道255沿い）アクセスしやすい所に誘致。【6. 町全体を無料 W i - F i 化する】タイなどでは当たり前。周辺の他地域との差別化。【トレーニングルームについて】①マシンの見直し。筋力系マシンの見直し o r ダンベル類・ベンチを追加してほしい。又は、他の地域との差別化を図り、可動域を広げるマシン（初動負荷トレーニング用）を用意する。高齢者の健康予防にも良いと思います。②使用時間を2時間制（200円）→1時間制（100円）へ。利用率向上のためにも1時間制に。高齢者には2時間も体が持たない。③トレーニングルームそばの絵。すごく暗い絵が飾られているが、もっと活力のあるものに変えてほしい。仮に有名なものであっても、イキイキと体を動かすアクティブな場所にあの絵（暗い少女の絵）は似合わないと思います。ぜひ、見直してほしい。

地区	年齢	意見
	40～49 歳	まずは税収を増やす為に産業を誘致する策を立てなければならない。
	60～69 歳	ビオトピアについて、もっと知名度を上げる方策を考えて下さい。
	60～69 歳	町の財政は2次、3次産業の企業誘致が難しいことから、町民の定住化を促進するために町のPRはもっとすべきかと思います。また、第1次産業の企業誘致もあっても良いのではと思う。
河原	20～29 歳	もう少しお店を増やした方がよいと思います。たとえば、ヤマダ電気、メガネスーパーなど、若者たちが行きそうなお店ができたらいいなと思います。
	30～39 歳	ヨーカドーやイオンなどの大型のショッピングセンターや、大型ショッピングモールなどを作って欲しい。小田原まで出ないといけないので、近くに1つくらいあってもいいと思う。もしできたら生活がすごく便利になる。
	30～39 歳	若い人が楽しめる場所がない。20代、30代の人がこの町に住みたい！居住したい！と思ってくれるような何かが必要だと思う。町の知名度を上げるなら、音楽フェスをやるのも良いかも。音楽フェスはイメージ悪いかもしれないが、実際、フジロックなどはボランティアがごみの分別を呼びかけたりして、とてもクリーンな会場です。静岡県の朝霞JAMの様な小規模なフェスでも良いかもです。
	40～49 歳	B I O T O P I Aは今のままではもったいない。方向性は良いので、温泉、広い公園、子供と毎週末行きたくなるような場所にしてほしい。いずれも健康を考えた場所が良い。体をうごかす→いやされる→食事、休憩ができれば足を運ぶと思う。相和地区の取り組みは、もう少しアピールした方がよい。知らない人も多い。
	40～49 歳	ビオトピア周辺にアスレチックやマウンテンバイク、ロードバイクなどが走れるコースを作ったら良いと思う。キャンプ場なども併設して観光客を増やすべき。住民も健康づくりの為にロードバイクなどが乗れる道の整備があると、自転車に乗る機会も増え、健康づくりにつながると思う。
	70 歳以上	ビオトピアの活用。ブルックス内に県からの未病対応のコーナーが設けられているが、小規模で中途半端な物である。ウォーキングの途中で立ち寄っても仲間同士で休憩や持参した飲食物を食べるフロアもない。買い物客だけを相手にする施設となっている。グラウンドや体育館、プールなど一般開放して利用することで、体力増強や未病対策ではないか。町として県への働きかけが重要だと思います。現在では県任せの、かつ、小規模、体力測定コーナーも魅力に欠ける未病対策エリアであることから、県内からの回遊客を集められていないと感じる。
	70 歳以上	ビオトピア、篠窪の菜花、いこいの村、大井町ハイキングコース、松田の桜、開成町のあじさい等が連携した取り組み。第一歩として大井町だけで出来ないでしょうか。
根岸上	16～19 歳	小売店など商業にも力を添えてほしい。
	40～49 歳	ビオトピアのドックランの広さをもっと大きくした方がよいと思う。結局小さい為、町外のドックランへ行かれる方が多い。ビオトピアからの景観はよいので、桜などの植物を増やしたり、子供たちが水遊びできる施設を作ったりしてほしい。
	60～69 歳	海外の個性的な農産物～フルーツ、野菜～の中で、大井町と気候が似た地域の農産物を選択し、それを育てるとともに、料理法までトータルで提案。他の地域との差別化につながる所以重要な産業振興策となる。
	70 歳以上	地域資源等の活用。山田周辺から湧き出る清流、酒匂川の用水活用も視野に入れた産業の誘致を視野に企業等へ広報する必要がある。企業と地域の繋がりは何処に御縁があるか分からない。常に広報、誘致案内の出来る地区の確保を怠らない。第一生命ではないが、企業城下町としての景観、町のバックアップ、一体化を求めている企業もあり、地名が愛知県の如く豊田市と成る事も有り得る。（エバラ食品、ワカモト、対岸のゼロックスの進出根拠の調査と身近な関連企業の更

地区	年齢	意見
		なる誘致) 町に合った企業があれば、1万4千人住民の18歳以上にインターネットでアンケートを採り、次に資金を募る等の町民一体化したクラウドファンディング(CF)を企業へ逆に投げ掛けるのも、話題性、積極的な姿勢に企業の反応を窺う事もできる。アタックする姿勢、町、民が一体化した地域は、企業から見れば力強く、魅力が倍増すると思う。過去の第一生命も当町と此の様な一体化した良好な関係ではなかったのかと推察する。
	70歳以上	1. 景観の保全をしながら現在のB I O T O P I Aの場所や相和地区に観光誘致できる施設を考えられないか。あれだけの景観がもったいない。 2. 現在荒れ果てた農地がかなりある。税金対策だけのために必要もない物を少し植えたり、草だらけの農地、それを借り上げての観光農業体験施設は…? 3. 大井町には農業従事者がかなり居ながら近隣の町にある「道の駅」的な大型施設はない。御殿場の大型の道の駅等いつも車がとまれない程の盛況ぶり、車の通行の多い大井町も考えて見る価値はある。
根岸下	20～29歳	いつもお疲れ様です。前々から思っていたことがあります。ブルックスの展望階はもう開放されないのでしょうか。第一生命時代に見た景色が忘れられず、仲間内でも観光資源になるのでは…とよく話しています。イベントと紐付けで収入も見込めると思いました。(入場料を取る。未病の関連。) 夜景が綺麗ななど。元第一生命のプールはもう利用できないのでしょうか。近隣市町村であれば大きい敷地のあるプールは無いと思います。未病関連のイベント・アクティビティで使えないでしょうか。ビオトピアに近い場所にあって大人のプールが結構深い特色もあって、アピールすれば企業等で活用できそうな気がします。幼い頃によく通ったので思い出が深いです) ひょうたん関連のふるさと納税グッズをもっと作ってほしいです。ひょうたん6つで六瓢=無病という意味があるらしく、縁起物として売っている自治体もあるようで、お皿を購入したことがあります。大井町には元々資産がたくさんあるので、利活用できたらいいと思います。よろしくお願いします。
	30～39歳	ビオトピアを活かしてほしい。もっと人が来て、経済活動が盛んになってほしい。
	50～59歳	利便性(公共交通機関)の向上と今ある自然環境の保持を両立させるのは難しいと思いますが、魅力ある街づくりと活性化のためには不可欠だと思います。せっかくB I O T O P I Aができたので、もっと多数の人に関心を持って頂き、隣県や東京からも人が訪ねてくるアイコンとして発展するといいなあと思います。
坊村	20～29歳	大井町は、みかん類の東限にあり、りんごの西限に位置する。すなわち、くだものはほぼ何でも出来る地域である。→くだものパークのような町おこしはできないだろうか。
	30～39歳	近くにもっと働き口があれば、人も増えるし、金銭面もうるおうと思う。企業誘致してほしい。
	40～49歳	座間イオン施設のような大きな建物を建て、その中にテナントで歯科、眼科、小児科等入れる。駐車場は立体にし、無料にする。ヤオマサ、TSUTAYA等1階建ての施設は解体し大型施設の中に入れる。自然災害時にも避難施設としても活用する(津波)。毎月1度芸能人等ゲストを招き、イベントを行なう。大型施設の中に子供、大人も遊べるコインゲームのホールもつくる。東名インターもすぐ近くにあり、他県のお客様もゲットする。
馬場	16～19歳	“ひょうたんまち”の情報発信。24h病院の誘致(ex 徳州会葉山ハートセンターのような24h365open)→町役場の周りの用地、民間とタッグを組んで居抜きで施設を借出して経営。幼稚園通園バス民間利用(コミュニティバスとして町の施設見学など自治会利用)。
	30～39歳	大井町が誇れる特産品を見つけるべきだと思います。

地区	年齢	意見
	30～39 歳	子供達が遊べる施設の充実や道の駅（川場田園プラザのような）など観光にも力を入れてもらいたい。
宮地	70 歳以上	J R 東海と共同開発すべき項があるはず。未病を一気に全国に知らしめること。
	70 歳以上	ダイヤモンド富士の時期に庁舎やビオトピアを開放して撮影できるポイントを作って欲しい。
金手	30～39 歳	大井町に温泉施設を出してほしい。大井町にカラオケ施設も欲しい。大井町にお弁当屋さんを出して欲しい。大井町にパシオス、しまむら、増やしてほしい（コンビニはいらない）。
	40～49 歳	企業や産業を積極的に誘致し、安定した歳入を確保出来るようにした方が良い。
	50～59 歳	せっかく B I O T O P I A で未病に力を入れているのだから、例えば町全体で無農薬の農業に取り組むとか（フェイジョアって何か体にいいのですか？）。エゴマ油のような体に良いとされるものを町の特産品として育てていくべきだと思います。
上大井	16～19 歳	地元の企業をもっと大切に育てるべきです。雇用を生み出し、税収の源となり、夏の祭り等、大きな役割を担っていると思います。
	30～39 歳	せっかく大井松田 I C があるのだから、立ち寄れる魅力的な施設があるといい。ビオトピアに合宿できる様になると、他地域から、足を運んでくれると思う。インターも近いので。ビオトピア（ブルックス）のグラウンド、大井町の体育館、山田グラウンドのテニスコートを、合宿や大会等で他県に使ってもらいたい。まずは、他県に大井町の魅力をアピールすべきだと思います。このままでは、人が減るばかり。
	30～39 歳	大井町は製造業（何か物を作るメーカーや業者）が少ないと感じる。その様な製造業を誘致しないと、働き手が無いし、他の市町村へ人が出ていく事になると思われる。
	30～39 歳	若い人が新しい事を始めたい時に何か支援をしていただければ。例えば、農業をやりたい人と教えてくれる人の募集をして繋ぐ手助けとか。高齢化などで使われていない田畑の活用になればいいと思います。
	40～49 歳	ひょうたんて町おこし。“大井町産”のひょうたん漬け。ひょうたんを使った料理を提供するカフェ。ひょうたんランプ等。定年後は大井町でカフェを営むのが夢です。
	50～59 歳	コストコなど、大手の商業施設をもっと誘致してほしい。
	60～69 歳	年中利用出来るプールやアリーナ、総合病院を作してほしい。面積が広い駐車場を作って車で遠くからの人を誘致する。 B I O T O P I A は素敵な場所にありますが、町民としてどう利用出来るのか分かりません。お金を支払うイベントの場所なののでしょうか？町民が芝生を利用（借用）出来るとか、町バスで好きな曜日に行ける等、もっと気軽に利用出来る場所になって欲しい。町は何を求めて参入したのか良く分からない利用状況。
	70 歳以上	他町に比べ、大井町はメインになる行事が少ない様に感じる。以前はひょうたん池、水仙、ショウブなどピーアールされていたが、今はどの様になっているのでしょうか。もう少し力を入れてはと思う。以前、パークゴルフ場も出来る様な話を聞いたがその後は？5町で我が町だけが遅れている様に思う。
	70 歳以上	「休耕地の活用」クライנגルテン（ドイツ発祥）全国的に空きがあるようだが価格の問題で解決できないものか。宿泊等の設備費用をかけないことで、東名高速を使い都会の人が週末菜園には魅力があるものと考えます。菜園指導には地元農家経験者があたり管理機の指導もすることで、地元老人のやりがいにもつながる。菜園帰りには、近くの温泉も利用することで都会の人のストレス解消にもなることでしょう。
	70 歳以上	大井町が発展、活性化する為には、問 18 にあるように、若い人達が勤める企業の誘致、又子育て支援の充実は必要です。

地区	年齢	意見
西大井	20～29 歳	現状維持でとどまらず、産業・観光等、他地方を参考にしながら大井町にふさわしい事業を展開してほしい。例えば、しょうぶ園は探さなければいけないほどの小ささで、うまく周りの環境など融合させて大井町をアピールするとか。イベントが多すぎて何を指しているのかわからない。
	70 歳以上	休日等に遠くに行かなくても町内でゆったりと余暇を過ごせる場所として、景観の良い場所に森林浴か緑が沢山ある庭で軽いジョギング、散歩ができ、おしゃれな図書館（中嶋記念図書館とか）があり、カフェやレストラン（地産地消）もあり、一人でも家族でも楽しめるゆったりとした施設。その近くに医療の質の高いクリニックを集めた医療モール（特に整形外科ではリハビリに力を入れているところや、大学病院レベルのクリニック）水中ウォーキングできるプール、温泉があるとさらに良いと思います。
赤田	40～49 歳	私は生まれも育ちも大井町で赤田に住んでいます。会社員ですが長男ですののでいづれ親のあとを継いで赤田の農地を守っていこうと思っています。定年前から親の手伝いで農業を行う事はありますが、若い人はあまりやりたいと思う人は少ないように思います。自分も農業は大変だと実感していますので先日四季の里でイベントを行っていただきましたが町民の皆様も興味を持っていただき地域が活性化したらと思います。
	50～59 歳	産業の誘致を進め、税収を増やすことが大切だと思う。企業も多くなれば働く雇用もあり町が活性化する。
	60～69 歳	観光等大井町だけに限定せず、「あしがらエリア」で来てくれた客を1日もてなすという考えも必要だと思う。
上山田	50～59 歳	大井町の税収を確保するために、どんな産業を創出していくべきか、検討して欲しい。（景気やブームに左右されるような安易な企業誘致は避けるべきだと思う。）
下山田	40～49 歳	ビオトピアは県の施設かもしれませんが大井町にある以上、もっと近隣の住民に受入れられないと発展はしていかないと思います。以前グランピングのイベントが開催された時、その近くの道を犬の散歩をしていた人が「ここは立入禁止だ」と言われたと聞きました。そのようなことでは近隣住民との距離は開いていくっぽうだと思います。せっかく素晴らしい設備が整ったのですから、遠方からの富裕層だけではなく近隣の住民も気軽に利用できるような施設に成長して欲しいです。

教育文化

地区	年齢	意見
吉原	40～49 歳	今年度のよさこいひょうたん祭の予算が前年度にくらべて倍以上増えたと同っています。祭りの内容は特に変わっていなかった様ですが、どういう事が説明して欲しいです。
新宿	40～49 歳	【＜夢＞5秒で1000発あがる花火大会】財政がうるおった際には、ぜひ5秒で1000発あがるような花火大会が見たい。極端な話、5秒で終わる花火大会でも今の寂しい花火大会より良いと思います。以前見た江戸川花火大会のオープニングが印象的で、それだけでもそんな花火大会があれば地元愛が生まれるのでは。
	70 歳以上	行政がやらなければならない事は、最小の費用で最大限住み良い町づくりをする事であり、そのための対策の優先順を決定することにある。数多くのやらないといけない対策があると思うが、若い人口を増やすための教育関係（希望者全員が入園できる育児対策等）を最重要として検討していただきたい。
河原	40～49 歳	視点を夏まつりから、かかしまつりに変えたらどうですか？
	40～49 歳	学校教育環境について。私は小学校で図書ボランティアをしている関係で、いくつかの研修会に参加させていただき、そこで県内で学校司書が配置されていない

地区	年齢	意見
		のは足柄上郡、下郡の数町のみであることを知りました。また、近隣の市や町の学校司書さんの取り組みの様子を聞き、司書教諭と学校司書の連携により子供達の図書室利用数が飛躍的に増え、授業における調べ学習でも図書室を有効に使用できるようになったという結果がデータでも出ていることを知りました。大井町の現状は司書教諭の配置はあるものの、それぞれ担任を持っているため蔵書の整理などはほとんど手がつけられておらず、何十年も前の古い本がそのまま展示されている状況で、とても調べ学習等に活用できるとは思えません。早急に町内の小中学校に学校司書を配置し、子供達が学習に有効活用できる図書室の充実を望みます。
根岸下	16～19 歳	私は今、学生だが、大井町にあまり魅力を感じていない。私の通っている学校には東京都内在住が多い。東京都内だと区によって違いはあるが子育てに重きを置いているところが多い。内容としてとても私が魅力的だと思うのは、留学への支援である。私の友人の中にも、区の支援により、留学の費用が無償になったと言っている子もいる。全額とは言わないが少しでも支援があれば、大井からも有能で意識の高い人材を輩出できるようになるのではないかな。
	70 歳以上	大井町はひょうたんの町として各種行事を推進していますが、ひょうたんの町としては（ひょうたん）そのものが少なすぎます。他町から町に来られ、ひょうたんはどこにありますか、又、スイセンはどこにありますかと聞かれる事が多々ありますが、一応上大井駅とか湘光中の前とスイセンの里等案内しますが、帰りにひょうたんなど余りなかったという人が沢山おられました。もう少しひょうたんの町らしく考えて下さい。又、茶の花畑も今はなんのイベントもありません。何か計画をしてみてもどうですか。私の考えは、茶の花畑にひょうたんの棚を作り、夏はその下でバーベキュー等で寛いでいただき、土・日曜日等には何軒かの出店を出し、又、管理の方はシルバー人材センターに期間中は依頼すれば人材センターの方の働く場所も多くなり、一石二鳥にもなると思います。あれだけの土地を有意義に使わないともったいないと思います。ご一考を期す！！
坊村	50～59 歳	小中学校においての不登校児への対応など、多様な生き方を尊重できる環境を充実させて欲しいです。
馬場	40～49 歳	小中学校の体育館にクーラーを設置いただきたいです。命を守るためのお願いです。図書館の平日営業時間と規模拡大を期待します。中学生や社会人が、帰りに立ち寄り、知的好奇心を満たす場所にしたいと思います。新たな大規模公園は不要です。それよりも、既存施設のリニューアルや用途見直しの方が、少ない予算でreturnも大きいと思います。また、役場北側の公園工事現場の、中学生登校時の悪臭は止めてほしいです。
宮地	50～59 歳	教育の面で語学教育に力を入れ、国際人となれる基礎をつくっていただきたいと思います。
金手	40～49 歳	教育に関してですが、以前町内で教育に携わっていましたが、古い考え方にとらわれすぎていて、現場の様子や状況、変えていってほしい事柄をどれだけ伝えても変えようとしてはもらえませんでした。教育の充実は働いている人達が安心して力を発揮できることから始まります。もっと現場の状況を見て声を聞き、より良い方法に変えていく！これができなければ大井町の未来はないと思います。未来を担う子供達の為、それを育てる教育者の為に動いて下さい。小田町長なら変えてくれると信じています。
	60～69 歳	前期高齢者となり、まだ税金を納めるべく働いております。大変僥越であります。子供達の世代に引き継ぐ為、夢を語らせて頂きます。先輩達が築き上げた自然豊かなこの町を守るのは非常に難しいとは思いますが、また新しい事をやろうとする否定的な人がおり、さらに大変とは思いますが、まず教育環境の充実を計る事、例えば小学校、中学校、高等学校を一貫校にして、公立でありながら他に例のない物を作る。（英語教育に特に力を入れる）それによって少子高齢化が進む中で自然と人が集まり、人が集まれば企業誘致もやり易くなる。何故ならば、企

地区	年齢	意見
		業は家族持ちの事を考えれば教育レベルの高い所を選び、海外からの人材も町全体でコミュニケーションが取り易いと言う事で人が人を呼び活気が出てくると思います。この活気こそが大変大切だと思います。
上大井	40～49 歳	小学校・中学校のレベルが県内最下位近いと聞きます。なぜなのか、また、改善できるのか。山北にホリエモンの天才のためのフリースクール等ができたそうですが、大井町の子供たちのために、講演等できないでしょうか。子供たちの為の夏休みの映画鑑賞などは、ディズニーやボスベイビー、シャフト等ではなく、ジブリや古典的な物語等、将来のために心を作っていく作品にしてもらいたい。
	40～49 歳	国の指針等もあると思うので難しいとは思いますが、上大井小学校は空き教室もあるので、今後の少子化も踏まえて今のうちから全学年少人数クラスにして教育を充実させて、町のセールスポイントになれば良いと思います。
	50～59 歳	子供達には、あいさつの出来る子供になってほしいと思います。
西大井	30～39 歳	新湘光公園をイベントなどで活用したらどうか。おまつりなど、子供イベントなど。町を知ってもらう為に、イベントなどにテレビの「あっぱれ神奈川」に来てもらってはいかがですか？
上山田	16～19 歳	小・中学校と町内での生活が中心の時に、もっと大井町について知る機会があっても良いと思う。高校進学後は大井町について考える時間がなく、このようなアンケートを行っても知らないことがあったりするから。具体的なことは思い浮かばないけれど、アンケートを行ったことでそう思いました。
無回答	30～39 歳	英語教育も、すべての保育所でもっと積極的にやっていくべきだと思う。
無回答	50～59 歳	ひょうたんまつり（夏祭り）は不要。税金がもったいない。

行財政

地区	年齢	意見
新宿	30～39 歳	町職員について、近年採用されたと思われる若手職員の質が落ちていると思われる。公務員である前に一社会人としてレベルが低い。職員採用、人材育成にもっと力を入れてほしい。庁舎・保健福祉センターが別なので不便。庁舎も古くなってきているので、全課を一つの建物に集約した庁舎を建設してほしい。町長の公約にもあったカフェは民間人が行うのではなく、スターバックスのような大手を誘致して開店してもらう方がよっぽど良い。町ではいろいろなイベントを行っているが、参加人数はそれほど多くなく、無駄な金になってしまっていると思うので、イベント数を精査し別のところに金を使ってほしい。むしろ早く近隣市町村と合併してほしい。このままでは消滅都市と化してしまう。町独自での発展が出来れば良いが、頭打ちのようであれば再考願いたい。町長も変わったところなので、今後に向けて本腰を入れて検討していただきたい。
河原	40～49 歳	町長の姿が前町長より見られない。どこで何をしているのでしょうか？もっと町民と触れ合うべきではありませんか？
	70 歳以上	財政状況が悪化している現在、町の職員や町会議員の人数を削減したら良いのではありませんか？
	70 歳以上	町の財政UPを計る為には産業の誘致はもちろんの事ではありますが、その繋ぎとして大井町に対する「ふるさと納税」の魅力化を再検討し、税収UPを計っても良いのではないのでしょうか。
根岸上	60～69 歳	町議会議員数を大幅に減らし、減らした人数分の議員報酬を、各自治会の役員報酬に配分して、自治会役員の負担に応分のはげみを与えるべき。4～5人の削減が望ましい。毎月100万～125万円の原資をプールでき、自治会役員の人数で割って報酬アップを実現すべき。大井町の人口を増やしたいならば、町民税を日本の中で最低にすればOK。大井町の移住希望者が激増するので、大井町の収入は増加すると想定。ユニークな町づくりは容易です。

地区	年齢	意見
根岸下	60～69 歳	民生委員の在り方について、選出について、良い案があればと思います。
	60～69 歳	全国的にですが、生活保護者への保護金が高すぎます。生活保護者全員を町営住宅や県営住宅へ入居してもらい、管理人が食事を作って与え、家賃、光熱費を無料にして、衣類、嗜好品料 3 万円くらい与えれば、税金が助かるのでは？
市場	60～69 歳	町会議員は何をしているのか？人数を減らすべき。
	70 歳以上	大井町だけでなく神奈川西部地域との共同で良く考え展開される様をお願いします。
坊村	50～59 歳	暮らしを豊かにするために、町民税やその他の公共料金の見直しをして下さい。主婦パートの町民税の見直しをして下さい。上下水道料の見直しをして下さい。よろしくお願いします。
	70 歳以上	先日防災訓練の際、消防分担金の話が出ました。自治会に入っている家庭は毎年春に自治会を通して治めます。最近自治会に入らない家庭が増え、その家庭の分担金は毎年役場で徴収しているのでしょうか。知らない人が多かったので…！
	70 歳以上	住民の声をよく聞き、専門知識がある人をみつけ、意見を聞いてみる。色々な町づくりを変えた経験のある人にアドバイスをもらう事も大事なことだと思います。
馬場	20～29 歳	区画整理を行っていますが、元々土地を私用（私有）していたにもかかわらず、対応や説明が雑すぎませんか。大井町が好きで土地を親や祖父が購入したのに、区画整理だからの一言で何でもやっていいんですか？町の職員、行政の考えだけを実行し、住民の権利を考えてください。
	40～49 歳	子供が千円のおこづかいをもらえば、その千円で 1 ヶ月をやりくりしようとする。町も同じ考えでいけばよいだけ。日本全体が人口減少・高齢化に進んでいる。大井町だけ逆行するわけではない。例えば固定資産税をあげて税収入を増やすというような考えをするのではなく、今ある税金でつましく町民に負担をかけないように町づくりをするべきである。箱根のように観光地もなく、山北のように山や自然もなく、小田原のように城も歴史もない。ここ何十年それは変わっていない、これからも変わらない。開成のように、人口も大きく増加しない。ないないづくし。ないものは仕方がない。よそと比べて背伸びをしても背は伸びない。発展する前に現状維持。足固めをきちんとしていないと夕張のようになって困る。具体的にあげると以前していた『ひょうたんまつりの後にもけやきの木にちょうちんをずら～っとぶら下げて夜中まで電気をつけていたこと』や『12 月のミレニアムだかの時にイルミネーションだとかで電球を夜中までつけていたこと』です。電球も電気代も私達の税金です。誰も見ていないのにムダでしょう！税金で購入した電球は倉庫行きですか？世間の軽薄な風潮と雰囲気のにせられず、ムダをせず、手堅い政策をしてくれることを望みます。今までのことがあるから町民皆あきらめているか、白い目で見ているんじゃないのでしょうか。でも、今回町長が変わったから、何かが変わるかもしれないという気持ちはあるかもしれませんが。例えば、どこかの町のように『何でもやる課』をつくって住民の困りごとへの対応をすとか。あるいは『シースルー町長室を 1 F さがみ信用金庫のエリア』につくって、町長の仕事の様子をオープンにすとか…。多分できないでしょうが、そういうようにマスコミにさわがれる、注目されるような思い切ったことでもない、何も変わらないのでは…？まず、できることはムダに税金を使わないようにしてほしいです！！
金手	30～39 歳	今の時代 1 人暮らしの方はけっこういます。私も経験しましたが、自治会費を強制的に払うシステムには疑問を持ちました。自治会費を払う事は全然かまわないのですが、組長を決める会議に参加しろと言われてたり、組長がまわってきますと言われてたり。1 人暮らしには負担が大きすぎる。1 人暮らしで生活はギリギリなのに、その上に年間の自治会費を払って組長までやらされるのはどうかなって思います。ある程度 1 人暮らしの人には自治会費は払うけど、会議等には出なくて

地区	年齢	意見
		いい等、町でそういうシステムを作ってほしいです。結局自治会は脱退しました。なので、町の情報は入ってこないし、町の検診に行きたいのに行けない。町民税は払っているのに、町の便りがもらえないのもどうかなって思う。自治会脱退するともらえない。町の便りがもらえないのなら、そういう違う情報発信をしてほしい。高齢者、子育て世代が大変なのはもちろん分かるけど、1人暮らしの人も生活するのは大変。そういう人もいるコトをわかってほしい。
	40～49 歳	合併をすすめてほしい。
	50～59 歳	住民の高齢化や人口減少は避けられません。仮に大井町だけ人口を増やすことに成功しても、近隣の市町村で人口が減ったのでは意味がありません。近隣の市町村と合併もしくは、高度の地域連合のような形で協力し合い、例えば上下水道などもろもろの都市基盤や整備関連サービスなども、その地域連合で考えていくべきだと思います。松田町と開成町の花火大会に加わったらいかがですか？大井町の人、大勢見えています！町独自のお祭りにお金を掛けるのも反対はしませんが、例えばよさこい祭りも、踊っている人達とその家族は楽しいかもしれませんが、一部の人だけです。花火は子供から老人まで楽しめるのに。まずは花火から隣町と協力して下さい！
	70 歳以上	町の将来に夢を持つことが出来るような施策を考える。◎具体例→海外の街との交流を図る（子供、年配者の交流を促進）。既存の施設の利用促進（無駄が無いか？チェック）。税金は将来性のあるものに投入する。高齢者は昔と違って資産もあり、若い人よりお金持ちである。高齢者への税金投入は個人負担と合わせ、各事業活動を行う（無料は良くない）。
	70 歳以上	より良い行政効率がはかられるならば、将来的には隣接の市や町との合併も検討していくべきと思う。昭和46年学校を卒業して、当時の第一生命大井本社に配属されたことから大井町に愛着を感じ住みつくに至りました。
上大井	40～49 歳	地域に行政のツケを払わせるような施策は危険。持続可能な地域社会づくりに反します。地域にコミュニティ活動、サロン活動、子育て、防災の事業の負担をさせると、やれる人はやるがやれない人になると続かず、行政が尻ぬぐいをするようになります。行政が責任を持つべき事業は企業や任意団体に委託、職員・議員間でしっかりまとめて頂きたいと思います。他市の先進事例に追従するのは、それが成功したか失敗なのかよく見極めてからにしてください。
	50～59 歳	今月、8日に社協の一般会費の集金が組長さんより有りました。毎年、面倒かと思っております。組費から引落すなどの仕組作りをしてほしいと思います。
	60～69 歳	今度の町長は知らないが、前任者のように何もやらない町長では、町は良くなりません。
	60～69 歳	通常業務をていねいにこなす公務員が最低限だが、一步踏み出して町民と共に進む職員もほしい（見えないだけかもしれません。ゴメンナサイ）。
	70 歳以上	町の発展のためには、自治会の活動が重要であるが、自治会長のなり手がいない。それはなぜか？手当が仕事の割に少なすぎると思う。もっと手厚くすべきだと思う。それが無理なら役場職員がもっと自治会の仕事を手伝うとかしないと、自治会そのものが消滅しかねない。町会議員等と合わせて組織の見直しを図ってもらいたい。
	70 歳以上	歴代の町長さんはじめ町役場職員さんには、大井町の自然環境、特に地形・地質に関する関心と知識が極めて少ないと感じています。大井町にはJR御殿場線と断層とで三分割されています。このことを基本に町の全てを考えるべきなのに、そんな発想はどこにもないようです。
	70 歳以上	何もしない議員を少なくしろ。給料どろぼうみたいだ。最初だけ良い事ばかり言っているが、後は何もしない。
西大井	16～19 歳	税金の使い方をもっと考えるべきだと思う。大事に使ってほしい。

地区	年齢	意見
	40～49 歳	少子高齢、人口減少により、従来にない様々な問題や課題を抱えることになるかと思ひます。今後ますます行政、住民の連携が大切になってくると思ひますので、町内に限定せず、周辺地域や関連団体と一緒に取り組んでいけたら良いと思ひます。
	50～59 歳	町の若手職員さんが車の掃除、花の水やり、草かり、草取り等、外部へ委託できる仕事をしているのを見かけると、本来の業務に専念させてあげたいと思ひてしまいます。費用的にも時給いくらの車掃除なんだろうと思ひてしまいます。若い方たち（職員・町民）の意見を聞ける町づくりを期待いたします。
	50～59 歳	行政の各部門長は若返りを計って頂きたい。名誉職は不要。
	60～69 歳	少子高齢化が進み、人口減少、税収減少で生き残りをかけて、次々に新しい施策をトップダウンで打ち出している首長が多くなっているように感じます。そのために、施策を実行に移す職員の方が遅くまで仕事をされているようです。政府で働き方改革が叫ばれている昨今、職員が疲弊してしまったらよい仕事はできません。職員の健康を考え、働きやすい職場づくりがよい町づくりの第一歩だと思ひます。次期総合計画を作成するにあたっては、新たな施策をたくさん作るのではなく、吟味した施策の一つでもいいから展開していくことが肝要だと思ひます。ときにはスクラップアンドビルドでも良いと思ひます。具体的な意見でなく申し訳ありません。大井町の職員の方の活躍を期待しております。
	70 歳以上	町会議員さんが、誰がどんな方向方法で動いているのか、働いているのかわからないので、議員さんの数が多すぎると思ひます。
柳	60～69 歳	相和には 7 自治会があるが、15 年～20 年後は統合しないと維持できなくなる。
	70 歳以上	公共事業に協力する人から税金をとるなんて考えられない。

住民参加

地区	年齢	意見
河原	30～39 歳	こういった「まちづくりアンケート」も重要だと思ひますが、違う視点から見たアンケートや意見交換の場を作ってほしいです。実際住んでみて、通りにくい道や危険な場所、ここに駐車場があれば（広ければ）いいのに、などもっと中のことを伝えられるアンケートを実施してほしいです。
	40～49 歳	自治会への加入について。同じ集合住宅に入居しているにもかかわらず、加入していない人がある。組長の順番がすぐまわってきて、不公平な状況です。自治会に加入していない人に限って、ゴミの分別ができておらず、困る事がある。転入してくる時に、町から加入をお願いすることはできないのか？皆が安心・安全に生活していく上で必要なことなら、強制加入の考えがあっても良いと思ひます。我が家は同じ入居者に、自治会に入らないとゴミは捨てられないと言われて入った。出不足金について。お金を払えば参加しなくて良いと思ひるのは違うと思ひます。払いたくないから参加するのも違うと思ひます。他の市から来た人間からすると、この制度にびっくりした。
	70 歳以上	体調不良のため、参加・活動は無理なので、出来る範囲で協力をしていきたいと思ひます。
根岸上	70 歳以上	通勤若年齢層の確保。横浜、川崎、都内へは、電車・車を利用すれば、約 1 時間前後であり、通勤若年齢層への住居提案のアピール（他地域への広告）と子供を含めた家族が、安定・定着化すれば、人口増に繋がり、直接、間接の税収増にも繋がるものと思料する。（JR 御殿場線下曽我駅周辺・小田急新松田駅周辺の川音川左岸の住宅開発から当町に繋がる発展拡大化等を図る。）而して、新幹線通勤者が、三島、小田原駅等から新横浜、品川、東京駅へと利用している者が、少なからず居て快適な生活を過ごしている事実も見逃してはならない。此れらの人

地区	年齢	意見
		は、週末の生活を快適に、風光明媚で閑静な地域での生活を望んでいる者であり、50年前は、土地価格の安い、海が近くて景観のよい鎌倉、逗子、葉山を求めて、近くのアザリエ団地、逗子・鎌倉ハイランドへと移住者の入居が続いたが、此れらと周辺地域は、今では、全て埋め尽くされ、続く横須賀地区も飽和状態であり、次なる通勤圏の県西部へ触手が伸びて来ているものと思慮される。而して、現在、鎌倉、逗子、葉山地域の国道、県道、市道、海岸道路は、夏のシーズン、週末ともなると、常に渋滞し、東京、横浜への有効なアクセス道路は横横道路1本しか無いのが現状である。次に65歳以上の非労働者層が急増している此の頃では、生産年齢人口増が必要不可欠で、此れら年齢層のニーズに合った価格の家屋提供と町の風光明媚な環境等（何の地域からも見える富士山、酒匂川の存在、東名（大井松田インター）入口が近くて利用し易く、余暇に於ける海、温泉を求めての湘南、伊豆方面へのアクセスが良い。注意すべき点は、余暇に於ける行き先の第1位は、若者は湘南、家族は、温泉と伊豆と云う事である。）をアピールする事が必要で、町のシンボリックな建物の設置、誘引するに足るイメージ作りが大切で、絶えず広報を行い、若人を呼ぶ活動をすべきで、例えば、酒匂川河川敷等を利用した歴史探訪（大山往還・尊徳の偉業探訪）ウォーキング等の催しを年に2、3回行い、実際に足を運んで貰い、町の良さ、住民との接点を持って頂き、町に親しみ、良さを知って貰える様に開催を旅行会社等を通じてアピール、補助すべく町でもアドバイザーの参加を募り、盛り上げ、スムーズな活動と為る様に手助けをする等、地域住民と町も協力して参加する地道な活動を続ける事こそ発展への第一歩と思う。此の様に各種の生産年齢人口増加の地道な運動を繰り返して行く中で、的が絞られ、効果のある運動も判る様に成ると思われ、過疎化に成らない為にも町民一体化したコンセンサスの下に町役場の具体的考え、行動を示す事が必要で、其の中でチームリーダーが生まれ、共同した運動の中で、町を動かす責任ある立場に成って貰い、町の将来が見通せて、発展が出来る様にして貰いたいものである。確実に、実績を上げる為にも、役場職員約140人に各地域の担当者、スタッフの割り振りを行い、問題点の早期吸い上げと解決を図って貰い、住民との一体化を図る。当然ながら、定期の会議を開催して意思の疎通を図る。
根岸下	70歳以上	公園が出来るようですが、とても楽しみにしております。ガーデン部分等ありましたら、ボランティア参加したいです。目に美しく、人々のコミュニティに役立ちたいです。心の安まる場所、又、活動できる場所になると良いですね。穏やかに互いに思いやって暮らしたら幸せです。公園は、与えられるものではないと思っています。皆さんに愛される場所になる事をお祈りしています。防災訓練も、1目で見えて理解できるような情報・映像があったら、とりあえず全員参加（自宅待機の方等）視聴できます。見なおし学習する事も出来ます。いかがでしょうか。→（DVD化）何よりも意見や考えを出しやすくし、皆で受けとめ合えると良いですね。まず一歩です。応援しております。
市場	70歳以上	町、部落ごとに意見を聞いて多くの人の意見を集めてほしい。
坊村	40～49歳	町を発展させるためには、人を呼び込むのが一番だと思うが、良い人だけではなく悪い人（悪い行動）も入って来てしまうため、いいアイデアが浮かばない。例えば盛大な祭り（ひょうたん祭りの開催期間を延長など）を行えば、一晩中騒ぐ族がでてくる。御殿場駅にSLや観光列車を走らせると、マナーの悪い鉄ヲタが来る。産業（大企業の工場）を誘致すると、外国人労働者（労働者）が増える（外国の方が居ても問題はないが、不法滞在とか、外国人労働条件の悪化、生活マナーの問題）など。とりあえず、町民どうしのコミュニケーションを増やすところから始めてみる…イヤ待てよ。町民が増える（新しい町民が来る）と、その町に慣れるのに時間がかかり、うまくコミュニケーションが進まないということも考えられる…。自治会の壁を越えた交流会とかあるといいかもしれない。サークル

地区	年齢	意見
		とかもそうだけど、例えば、吉原新宿河原合同祭りとか。あったらいいのでは…。
馬場	60～69 歳	住民意見の吸い上げ方を多様に、直接的に町長に届け反映できるホームページに意見を記入できるサイトを作り、一定数票が集まった場合には担当部長に検討させ回答を公表（公表）する。
金手	50～59 歳	町としての考え方や計画を、よりわかりやすく、より多くの人に伝え、多くの意見が出てくるよう工夫をするべき。
	70 歳以上	財源は限られているので、住民も行政サービスをただ受けるだけではなく、参加できることは直接参加して（e x 環境整備、ゴミ集めなど）、自分たちの町を住み良い町にしていきたいと思います。
西大井	20～29 歳	最近子供を産みました。子育てに関する事でまだまだ不安もあるので、地域のお母さんたちや助産師さんなどと交流する機会があれば、参加したいです。また、そのような情報を得るツールがあると嬉しいです。子供が遊べるような施設や公園も充実すると良いと思います。
上山田	50～59 歳	大井町は人と人とのつながりが強く、地域の活動が盛んだと思う。その反面、若い人に継承されていないのは何故なのか。つながりが強いところが、若い人にとっては逆に不満なのだろうか。世代交流をしながら、若者の意見を聞き、若い人たちが定住するようになってくれたら良いと思う。子育て支援・教育環境は整っていると思うので、住民を増やすことで、町全体が元気になることを願う。

その他

地区	年齢	意見
吉原	70 歳以上	年令的に高齢、足腰弱いので。
新宿	60～69 歳	やり始めた事は長く続くように管理、保護、育成をしてほしい。中途半端はやメテ。
	70 歳以上	早いもので、大井町に来て 40 年を過ぎようとしています。御年 70 才！だんだん昔がなつかしい…と思う時代になってきました。それに伴って高齢者がだんだん増え、若者が少なくなります。我が家も子供は大井町から東京へ転居し、帰る兆しは見られません。お墓のこと、家のこと、あとはどうなるのか…？そんな事を考える年になってきました。役場の仕事も、大井町がどんな未来になるのか、これからの事を考える時期にきているのかもしれない。とても良いタイミングで「まちづくりアンケート調査」に参加でき、良かったです。ありがとうございます。
	70 歳以上	当アンケートの質問内容にも表れているが、漠然としすぎて答えづらい。
河原	16～19 歳	これから大井町の発展のため、がんばってください。
	60～69 歳	設問が難しすぎる。何を聞いているのかわかりにくい。多くの方の回答を得ようとするなら一考を要す。
根岸上	60～69 歳	大井町に住んでまだ 2 年です。あまり住民とは接していませんが、これから近くの色々な人と話をして溶け込んでいきたいと思っています。お店を開きたいのでここ大井町に住みました。
市場	50～59 歳	アンケートで、福祉、都市基盤、公共施設でのくくりが当然水準を上げるべきものと、どうしても良いものがひとくくりになされていると、結局おざなりな答えしか選択できないと思いました。
	70 歳以上	高齢者の為、アイデアは若い方におまかせ。
	70 歳以上	まちづくりアンケートを繰り返し読ませて頂き、教育問題、特に学校の事はわからない質問もありました。50 年大井町に住んで環境も人柄も最高です。大井町に住んで良かったです。

地区	年齢	意見
馬場	40～49 歳	日頃の町民のためご尽力頂きありがとうございます。とても感謝しております。引き続き、ふるさとへの恩返しに尽力していくつもりです。よろしくお願いします。
金手	16～19 歳	頑張ってください！おしごとおつかれ様です！大井町大好きです！
	70 歳以上	高齢者である私は答えることのできない場所がありました。現在大井町に住んでいて幸せな生活を送ることが出来ており、感謝の気持でいっぱいです。これからの若い人の意見を取りいれて大井町がなおいっそう発展することを願っております。
上大井	60～69 歳	本アンケート網羅的で、町の意図が見えない！
西大井	70 歳以上	地元住人の優先
篠窪	70 歳以上	80 才を過ぎてますので若い人達の負担にならないよう注意しています。
下山田	16～19 歳	大学の友達をBIOTOPIAに案内したら、えらく喜んでました。BIOTOPIAの更なるアップデートに期待したいです。町の職員のみなさんの尽力にいつも感謝しています。がんばってください！！
	20～29 歳	このアンケートは説明不足なところがあると思いました。たとえば、11ページの問24にある「わたしの提案・意見」というのは、インターネットからでも発言することができる、ということは、私があとから検索して知ったことです。町に関して、これは知っているだろうと予測せず、下に説明を加えるなどの工夫が必要だと思いました。
無回答	20～29 歳	このアンケート類が障がい者である娘あてで何回来て母がアンケートに答えています。無差別に出しているにしても、もう少し出し方を考えて同じ人に何度も行かない様にした方が良くと思う。

4-2 職員アンケート（施策アイデア）

施策	分類	①課題や強み	②課題に対する新たな施策・事業 強みを生かした新たな施策・事業
1. 教育・保育環境の充実（湘光中学校等の整備・改修、保育体制の充実）	施設の不足	幼稚園児の減少、 保育園の待機児童	幼稚園のこども園化。保育園を増やす。 相和幼稚園に在籍している子ども達が少ないので、保育園と合流させ、認定子ども園的な活用をするか、保育園の分園的なものにしてはどうか。
		保育園が少ない	駅前または人口密集地への保育園の誘致
		保育所の待機児童をなくす 新たな保育所の整備と保育体制の充実	人口減少及び少子化が進む中、乳幼児の保育所の入所希望は年々増加している。大井保育園においては乳幼児の定員を増やすよう施設の増設を行う。さらに民間事業所の誘致を積極的に行い、私立保育所を増やす。 ※幼保一元化は行わず、現在の幼稚園の1施設を保育所（民間委託なども含む）に変更していくことも考えられる。
		待機児童の解消	勤労世帯の増加に向けた支援・ハローワークとの連携
		発達障がい児施設について	民間の施設を誘致し、教育機関との連携を図っていく。
	障がい児	発達障がい児の施設がない	民間の施設を誘致し、大井町の中で教育機関と施設とで連携を図っていく。
		障がい児（気になる子）の保育 公立保育園の為保育士と連携をとりやすい	現在、発達障がい（気になる子）が爆発的に増えている。近隣には療育施設が少ないため、行先の無い子が保育園に通っている。就学前の子供を対象にした療育施設を作ったらどうかと思う。
		人員不足にならないための人材育成・確保	保育の現場では、大井町だけでなく、人材の確保が難しい状況がある。新たに人材バンクのようなものを活用する、新人の育成のための人員を配置するなど、今まで以上に人員確保にしっかり取り組むべきだと考える。
	人材不足	—	保育士や幼稚園教諭の免許を所有している人材を確保し、幼稚園の職員数の充実を図り、専門的な教育ができるようにする。
		人員不足	保育士資格・幼稚園教諭免許を持っている人材を登録制などで確保し、幼児教育の充実を図る。
		特色のある教育や優秀な人材の育成など教育施策の充実を図る。	町づくりは人づくり。教育環境がよいこと、すなわち、物事の理解度が高い人材を多く輩出できることと、町民の民度が高いことは子育て世代の移住、定住や行政施策の推進につながる。教育環境は施設の充実のみならず、授業の理解を高くすることや語学力をつける授業、個性を伸ばす教育指導が行える指導者の確保や状況整備など。
		保育園の老朽化と各保育室の見直しなど	・保育室を学校のように独立化してほしい。 ・保育室をつなげてホールのするのではなく、単独のホールを作してほしい。 ・断層がない場所に建設
	教育	教育と保育の環境を並列することに違和感を禁じえず	ハード面の整備完了後には、学力向上に注力すべき、学力高き所にはおのずと人が来る。人口増加の一助となる。そのために、投資が必要
		—	小規模保育事業所を含めた複合施設の建設。民間事業者と話し合い方向性を決定し、待機児童数の緩和を図る。
		幼稚園教育の充実	幼稚園の教育に体育スポーツの指導者を取り入れ、カリキュラムの充実を図る

施策	分類	①課題や強み	②課題に対する新たな施策・事業 強みを生かした新たな施策・事業
		大井町としての特徴的な教育方針を設ける	大井町で教育を受けさせたいと思わせる特色があれば、移住定住にもつながり、かつ生産年齢人口も増加し、税収等にもプラスに働くと思う。例えば、 ①最大20人学級とし、先生がきめ細やかに接することを売りにする ②外部講師（塾講師的な方）に委託し、放課後教室的なものを実施することで、希望する児童生徒に補習の場を設け、わからないことを再学習するだけでなく、得意科目を更に伸ばす内容とし、公教育だけでも更なる学力アップが見込めることを売りにする
		時代の要請に合っていない	公立幼稚園・公立保育園については民営化を主眼に進めるべき。民間がだめなら、覚悟を決めて公立認定こども園の開園に向け早急な対応をする。
		教育と地域の連携	—
2. 産業立地と居住環境の創出（「金子吉原地区」土地区画整理事業や企業誘致）	企業誘致	税収につながる企業の誘致を推進	第一生命撤退後、税収減に歯止めをかけるには、新たな企業の誘致が不可欠。企業誘致の施策は最も重要。県内外に広く周知。
		アクセス向上に伴う企業誘致	町内で最後となる都市計画道路が事業着手となることから、道路アクセスの向上が期待できるため、沿道施設や企業誘致に向けた取り組みを実施し、新たな財源の確保並びに地域の雇用促進を図る。
		インフラの整備により居住環境はされている。	人口減少が進むなか、住居（住宅）は飽和状態になりつつあると思われるので、町民（近隣市町民含む）のための雇用先、町の財源を補うためにも企業立地（誘致）にシフトしていくべきであると思う。
		交通の利便性を生かした企業誘致	国県道などの道路交通網が整備されており、また高速道路へのアクセスも容易で輸送面で恵まれた環境にあるため、大手・中堅企業の誘致を推進する。事業所、工場の設置または移転に伴い、従業員の転入及び法人・個人に対する税収の増加を見込めるとともに、地元住民の雇用に寄与することも期待できる。
		水が豊富・大井松田 IC が近い・災害が少ない	金手地区から西大井地区をとる都市計画道路沿線は、美しい田園風景が広がっている一方、ここ近年は遊休農地や荒廃農地が目立ってきている。農振農用地が多いため土地利用に制限があるが、上下水道が整備された道路沿線は企業立地などの誘致に適していると思われる。また、本町は水が豊富にあり、取水制限などの影響はむしろ皆無に等しい状況から、水を多く使用する工場や企業を誘致できればと思う。さらに毎年のように各地で頻発する豪雨災害などは、本町ではかなり少ないことも強みであることから、企業誘致や定住を促進できる。
		町内に企業が少ない（税金の収入源）・子供が安心して遊ぶ場所が少ない・自然がのこっている	・企業を誘致することによって、そこで働く人が大井町に住む可能性が増える（第一生命のように） ・安心して遊べる公園をつくる。（幼児向きの遊具もあるような）
		調整区域内ではあるが、大規模開発の余地がある	東名インターを有している利点を生かし、企業誘致（大型商業施設、アマゾン倉庫など）を行い、雇用と賑わいを創出できるのではないかと。

施策	分類	①課題や強み	②課題に対する新たな施策・事業 強みを生かした新たな施策・事業
	企業誘致	大井町の規模からすれば比較優良な企業が町内に事業所を有している。	・町の人口減少を抑制することが必要と考えている。全国住みたいまちランキングの上位を占めている市町村は、優良企業が地域にあることでその財政力で質の高い行政サービスを提供していることが上位に位置づけられる理由となっていると思われる。具体的施策ではないが大井町の特性を生かした優良企業を誘致することが町活性化に直結すると考えている。
		調整区域であるが土地はある。	西大井や吉原、相和地域にある調整区域の用途変更を行い、企業進出の可能性を確保する。 職場の近隣に人は住むため、企業が進出すれば人口維持も期待できる。
	公共交通	景観や、交通の利便性	都内在勤の方には交通費を補助し、高所得の方の定住をはかる
		居住環境の創出に加えて、公共交通の確保が課題	役場北側の区画整理地への流入人口の目標値を達成するために、公共交通（電車・バス等）の充実が必要だと思います。または、自家用車所持への施策があっても面白いと思います。
		調整区域であるが土地はある。	都心から車で1時間という立地を生かし、新たな企業の本社を相和地域に誘致する。東名山田バス停の誘導路を活用し、スマート IC を作れば、更に利便性が向上する。恐らくうまくいかない相和活性化も一気に解決する。土地はたくさんある。
	整備・住宅	課題：少子高齢化 強み：広く平坦な地形に位置する区画整理の整備	高齢化社会のため高齢者向けサービスが増えているが、人口増加に繋げるためには若い世代（特にこれから子育てを始める人）の定着が必要。古い既存の子育て支援センターを区画整理地内に移設し、相模金子駅・上大井駅を廃止し区画整理地内に御殿場線の駅を設置する。子どもを連れて動く場合は行動範囲が限られるため、役所の手続きや公園、スーパーが狭い範囲に集合し、本数が少なくても御殿場線の駅が近くにあったほうが良い。町内で子育てが始まり、子どもが町内の園や小学校に上がった後では他町に動くことを避けると思われるので、定住が期待できる。
		大井中央土地区画整理は、都市計画道路が開通すれば小田急線開成駅へもアクセスしやすくなることが最大の強み。 国道255号沿線には、買い物や食事ができる店舗も多く利便性が良好である。一方、開成町南部地区土地区画整理とは競合するため、大井町に住むことのメリットを発信していく必要がある。	①子育てに関連する施設（認定こども園など）が新設されれば、子育て世代には定住する動機になるとと思われる。 ②徒歩圏内（できれば区画整理地内）にコンビニなど生活に密着した店舗があれば、より一層魅力的な街になるとと思われる。
		東名高速道路に近く地価も安いがまとまった用地がない	酒匂縦貫道路周辺の土地利用を見直す。

施策	分類	①課題や強み	②課題に対する新たな施策・事業 強みを生かした新たな施策・事業
3. 相和ブランドの創出		調整区域であるが土地はある。	上記内容と関連。金子吉原地区に、小規模保育施設、子育て支援センター、貸出可能な会議室（もしくはサロンのなスペース）等の機能を備えた複合施設の建設。新興住宅地の住民を含め、気軽に利用できる場。経営を希望している民間事業者と話し合い、どの範囲で負担してもらうかを決める。補助金の活用あり。
		大規模商業施設が立地する国道沿い	社会資本整備総合交付金などを活用し、町営マンションを建設するなどによる定住対策
		開発等で土地利用は多くなっているが、人口は減少に向かう。	・開発等で戸建件数は増加傾向であるが、対照的に人口は減っていく現象がある。増やすというのは厳しいものがあるので、この対策には、平成14年以降凍結された市町村合併（足柄上地域）の議題を進めていく方向性が良いと考える。行政としての母体を大きくし、より強固なものにできれば、行政が変わって見えてくるものも多々あると考えられる。難しいことや課題も多々あると思うが、実現できれば市と対等な立場になれば、移住を考える人もいるかと思う（田舎の町というイメージを”市”として払拭する）。
	情報発信	大井中央土地区画整理事業	住宅地の開発・公園整備（完成予定図）のPR
		土地区画整理地は素晴らしい景観であるのに周知不足	町外・県外に向けた情報発信を強化する
	ブランドの発信・活用	自然環境の豊かさ、ニッチな施設	自然園などを活用したオリエンテーリング 射撃場や乗馬場を活用
		ブランド発信により交流人口が増加し、路線バスの減便を抑制できる。相和地域の好循環が生まれる。	単発な開催物だけではなく、メインの売り（ブランド）を作り、そこから裾野的に広がる景観・施設・等の整備をし、常に訪れたいくなるような事業を開催する。
		都心から距離が近い自然豊かな環境	広域で連携した中でのグリーンツーリズムの実施
		現状向かっている方向性は良いが、やっていることが中途半端な気がする。	・相和活性化のため民泊への取り組みやニールリーダーの育成など全国的に成功している事例、事柄に取り組んでいることはいいことだと思うが、官公庁が先頭に立つのは、失敗のもとである。さらに、地元自治会の人間だけで形成された一般社団法人では、民間のノウハウがない。ここは、大きい民間企業を参入させ、民間の力を取り入れることが重要だと思う。せっかく相和地区にある施設、「いこいの村」とのタイアップをうまく考えられるようなこともできないものかと思う…
		相和地区は農産物の生産が盛んである。	イベントを開催し、新鮮な野菜を販売することで相和地区の活性化を図る。
豊かな自然環境		神奈川大井の里体験協会等の事業については、いこいの村あしがらや四季の里・農村公園等を相和地区全体を活かした、観光施策の充実	

施策	分類	①課題や強み	②課題に対する新たな施策・事業 強みを生かした新たな施策・事業
		相和地域を中心にした観光資源のPR活動の推進	相和地域の活性化を図るため、町や神奈川大井の里体験観光協会が実施する事業等においては、町外に向けた情報発信が主となっており、町民の参加は少ないように感じている。町外への発信も重要であるが、町民にも積極的に呼びかけ参加し体験してもらうことで、町民が相和地域へ関心をもち、相和地域の活性化の取り組みを知る機会となり、町民が町外へ発信していく担い手として活躍していただけるとともに、町全体で推進していくことができる。
	6次産業	フェイジョアの活用方法がない	鹿児島県のやねだんに依頼すれば、フェイジョアをパウダー化できる。すでに実行済。パウダー化すれば、6次産業につながるものができると思われ、活用すべきと考える。簡単にできるフェイジョアレシピ大会でも商品付きで開催して、メニューを増やす機会を作ってもいい。
	交流人口	相和地域が持つポテンシャルをいかしたさらなる交流人口の増加	高齢化を見越した次世代の相和地域を担う人材の育成、空き家を活用した人材確保、様々なツールや手法による情報発信の強化。
	その他	町と住民が目指している相和地域の活性化の方向性が一致しているのか疑問である。	地元住民が何を望んでいるのか（目指しているのか）、よく分からず担当課も苦慮していると思う。 「相和」の課題は多岐に渡るものなので、再度整理してみてもう一度かと思う。少なくとも「少人数」を前面に打ち出した教育は強みであると思う。
		イベントが多く、職員に負担がかかりすぎている、町民の自主性の醸成	イベントをやる、やらないの判断も必要だが、職員が主にやるのではなく、地域住民に呼び掛けて有償ボランティア等を募ったり、委託する形で行い、町はサポート側としてイベントを行う方向を考えても良いと思う。「自分たちの町は自分たちでPR」という自主性の醸成を図るべき。
4. 次世代産業の共創と連携	企業・産業の誘致	大型施設「BIOTOPIA」があり、今後の展開が期待できる。	健康・医療分野の新たな未病関連産業を誘致する。
		県下唯一の施設「BIOTOPIA」の存在と次世代産業が育つ環境	・法人町民税を納付するレベルの企業の誘致 ・健康長寿の町としてクリーン・長生き・子育てしやすい等健康な町としてのイメージ戦略 ・観光地として人をもっと呼び込める可能性を秘めた施設なので、企画立案のプロ(専門家)を雇うなどしながら町とブルックスで体制を確立していく。
		町内企業の参入が少ない	町内企業へ声掛けをして、各種イベント等に積極的に参加してもらい、将来的には共同事業等に参加してもらう。
		広大な施設、建物の存在	現在 BIOTOPIA では多くのイベントを開催するなど、町内外からの来場者も増えていてよいと思います。しかし、未病関連施設が少ないと思うので、さらなる健康増進に関する施設（トレーニング施設等）の導入や、ジム等の業者の誘致等ができればよいと思います。
		広大な敷地	民間活力の活用（健康・スポーツ関連企業等の誘致）
	企業・産業の誘致	広大な土地があり足柄平野が一望できる。駐車場が広い。自然が多い。	来場している方の車のナンバープレートを見ると、地元の車より横浜などの車が多い 短時間で帰るのではなく、来場者が1日過ごせるようなテーマパーク的なものを提供してはどうか

施策	分類	①課題や強み	②課題に対する新たな施策・事業 強みを生かした新たな施策・事業
		大人向けすぎる	子育て世代を取り込むことで、より賑わうのではないかな。公園や遊園地、動物園的な要素を加え、より観光としても楽しめる場にしていくのはどうか。
		神奈川県が推進する「未病」産業事業の拠点施設として位置づけられる施設	BIOTOPIA 施設の内容を充実することで1日過ごせるテーマパーク化
	連携	未病の戦略的拠点施設ビオトピアの有効活用	県およびブルックスと連携して、さらなる集客が見込める施設とする必要がある。企業や商工会等地元団体と連携し、魅力ある商業施設や体験施設を増やす等
		連携事業者との関係性	町として推進することが出来ない状況なのであれば、県との役割分担を明確化し、町事業として取り組む範囲を縮小していく。
		地方創生と連携した支援・国家戦略特区への取り組み	スタートアップ、ベンチャー企業、NPO 法人等への支援（地元企業、投資家とのマッチング等）
		町と県と民間企業とのコラボ	BIOTOPIA の積極的な企画の展開
	イベント・PR	ハード面が整っていることは、非常に恵まれた環境にあると考えます。	保健福祉センターの未病センター、総合体育館をベースに健康教室などのプログラムを立ててもよいと思います。運動前後に健康チェックができ、それを習慣づけるには非常によい条件を満たしていると思います。
		有料イベント価格の見直し	イベント価格を現状より下げ、周知をまずは第一に徹底する。イベントによっては価格が高いものもあるので気軽な参加が厳しい面もある。ただブルックス主体なものもあるので価格調整など厳しいところはあると思うが、ぜひ検討していただきたいです。
		【強み】未病への関心の高まり（医療費削減効果への期待）	TV、ラジオなどで紹介してもらい、認知度を高めてはどうか。いつの時代も流行を作るのは若い女性であると思われる。その層に訴えるコンテンツがほしい。（インスタ映えしそうなモニュメント、足湯、ダイエット的なもの）
		ビオトピアのPR	今後のビオトピアの事業計画（進捗状況）のPR
	その他	未病を町全体で取り組んでいる実感が無い。	ある程度のところで方向転換する勇気も必要。
5. 情報の共有	SNS	SNS を活用した情報発信	日本で最も多くのユーザーによって使われている LINE を活用して、町の情報を発信する。有事の際は、災害情報等の発信ツールとして活用する。
6. まちづくりへの町民参加の促進	参加促進	課題：人に興味がない、ボランティアは一部の限られた人しか行わない、若い世代は無償ボラをする余裕がない、 強み：今の 70 歳前後の方には町政に興味のある方がいる	町全体を巻き込んだボランティアポイントの創立

施策	分類	①課題や強み	②課題に対する新たな施策・事業 強みを生かした新たな施策・事業
		後継者づくりや新たな人材の参加促進	地域活動の担い手や町で実施する養成研修等に参加者は人材に偏りがあるため、色々な世代や今まで参加したことのない町民が参加できる工夫が必要。
		課題：町民の意識改革（一部の方以外、積極的な参加意欲が見えない）	—
		主体的に何かに取り組もうとする町民が少ない	町の団体で健康づくりなど積極的に取り組む団体を表彰したりメリットを与えることで町が活気づける取組
7. 人づくりの推進	世代間交流	—	児童館の設置・活動を通じたコミュニティー作り！
		—	小さい子どもからお年寄りまで、室内で交流できるような娯楽施設をつくることで、コミュニティーや交流が広がる
		—	小さい子からお年寄りまでが一同に交流できるような娯楽施設、コミュニティーの場作り
	高齢者	少子高齢化の時代、高齢者の人材発掘・育成が必要	高齢者の年齢基準を町独自基準とし、引き上げる（現行 65 歳以上→75 歳以上）。
		高齢者が就労したりサークル活動に取り組んでいる人が多い	高齢者が活躍し、子どもに何か教えたり遊ぶ場を提供もしくは立ち会うなどし、地域で高齢者などの町民の活躍の場を作り、地域ぐるみで子育てをする
	人材発掘	各所に人手不足に加え適性について	人材育成と各課・現場の状況把握をし、必要な人員確保と食の適正・資格を有するものを採用する
		やる気やスキル・技術を持った人材はたくさん眠っている	—
8. 自治会活動等への支援	加入率	大井町では自治会に入会している率が高い。	町民のために施策を行うには、自治会を通して行えば円滑にいく。
		町とは反して、町民にとっては自治会の必要性（存在）が希薄となっている。（自治会離れが加速している）	自治会加入率（地域コミュニティー）の向上を目的とした各自治会オリジナルの新たな事業に対する財政的支援
	高齢化	自治会加入者の高齢化	美化作業や集金、町の行事への参加が困難という理由で、組や自治会をやめたいという高齢世帯の声を多く聞く。また、加入を拒む若者世代も多い。町として、様々な面で把握ができるというメリットはあるが、そこに縛られなくても、もっと強いコミュニティーが形成される世の中でもあるので、先進地を参考にするなど、あり方について検討するべきである。
9. 平等な社会の形成	人権意識の向上	職員の人権意識の向上	世間において女性の人権やLGBTQ、仕事におけるハラスメントなどが話題になっている中、大井町でも町民から人権に関するご意見をいただくようになっております。職員の人権意識が低いとは思いませんが、町民を交えた人権やハラスメントに関する研修を更に強化することで、町全体の人権意識の向上に繋がると考えます。

施策	分類	①課題や強み	②課題に対する新たな施策・事業 強みを生かした新たな施策・事業
環境の保全	10. 地球温暖化対策や自然環境	強み＝多様な自然環境課題＝強みの発信	SNS 利用や他市町村との協働による魅力の発信
美化活動の推進	11. 大気汚染対策・環境	鳥獣によるゴミの散乱の防止	カラス等によるゴミ置き場の生ゴミの食い散らかしを防ぐため、ネットで覆うのではなく、原則としてボックスタイプに変更する。ボックスにすることで見た目も良くなるとともに、周囲への臭いの拡散もある程度抑えられる。
14. 公園・緑地の整備、有効活用	整備	公園の整備	庁舎北側の区画に住宅が建ち、住民の増加が予想されます。子どももいる家族、高齢者が使いやすい、安心して利用できるように、屋根の付いた休憩所などの設置した方がよいと思います。
		公園が少なく設備が充実していない	町民、小さい特に子どもを持つ人、高齢者の人の意見を十分に取り入れて、子どもから高齢者の人まで、安心して利用できる公園施設をつくる。
		若い世代が子育てをしやすいような環境の充実	子どもたちが身体を動かして思い切り遊べる遊具や広場がある公園や様々な施設が集まるカルチャーパークのような施設づくり。
		自然を生かした遊び場作り	子どもから大人まで楽しめる遊び場を作り、自然の中で思い切り遊べる環境を提供する。大井町で子育てがしたいと思える環境にしていく。
		公園として整備可能な土地がある。	大井町に住居を定めた理由となるような公園を、利用者層のターゲットを明確にして整備していく。 子どもをターゲットにする → 遊具を充実させる。 大人をターゲットとする → 運動用の遊具（？）を整備する。
		区画整理地内に公園ができる	公園内はシンプルな芝等でくつろげるスペースのみ、外側に樹木、外周はランニング等のできる歩道、その歩道あたりにキッチンカーが自由に販売できる許可をあたえ、飲食できるようにする。芝生内には、シンボルツリーとなる巨大樹木をうえて、クリスマスなど電飾する。この一木なんの木CMの木みたいのもよい。とにかく町が行う公園はおしゃれではない。ツツジやサツキばかりでつまらない。
		中央公園整備	人口が多い都市等では埋もれてしまう人材でも、小さい町ならその能力を活かせる場があるかもしれない。これからできる中央公園に小さなステージ（または、何も置かないオープンスペース）を設置し、個人・団体問わず、何か自由に表現できる場があると良い。 （例；路上ライブ、子どもたちの漫オステージ、絵描き教室、ワークショップ・・・）
	活用	子どもたちが集える場があることで子育て環境が整う	子育てしやすい大井町！町に一つの大きな公園（幼児が遊べる遊具・噴水などがある公園）を！
		湘光園公園の活用がされていない	他地域では、公園を活用して住民達がマルシェを開催したりしている。また、庁舎北側では大きな公園も出来るため、公園の活用を図るべく、町民に活用を呼び掛けて公園を核とし

施策	分類	①課題や強み	②課題に対する新たな施策・事業 強みを生かした新たな施策・事業
15. 市街地の整備			た住民主体のコミュニティ形成事業(マルシェ等の開催)を行うことを提案する。
		新湘光公園の有効活用	西大井の分譲で子どもも増えたため、安心して遊べる公園作り
		新湘光公園の利活用が図られていない	定期的なマルシェやイベントの開催
	スマートタウンの推進	スマートタウンの推進、区画整理地の存在	区画整理地内に、付近住民が無料で使用できるカーシェアを整備する。その車にはEVを使用することで、非常時には蓄電池として使用できる。
		相和地区の人口減少による限界集落化	中心市街地を活用したコンパクトシティの実現
		土地区画整理事業の推進	土地区画整理事業をきっかけに目玉となる新たな取り組みを推進しても良いのでは。 自動運転車両の走行、EVカーシェアリング、エネルギーの地産地消
	空き家問題	強み＝家庭用太陽光発電設備普及率 課題＝空き家の土地管理に対する行政の介入	メガソーラーは、用地への環境負荷が大きいことや廃棄問題から、今日の先進国では事業規模を縮小している。家庭用太陽光発電設備の普及、それに伴いゼロエネルギー住宅の普及に向けて新たな施策を導入すべきだと考えます。
		人口減少や高齢化の進展により更なる管理不全な空き家の増加が予想される。	地域住民との連携による効果的な空き家対策を実施
		課題：人口減少による空き家増加、担い手不足による遊休農地の拡大 強み：大井中央土地区画整理事業による新たな市街地の整備、里山、再生可能エネルギー	人口減少・少子高齢化が進行する中、大井中央土地区画整理事業（財政投資）は本町にとって大きな強みである。しかしながら、全国的に人口減少が進行する中、どの様に定住促進を図るかは大きな課題であるため、定住促進に向けては、本町の強みをいかし、各施策による課題解決も見据え、時代に即した新たな付加価値を創出する必要がある。 【各施策の課題解決と強みを生かしたビジョン】・新たな中心市街地での暮らしによる付加価値エネルギーと防災対策、カーシェアリング及び農地シェアリング、子育て支援 ・里山暮らしによる付加価値 空き家の活用と農地利用 ※残していくもの、新たにつくりあげる物を取って差別化することで相互の強みを強調した施策として展開する。（移住・定住にあたって選択肢を確保）
16. 道路や水路の整備	道路計画	御殿場線がジャマ。相和へのアクセスが悪い。	上大井地域における255号線と県道国府津線を繋ぐ道路を計画する。更に下山田地域への直線道路を作り、エバラの道路で赤田地域へとつなぐ。（新たな都市計画道路）
		都市計画道路の完成	都市計画道路の完成により、新たな道路網が整備されることにより、より良い物流の拠点となり、業誘致の強みとなる。
		歩道のバリアフリー化が遅れている。	町が行おうとしている事業に合致した国庫補助事業のメニューを活用した整備。
	道路整備	駅周辺の道路拡張	相模金子駅周辺の道路の拡張し、車と自転車・人が余裕がもてる道を整備する。
		赤坂の歩行者の危険防止	上大井駅前から山田方面へ上る赤坂の幅員拡張。

施策	分類	①課題や強み	②課題に対する新たな施策・事業 強みを生かした新たな施策・事業
19. 鉄道・バス路線網	交通網の充実	公共交通機関の強化（課題点）	町外の方が大井町へ訪問する際、町内の公共交通機関が御殿場線及び富士急バスしかなく、本数も少ない。今後、公共交通機関の各社に本数を増加してもらうよう要望するとともに、町独自でコミュニティバスを創設するなどの施策が必要ではないかと感じる。
		本数の減便	鉄道は、利用者の促進。 バスは、コミュニティバスの活用。
		電車・バスのアクセスが不便である	路面電車を走らせる。この辺りではあまり見ないので、観光効果も期待できる。
		鉄道やバスがない地域もある中である程度確保されているが、自家用車を手放すほどには整備されていない	【自動運転車両の導入】 鉄道やバス、高速道路のアクセスがさらに良くなれば、物価が高い都会ではなく、少し離れた県西地域に住もうと考える人もこれからもっと増えてくると思います。また、高齢になっても交通の足の不安がなくなる地域であれば、生涯大井町に住もうと考える人も多いと思います。町の福祉バスを無料で利用できるようにしているのは、県内でも数少ないかと思いますが、より多くの方に利用してもらえよう民間のバスがない時間帯を補う形で、自動運転の車両を入れていくような施策が良いのではないかと思います。現段階での実装は難しいですが、近い将来可能になると思うので、企業の実証実験を誘致してみるのもいいと思います。
		そうわ地区における交通の確保	そうわ地区の路線バスが無くなり、交通を確保することが重要課題となる。相和地区の活性化が町の発展につながる。
		交通網の整備	御殿場線やバスの本数を増やして、車を持っていない人でも移動手段の心配をしなくてよくなるようにする。
		大井町を訪れる際の交通網の強化	何年にもわたって取り組みを続けているが、御殿場線において JR 東日本の路線からの乗り換えに IC カードが利用できないことは非常に不便であり、大井町を訪れにくい原因の一つとなっている。 町レベルでは JR 東海と東日本に取り合ってもらえないのであれば、BITOPIA へアクセスしやすくなり、来場者の増加も考えられることを神奈川県へアピールし、県知事レベルで JR に働きかけてもらう。且つ、上大井駅からの BITOPIA 行きのバスの本数を土・日・祝日だけでも頻繁に運行する事を約束し、県にとっても旨みの有るようにする事で、JR へ働きかけてもらうための土壌を作る。
		県西地域は国内有数の鉄道網の密集地	人口の増減率と公共交通網の充実度は高い相関がある。既にある交通網を補完する新たな公共交通の整備が必要。
		本数が少なく、不便	福祉バスの増便及び新松田駅を経由するようにする。
		鉄道・バスともに利用者が少ない	バスアプリを使用すると、意外にバスが便利だと気付く。電車よりも自宅に近い場所で乗り降りできることが多いので、特に子育て世代に知ってもらうことで、利用促進できるのではないかと。多くの方は、バスを利用することが少ないかもしれないが、無いと困る交通手段だと思う。
	鉄道	鉄道が不便	御殿場線の本数が少ないため不便である。また、IC カードがようやく使用できるようになったが、国府津方面では使用できず、意味がない。したがって、通勤で使用するには不便で、この街に定住しようという決断をしにくい環境になって

施策	分類	①課題や強み	②課題に対する新たな施策・事業 強みを生かした新たな施策・事業
			いる。イベントに関しても同様。せめて IC カードを利用できるようにしたい。
		公共交通機関が十分に機能していると言い切きれない	近隣市町村等とも連携を図り、JR 各社の鉄道を越境して IC カードを利用できるよう JR 東日本、JR 西日本各社や国に対して要望活動を行う。併せて JR 東海に対し、御殿場線の増発を要望する。
		御殿場線の利便性向上	観光客のため、御殿場線以外の路線を含めた IC カードの利用
		公共交通機関の利便性が悪い	御殿場線新駅の要望（例：相模金子・上大井を廃止、大井中央に新駅） 駅の周りに駐車場の整備
		御殿場線の利便性がないが、経路により小田急、JR 東海道の双方が選択できる立地性。	御殿場線の利便性を高めるため、相模金子駅に車での送迎用の待機所を設ける。また、上大井駅に屋根がある駐輪場を設ける。
		御殿場線の本数が少ない	御殿場線の本数が少ないため、町外の人に来るには自動車を使うしかない。大井町は自然が豊かなところが PR ポイントなので、まち歩きをする人が増えれば、大井町の魅力も伝わると思う。なので、歩きでも来やすいように 30 分に 1 本でも御殿場線の本数を増やすべきである。
		鉄道等交通手段の確保	長年の懸案であるが、町内外の異動手段がない。福祉バスが導入されたが、根本的解決には至らない。公共交通機関の増設、増便に向けた取り組みが急務。
		公共交通網の充実	巡回福祉バスを廃止し、誰もが利用できるコミュニティバスを創設する。
	バス	交通網の整備（コミュニティバス等の充実）	少子化、超高齢化、人口減少対策として、各所管課で様々な施策を打ち出しているものの、整合がとれておらず、町としてのビジョンも明確でない。後付けの事業が多い。区画整理事業等で流入人口の増加を目指すなら、誰もが利用できるコミュニティバス等の充実を図り、住みやすさをアピールするしかない。（御殿場線は、聖地巡礼をめざしては？）
		都市計画道路のバス路線開設	第 6 次総合計画の計画期間中に都市計画道路の紫水大橋－国道 255 号間が開通する可能性があるが、この都市計画道路は JR（相模金子）・小田急（開成）・大雄山（和田河原）の 3 鉄道を結ぶ路線であり、バス路線を新たに開設すべきである。
		課題：交通網の充実 比較的近い範囲で小田急線の 4 駅に連絡できる	小田急線 4 駅（栢山・開成・新松田・渋沢）それぞれからと町内のある個所（例えば山田グラウンド等数か所）までを近隣市町と連携してバスの交通網をつくる ①それらの停車場所を結ぶ町内の巡回バスをさらに走らせる。 ②町内に指定した各停車場をパーク＆ライドのように駐車場付きにしてバス利用と結びつける。
		コミュニティバス等の運行	交通弱者・運転免許返納者・遠距離通学者等への支援 近隣市町との連携 割引・回数券・定期等の導入
		バスの本数が少ない	バスの本数を増やす。

施策	分類	①課題や強み	②課題に対する新たな施策・事業 強みを生かした新たな施策・事業
		町域面積の小ささ	コミュニティーバス等巡回バスの運行
		課題：交通の便の悪さ 強み：新道路の開通	国道255から南足柄まで抜ける道に路線バスを開通。富士フイルム等への通勤や小田急開成駅の利用の利便性を強みとする。
		バスの本数が少ない	町の巡回バスをもっと有効活用できるようにしていく。また、バスの模様をもっとインパクトのある、大井町らしさを表現したものにしていく。
		強み：立地 課題：路線バスの本数が少ない	町巡回バスの事業拡大、民間企業との協働
	その他公共交通	公共交通機関の増設。	・無料自転車の貸し出し 役場、町施設、駅等で自転車の貸し出しを行い、町の散策等での活用。 - また、近隣の町と一体となって取り組むことで、イニシャルコスト、ランニングコストの削減につながる。 ・町巡回バスの増設
		相和地区の交通網	既存の鉄道・バスの展開は望めないことから、斬新な交通手段等を導入し、地域の交通や観光の目玉とする。（ゴルフカートなど安全な簡易な道路網の整備し、地域住民や観光客に利用してもらう。シェアカート等）

4-3 調査票

(1) 町民アンケート

大井町 まちづくりアンケート調査 ～あなたもまちづくりの計画に参加してください～

日頃から町政の推進にご理解、ご協力いただき、心から感謝申し上げます。

本町では、第5次総合計画「おいきらめきプラン」（計画期間：平成23～令和2年度）に基づき、計画的なまちづくりを推進しておりますが、目標年次が近づいてきたことから令和3年度をスタートとする新たな総合計画を町民の皆さんにご参加いただきながら策定することとしています。そこで、「おいきらめきプラン」で実施することをお示した施策に対して皆さんがどのくらい満足されているかを把握するとともに、新たな総合計画に皆さんのご意見を反映させるため、このアンケート調査を行うこととしました。

実施にあたっては、幅広い層からご意見をいただくため、町内在住の16歳以上の方の中から無作為に3,000名を選ばせていただきました。

大井町の将来を決める大切なアンケートです。お忙しいところ大変恐縮ですが、これからのまちづくりのため、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和元年8月

大井町長 小田真一

記入上のお願い

- 1 このアンケートは、年齢・男女別などにより集計を行いますので、宛名のご本人がご回答ください。
 - 2 回答は、用意された項目の中から「○は1つだけ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがって、その番号を○印で囲んでください。
 - 3 回答が「その他」の場合は、番号に○印をつけ、（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
 - 4 回答がわかるものであれば、ご記入いただく筆記用具の種類や色は問いません。
- ◆ 記入後は、返信用の封筒に入れ、切手を貼らずに 8月31日（土）までにポストに入れてくださるようお願いします。
 - ◆ このアンケートには、氏名をご記入いただく必要はありません。集計結果は、統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた皆さんにご迷惑をおかけすることはありません。
 - ◆ このアンケートは、現在の状況でご回答をお願いします。

【お問い合わせ】 大井町役場 企画財政課 総合計画担当

TEL 0465-85-5003（直通） FAX 0465-82-9965

E-mail kikaku@town.oi.kanagawa.jp

【1 あなた自身のことについておたずねします】

問1 あなたの性別を教えてください。（該当するものに○）

1 男性	2 女性
------	------

問2 あなたの年齢を教えてください。（○は1つだけ）

1 16～19 歳	4 40～49 歳	7 70 歳以上
2 20～29 歳	5 50～59 歳	
3 30～39 歳	6 60～69 歳	

問3 あなたのお住まいの自治会（地区）は次のうちどれですか。（○は1つだけ）

1 吉原	8 馬場	15 高尾
2 新宿	9 宮地	16 赤田
3 河原	10 金手	17 上山田
4 根岸上	11 上大井	18 中屋敷
5 根岸下	12 西大井	19 下山田
6 市場	13 篠窪	
7 坊村	14 柳	

問4 あなたのご職業を教えてください。兼業の方は主な職業についてのみお答えください。（○は1つだけ）

1 農 業
2 自営業（家族従業者を含む）・会社経営・団体役員
3 会社・工場・商店・官公庁などの勤め人
4 パート・アルバイト
5 学 生
6 専業主婦・主夫（家事・育児だけに従事の方）⇒ <u>問5へ</u>
7 無 職 ⇒ <u>問5へ</u>
8 その他（具体的に： _____）

問4-1、問4-2へ

【問4で1～5、8とお答えの方におたずねします】

問4-1 あなたの勤務地・通学地を教えてください。（○は1つだけ）

1 大井町内	7 1～6以外の神奈川県内
2 大井町以外の足柄上郡内	8 御殿場市
3 小田原市	9 小山町
4 南足柄市	10 8、9以外の静岡県内
5 秦野市	11 東京都内
6 横浜市	12 その他
	（具体的に： _____）

【問4で1～5、8とお答えの方におたずねします】

問4-2 主な通勤・通学の交通手段は何ですか。（○は1つだけ）

1 徒歩	4 鉄道	7 その他
2 自転車	5 バス	(具体的に:)
3 バイク	6 自家用車	

問5 通勤・通学以外での買物、通院など日常の生活圏は、どの範囲ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1 町内	4 山北町	7 小田原市
2 中井町	5 開成町	8 秦野市
3 松田町	6 南足柄市	9 その他
		(具体的に:)

問6 あなたの日常生活における主な交通手段は何ですか。（○は1つだけ）

1 徒歩	4 鉄道	7 その他
2 自転車	5 バス	(具体的に:)
3 バイク	6 自家用車	

問7 あなたのご家族の中に次の人はいますか。該当する番号すべてに○印をおつけください。（該当がない場合、○は不要）

1 高齢者（75歳以上）がいる
2 未就学児がいる
3 小学生がいる
4 自分以外いない（単身世帯）

問8 あなたは大井町に住んで、どれくらいになりますか。（○は1つだけ）

1 生まれてからずっと ⇒ 問9へ
2 大井町に生まれたが、一時町外に住み、戻ってきた
3 大井町に住んでから20年以上
4 大井町に住んでから10～19年
5 大井町に住んでから10年未満

問8-1へ

【問8で2～5とお答えの方におたずねします】

問8-1 あなたが大井町に住み始めた理由は何ですか。（○は最大3つまで）

1 まちに愛着があったから	10 町の発展に期待できたから
2 買い物が便利だから	11 友人や知り合いがいたから
3 交通の便が良かったから	12 仕事や学校の事情
4 生活環境が良かったから	13 家庭の事情
5 教育環境が良かったから	14 親がいる又は持ち家があったから
6 医療体制が充実していたから	15 探していた条件に合った住宅が見つかったから
7 福祉サービスが充実していたから	16 大井町民と結婚したから
8 自然が多かったから	17 その他
9 行政サービスが充実していたから	(具体的に:)

問 9 あなたにとって大井町は、住みよいところですか。（○は1つだけ）

1 住みよい	4 やや住みにくい
2 まあ住みよい	5 住みにくい
3 ふつう	6 わからない

問 10 あなたは、大井町に引き続き住みたいですか。（○は1つだけ）

1 住み続けたい	
2 住み続けてもよい	
3 できれば他自治体に転居したい	⇒ 問 11へ
4 他自治体に転居したい	⇒ 問 11へ
5 わからない	⇒ 問 11へ

問 10-1へ

【問 10で1または2と答えた方におたずねします。】

問 10-1 「住み続けたい」、「住み続けてもよい」とした理由は何ですか。
（○は最大3つまで）

1 まちに愛着があるから	10 町の発展に期待できるから
2 買い物が便利だから	11 友人や知り合いがいるから
3 交通の便が良いから	12 仕事や学校の事情
4 生活環境が良いから	13 家庭の事情
5 教育環境が良いから	14 親がいる又は持ち家があるから
6 医療体制が充実しているから	15 探していた条件に合った住宅に住んでいるから
7 福祉サービスが充実しているから	16 大井町民と結婚したから
8 自然が多いから	17 その他
9 行政サービスが充実しているから	

（具体的に： ）

【2 大井町の将来像や今後のまちづくりについておたずねします】

問 11 あなたは、これからの大井町のまちづくりにおいて、どのようなことを大切にしていきたいとお考えですか。（○は3つまで）

1 やすらぎ	11 歴史	21 活力
2 安心	12 やさしさ	22 活躍
3 便利	13 個性	23 多様性
4 ゆとり	14 主体性	24 笑顔
5 あたたかさ	15 自立	25 観光
6 健康	16 にぎわい	26 環境
7 文化	17 創造性	27 自然
8 調和	18 共生	28 継承
9 美しさ	19 安全	29 その他
10 協働	20 絆	

（具体的に： ）

問 1 2 あなたは、地球環境問題に対し、今後、大井町ではどのようなことを重点的に取り組んでいくべきだと思いますか。（○は最大2つまで）

- 1 リサイクルの推進などゴミの減量化
- 2 太陽光や風力などの再生可能エネルギーの有効活用
- 3 小・中学校における環境教育の充実
- 4 自然環境・生態系の保全・保護
- 5 自転車や公共交通機関など環境にやさしい交通の利用促進
- 6 公共下水道・合併処理浄化槽^(※)設置の推進による水質汚濁の防止
- 7 その他（具体的に： _____）
- 8 わからない

（※）合併処理浄化槽…単独処理浄化槽（し尿処理のみ）とは異なり、台所やお風呂の生活雑排水をトイレの排水とあわせて処理できる浄化槽のこと。

問 1 3 今後、大井町に住みたくなるために、あるいは、ずっと住み続けたいするために、町がどのような施策を実施することが必要だと思いますか。（○は最大3つまで）

- | | |
|--|-------------------------------|
| 1 結婚を希望する人への出会いの機会を提供するなどの結婚支援策を充実すること | 6 高齢者がいつまでも健康で活躍できる環境を整備すること |
| 2 子どもが安心して健やかに育つ社会づくりを進め、子育て環境を整備すること | 7 余暇を過ごすための場所や機会を充実させること |
| 3 雇用を確保し、生活基盤を安定させること | 8 空き家対策等の住宅施策を推進し、居住環境を整備すること |
| 4 地域の活性化につながる地場産業を育成すること | 9 交通網を整備し利便性向上を図ること |
| 5 産業を誘致すること | 10 環境に配慮したエネルギー施策の充実を図ること |
| | 11 その他
（具体的に： _____） |

問 1 4 子育てしやすい環境づくりについて、どのような施策実施が必要だと思いますか。（○は最大3つまで）

- | | |
|---------------------------------------|--------------------------------|
| 1 公園など子どもにとって魅力のある遊び場の確保 | 6 児童館・学童クラブなど、学童への子育て支援サービスの充実 |
| 2 未就学児等を遊ばせながら保護者が働ける場所 | 7 子育てサークルなど、自主グループの育成 |
| 3 子育てに悩む親への相談業務の充実 | 8 男性の育児参加を進める活動の促進 |
| 4 医療機関などについての情報提供 | 9 子どもの居場所づくりや学習支援 |
| 5 保育所・一時保育・ショートステイなど未就学児に対する保育サービスの充実 | 10 その他
（具体的に： _____） |

問 1 5 地方分権が進展するなか、地域住民の自己決定・自己責任が求められています。
このような時代を迎えるにあたり、あなたは、下記の公共サービスに関する今後の方向性について、どのようなお考えをお持ちですか。

問 1 5-1 ～ 3 それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○印をおつけください。

問 1 5-1 今後の福祉サービス^(※)の方向性

- 1 他のサービスを減らしても福祉サービス水準を維持（向上）するべき
- 2 福祉サービス利用者の負担が増えても、福祉サービス水準を維持（向上）するべき
- 3 福祉サービス水準を下げるべき（または、他のサービスに予算を配分するべき）
- 4 その他（具体的に： _____）

（※）福祉サービス…児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、生活保護等のこと

問 1 5-2 今後の都市基盤^(※)整備関連サービスの方向性

- 1 他のサービスを減らしても都市基盤関連サービス水準を維持（向上）するべき
- 2 都市基盤整備関連サービス利用者の負担が増えても、都市基盤整備関連サービス水準を維持（向上）するべき
- 3 都市基盤整備関連サービス水準を下げるべき（または、他のサービスに予算を配分するべき）
- 4 その他（具体的に： _____）

（※）都市基盤…道路、水路、上・下水道、公園等のこと

問 1 5-3 今後の公共施設^(※)関連サービスの方向性

- 1 他のサービスを減らしても公共施設関連サービス水準を維持（向上）するべき
- 2 公共施設関連サービス利用者の負担が増えても、公共施設関連サービス水準を維持（向上）するべき
- 3 公共施設関連サービス水準を下げるべき（または、他のサービスに予算を配分するべき）
- 4 その他（具体的に： _____）

（※）公共施設…庁舎、生涯学習センター、そうわ会館、保育園、学校等のこと

問 1 6 近い将来において、公共施設の老朽化による維持や修繕費の増加が懸念され、作り直さなければいけない時期を迎えます。住民の高齢化や人口減少が進む中で、財政状況は厳しさを増し、すべての公共施設の維持が難しくなることも考えられます。今後の公共施設のあり方について、どのように進めていくべきだとお考えですか。
（○は 1 つだけ）

- 1 財政状況に係わらず施設の利用促進を図るために建替える
- 2 財政状況に応じて施設を修繕・補強し、建替えしないようにする
- 3 利用目的が同じような施設を集約する
- 4 近くにある複数の施設を一つの複合施設にする
- 5 その他（具体的に： _____）

【3 行政の施策や事業への取り組み・町職員への印象についておたずねします】

問17 回答例にならって、これまで進めてきた大井町のまちづくりの取り組みについての「満足度」と、これからの取り組みを進める上での「重要度」のそれぞれについて、今のお気持ちに最も近い番号を1つずつ選び、回答欄に○印をおつけ下さい。

	満足度					重要度（必要度）				
	非常に満足している	満足している	どちらともいえない	不満である	非常に不満である	特に重要である	少し重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	全く重要ではない
回答例 ○○の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
大井町成長戦略										
1 教育・保育環境の充実 （湘光中学校等の整備・改修、保育体制の充実）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 産業立地と居住環境の創出 （「金子吉原地区」土地区画整理事業や企業誘致）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 相和ブランドの創出 （交流人口の増加・農業の6次産業化、ブランド発信）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 次世代産業の共創と連携 （「BIOTOPIA」における未病関連産業の集積や育成）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
I 協働										
① 協働のまちづくり										
5 情報の共有（情報公開・広報広聴活動）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 まちづくりへの町民参加の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7 人づくりの推進（世代間交流、人材発掘・育成）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 地域社会										
8 自治会活動等への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9 平等な社会の形成（人権の尊重・男女共同参画社会の推進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
II 環境共生										
① 自然・生活環境										
10 地球温暖化対策や自然環境の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11 大気汚染対策・環境美化活動の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12 ゴミの減量化やリサイクルの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13 生活排水・し尿の適正な処理（悪臭などの防止）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14 公園・緑地の整備、有効活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 都市基盤										
15 市街地の整備（空き家対策やスマートタウンの推進など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16 道路や水路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17 上水道整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18 下水道整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19 鉄道・バス路線網	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	満足度					重要度（必要度）				
	非常に満足している	満足している	どちらともいえない	不満である	非常に不満である	特に重要である	少し重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	全く重要ではない
Ⅲ 安全										
① 町民の安全・安心										
20 消防・救急体制の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
21 防災体制と防災施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
22 防犯対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
23 交通安全対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24 消費者保護対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
Ⅳ 健康・福祉										
① 健康										
25 健康づくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
26 地域医療体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 福祉										
27 地域福祉の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
28 高齢者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
29 障がい者（児）福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
30 子育て支援・児童福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
31 社会保障・勤労者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
Ⅴ 産業										
① 農業										
32 農業振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 商業・工業										
33 商・工業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 観光										
34 地域資源を活用した観光振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
Ⅵ 教育										
④ 学校教育										
35 幼稚園教育	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
36 小・中学校教育	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ 社会教育										
37 青少年の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
38 生涯学習機会の提供	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
39 文化財の保護と活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
40 生涯スポーツ活動の支援と施設整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 18 今後 10 年間で町が特に取組む必要があると感じる施策のポイントは次のうちどれですか（○は最大 4 つまで）。

1	地域コミュニティの活性化
2	子育て支援の充実
3	教育環境の充実
4	移住・定住施策
5	高齢者福祉施策
6	災害時にも備えた太陽光などの再生可能エネルギーの活用
7	産業の振興
8	観光の振興
9	景観の保全
10	産業の誘致
11	道路交通網の整備、利便性の向上
12	健康づくり
13	安全・安心な暮らしの確保
14	町の認知度の向上
15	国際化への対応
16	ドローンや AI の活用などの新たな施策
17	その他（具体的に： _____）

問 19 あなたは、町職員についてそれぞれどのような印象をお持ちですか。以下の項目ごとにお答えください。（それぞれ○は 1 つだけ）

項目	印象				
	良い	どちらか といえば 良い	どちらか といえば 悪い	悪い	わから ない
（ア）窓口や電話での対応	1	2	3	4	5
（イ）相談時等における職員の知識	1	2	3	4	5
（ウ）身だしなみ	1	2	3	4	5

【4 まちづくりへの参加と協力についておたずねします】

問 2 0 あなたは、町に関する情報を（窓口以外から）主にどのようにして得ていますか。
（○は最大3つまで）

1 広報おい	8 各種会議や町政懇話会
2 議会だより	9 自治会役員
3 大井町ホームページ	10 知人、友人
4 Facebook	11 家族
5 ケーブルテレビなどの地域の情報番組	12 その他
6 大井町あんしんメール	（具体的に： _____）
7 回覧	

問 2 1 あなたが、大井町について特に知りたい情報は何か。（○は最大2つまで）

1 町長の基本的な考え方
2 町の歳入の内訳や予算の使い方
3 町が現在実施している事業の内容や進みぐあい
4 町が将来的に進める事業やその内容
5 町が抱えている課題
6 町が行っている制度の事務手続の紹介
7 町の行事や催し物などの案内
8 町内の施設の紹介や案内
9 町のいろいろな統計資料
10 町の歴史や文化・芸能
11 その他（具体的に： _____）

問 2 2 あなたは、地域づくりやまちづくり活動に関心がありますか。（○は1つだけ）

1 関心がある	2 まあ関心がある 3 あまり関心がない ⇒ <u>問 2 2 - 2 へ</u> 4 関心がない ⇒ <u>問 2 2 - 2 へ</u>
2 まあ関心がある	
3 あまり関心がない	
4 関心がない	

問 2 2 - 1 へ

【問 2 2 で 1 または 2 と答えた方におたずねします。】

問 2 2 - 1 あなたが今後活動したいと思うものはどれですか。（○は最大3つまで）

1 自然保護・緑化活動	8 防災・防犯活動や交通安全活動
2 環境美化活動	9 災害支援活動
3 高齢者に対する活動	10 イベントや観光などの活動
4 障がいのある方に対する活動	11 寄付や募金、バザーなどの活動
5 青少年健全育成活動	12 産業振興に関する活動
6 子育てに対する活動	13 その他
7 伝統文化保存活動	（具体的に： _____）

【問 2 2 で 3 または 4 と答えた方におたずねします。】

問 2 2 - 2 その理由は何でしょうか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 関心をよせたり活動をする時間がないから
- 2 きっかけや機会がないから
- 3 参加出来る活動や団体の情報がないため、よく分からないから
- 4 お金がかかりそうだから
- 5 関心の持てる、自分のできそうな活動がないから
- 6 新たな人間関係を築くのが億劫だから
- 7 長く住むつもりがないから
- 8 現在のままでうまくいっていると思っているから
- 9 家族など自分以外の人が活動に参加しており、現時点で自分の役割が無いから
- 10 その他（具体的に： _____）

問 2 3 あなたが、より良いまちづくりを進めるために取組みたいと思うものはどれですか。
（○は最大 3 つまで）

- 1 ゴみの分別収集に協力し、不用品はリサイクルに出す
- 2 町の景観の保全のために美化活動に参加する
- 3 町が呼びかける各種計画づくりの場へ参加する
- 4 町が公募した施策の検討委員会等の委員に応募する
- 5 町が開催する懇談会やワークショップに参加する
- 6 自治会活動などの地域のコミュニティ活動に参加する
- 7 子育てに関連する活動に参加する
- 8 高齢者・障がい者等の支援を行うためにボランティアとして参加する
- 9 行政主体ではなく住民主体のまちづくり活動を企画する（参加する）
- 10 その他（具体的に： _____）

問 2 4 あなたは、町に対してどのような方法で意見を伝えたいと考えていますか。
（○は 1 つだけ）

- 1 直接窓口で伝えたい
- 2 町が開催する懇談会やワークショップ
- 3 陳情・請願等により意見を述べたい
- 4 アンケート調査で十分である
- 5 議員や町・専門家にまかせる
- 6 「わたしの提案・意見」に投稿する
- 7 関心がない
- 8 その他（具体的に： _____）

1 町長や町の職員等の行政の判断に任せるべきだ
2 住民の声をよく聞き、行政が責任をもって判断すべきだ
3 住民もまちづくりに参加して、協働のまちづくりをすすめるべきだ
4 まちづくりに参加することにあまり関心はない
5 その他（具体的に：

[illegible]

- 132 -

(2) 職員アンケート

大井町第6次総合計画策定に向けた職員アンケート

<回答にあたってのお願い>

- ・各設問の内容に従って **黄色の回答欄**に入力してください。回答欄以外は編集しないでください。
- ・【理由】を記入する欄は、**回答する文章量に応じて、セルの高さを変更して入力してください。**
- ・回答を入力した調査票(エクセルファイル)は、**9月10日(火)まで**に 企画財政課 青木・大澤宛に添付して提出してください。
- ・ファイル名は次のように変更してください。**ファイル名⇒職員アンケート(課名・氏名を記入)**
※ファイル名は、提出の有無を確認するためだけに使用します。回答は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。
- ・調査票は1名につき1ファイルで作成します。所属ごとに提出する場合であっても、1つのファイルに複数シートをまとめないでください。
- ・調査票は、現在の職務の立場を超えて、**町政全体を念頭において**お答えください。
- ・不明な点がありましたら、下記担当までお問い合わせください。

企画財政課 TEL 85-5003
担当: 青木・大澤

設問はここからです

【問1】あなた自身のことについて伺います。該当する選択肢を1つずつ選んでください。

(回答欄をクリックすると下向き▼内に選択肢が表示されます)

	選択肢	回答欄
性別	男性 ・ 女性	
年齢	20歳代 ・ 30歳代 ・ 40歳代 ・ 50歳以上	
住まい	大井町内 ・ 大井町外	
通勤手段	徒歩 ・ 自転車 ・ バイク ・ 鉄道 ・ バス ・ 自家用車 ・ その他	

※その他を選んだ方は具体的に記入してください。

【問2】回答例にならって、これまで進めてきた大井町のまちづくりの取組みについての「満足度」と、
 これからの取組みを進める上での「重要度」のそれぞれについて、
 今のお気持ちに最も近い番号を1つずつお選びください。
 （回答欄をクリックすると下向き▼内に選択肢が表示されます）

	回答選択肢	
	満足度	重要度（必要度）
	1 非常に満足している 2 満足している 3 どちらともいえない 4 不満である 5 非常に不満である	1 特に重要である 2 重要である 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 全く重要ではない
回答例 ○○の推進	2 満足している	1 特に重要である
大井町成長戦略		
1 教育・保育環境の充実（湘光中学校等の整備・改修、保育体制の充実）		
2 産業立地と居住環境の創出（「大井中央地区」土地区画整理事業や企業誘致）		
3 相和ブランドの創出（交流人口の増加・農業の6次産業化、ブランド発信）		
4 次世代産業の共創と連携（「BIOTOPIA」における未病関連産業の集積や育成）		
I 協働		
① 協働のまちづくり		
5 情報の共有（情報公開・広報広聴活動）		
6 まちづくりへの町民参加の促進		
7 人づくりの推進（世代間交流、人材発掘・育成）		
② 地域社会		
8 自治会活動等への支援		
9 平等な社会の形成（人権の尊重・男女共同参画社会の推進）		
II 環境共生		
① 自然・生活環境		
10 地球温暖化対策や自然環境の保全		
11 大気汚染対策・環境美化活動の推進		
12 ゴミの減量化やリサイクルの推進		
13 生活排水・し尿の適正な処理（悪臭などの防止）		
14 公園・緑地の整備、有効活用		
② 都市基盤		
15 市街地の整備（空き家対策やスマートタウンの推進など）		
16 道路や水路の整備		
17 上水道整備		
18 下水道整備		
19 鉄道・バス路線網		
III 安全		
① 町民の安全・安心		
20 消防・救急体制の整備		
21 防災体制と防災施設の整備		
22 防犯対策		
23 交通安全対策		
24 消費者保護対策		

IV 健康・福祉		
① 健康		
25	健康づくりの推進	
26	地域医療体制の充実	
② 福祉		
27	地域福祉の推進	
28	高齢者福祉	
29	障がい者(児)福祉	
30	子育て支援・児童福祉	
31	社会保障・勤労者福祉	
V 産業		
① 農業		
32	農業振興	
② 商業・工業		
33	商・工業の振興	
③ 観光		
34	地域資源を活用した観光振興	
VI 教育		
① 学校教育		
35	幼稚園教育	
36	小・中学校教育	
② 社会教育		
37	青少年の育成	
38	生涯学習機会の提供	
39	文化財の保護と活用	
40	生涯スポーツ活動の支援と施設整備	

【問3】今後10年間で町が特に取組む必要があると感じる施策のポイントを4つまで選んで下さい。
(□をクリックすると☑がつきます)

☐	1. 地域コミュニティの活性化	☐	10. 産業の誘致
☐	2. 子育て支援の充実	☐	11. 道路交通網の整備、利便性の向上
☐	3. 教育環境の充実	☐	12. 健康づくり
☐	4. 移住・定住施策	☐	13. 安全・安心な暮らしの確保
☐	5. 高齢者福祉施策	☐	14. 町の認知度の向上
☐	6. 災害時にも備えた太陽光などの再生可能エネルギーの活用	☐	15. 国際化への対応
☐	7. 産業の振興	☐	16. ドローンやAIの活用などの新たな施策
☐	8. 観光の振興	☐	17. その他
☐	9. 景観の保全		

※「17. その他」を選んだ方は具体的に記入してください。

--

【問4】あなたが、地方分権や行財政改革を進めるために、重点的に取り組むべきだと思うものを3つまで選んで下さい。
(口をクリックすると口がつきます)

☐	1. 組織の見直し	☐	9. 公正・透明性の確保
☐	2. 事務事業の見直し	☐	10. 公共事業のコスト削減
☐	3. 人材の育成・確保	☐	11. 広域的な自治体連携の強化
☐	4. 行政サービスの向上	☐	12. ITの活用・電子自治体化
☐	5. 経費の節減・合理化	☐	13. 民間企業などからの人材の登用
☐	6. 民間活力の活用	☐	14. 積極的でわかりやすい情報公開
☐	7. 定員・給与の見直し	☐	15. ボランティア団体やNPOなど、住民との協働
☐	8. 財源対策の強化	☐	16. 市町村合併の推進

【問5】大井町の発展や豊かな暮らしを実現するために取り組むべき、新たな施策・事業に関する意見・提案(アイデア)について
回答欄①で施策の分類を選び、回答欄②に大井町の課題や強みを、
回答欄③に課題解決に向けての具体的なアイデア・提案などを、それぞれ記入してください。
特に重要だと思うものを3つまでお答えください。
(①施策分類は、回答欄をクリックすると下向き▼内に施策の選択肢が表示されます)

回答欄

①施策分類	
②課題や強み	
③課題に対する新たな施策・事業 強みを生かした新たな施策・事業	

①施策分類	
②課題や強み	
③課題に対する新たな施策・事業 強みを生かした新たな施策・事業	

①施策分類	
②課題や強み	
③課題に対する新たな施策・事業 強みを生かした新たな施策・事業	

【問6】あなたの「大井町第5次総合計画」の利用状況について最も当てはまるものを1つ選んでください。
(口をクリックすると口になります)

	選択肢
☐	1. 日ごろの業務の中で頻繁に利用している
☐	2. 年に数回程度、利用している
☐	3. 見たことはあるが、利用する機会がない
☐	4. 見たことがない
☐	5. その他

※「5 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。

--

【問7】問6で1、2を選択された方にお聞きします。

「大井町第5次総合計画」を見る機会について当てはまるものをすべて選んでください。
(口をクリックすると口がつきます)

	選択肢
☐	1. 予算要求に向けて計画を立案するとき
☐	2. 住民に町取組や行政運営の考え方を説明する必要があるとき
☐	3. 事務事業評価を行うとき
☐	4. 個別の計画の策定や進行管理を行うとき
☐	5. 町議会での対応を求められたとき
☐	6. 庁内の他部署や他自治体から問い合わせがあったとき
☐	7. その他 _____

※「7 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。

【問8】新しい「大井町第6次総合計画」の実行性を高めていくために、あなたが大切だと思うことを3つまで選んでください。
(口をクリックすると口がつきます)

	選択肢
☐	1. 総合計画の策定・決定段階における職員参加の推進
☐	2. 総合計画の策定・決定段階における市民参画・協働の推進
☐	3. 総合計画の評価段階における市民参画・協働の推進
☐	4. 施策や事業の優先度を明確にした計画とする
☐	5. 政策・施策・事務事業の体系を明確にし、目的—手段との関係を明らかにする
☐	6. 特徴的な成長戦略を設定する
☐	7. 各課で策定した課題別計画との連携・調整を図る
☐	8. 総合計画の施策・事務事業と行政評価を連動させる
☐	9. 総合計画の進捗状況の情報提供
☐	10. 計画が町民にとってわかりやすく、評価しやすいものとする
☐	11. 計画の実行に対する、財政的な裏付けがしっかりしていること
☐	12. 計画の実行に対する、人力的な確保がしっかりしていること
☐	13. 計画の進捗チェックや見直しなどのPDCAがしっかりしていること
☐	14. その他 _____

※「14 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。